servicenow

ワシントン DC アプリケーション ポートフォリオ管理

最終更新日: **2025**年**12**月**17**日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

アプリケーションポートフォリオ管理 4
アプリケーションポートフォリオ管理 6
アプリケーションポートフォリオ管理 の詳細 8
アプリケーションポートフォリオ管理 の構成 64
アプリケーションポートフォリオ管理 の使用 94
他のアプリケーションとの アプリケーションポートフォリオ管理 の統合 174
アプリケーションポートフォリオ管理 参照 181
デジタル統合の管理 236
アプリケーションポートフォリオ管理 用の エンタープライズアーキテクチャワークスペース 240

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションポートフォリオ管理

ServiceNow® アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) アプリケーションを使用して、組織で使用されているアプリケーションを包括的に把握することで、冗長なものを特定して予算コストを削減できます。同じビジネス機能内でアプリケーションを統合することで、最新化またはアップグレードすべきアプリケーションを特定できます。

Application Portfolio Management の概要をさらに理解するには、この 5 分間のビデオをご覧ください。

APM は、組織の目標に沿ったビジネスニーズに基づき、アプリケーションに投資するか、維持するか、または置き換えるかを決定する際に役立ちます。

次のようなビジネス上の課題に対処できます。

- 類似の機能に対応する冗長なアプリケーション
- アプリケーションの所有と維持にかかるコストの増加
- 新しい機能のための、既存アプリケーションのアップグレードへのデマンドの高まり
- 社内の従来アプリケーションとベンダーの従来アプリケーションの競合
- 古くなったアプリケーションに起因するパフォーマンス不足

次の APM プロセスを使用して、これらの課題を解消し、ビジネス機能を効率的かつ円滑な方法で改善して、コストを最適化します。



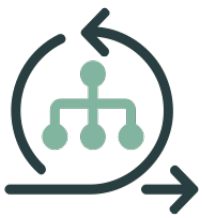
APM でデジタル統合を管理する

すべてのアプリケーションのすべての統合を一元管理し、アプリケーションポートフォリオ管理 で制御します。



ビジネス機能によるアプリケーションの合理化

バブルチャートでインジケーターの複数の組み合わせを構成することで、特定のビジネス機能におけるすべてのビジネスアプリケーションを合理化し、アプリケーションについて投資するか、維持するか、または置き換えるかを決定します。



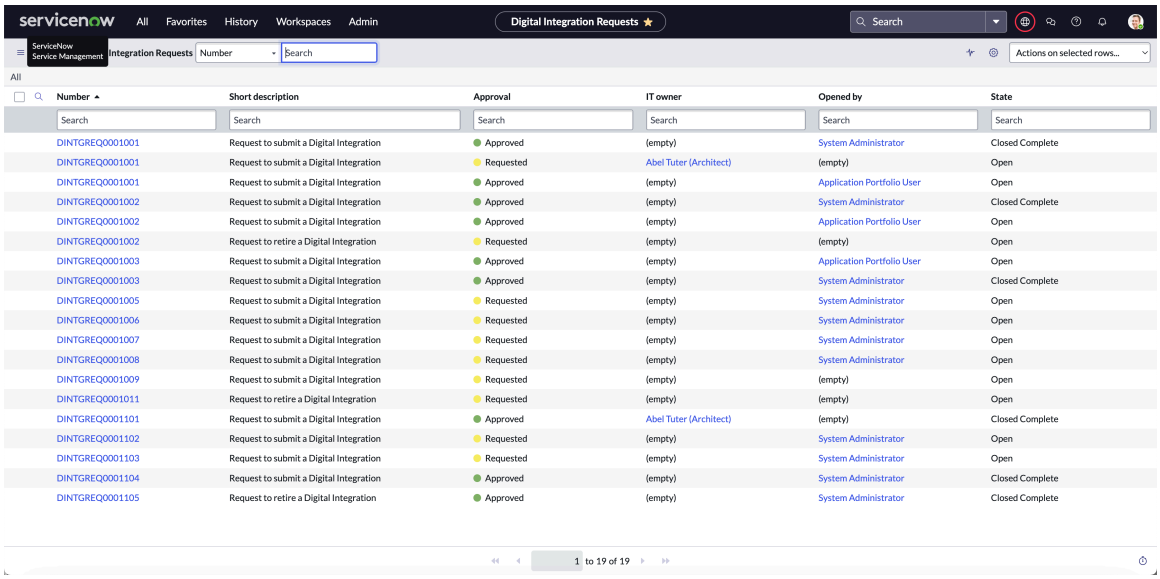
ソフトウェア製品と製品バージョンの標準を定義する

ソフトウェア製品の標準を定義し、組織内の未承認のソフトウェアを管理します。テクノロジー参照モデル 機能を使用して、組織で使用するソフトウェアの標準を定義します。

自動翻訳

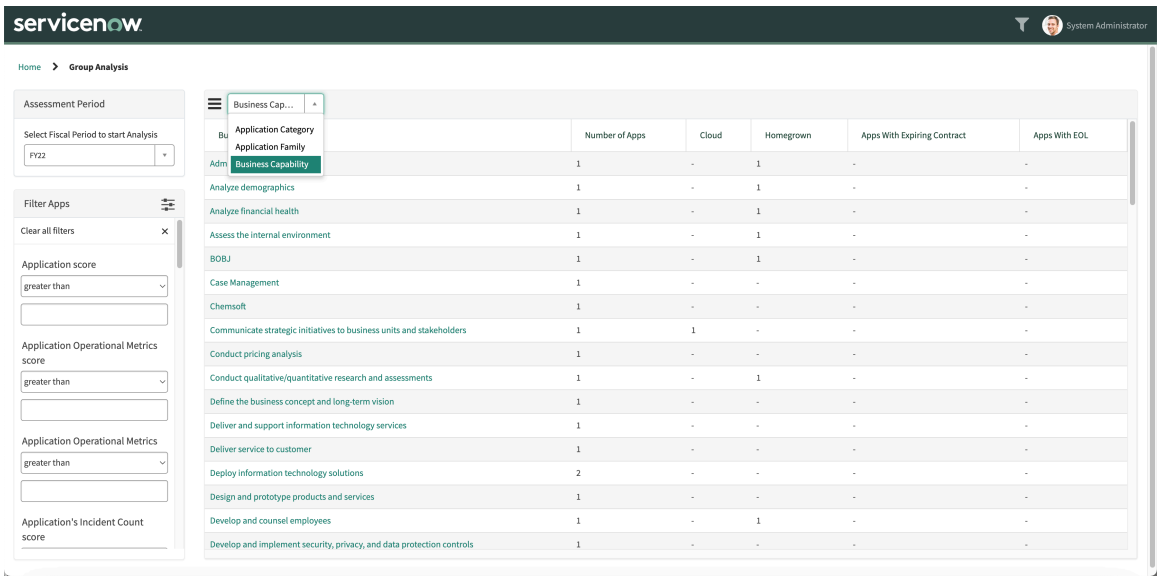
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

APM でデジタル統合を管理する



デジタル統合は、2 つのビジネスアプリケーション間の統合を表します。一般的なシナリオには、消費ビジネスアプリケーション、プロバイダービジネスアプリケーション、およびプロバイダービジネスアプリケーションによって提供されるインターフェイスがあります。デジタル統合には、名前、バージョン、タイプ、データフローの方向、使用されているミドルウェア、所有者など、統合に関するメタデータが含まれています。

ビジネス機能によるアプリケーションの合理化

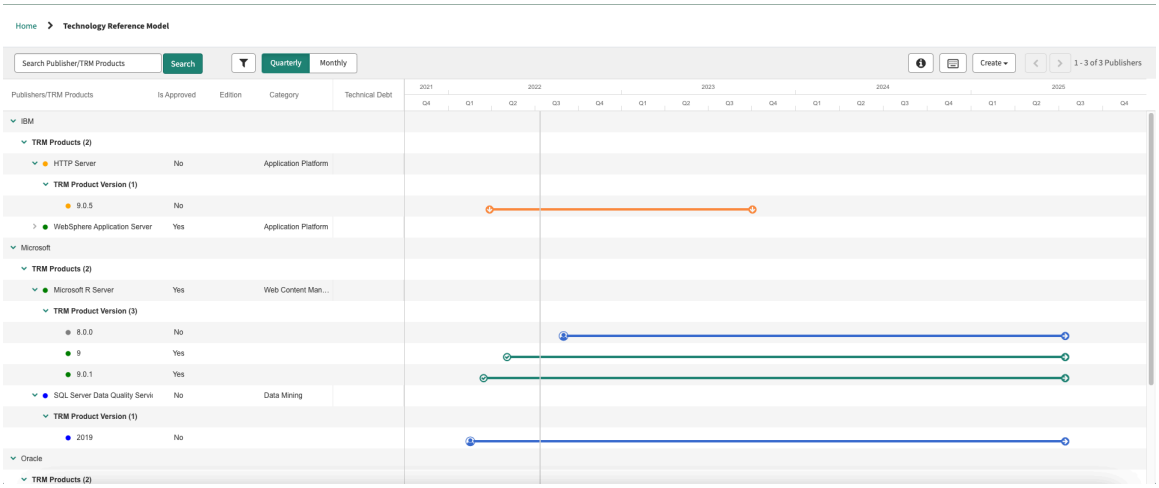


ビジネス機能のコンテキストでビジネスアプリケーションのスコアを評価します。バブルチャートで複数のインジケーターの組み合わせを構成することで、アプリケーションについて投資するか、維持するか、または置き換えるかを決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア製品と製品バージョンの標準を定義する



テクノロジー参照モデル (TRM) モジュールを使用して、組織で使用されるすべてのソフトウェアアプリケーションの標準を定義します。本番で使用するソフトウェアとソフトウェアのバージョンを定義できます。新しいソフトウェア製品を TRM ライブラリに追加し、他のステークホルダーによって送信された要求を承認または却下します。技術的負債ページを使用して、本番で使用されている未承認のソフトウェア製品を明確化します。

アプリケーションと機能

- エンタープライズアーキテクチャワークスペース
- Application Portfolio Management の概要
- Application Portfolio Management ポータル
- テクノロジーポートフォリオ管理
- テクノロジー参照モデル
- デジタル統合の管理
- Application Portfolio Management (APM) クラウドアセスメント
- アーキテクチャアーティファクト
- Application Portfolio Management データの Microsoft PowerPoint へのエクスポート

アプリケーションポートフォリオ管理

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) は、基礎となるテクノロジーの関係を含むアプリケーション資産の全体像を提供します。

このビデオでは、Application Portfolio Management の機能とメリットについて説明します。

APM は、ビジネスアプリケーションの包括的なインベントリを構築し、ポートフォリオを分析するための 4 つのレンズ (ビジネス機能の計画立案、アプリケーションの移行と合理化、技術リスク管理、および情報使用) をエンタープライズアーキテクトに提供することから始まります。

このレベルの可視性により、アーキテクトは、オンプレミスアプリや重複アプリの数の削減、重要でないアプリケーションへの支出の削減、ビジネス機能モデルのギャップへの対処など、変革の機会を簡単に特定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

APM は、アーキテクトがアーキテクチャステータスの変更の影響を簡単に評価するのに役立つ、テクノロジーと作業の両方の視点を提供します。また、APM は、計画されている内容が組織の技術と戦略的目標に沿っていることを確認します。

開始するには

詳細を読む



提供する主な機能とビジネス価値 APM について説明します

構成



APM の構成

統合



他の製品との統合APM

使用



使用方法を学ぶ APM

参照



のコンポーネント、フォームフィールド、一般的なガイドラインに関する詳細を取得します。 APM

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする の Application Portfolio Management フォーラム ServiceNow Community
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート
- APM ラーニングパス、実装、およびその他のリソースに関する記事を検索する

アプリケーションポートフォリオ管理 の詳細

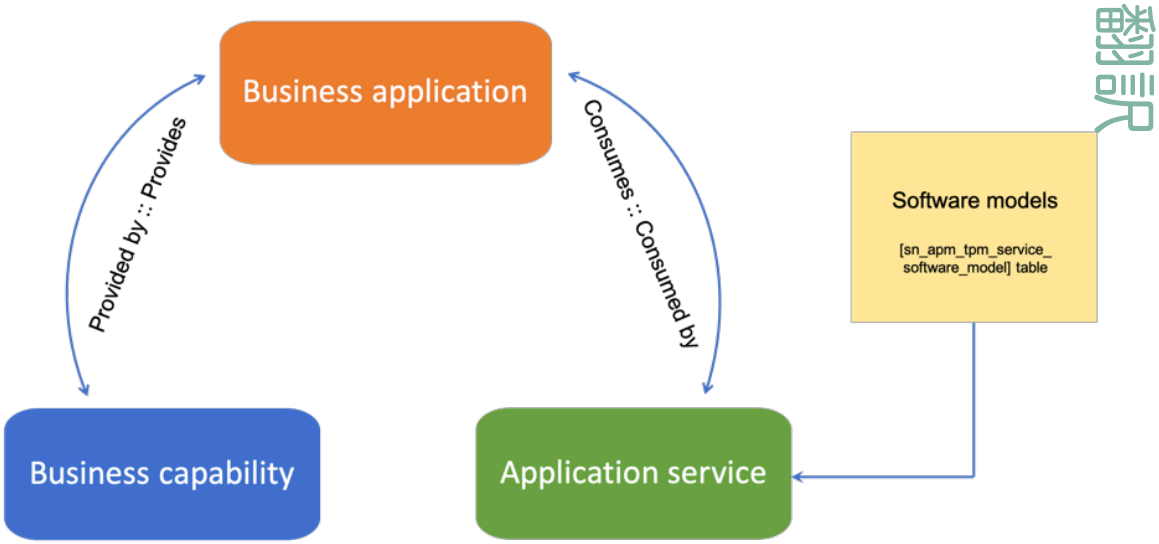
アプリケーションポートフォリオ管理 が提供する特性、機能、ビジネス価値について説明します。

APM は、次の主要なソリューションコンポーネントを使用します。

- アプリケーション分類
  - エンタープライズビジネスアプリケーションに重点を置いています。より大規模な ERP スイートの機能モジュール部分を含めることもできます。
  - 基本 Configuration Management Database (CMDB) 構成アイテムを拡張する、新しい CI クラスであるビジネスアプリケーションに、アプリケーションを分類するための追加属性を提供します。

    APM で使用される構成アイテムは、互いに CMDB 関係を確立することによって関連付けられます。

    APM CI 関係



  - アプリケーションの段階的なロールアウト/展開を事業部門または地域別にキャプチャします。
  - 参照されているソフトウェアモデルから属性をキャプチャします。
- アプリケーションアセスメントフレームワーク
  - コスト、品質、リスク、ユーザー満足度、ビジネス整合性など、さまざまな側面からアプリケーションを評価するためのインジケーター。
  - コスト用 Financial Management、サポート問題用 ITSM、投資の詳細用 PPM など、ServiceNow アプリケーションからの一般的なインジケーター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- レポートとダッシュボード
  - アプリケーション状況ダッシュボード
  - アプリケーション 360 ダッシュボード
  - アプリケーションアセスメントダッシュボード
  - アプリケーション戦略の推奨事項 (バブルチャート)
  - アプリケーション合理化ロードマップ
  - アプリケーションリスクとコンプライアンスの概要 (必要なロールは sn_grc.reader)
- 他のアプリケーションとの統合
  - Project Portfolio Suite (PPS) と統合して、戦略的な目標と推奨事項の実行を追跡します。
  - Financial Management と統合して、アプリケーションのコストと関連するブレークダウンを評価します。
  - PPS と統合して、アプリケーションへの計画された投資を評価します。
  - ITSM と統合して、アプリケーションのインシデント、問題、および変更を評価します。
  - サービス管理と統合して、ビジネスアプリケーションを使用し、そのパフォーマンスを評価できるユーザーまたはユーザーグループに対するアセスメントアンケートを生成します。
  - Agile Development 2.0 デジタルポートフォリオ管理 (DPM) と統合することで、DPM マネージャーは、情報に基づいて投資、維持、または置換の意思決定を行う際に役立つ、ビジネスアプリケーションの包括的な理解を得ることができます。DPM は、所有者がライフサイクル全体を通してサービスとアプリケーションを表示し、まとめて管理するための統一されたワークスペースを提供します。詳細については、「Digital Portfolio Management の詳細」を参照してください。

アプリケーションポートフォリオ管理とともにインストールされる内容

アプリケーションポートフォリオ管理 と併せて、複数のタイプのコンポーネントがインストールされます。

アプリケーションポートフォリオ管理 とともにインストールされるテーブル

テーブルは、アプリケーションポートフォリオ管理 のアクティブ化とともに追加されます。

テーブル	説明
アプリケーションバブルチャート [apm_bubble_chart]	バブルチャート設定。
アプリケーションサービスリスク [sn_apm_tpm_business_service_risk]	の TPMアプリケーションサービスにリスクを保存します。
アプリケーションカテゴリ [apm_application_category]	ビジネスアプリケーションが属するアプリケーションカテゴリ。
アプリケーションカテゴリグループ [apm_application_category_group]	アプリケーションカテゴリのグループ。
アプリケーションファミリ [apm_application_family]	すべてのアプリケーションファミリ。
インジケーター [apm_metric]	インジケータースコアをキャプチャするためのインジケーター定義。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
インジケータースコア [apm_app_indicator_score]	プロファイルに基づいてエンジンによって計算されたインジケータースコア。
採点プロファイル [apm_application_profile]	採点プロファイル定義。
プロファイルインジケーター [apm_application_profile_indicator]	ビジネスアプリケーションの全体的なスコアを計算するための重み付け番号を持つアプリケーションプロファイルインジケーター。
CI スコア [apm_app_score]	アプリケーションプロファイルに基づいて、エンジンによって計算された全体的なアプリケーションスコア。
ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app]	すべてのビジネスアプリケーション。
アプリケーションサービスソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_model]	各アプリケーションサービスの基礎となるソフトウェアモデル (テクノロジー) を格納します。
目標寄与率ターゲット [goal_contribution_target]	ターゲット会計年度におけるプログラムの目標寄与率。
デマンドアクション [apm_idea_action]	デマンドを送信するために利用可能なアクション。
リスクパラメーター [sn_apm_tpm_risk_parameter]	リスクパラメーターを TPM に保存します。
リスクパラメータースコア [sn_apm_tpm_risk_param_score]	各ソフトウェアモデルのリスクパラメータースコアを TPM に保存します。 たとえば、4 つのパラメーターがある場合、ソフトウェアモデルごとに 4 つのレコードがテーブルに格納されます。
ソフトウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_software_model_risk]	ソフトウェアモデルのリスクを TPM に保存します。
ハードウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_hardware_model_risk]	ハードウェアモデルのリスクを TPM に保存します。
TRM 製品ライフサイクル要求 [sn_apm_trm_product_lifecycle_request]	TRM 製品ライフサイクルを要求します。
TRM 製品要求 [sn_apm_trm_product_request]	TRM 製品を要求します。
TRM カテゴリ [sn_apm_trm_standards_category]	TRM カテゴリ。
TRM フェーズ [sn_apm_trm_standards_phase]	TRM フェーズ。
TRM 製品 [sn_apm_trm_standards_product]	TRM 製品。
TRM 製品ライフサイクル [sn_apm_trm_standards_product_lifecycle]	TRM 製品ライフサイクル。
TRM 技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt]	TRM 製品の技術的負債に関する情報。
アーキテクチャアーティファクト [sn_apm_architectural_artifact]	アーキテクチャアーティファクトの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
アーキテクチャアーティファクトのバージョン [sn_apm_architectural_version]	アーキテクチャアーティファクトのバージョン。
アーキテクチャカテゴリ [sn_apm_architectural_category]	アーキテクチャアーティファクトのカテゴリ。
関連エンティティ [sn_apm_related_entities]	アーキテクチャアーティファクトの関連エンティティ。
新規テーブル [sn_apm_ppt_status_report]	APM PowerPoint ステータスレポートテーブル。
データ分類 [cmdb_data_classification]	情報オブジェクトのデータ分類のリスト。
データ分類グループ [cmdb_data_classification_group]	情報オブジェクトのデータ分類グループのリスト。
データ分類マッピング [cmdb_data_classification_mapping]	データ分類の詳細を情報オブジェクトとマッピングします。

アプリケーションポートフォリオ管理 と一緒にインストールされるロール

ロールは、アプリケーションポートフォリオ管理 のアクティブ化とともに追加されます。

ロール	説明	ロールを含む
sn_apm.apm_read	ベースシステムで提供される APM ダッシュボードと、ダッシュボードのデータ取得元テーブルを表示するためにアクセスします。	pa_viewer ロールと cmdb_read ロールが含まれます。 **注:** Notify (com.snc.notify) プラグインをアクティブ化して、notify_view ロールを含めます。 アプリケーション 360 ダッシュボード、アプリケーション状況ダッシュボード、アプリケーションアセスメントダッシュボードを表示します。
sn_apm.apm_user	アプリケーションの更新、状況の表示、ロードマップにアクセスします。	pa_viewer、および認定ロールが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	ロールを含む
		注: • Notify (com.snc.notify) プラグインをアクティブ化して、notify_view ロールを含めます。 • PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをアクティブ化して、CBP および TPM でプロジェクト/プログラムを作成します。PPM ロールの詳細については、「PPM Standard (Project Portfolio Management) とともにインストールされるプラグイン」を参照してください 。 • アプリケーションを表示/更新します。 • ビジネスアプリケーションの作成を要求します。 • アプリケーションロールアウトを作成/更新/削除します。 • アプリケーション状況レポートとダッシュボードを表示します。 • アプリケーションロードマップを表示します。 • アプリケーション 360 ダッシュボードを表示します。
sn_apm.apm_admin	アプリケーションレコードを作成または更新し、管理アクティビティにアクセスします。	sn_apm.apm_user、assessment_admin、certi ロールが含まれます。 • アプリケーションカテゴリを作成/更新/削除します。 • アプリケーションファミリを作成/更新/削除します。 • ビジネスプロセスを作成/更新/削除します。 • アプリケーションインジケーターを作成/更新/削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	ロールを含む
		• アプリケーションスコアプロファイルを作成/更新/削除します。 • バブルチャートを作成/更新/削除します。 • アプリケーションインジケータースコアとアプリケーションスコアを表示します。 • アプリケーションアセスメントダッシュボードを表示します。 • アプリケーション 360 ダッシュボードを表示します。
sn_apm.apm_analyst	アプリケーションを作成し、状況とダッシュボードにアクセスします。	sn_apm.apm_admin ロールと treemap_user ロールが含まれます。 **注:** PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmb) プラグインをアクティブ化して、機能ベース計画立案 (CBP) および技術ポートフォリオ管理 (TPM) でプロジェクト/プログラムを作成します。PPM ロールの詳細については、「PPM Standard (Project Portfolio Management) とともにインストールされるプラグイン」を参照してください。 • アプリケーションを作成/更新/削除します。 • アプリケーションインジケータースコアを作成/更新/削除します。 • アプリケーションスコアを作成/更新/削除します。 • APM プログラムとターゲットを作成/更新/削除します。 • 目標を作成/更新/削除します。 • プログラムナビゲーション、カテゴリ分析、バブルチャートビュー、アプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	ロールを含む
		比較のために、APM サービスポータルページにアクセスします。 • アプリケーション戦略関連の属性を使用してデマンドを作成します。 • アプリケーション 360 ダッシュボードを表示します。

インストールされている **UI** ポリシー アプリケーションポートフォリオ管理

UI ポリシーは、アプリケーションポートフォリオ管理 のアクティブ化とともに追加されます。

UI ポリシー	テーブル	説明
データソースが PA でない場合 (When data source is not PA)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	データソースがカスタムスクリプトの場合に [カスタムスクリプト] フィールドを表示します。
クエリー条件がデータソースの場合 (When query condition is data source)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	データソースがカスタムスクリプトの場合に、[クエリーテーブル]、[統合]、[集計タイプ]、[集計]、[条件およびグループごと **(Conditions and Group By)]** フィールドを表示します。
アセスメントとサーベイがデータソースの場合 (When Assessments and Surveys are data source)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	データソースがアセスメントの場合に、[測定基準タイプ] および [測定基準カテゴリ] フィールドを表示します。
PA がデータソースの場合 (When PA is data source)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	データソースがカスタムスクリプトの場合に、[ソース **PA** インジケーター] および [頻度とデフォルトブレークダウン **(Frequency and Default breakdown)]** フィールドを表示します。
データソースがカスタムスクリプトの場合 (When data source is custom script)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	データソースがカスタムスクリプトの場合に [カスタムスクリプト] フィールドを表示します。

インストールされているジョブスケジュール アプリケーションポートフォリオ管理

アプリケーションポートフォリオ管理 のアクティブ化によってジョブスケジュールが追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール設定済みジョブ	説明
オンデマンドのビジネスアプリケーション認定 (Business Application Certification On Demand)	認定タスクをスケジュールし、認定スケジュールをオンデマンドで実行します。
四半期ごとのビジネスアプリケーション認定 (Business Application Certification Quarterly)	認定タスクをスケジュールし、認定スケジュールを四半期ごとに定期的に実行します。
どのビジネス機能にも関連していないビジネスアプリケーションの監査 (Business Applications not related to any Business Capability audit)	CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、どのビジネス機能にも関連していないビジネスアプリケーションを確認します。
いずれのソフトウェアモデルにも関連しないビジネスアプリケーション (Business Applications not related to any Software Model)	CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、どのソフトウェアモデルにも関連していないビジネスアプリケーションを確認します。
同じ階層にある複数のビジネス機能に関連するビジネスアプリケーション (Business Applications related to multiple Business Capabilities in the same hierarchy)	CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、同じビジネスアプリケーションが階層の同じレベルにある複数のビジネス機能に関連付けられている可能性を確認します。
アプリケーションインジケーターのロードとアプリケーションスコアの計算 (Load Application Indicators and compute Application Scores)	アプリケーションインジケータースコアを入力し、ビジネスアプリケーションに添付されている採点プロファイルに基づいてアプリケーションスコアを計算します。
TPM リスクパラメーターのロードとアプリケーションサービスリスクの計算 (Load TPM Risk Parameters and compute Application Service Risks)	ソフトウェアモデルリスクとビジネスアプリケーションリスクを計算します。
孤立したビジネス機能 (Orphaned Business Capabilities)	親機能も子機能も持たず、それに関連するビジネスアプリケーションがない機能を確認します。
ライフサイクルデータがないソフトウェア製品 (Software Products with no lifecycle data) (ビジネスアプリケーションで使用される製品モデルの場合)	ビジネスアプリケーションで使用されているソフトウェアモデルレコードを取得し、これらのソフトウェアモデルに関連する製品のライフサイクルデータが存在するかどうかを確認します。
ビジネス機能レベルおよび階層 ID の更新 (Update Business Capability Levels and Hierarchy IDs)	機能マップのビジネス機能の順序と階層を更新します。
本番アプリケーションの TRM 技術的負債を入力	TRM 技術的負債のテーブルにデータを入力します。

インストールされているクライアントスクリプト アプリケーションポートフォリオ管理

クライアントスクリプトは、アプリケーションポートフォリオ管理 のアクティブ化とともに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアントスクリプト	テーブル	説明
APM ビューに関して [目標] を必須としてマーク (Mark Goal mandatory with respect to APM view)	プログラム [pm_program]	APM ビューに関して [目標] を必須としてマークします。
スクリプト化されたインジケーターのコメントをデフォルト化 (Defaulting comments for scripted indicator)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	[データソース] フィールドが [カスタムスクリプト] の場合、[カスタムスクリプト] フィールドにはサンプルのカスタムスクリプトが入力されます。
アプリケーションの CI メーカーの入力 (Populate CI manufacturer for applications)	ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app]	ビジネスアプリケーションのメーカーを入力します。
APM のビューを true に設定 (Set view in APM to true)	プログラム [pm_program]	**[APM** で使用] チェックボックスを true に設定します。
APM 目標の必須属性を設定 (Set mandatory attributes for APM goals)	目標 [goal]	APM 目標の必須属性を設定します。
維持を制限 (Restrict Sustain)	デマンドアクション [apm_idea_action]	戦略のリストから維持を制限します。

インストールされているビジネスルール アプリケーションポートフォリオ管理

ビジネスルールは、アプリケーションポートフォリオ管理 が有効化されると追加されます。

ビジネスルール	テーブル	説明
[簡単な説明] の入力 (Populate Short Description)	目標 [goal]	入力された属性に基づいて、目標の [簡単な説明] を入力します。
PA インジケーター頻度の確認 (PA Indicator frequency check)	インジケーター [apm_metric]	パフォーマンス分析インジケーターの頻度を確認します。
エンタープライズロールアウトを 1 回のみ許可 (Only one Enterprise rollout is allowed)	ビジネスエンティティ [apm_rollout_entity]	ビジネスアプリケーションに対してエンタープライズロールアウトを 1 回のみ許可します。

アプリケーションポートフォリオ管理 **portal**

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) ポータルでは、アプリケーション数やその他の主な測定基準に基づいて、企業全体のアプリケーションの状況を把握できます。エンタープライズアーキテクト (EA) は、このポータルからすべての APM モジュールを表示してアクセスできます。

Application Portfolio Management の概要をさらに理解するには、この 5 分間のビデオをご覧ください。

Application Portfolio Management ポータルページに移動するには、 アプリケーションポートフォリオ管理 > ホーム. 必要なロールは sn_apm.apm_analyst です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

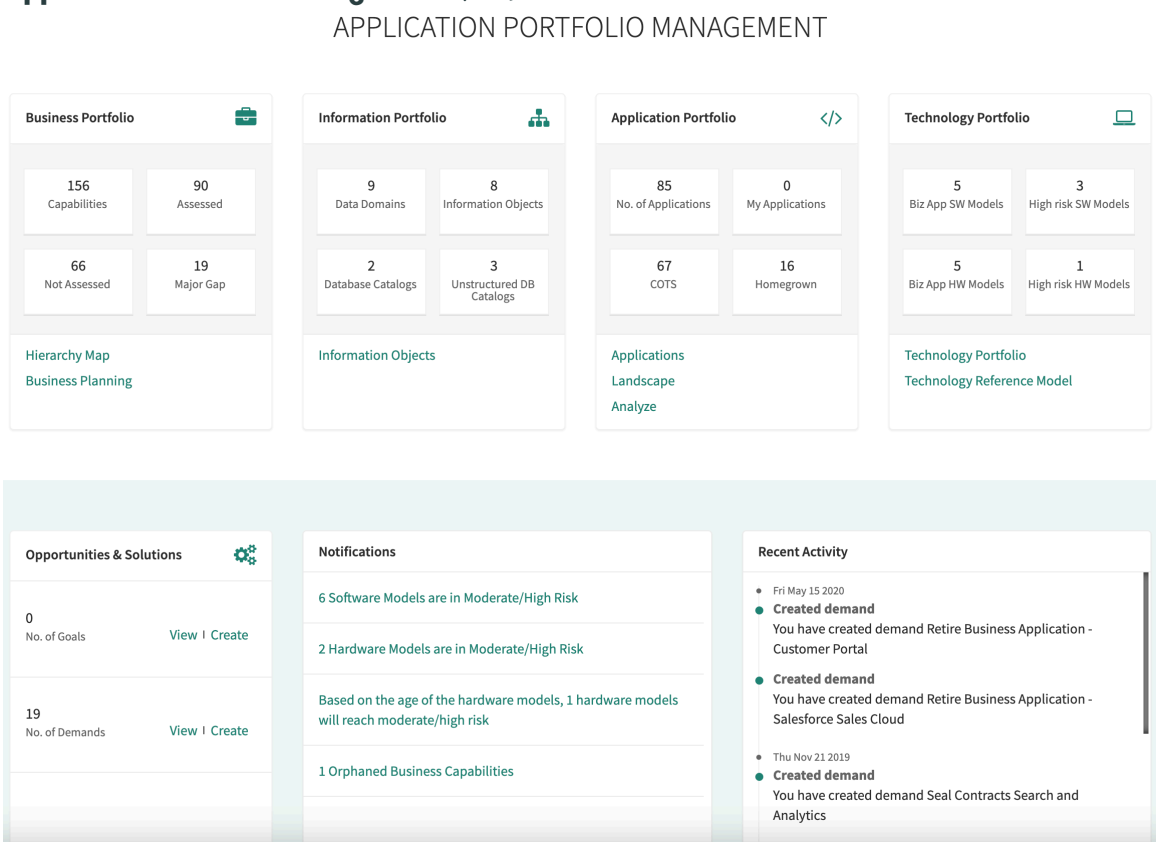
重要:

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでこの機能を使用することをお勧めします。ServiceNow Store から エンタープライズアーキテクチャワークスペース (sn_apm_ws) プラグインを有効にします。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの詳細については、「」を参照してください アプリケーションポートフォリオ管理 用の エンタープライズアーキテクチャワークスペース。の エンタープライズアーキテクチャワークスペースこれらの機能に関する特定のドキュメントについては、「」を参照してください エンタープライズアーキテクチャワークスペース の概要。

Application Portfolio Management ポータルは、4 つのセクションから構成されています。これらのセクションは、ビジネス機能、情報、アプリケーション、テクノロジーのポートフォリオの表示、および目標、デマンド、プログラムの作成を行うためのクイックアクセスを提供します。

Application Portfolio Management ポータルページ



ビジネスポートフォリオ

組織によって定義された評価済みのビジネス機能の数と未評価のビジネス機能の数を表示します。機能をサポートしているものの、重大なリスクにさらされているビジネスアプリケーションの数を表示します。

- 階層マップをクリックすると、新しいタブに機能マップが表示され、ビジネス機能とサブ機能が階層内に表示されます。
- [事業計画立案] をクリックして、事業計画立案ポータルに移動します。

情報ポートフォリオ

組織の資産からの情報を情報オブジェクトとしてキャプチャします。この情報オブジェクトをビジネスアプリケーションに接続することで、アプリケーション情報のポートフォリオを持ち、いつでも使用できる状態にしておくことができます。情報ポートフォ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リオのエンティティは、構成アイテムまたはテーブルの列です。これらは、CMDB CI 関係やテーブルのデータ列の参照によって、相互に関連するように構造的に設計されています。

情報ポートフォリオの各エンティティの下にある数字は、次のデータを表しています。

- データドメイン：データドメイン [sn_apm_data_domain] テーブル内のレコードの合計数。
- 情報オブジェクト：情報オブジェクト [cmdb_ci_information_object] テーブル内のレコードの合計数。
- データベースカタログ：データベースカタログ [cmdb_ci_db_catalog] テーブル内のレコードの合計数。
- 非構造化 DB カタログ：次のような構成アイテムテーブル内のレコードの合計数。
  - 構成ファイル (cmdb_ci_config_file)
  - ファイルシステム (cmdb_ci_file_system)
  - Exchange メールボックス (cmdb_ci_exchange_mailbox)

注:

企業にデータベースカタログがいくつある場合でも、情報オブジェクトにリンクされているデータベースカタログの数のみが、各情報ポートフォリオセクションにカウントとして表示されます。同様に、この情報オブジェクトはビジネスアプリケーションにも関連付けられ、データベースカタログで参照されているデータベースインスタンスの数のみがデータベースインスタンスとして合計されます。

[情報オブジェクト] リンクをクリックして、企業内のビジネスアプリケーションに関連する情報オブジェクトの詳細を表示します。「情報ポートフォリオ」を参照してください。

注:
開かれた [情報オブジェクト] ページに情報オブジェクトを表示するには、それらの情報オブジェクトがビジネスアプリケーションに関連付けられている必要があります。

アプリケーションポートフォリオ

ビジネス機能をサポートするアプリケーションを追跡し、効果的に管理して組織の目標を達成します。ポートフォリオは、カテゴリ、メーカー、タイプなどの情報を含むアプリケーションのリストを提供します。

- [アプリケーション] をクリックして、組織内のビジネスアプリケーションのリストビューに移動します。
- アプリケーションをカテゴリ別またはファミリ別に分析し、アプリケーションの [状況] ビューにて、必要な方法でグループ化します。
- [分析] をクリックして [グループ分析] ページに移動し、アプリケーションとそのスコアを分析します。

技術ポートフォリオ

ビジネスアプリケーションにリンクされているハードウェアモデルとソフトウェアモデルの数を表示します。また、これらの高リスクのモデルの数もカウントできます。[技術ポートフォリオ] リンクをクリックして TPM タイムラインビューに移動し、ハードウェアおよびソフトウェアモデルのライフサイクルのステータスを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テクノロジー参照モデル を使用してソフトウェア製品の標準を定義し、組織内の未承認のソフトウェアを管理します。詳細については、「テクノロジー参照モデル」を参照してください。

機会およびソリューション

番号を表示し、クリックして目標、デマンド、およびプログラムのリストを表示します。リスト内の任意の目標、デマンド、またはプログラムをクリックして、その詳細を更新します。[作成] リンクを使用して、目標、デマンド、またはプログラムを直接作成します。

- 目標を作成して、目標に向けた作業の進捗状況を追跡、調整、レポートします。たとえば、投資の削減や、ターゲット日までのアプリケーション数の削減などの目標を設定できます。
- デマンドを作成して、アプリケーションの戦略的目標をキャプチャします。

  アプリケーションメニューからデマンドを作成するには、 アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > デマンド

- 目標を達成するためのプログラムを作成します。APM は、ターゲットを追加して機会を特定するプロセスを実行します。

  注:
  PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、[プログラム] セクションからプログラムを表示および作成できます。

Notifications

適切なステータス監査およびスクリプト化された監査の結果、高リスクおよび中リスクに直面しているハードウェアモデルおよびソフトウェアモデルの数、現在の日付および今後 90 日間での期限切れ、オープンされていて 100% 完了していない処理待ちの認定インスタンスを表示します。通知をクリックして関連タスクまたは関連データ認定スケジュールインスタンスを開き、レコードの詳細を表示します。

最近のアクティビティ

会計期間に対する目標、デマンド、またはプログラムの作成に関する最新のアクティビティを表示します。

ビジネスアプリケーションの管理

ビジネスアプリケーションは、ビジネスユーザーがビジネス機能を実行するために使用するソフトウェアです。アプリケーションを分類してインベントリを維持し、ビジネスアプリケーションを統合します。さまざまな側面にわたってアプリケーションを分析、査定、および評価し、各アプリケーションに対して実行できるアクションを決定します。

ビジネスアプリケーションの詳細を手動で記録することも、スプレッドシートやサードパーティツールからアプリケーションのリストをインポートすることもできます。データをインポート するには、データソースと変換マップを定義し、インポートを実行またはスケジュールします。

ビジネスアプリケーションのアセスメント

APM で、コスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクの評価と追跡の対象にするビジネスアプリケーションを追加します。

プラットフォームアプリケーションとプラットフォームのモデリング

ビジネスアプリケーションのレコード作成と同様に、ビジネスアプリケーションフォームを使用してレコードを作成し、プラットフォームアプリケーションの詳細をキャプチャします。同じフォームを

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

使用して、プラットフォームで実行されるすべてのビジネスアプリケーションの個々のレコードを作成できます。この構造により、プラットフォームホストに関連付けられたビジネスアプリケーションの階層が得られます。[アーキテクチャタイプ] フィールドの値は、プラットフォームホストとプラットフォームアプリケーションデータの区別に役立ちます。

アーキテクチャタイプ値は、次のビジネスケースで役立ちます。

- プラットフォーム全体のパフォーマンスを評価し、プラットフォーム上で実行されている個々のアプリケーションのパフォーマンスを評価します。
- プラットフォームは、そのプラットフォームで実行されているアプリケーションのオーナーではないビジネスオーナーが所有している可能性があります。このようなシナリオでは、プラットフォームオーナーは、プラットフォームに関連付けられたアプリケーションを評価するアプリケーションオーナーから独立して、プラットフォームのパフォーマンスを評価できます。

たとえば、ServiceNow® プラットフォームのビジネスアプリケーションレコードを作成できます。次に、アプリケーションポートフォリオ管理、ファイナンシャルマネジメント、プロジェクトポートフォリオ管理 などの個々のビジネスアプリケーションレコードを作成し、これらのアプリケーションを ServiceNow® プラットフォームに関連付けます。レコードがホスト上で実行されているビジネスアプリケーションなのか、アプリケーションをホストしているプラットフォームなのかの区別は、プラットフォームアプリケーションとプラットフォームホストの [アーキテクチャタイプ] の値によって決まります。

関連情報

- ビジネスアプリケーションの追加または編集
- アプリケーション情報のためのビジネスアプリケーションと CI の関係
- ビジネスアプリケーションロードマップの表示
- テクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付けるための提案
- アプリケーション状況ダッシュボードでビジネスアプリケーションを監視する

アプリケーション情報のためのビジネスアプリケーションと **CI** の関係

ビジネスアプリケーションは、新しい CMDB CI クラスです。ビジネスアプリケーションと他の CI の間に関係を作成できます。機能的には、2 つのアプリケーションを統合するか相互に接続して、それらの間に関係を確立することができます。ビジネスアプリケーションをデータベースや Web サーバーなどの他のインフラストラクチャ CI に関連付けることができます。

ビジネスアプリケーションに関するレポートを取得するには、アプリケーションと、アプリケーションを構成する CI との間に関連付けが必要です。したがって、CI 関係フォーマッター から CI とその関係を調べるには、ビジネスアプリケーションを他の CI と統合する必要があります。

CMDB 依存関係ビュー

依存関係ビューには、構成アイテム (CI) と、その CI が属していて、CI にサポートされているビジネスアプリケーションまたはビジネスサービスのインフラストラクチャビューが、グラフィカルに表示されます。

APM で、ビジネスアプリケーションフォームの関連アイテムにある [依存関係ビューを表示] アイコン ( ) をクリックして、依存関係ビューを表示できます。

参照と関係の対比に基づく既存の APM 固有の構成アイテムに加えて、ビジネス機能構成アイテムとビジネスアプリケーション構成アイテムの間に関係が確立されます。ビジネス機能テーブル [cmdb_ci_business_capability] の [親] 関連フィールド属性とビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app] の [プラットフォームホスト] 関連フィールド属性の間にも参照が作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連アイテムのマッピングを表示するには、次に移動します: **Dependency Views** > マップの関連アイテム. このテーブルは、参照される関連フィールドによって相互に関連付けられる構成アイテムのリストを提供します。それによって、依存関係ビューが表示されます。

関連情報

ビジネスアプリケーションの追加または編集

ビジネスアプリケーションロードマップの表示

アプリケーション状況ダッシュボードでビジネスアプリケーションを監視する

テクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付けるための提案

手動で検索してマッピングするのではなく、提案エンジンが識別したソフトウェアモデルを使用して、アプリケーションサービスに関連付けます。

組織で使用するビジネスアプリケーションは、アプリケーションサービスを利用して企業のビジネス機能を実現します。

- ビジネスアプリケーションのさまざまなアプリケーションインスタンスは、ビジネス機能を提供するソフトウェアモデルを必要とするハードウェア上で実行されます。
- cmdb 関係は、ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスの間の関連付けを確立します。ただし、その後、アプリケーションオーナーは、アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに手動で関連付ける必要があります。
- 正確に関連付けるには、ビジネスアプリケーションのソフトウェアモデルデータを最新の状態に維持する必要があります。

手動による介入を回避し、最新でないデータを持つソフトウェアモデルへの関連付けを防ぐために、ソフトウェアモデル提案エンジンは、考えられるソフトウェアモデルをアプリケーションサービスに提案します。提案されたソフトウェアモデルを使用し、適切なモデルを選択して、アプリケーションサービスに関連付けることができます。この提案は、ビジネスアプリケーションのソフトウェアモデルデータの構成と維持に役立ちます。

ソフトウェアモデル提案エンジンの作業モデル

ソフトウェアモデル提案エンジン：

- アプリケーションサービスによって利用されたハードウェア構成アイテムをスキャンします。CMDB API はアプリケーションサービスのすべてのハードウェア CI を取得し、Service Mapping API はアプリケーションサービスのハードウェア CI を取得します。
- スケジュール済みジョブの前回の実行以降にハードウェアにインストールされた新しいソフトウェアモデルを取得します。
- 取得済みのソフトウェアモデル [sn_apm_service_software_model_suggestion] テーブルに、検出されたソフトウェアモデルを入力します。
- テクノロジーモデル取得ログ [sn_apm_suggestion_engine_run_log] 関連テーブルで、現在のソフトウェアモデル提案のステータスと、前回の実行時に抽出された提案結果を評価および比較します。

  テクノロジーモデル取得ログ [sn_apm_suggestion_engine_run_log] テーブルには、アプリケーションサービスが実行されているハードウェアモデルの数も保存されます。

- ステータスを [新規 **(New)**]、[関連付け済み **(Associated)**]、[無視 **(Ignored)**]、または [削除済み] として更新します。

関連情報

提案されたテクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付ける

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション状況ダッシュボードでビジネスアプリケーションを監視する

アプリケーション状況ダッシュボードを表示して、企業で使用されているすべてのアプリケーションの概要を把握します。ダッシュボードには、カテゴリ別にグループ化されたアプリケーションに関するレポートが事前に設定されています。レポートを構成して追加することもできます。

始める前に
アプリケーション状況ダッシュボードを使用するには、Performance Analytics – コンテンツパック – Application Portfolio Management (com.snc.pa.apm) プラグインをアクティブ化する必要があります。
必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

重要:

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでこの機能を使用することをお勧めします。ServiceNow Store から エンタープライズアーキテクチャワークスペース (sn_apm_ws) プラグインを有効にします。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの詳細については、「」を参照してください アプリケーションポートフォリオ管理 用の エンタープライズアーキテクチャワークスペース。の機能に関する具体的な エンタープライズアーキテクチャワークスペースドキュメントについては、「」を参照してください ダッシュボードの エンタープライズアーキテクチャワークスペース 操作。

ダッシュボードでは、次のレポートを表示できます。

- アクティブに使用されている上位 10 件のアプリケーション。アプリケーションカテゴリとアプリケーションファミリ別にグループ化されています。
- インストールタイプ、プラットフォーム、アプリケーションカテゴリ、メーカー、テクノロジースタックなどに基づいてグループ化されたアプリケーション。
- カテゴリ別のアプリケーション数の詳細とメーカーの詳細。
- アプリケーションカテゴリ別のアプリケーション数とアプリケーションの経過時間。

手順

移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > 状況分析.

データを変更し、[ポートフォリオ]、[アプリケーションカテゴリ]、[インストールタイプ]、[アプリケーションタイプ]、[ビジネスプロセス]、および [事業部門] に基づいてチャートを生成するには、ダッシュボードフィルターから適切なものを選択します。

注:

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをアクティブ化して、ポートフォリオフィルターを適用します。

チャートを JPG または PNG 形式で保存するには、チャートをポイントし、表示されるメニューから適切なオプションを選択します。

関連情報

- ビジネスアプリケーションの追加または編集
- ビジネスアプリケーションロードマップの表示
- アプリケーション情報のためのビジネスアプリケーションと CI の関係
- テクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付けるための提案

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネス機能の管理

ビジネス機能とは、ビジネスアクティビティを正常に実行し、ビジネス目標を達成するための組織の能力です。ビジネス機能マッピングを使用して、ビジネス機能とビジネスアプリケーションの間の CI 関係を確立します。ビジネス機能とアプリケーションテクノロジーの間に類似の関係を確立し、それらの使用に伴うリスクを確認します。

ビジネス組織が成長するにつれ、エンタープライズアーキテクトが、ビジネスプロセスを強化する方法を把握するために、ビジネス機能を常に評価することが不可欠になります。ビジネス機能は、ビジネスプロセスのサポートに必要とされる機能です。これらは、インジケーターによって評価され、インジケータースコアが提供されます。

インジケーターフレームワークは、ビジネスアプリケーションのサポートに加えて、ビジネス機能のアセスメントをサポートするように拡張されています。スコアが生成される CI タイプとしてビジネス機能をキャプチャします。

アプリケーションメニューの次の機能アセスメントセットを使用して、アセスメントを構成します。ビジネスアプリケーションのスコアにアクセスして評価するのと同様の方法で、ビジネス機能のスコアにアクセスします。

- 会計期間の CI スコアの作成と評価: アプリケーションポートフォリオ管理 > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティスコア.
- インジケータースコアを作成および更新します。 アプリケーションポートフォリオ管理 > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティインジケータースコア.
- 採点プロファイルを作成し、それをビジネス機能 CI に関連付けます。 アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > 採点プロファイル.
- インジケーターを作成し、データソースを設定します。 アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > ケイパビリティインジケーター.

  データソースが [アセスメント] タイプの場合は、[アセスメントを生成] ボタンをクリックして、インジケーターフォームでビジネス機能のサーベイアセスメントを生成できます。ビジネス機能テーブルにフィルター条件を適用し、[アセスメントを生成] UI でユーザーを選択します。[アセスメントインスタンス] タブでアセスメントインスタンスのステータスを、[測定基準カテゴリの結果] タブで結果を表示できます。参照：「サーベイアセスメントを生成し、APM 内で結果を表示する」。

- ビジネスプロセス機能マップへのアクセス: アプリケーションポートフォリオ管理 > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティマップ.

関連情報

ビジネス機能を評価する

ビジネス機能を評価する

ビジネス機能計画の概要

機能によるアプリケーションの合理化

ビジネス機能計画の概要

機能ベース計画立案は、企業のビジネス機能を改善する効果的なアクション計画の立案、設計、および展開を目的としています。機能ベース計画立案を効果的に実装するには、ビジネスオーナー、アプリケーションポートフォリオオーナー、機能プランナーなどのビジネスペルソナが、既存の機能を理解し、技術的なギャップを埋めるための計画を立てることが重要です。

機能ベース計画立案は、戦略的計画を投資にマッピングする方法をよりよく理解するためのメカニズムです。機能が明確に定義されていれば、組織がすべきことが機能によって定義されるので、組織構造はこれらの機能に沿ったものになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネス機能は、関連するアプリケーションおよびサービスによってビジネス機能がどのようにサポートされているかの理解に役立つ構成アイテム (CI) です。

機能ベース計画立案は、階層構造になっていて、最大で 6 レベルの機能をサポートします。つまり、親機能は、そのレベルの下に 6 レベルのサブ機能を持つことができます。ただし、階層の各レベルの機能は、それ自体のレベルの兄弟と同じ数の機能を持つことができ、それぞれレベル間で 1 対多の関係を持つことができます。

機能ベース計画立案を管理するペルソナ

機能ベース計画立案を使用するための適切なロールを持つペルソナは次のとおりです。

事業主

事業主は、既存の機能を認識して、戦略を立て、投資が必要な領域を特定して、プロジェクトのより適切な経費割り当てを計画することが重要です。

アプリケーションポートフォリオオーナー

アプリケーションポートフォリオオーナーは、ビジネスアプリケーションが効果的に機能するように、ビジネスアプリケーションに影響を与える機能を特定し、それらに対処する必要があります。

機能プランナー

機能プランナーは、ベストプラクティスと呼ばれる、最も効果的で最良の結果をもたらす業界標準の手順を踏まえて、機能を確立する必要があります。

次に行うこと

アプリケーションへの投資を計画するには、機能マップを使用します。

機能によるアプリケーションの合理化

[分析] 画面では、ビジネス機能を評価できます。特定のビジネス機能ですべてのビジネスアプリケーションを合理化できます。バブルチャートで複数のインジケーターの組み合わせを構成することで、アプリケーションについて投資するか、維持するか、または置き換えるかを決定します。バブルチャートは、機能インジケータースコアをプロットするインタラクティブなグラフで、戦略の特定に役立ちます。

各ビジネス機能については、バブルチャートのインジケータースコアに基づいて、目標を達成するためのデマンドを作成できます。デマンドとは、デマンドマネージャーとデマンドユーザーが作成する要求です。ユーザーがデマンドを送信し、デマンドマネージャーがデマンドを承認します。

重要:

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでこの機能を使用することをお勧めします。ServiceNow Store から エンタープライズアーキテクチャワークスペース (sn_apm_ws) プラグインを有効にします。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの詳細については、「」を参照してください アプリケーションポートフォリオ管理 用の エンタープライズアーキテクチャワークスペース。の機能に関する具体的な エンタープライズアーキテクチャワークスペースドキュメントについては、「」を参照してください ビジネスアプリケーションの合理化。

機能別にアプリケーションを分析

機能別にアプリケーションの詳細を統合します。グループ分析ページで、アプリケーションインジケーターのスコアと値でフィルターして、ターゲットアプリケーションを絞り込みます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
バブルチャートを使用して、アプリケーションのインジケータースコアを X 軸と Y 軸にプロットします。これらのスコアを使用して、目標を戦略化し、アプリケーションに投資するデマンド、もしくはアプリケーションを置換または維持するデマンドを作成できます。

重要:

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでこの機能を使用することをお勧めします。ServiceNow Store から エンタープライズアーキテクチャワークスペース (sn_apm_ws) プラグインを有効にします。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの詳細については、「」を参照してください アプリケーションポートフォリオ管理 用の エンタープライズアーキテクチャワークスペース。の機能に関する具体的な エンタープライズアーキテクチャワークスペースドキュメントについては、「」を参照してください ビジネスアプリケーションの合理化。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > 分析.
   グループ分析ページが表示されます。
2. カテゴリリストから、[ビジネス機能] を選択します。
   機能のリストが表示されます。
3. [アセスメント期間] セクションで、[アセスメント期間] を選択します。
4. [アプリをフィルタリング] セクションで、アプリケーションインジケータースコアを設定して機能のリストを分類します。
5. クリックして機能を開きます。

   機能のバブルチャートが開きます。バブルチャートは、フィルターされた値の範囲内にあるアプリケーションインジケータースコアの測定基準を表示するのに役立ちます。

   [アプリケーション分析] セクションを使用して、選択したインジケーターのアプリケーションを比較します。
6. オプション: バブルチャートの構成を変更します。

   a. 構成アイコン ( ) をクリックします。

   b. フォームのフィールドに入力します。

グラフのディメンションを選択フォーム

フィールド	様相
X および Y	X 軸と Y 軸に該当するインジケーターのディメンション。 (Optional) 事前に構成されたディメンションに加えて、アプリケーションバブルチャートフォームを使用して作成したバブルチャートも表示できます。
バブルのサイズ	インジケータースコアによって、バブルのサイズが決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	様相
バブルラベルを表示	(Optional) バブルチャートにバブルラベルを表示するオプション。 このオプションは、1 つの象限に多数のバブルがある場合に、ラベルで整理された明確なバブルを表示するのに役立ちます。

次のタスク
チャート内のバブルをポイントし、アプリケーションをクリックします。チャート内のバブルを右クリックして [デマンドを作成] を選択し、アプリケーションのデマンドを作成します。

グループ分析ページに表示するカテゴリの構成

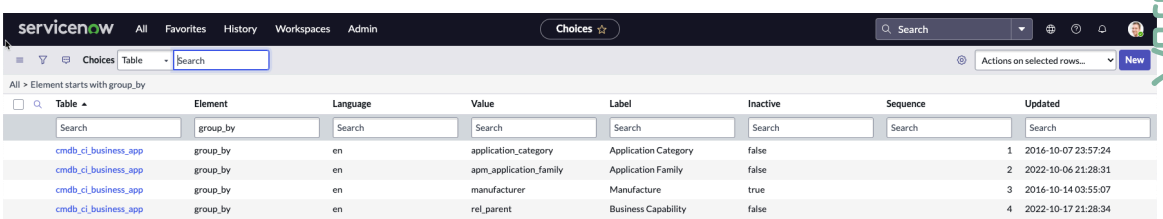
グループ分析ページのカテゴリリストに表示するカテゴリを構成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
選択肢テーブル (sys_choice) を使用して、グループ分析ページで表示または非表示にするカテゴリを選択または選択解除します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > 選択肢リスト.
2. [要素] 列で、group_by 要素タイプを検索します。
   既存の group_by 選択肢が表示されます。



3. リストから、グループ分析ページの [カテゴリ] リストで表示または非表示にする選択肢アイテムを選択します。
4. 編集するレコードを開きます。
5. [非アクティブ] チェックボックスをオンまたはオフにして、アイテムを非表示または表示します。
6. [更新] をクリックします。

テクノロジーポートフォリオ管理

企業で使用されるビジネスアプリケーションの基礎となるテクノロジーには有効期間があります。その有効期間を積極的に管理し、そのバージョンとライフサイクルを追跡するために注意深く監視する必要があります。技術ポートフォリオ管理のタイムラインビューを使用して日付を追跡し、それらをアップグレードまたは廃止するデマンドまたはプロジェクトを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでこの機能を使用することをお勧めします。ServiceNow Store から エンタープライズアーキテクチャワークスペース (sn_apm_ws) プラグインを有効にします。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの詳細については、「」を参照してください アプリケーションポートフォリオ管理 用の エンタープライズアーキテクチャワークスペース。の機能に関する具体的な エンタープライズアーキテクチャワークスペースドキュメントについては、「」を参照してください ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの TPM データの更新。

ビジネスアプリケーションの技術は、ソフトウェアモデルとも呼ばれます。ソフトウェア モデルは、特定のバージョンやソフトウェアの構成のことです。

ビジネスアプリケーションで使用されるソフトウェアモデルには、オペレーティングシステム、データベース管理システム、開発ツール、およびミドルウェアがあり、それぞれにライフサイクルがあります。これらのライフサイクルステージを追跡しないと、ベンダーがそれらのステージをサポートしなくなり、これらのテクノロジーに基づいて実行されるビジネスアプリケーションが危険にさらされるリスクがあります。

企業で使用されているすべての技術のインベントリを作成することで、次が可能になります。

- ソフトウェアのバージョンとソフトウェアのメーカーサポート日を追跡します。
- ソフトウェアの内部ライフサイクルガイダンスを設定します。
- 古いソフトウェアの使用におけるリスクを評価します。
- サポートしているアプリケーションと同様に、確定された日付で廃止を計画します。
- アップグレードプロセスをサポートします。

ソフトウェア製品の内部および外部のライフサイクルステージ

組織で使用されているビジネスアプリケーションはすべて、1 つ以上のアプリケーションサービスにリンクされています。各アプリケーションサービスは、1 つ以上のテクノロジーモデルまたはソフトウェアモデルで実行されます。

注:
アプリケーションポートフォリオ管理 のコンテキストでは、アプリケーションインスタンスはアプリケーションサービスです。

ソフトウェア製品 (各モデルおよび完全バージョン) には、インストールから廃止までの一連のライフサイクルステージ/フェーズがあります。内部的には、ビジネス組織はソフトウェア製品のライフサイクルフェーズに基づいて日付を設定します。これらのフェーズには、早期導入、メインストリーム、使用の減少、および廃止があります。

また、ベンダーは、プレリリース、一般提供、提供終了、使用停止などのベンダーライフサイクルフェーズに基づいて、ソフトウェアの日付を設定します。ベンダーからのサポートは、技術のフェーズによって異なる場合があります。ソフトウェアモデルが廃止のステージに達すると、ベンダーは技術のサポートを停止する場合があります。

注:
ソフトウェア製品ライフサイクル フォームの [ライフサイクルタイプ] フィールドの [公開者] 選択タイプは、APM で使用されている外部ライフサイクルと同じです。

Software Asset Management ユーザーまたはソフトウェアモデルマネージャーは、各完全バージョンのソフトウェアモデルにソフトウェア製品ライフサイクルの詳細を追加できます。タイムライン上のデータを含む TPM 画面を使用するには、ソフトウェアライフサイクルデータがソフトウェア

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

製品ライフサイクルテーブルに入力されていることを確認します。同様に、テクノロジーモデル提案エンジンの実行後に、ハードウェアライフサイクルデータがハードウェアモデルテーブルに入力されていることを確認します。

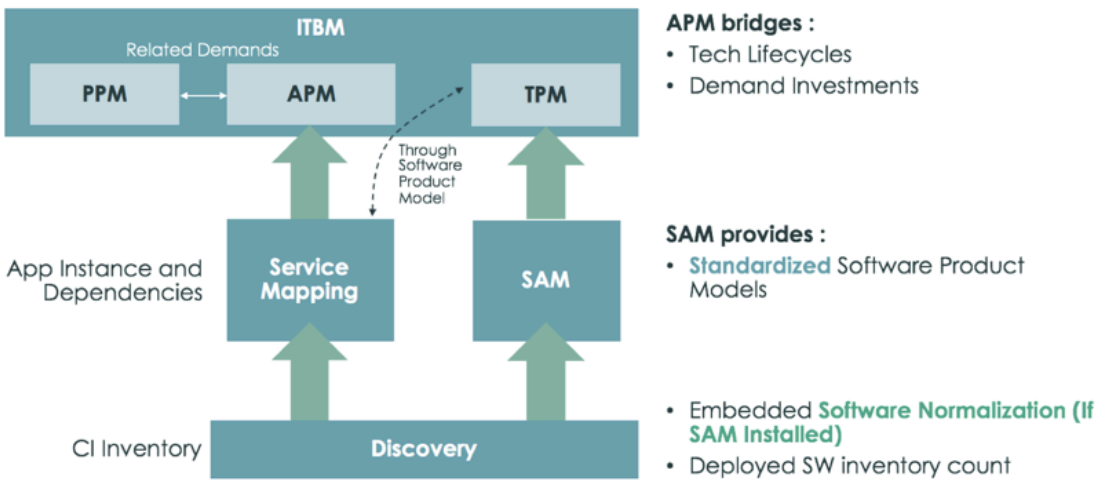
技術ポートフォリオ管理を使用するための **Service Mapping** との統合

マップ済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered] テーブルにアプリケーションインスタンスを作成し、ビジネスアプリケーションを対応するアプリケーションサービスに関連付けます。

APM では、[インスタンス] タブを介しての Service Mapping との統合がなくなりました。アプリケーションの [インスタンス] タブが削除されて、apm_app_instance テーブルは廃止され、これはマッピング済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered] テーブルで置き換えられました。アプリケーションインスタンステーブルに存在するすべてのデータは、アプリケーションサービステーブルに移行する必要があります。Madrid リリースにアップグレードする場合は、データの移行に関して、ServiceNow 担当者にお問い合わせください。

注:
アプリケーションインスタンスにマップ済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered] テーブルを使用している場合は、からの Kingstonアップグレードに進むことができます。ただし、廃止されたapm_app_instanceテーブルを使用してアプリケーションインスタンスを保存している場合は、apm_app_instanceテーブルのデータをマップ済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered] テーブルに移行してください。

ソフトウェア製品ライフサイクルをビジネスアプリケーションに接続する



TPM はソフトウェア製品の技術情報を取得するために **(SAM)** に依存していますソフトウェア資産管理

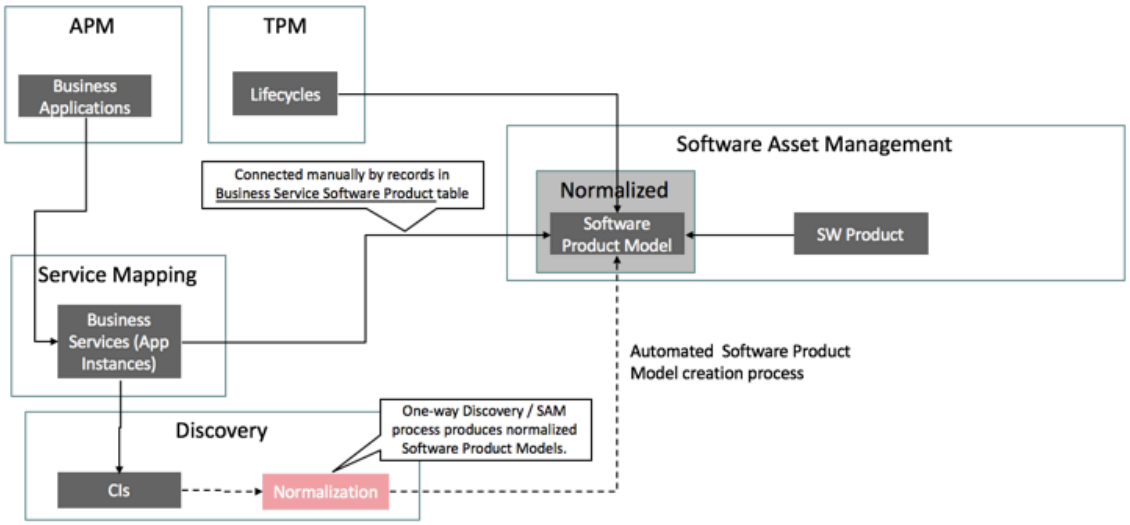
警告:
TPM と TRM には、SAM Foundation または SAM Professional のインストールが必要です。SAM Foundation プラグインをインストールする前に、ドキュメントを Software Asset Management Foundation plugin migration よく読んでください。インスタンスに SAM Foundation または SAM Professional がインストールされていない場合は、サポートにお問い合わせください ServiceNow 。

Software Asset Management (SAM) がインストールされていない場合でも、技術ポートフォリオ管理を使用できます。事前に構成されたソフトウェア製品モデルテーブルは、すべての TPM ユーザーが利用できます。組織で使用するすべてのソフトウェアモデルのリストは、手動で作成することも、既存のデータベースやソースからインポートすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア製品ライフサイクルをビジネスアプリケーションに接続する

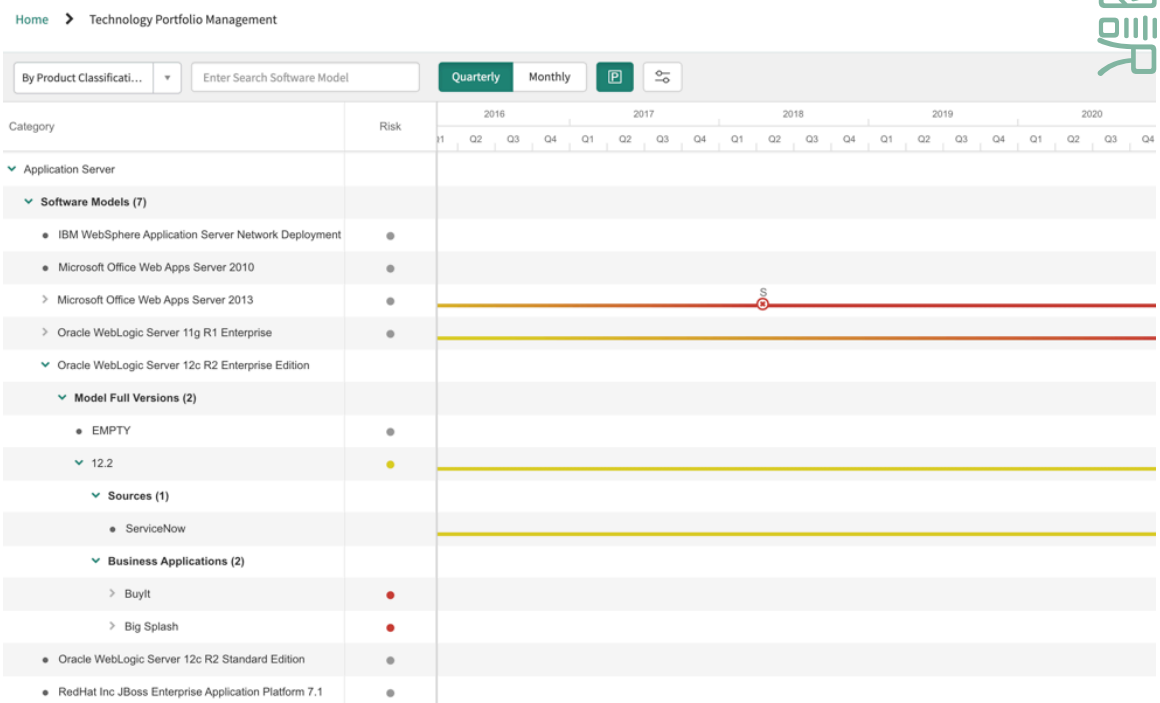


TPM の使用は SAM プラグインに依存します。依存関係は次のとおりです。

SAM プレミアムプラグインあり

製品分類 [samp_sw_product] テーブルにアクセスするには、Software Asset Management Premium プラグインが必要です。samp_sw_product_classification への参照は samp_sw_product テーブルにあります。このコンテンツテーブルは、技術情報を取得するためにソフトウェア製品モデル [cmdb_software_product_model] テーブルで参照されます。SAM プレミアムプラグインに登録すると、TPM タイムラインでビジネスアプリケーション別および製品分類別にアプリケーションを表示できます。

製品分類別ビューを示す **TPM** タイムライン



SAM プラグインなし

このプラグインなしでは、製品分類は利用できません。製品分類別に表示は、TPM タイムラインビューでは利用できません。ソフトウェアモデル情報は、ソフトウェア製品

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル [cmdb_software_product_model] テーブルから取得されます。このテーブルに手動で入力するか、Excel シートからコンテンツをエクスポートします。

関連情報

- 技術リスクをタイムラインで表示する
- CI 関係エディターを使用したビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスの関連付け
- アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付ける
- アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付ける
- リスクパラメーターを作成
- 技術リスクの計算
- スケジュール済みジョブを実行してリスク値を生成する

技術リスクの計算

ソフトウェア製品 (モデルと完全バージョンを考慮) レベルでリスクを計算し、次にビジネスアプリケーションレベルでリスクを計算することで、ビジネスアプリケーションの技術リスクを評価します。

ハードウェアモデルレベルとソフトウェア製品 (モデルと完全バージョンを考慮) レベルで技術リスクを計算し、ビジネスアプリケーションレベルのリスクを判別します。

ライフサイクルステージ - 内部および外部

非常に高、遅延、中、低、なしなどの各レベルのリスク値に設定された範囲は、組織ごとに異なります。組織の要件に基づいて、各ライフサイクルフェーズのリスク値を設定できます。ソフトウェア製品ライフサイクルフォームを使用して、各ソフトウェアモデルのライフサイクルフェーズをリスクに関連付けます。選択したリスクに基づいて、パラメーターリスクが決定されます。

ライフサイクルテーブルのリスク値は、非常に高、高、中、低、およびなしです。したがって、リスクも非常に高、高、中、低、またはなしです。

ライフサイクルステージパラメーターでは、ライフサイクルフェーズに関係なく、リスク値のみが考慮されます。

経過時間 - 内部および外部

同様に、経過時間の内部および外部のリスク値は次のとおりです。

- 0 ～ 90 日は高リスクです。
- 90 ～ 180 日は中リスクです。
- 180 日を超えると低リスクです。

内部および公開者のライフサイクルステージと内部および公開者の経過時間のステージに基づいて、ハードウェアモデルおよびソフトウェアモデルのリスクは次のように計算されます。

- 単一の高リスクがある場合、ソフトウェアモデルのリスクは [高] です。
- 単一の中リスクがある場合、ソフトウェアモデルのリスクは [中] です。
- ソフトウェアモデルのリスクが [低] になるのは、基礎となるすべてのコンポーネントのリスクが [低] である場合のみです。
- 単一の高リスクがある場合、ハードウェアモデルのリスクは [高] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

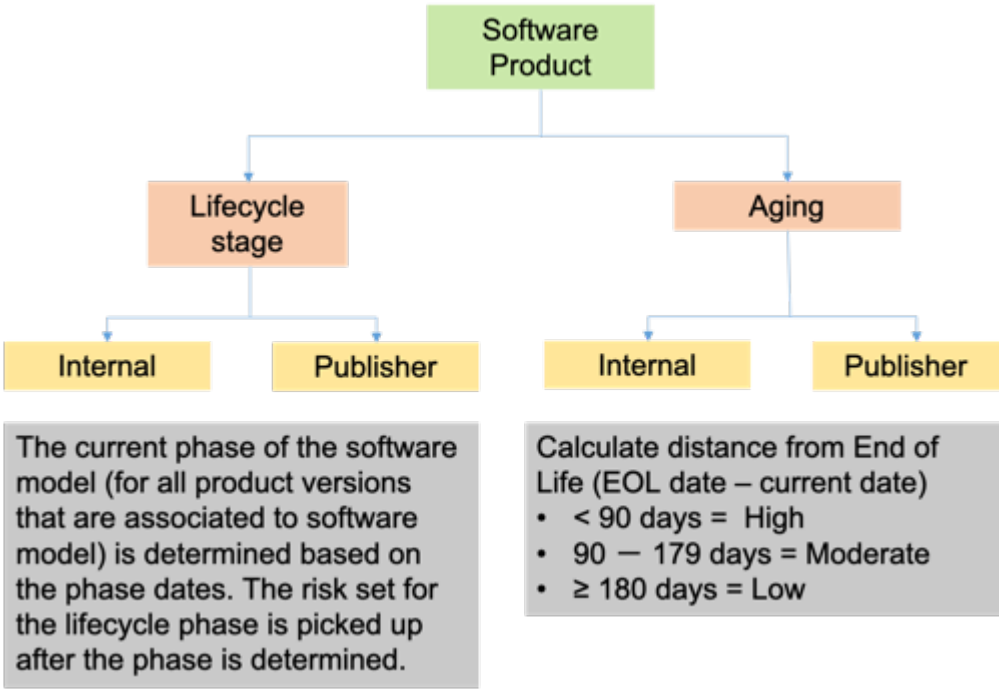
- 単一の中リスクがある場合、ハードウェアモデルのリスクは [中] です。
- ハードウェアモデルのリスクが [低] になるのは、基礎となるすべてのコンポーネントのリスクが [低] である場合のみです。

注:
エンジンは、最初にハードウェアモデルとソフトウェアのモデルでリスクを計算し、次に基礎となるすべてのハードウェアモデルとソフトウェアモデルのリスクに基づいて、アプリケーションサービスレベルでリスクを計算します。最後に、本番インスタンス (つまり本番アプリケーションサービス) のリスクに基づいて、ビジネスアプリケーションレベルでリスクを計算します。

経過時間パラメーターのリスク計算はスクリプト化されているので、必要に応じて編集できます。

ソフトウェア製品リスクを判別するパラメーター

ソフトウェアモデルレベルでリスクを判別するパラメーター



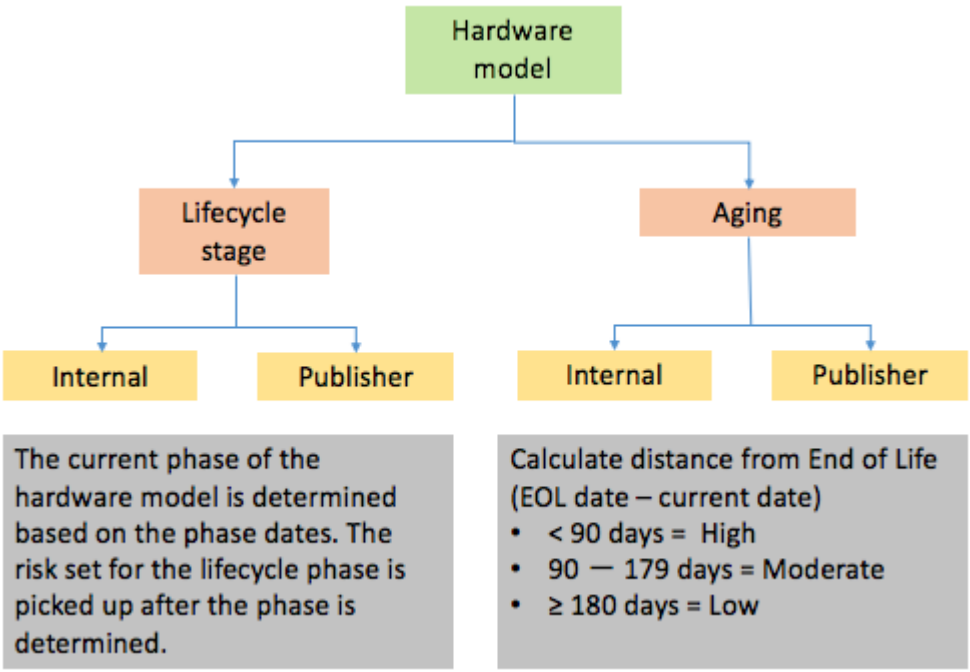
ソフトウェアモデルのリスクは、内部ライフサイクルステージ、外部ライフサイクルステージ、内部経過時間、および外部経過時間の 4 つのパラメーターに基づいて計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェアモデルのリスクを判別するパラメーター

ハードウェアモデルレベルでリスクを判別するパラメーター

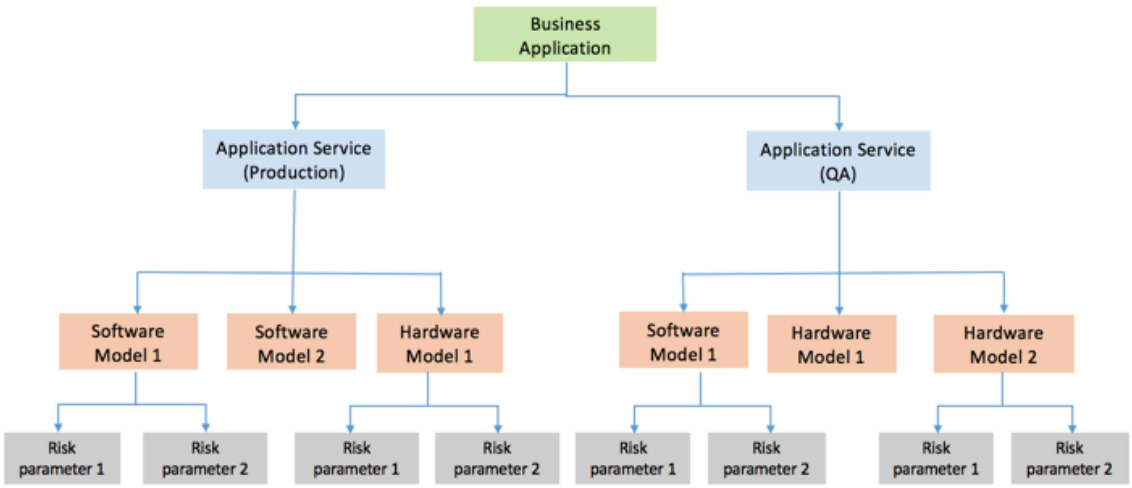


ハードウェアモデルのリスクは、4 つのパラメーターに基づいて計算されます。パラメーターは、内部ステージリスク、公開者ステージリスク、内部経過時間リスク、および公開者経過時間リスクです。

ビジネスアプリケーションレベルでの技術リスクの計算

ビジネスアプリケーションは、多くのソフトウェアモデルで実行できます。基礎となるソフトウェアモデルに起因するビジネスアプリケーションのリスクは、個々のソフトウェアモデルのリスクから派生します。

ビジネスアプリケーションレベルでのリスクの計算



ハードウェアモデルレベルでのリスク

4 つのハードウェアリスクパラメーターに基づいて、テクノロジーモデル提案エンジンがハードウェアモデルのリスクを計算し、最高のリスク値がハードウェアモデルにアサインされます。ハードウェアのリスクが高い場合、そのハードウェア上で実行されるアプリケーションサービスのリスクは高いと評価されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンジンは、ハードウェアモデルのリスクデータをハードウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_hardware_model_risk] テーブルに保存します。

ソフトウェアモデルレベルでのリスク

4 つのソフトウェアリスクパラメーターに基づいて、テクノロジーモデル提案エンジンがソフトウェアモデルのリスクを計算します。ソフトウェアのリスクが高い場合、そのソフトウェア上で実行されるアプリケーションサービスのリスクは高いと評価されます。エンジンは、ソフトウェアモデルのリスクデータをソフトウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_software_model_risk] テーブルに保存します。このデータはソフトウェアモデルのタイムラインに表示されます。

アプリケーションサービスレベルでのリスク

アプリケーションサービスが実行されているハードウェアモデルまたはソフトウェアモデルのいずれかが高リスクであると評価された場合、アプリケーションサービスは高リスクであると判断されます。

ビジネスアプリケーションレベルのリスク

アプリケーションサービスが高リスクの場合、アプリケーションサービスで実行されるビジネスアプリケーションも高リスクです。

- ソフトウェアモデルのいずれかが高リスクである場合、ビジネスアプリケーションは高リスクです。
- ソフトウェアモデルのいずれかが中リスクである場合、ビジネスアプリケーションは中リスクです。
- ビジネスアプリケーションのリスクが [低] であるのは、基礎となるすべてのソフトウェアモデルのリスクが [低] である場合のみです。
- ハードウェアモデルのいずれかが高リスクである場合、ビジネスアプリケーションは高リスクです。
- ハードウェアモデルのいずれかが中リスクである場合、ビジネスアプリケーションは中リスクです。
- ビジネスアプリケーションのリスクが [低] であるのは、基礎となるすべてのハードウェアモデルのリスクが [低] である場合のみです。

実行されるスクリプトをカスタマイズして、製品モデルリスクレベル (ハードウェアモデルとソフトウェアモデル)、アプリケーションサービスリスクレベル、およびビジネスアプリケーションリスクレベルでリスクを計算できます。詳細については、「リスク上昇ロジックを構成する」を参照してください。

関連情報

リスク計算をカスタマイズするスクリプトを構成する

スケジュール済みジョブを実行してリスク値を生成する

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) クラウドアセスメント

アプリケーションポートフォリオ管理 のクラウドアセスメント採点プロファイルは、クラウド移行の準備状況についてビジネスアプリケーションを評価するのに役立ちます。

アプリケーションポートフォリオ管理 でクラウドアセスメントオプションを取得するには、ServiceNow Store から アプリケーションポートフォリオ管理 クラウドアセスメントアプリケーションをインストールする必要があります。アプリケーションのダウンロード手順については、「Install Cloud Migration Readiness Application (Cloud Migration Readiness Application のインストール)」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) クラウドアセスメントのインジケーター

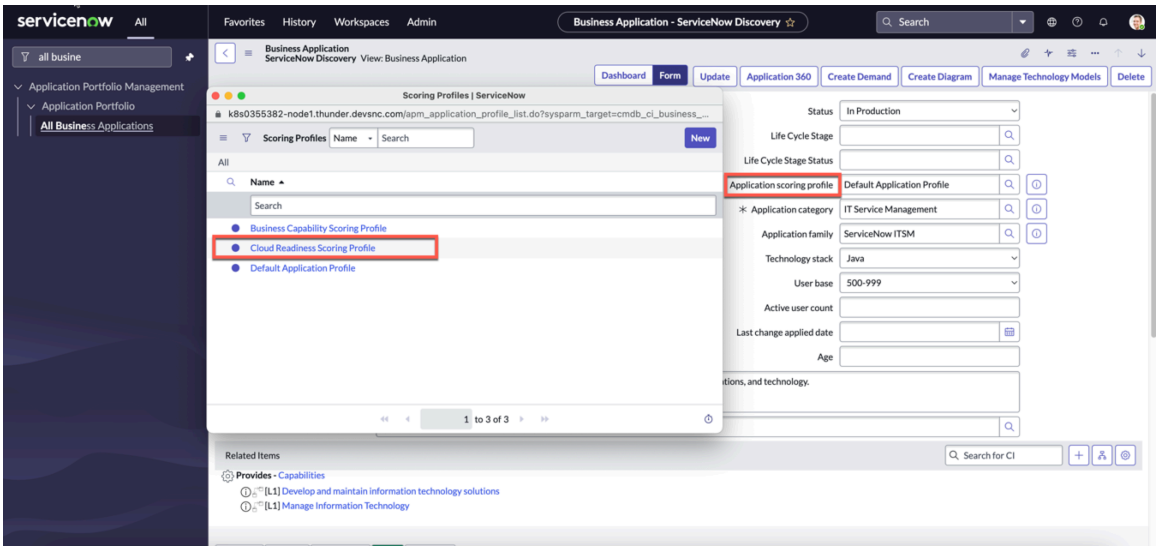
インジケーターは、APM クラウドアセスメント採点プロファイルに関連付けられています。これらのインジケーターは、クラウド移行の準備状況についてビジネスアプリケーションを評価するのに役立ちます。

すべてのインジケーターをチェックアウトするには、「APM クラウドアセスメントスコアリングプロファイル」を参照してください。

APM クラウドアセスメント採点プロファイルをビジネスアプリケーションに適用する

ビジネスアプリケーションのクラウドアセスメント採点プロファイルを適用して、クラウド移行の適格性を評価できます。ビジネスアプリケーションフォームでは、[アプリケーションスコアリング] プロファイルフィールドの APM クラウドアセスメント採点プロファイルを選択できます。他のフィールドに入力する情報については、「ビジネスアプリケーションの追加または編集」を参照してください。

APM クラウドアセスメント採点プロファイルをビジネスアプリケーションに適用する



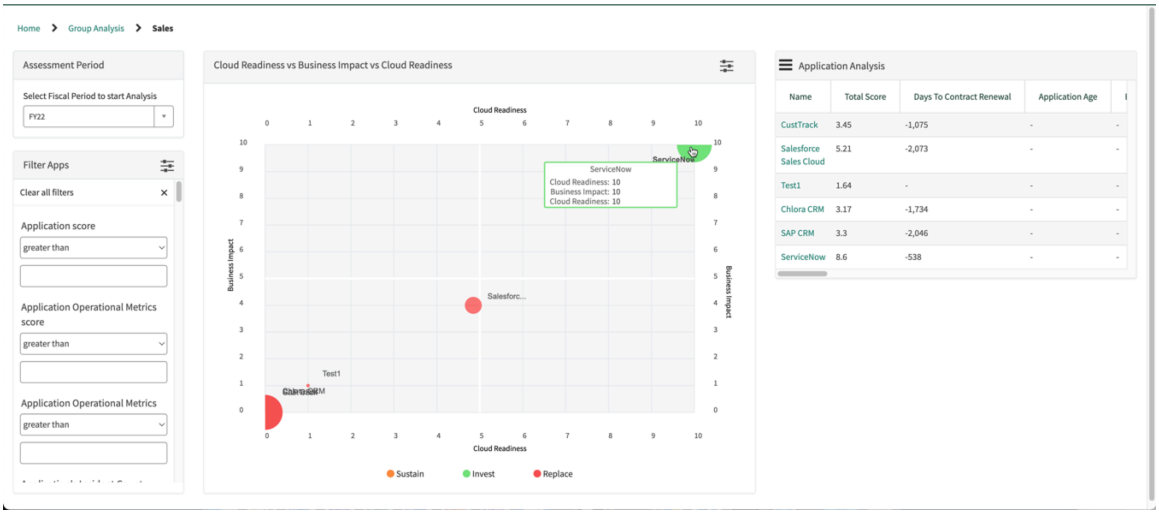
ビジネスアプリケーションの APM クラウドアセスメントスコアリングを分析する

バブルチャートのインタラクティブグラフを使用してアプリケーションインジケータースコアをプロットすることで、ビジネスアプリケーションのクラウド移行の戦略を分析および特定できます。グループ分析ページで、バブルチャートを使用して、アプリケーションのインジケータースコアを X 軸と Y 軸にプロットします。これらのスコアを使用して、目標を戦略化し、アプリケーションに投資するデマンド、もしくはアプリケーションを置換または維持するデマンドを作成できます。ビジネスアプリケーションのインジケータースコアの分析の詳細については、「アプリケーションスコアをバブルチャートで分析する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションの **APM** クラウドアセスメントスコアリングを分析する



関連情報

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) クラウドアセスメントアプリケーションをインストール

アーキテクチャアーティファクト

アーキテクチャアーティファクトは、企業のシステム、ソリューション、進捗状況を説明するために作成されるものです。(APM) の アプリケーションポートフォリオ管理 アーキテクチャアーティファクトの目的は、エンタープライズアーキテクトが組織内でアーティファクトを作成および管理できるようにすることです。

図やレポートなどの視覚化におけるエンタープライズアーキテクチャ要素を数多く維持管理する上で、外部ソースに依存する場合もあることでしょう。しかし、これらのアーティファクトをビジネスアプリケーションやビジネス機能などの ServiceNow オブジェクトに関連付けるのは容易ではありません。

注:
アーキテクチャアーティファクトを表示または作成するには、sn_apm.apm_user ロールが必要です。

注:

エンタープライズアーキテクトとしてアーキテクチャアーティファクトモジュールを使用すると、次のタスクを実行できます。

- アーキテクチャアーティファクトをレビューして承認する。
- アーティファクトのバージョンを追跡する。
- アーキテクチャアーティファクトを組織のニーズに合わせて構成されたカテゴリに関連付ける。
- アーキテクチャアーティファクトを組織のビジネス機能やビジネスアプリケーションに関連付ける。

アーキテクチャアーティファクト機能では、ServiceNow® ドキュメント管理 (Document Management) プラグイン (com.snc.platform_document_management) の機能を拡張して、ServiceNow® オブジェクト (ビジネスアプリケーションおよびビジネス機能) との関係を作成することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- アーキテクチャアーティファクトの作成または編集
- アーティファクトとビジネスエンティティとの関連付け
- アーティファクトのカテゴリの管理
- アーティファクトバージョンの作成
- アーティファクトバージョン要求の承認または却下
- アーキテクチャレビュー要求の承認
- Lucidchart との アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) 統合

アーティファクトのカテゴリの管理

カテゴリは、アーティファクトを関連するセクションにグループ化する場合に特に便利です。必要に応じてカテゴリを作成したり編集したりできますが、一度にアーキテクチャアーティファクトにアサインできるカテゴリは 1 つのみです。

カテゴリを使用すると、アーキテクチャアーティファクトのグループ化がより効率的になります。アーティファクト管理者は、いくらでもカテゴリを作成したり編集したりできます。カテゴリには、子カテゴリやアーティファクトへの参照を含めることができます。アーキテクチャアーティファクトを作成する場合は、アーティファクトにアサインできるようにカテゴリを事前定義する必要があります。ベースシステムには以下のカテゴリがあります。これらのカテゴリは TOGAF 標準に準拠しています。

- アプリケーションアーキテクチャ
- アーキテクチャビジョン
- ビジネスアーキテクチャ
- データアーキテクチャ
- 機会およびソリューション
- 予備フェーズ
- テクノロジーアーキテクチャ

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービス

他のサービスカタログアイテムと同様に、企業向けのビジネスアプリケーションを注文して、新しいアプリケーションとしてアプリケーションポートフォリオに登録できます。

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) は サービスカタログ と統合して、ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスと呼ばれるサービスカタログカテゴリを作成します。

このサービスカタログカテゴリを使用して、APM でビジネスアプリケーションを要求および登録できます。新しいアプリケーションを APM インベントリにオンボーディングすると、機械学習ビジネスアプリケーションソリューションは、アプリケーションに適切なカテゴリを予測して提案します。詳細については、次を参照してください。 予測インテリジェンス for アプリケーションポートフォリオ管理.

さらに、このサービスカタログカテゴリを使用して、IT アーキテクチャレビューボードで、ビジネスアプリケーションにおけるテクノロジー変更のレビューを要求することもできます。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスカタログを使用して、不要になったアプリケーションを廃止することもできます。アプリケーションの適切な廃止では、次の処理が行われます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アプリケーションの使用中に生成されたデータのアーカイブ。
- アプリケーションが依存していたすべての関連ソフトウェアのアンインストール。
- ソフトウェアのハードウェア依存関係の削除。

関連情報

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してアプリケーションを要求または廃止する

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスの要求

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してアーキテクチャレビューを要求する

アプリケーションアセスメント

アプリケーションのユーザビリティ、コスト、品質、パフォーマンス、およびリスクを測定するインジケーターを設定します。定性的な入力に基づいてビジネスアプリケーションを評価し、スコアを付けます。サーベイとアセスメントに基づいて、アプリケーションの抽象情報をより具体的で明確な測定基準に変換できます。これらのアセスメントは、アプリケーションを置き換えるかアップグレードするかについて戦略的な決定を下す際に役立ちます。

APM スコアとインジケーターの詳細については、この 5 分間のビデオをご覧ください。

既存のアセスメント測定基準タイプを使用することも、要件に応じてそれらを構成することもできます。

アプリケーションアセスメントのためのフレームワークセットアップ

アプリケーションを評価するベースとなるインジケーターとスコアプロファイルを作成できます。アプリケーションインジケーターは、アプリケーションスコアを導き出す際に役立つビジネス測定基準です。

アプリケーションポートフォリオ管理 は、ServiceNow プラットフォームの主要アプリケーションと統合されていて、アプリケーションに関する詳細なインサイトを提供します。これらの統合は次のことに役立ちます。

コスト節減の機会を特定する

ファイナンシャルマネジメント アプリケーションのセグメントの階層は、アプリケーションレベルでコスト割り当てを追跡し、アプリケーションの完全なコストブレークダウンを提供します。

アプリケーションを整理して合理化を判断する

同じアプリケーションカテゴリ、地域、またはビジネスにアサインされている複数のアプリケーションを特定できます。この情報は、アプリケーションを使用しているユーザー、使用頻度、アプリケーションのステータスを把握し、情報に基づく意思決定を行う際に役立ちます。

アプリケーションの最新化と投資の機会を特定する

サーベイの結果に基づいて、更新する契約がある、使用率が低い、または顧客満足度が低いアプリケーションを特定できます。

事前に構成されたインジケーターを使用するか、インジケーターを作成して、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価します。事前に構成されたインジケーターは、Financial Management、IT Service Management、Project Portfolio Management、サーベイ、アセスメント、SQL クエリー、Performance Analytics、およびカスタムスクリプトから提供されます。

注:
APM は、会計カレンダータイプの [標準] のみをサポートしています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- アプリケーションを評価するインジケーターを作成または編集する
- アプリケーションスコアプロファイルの作成およびプロファイルインジケーターのアタッチ
- アプリケーションスコアを計算するためのジョブスケジュール

事前に構成されたインジケーターとそのソースアプリケーション

事前に構成された アプリケーションポートフォリオ管理 インジケーターとそれらの提供元アプリケーションは、コスト、品質、リスクなどのさまざまな側面からのアプリケーション評価に役立ちます。事前に構成されたインジケーターをコピーして変更することで、それらとは別に、追加のインジケーターを作成できます。

事前に構成されたインジケーターとソース

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
施設コスト	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_Allocation_Aggregate テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	ビジネスアプリケーションの施設コスト	
ハードウェアコスト	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_Allocation_Aggregate テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	ビジネスアプリケーションのハードウェアコスト	
人件費	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_Allocation_Aggregate テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	ビジネスアプリケーションの人件費	
その他のコスト	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_Allocation_Aggregate テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	ビジネスアプリケーションのその他のコスト	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前に構成されたインジケーターとソース (続く)

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
サービスコスト	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_All Model テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	ビジネスアプリケーションのサービスコスト	
ソフトウェアコスト	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_All Model テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	ビジネスアプリケーションのソフトウェアコスト	
アプリケーション TCO	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_All Model テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	すべてのバケットからの合計アプリケーションコスト	
アプリケーションのインシデント数	四半期	カスタムスクリプト	インシデント	ビジネスアプリケーションがインシデントに関連付けられた後にのみ、インシデントテーブルでデータが使用可能になります。	インジケーターが属する採点プロファイルに関係するビジネスアプリケーションに関連付けられている、すべてのインシデントの数を取得するインジケーター。	
アプリケーションのインスタンス - インシデント数	四半期	カスタムスクリプト	インシデント	ビジネスアプリケーションにマップされたすべてのアプリケーションイ	アプリケーションインスタンスに関連付けられているすべてのインシデント	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前に構成されたインジケーターとソース (続く)

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
				ンスタンスにアタッチされているインシデント数を取得し、それをアプリケーションにロールアップします。	の数を取得するインジケーター。アプリケーションインスタンスは、次に、インジケーターが属する採点プロファイルに関係するビジネスアプリケーションに関連付けられます。 インシデント数は、最初にアプリケーションインスタンスまたはアプリケーションサービスレベルで計算され、その後、ビジネスアプリケーションレベルにロールアップされます。	
使用法	月次	クエリー条件	APM 製品。cmdb_ci_business_app テーブル	[アクティブ business 数] フィールドから計算されます	特定の会計期間におけるアプリケーションのユーザーセッションとユーザーの数。	
サービスを介したインシデントの数	日次	パフォーマンスアナリティクス	マップ先：パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > イン	本日オープンされたインシデントの数。インシデントレコードの	新規インシデントの数。日次および履歴データの収集	[PA インシデント] 日次データ収集

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前に構成されたインジケーターとソース (続く)

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
			ジケーター (自動) > 新規インシデントの数 ソース = Incidents.New (インシデントテーブル)	影響を受けるビジネスアプリケーションから計算されます。		[PA インシデント] 履歴データ収集
サービスを介した問題の数	日次	パフォーマンスアナリティクス	マップ先：パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動) > 新規の問題の数 ソース = Problems.New (問題テーブル)	本日作成された問題。問題レコードの [サービス] フィールドから計算されます。	本日オープンされた問題の数。日次および履歴データの収集	[PA 問題] 日次データ収集 [PA 問題] 履歴データ収集
サービスを介した変更の数	日次	パフォーマンスアナリティクス	マップ先：パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動) > 新規変更の数 ソース = Changes.New (change_request テーブル)	収集日が登録日 (change_request.opened_at) になっている変更の数。変更要求レコードの影響を受けるビジネスアプリケーションから計算されます。	本日オープンされた変更の数。日次および履歴データの収集	[PA 変更] 日次データ収集 [PA 変更] 履歴データ収集
顧客満足度 (CSAT)	四半期	アセスメント	アセスメント測定基準タイプ：顧客満足度 アセスメント測定基準カテゴリ：CSAT		テンプレート NPS	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前に構成されたインジケーターとソース (続く)

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
機能適合性	月次	アセスメント	アセスメント測定基準タイプ：機能適合性 アセスメント測定基準カテゴリ：機能適合性		テンプレートネットプロモータースコア (NPS)	
技術的リスク	月次	アセスメント	アセスメント測定基準タイプ：技術的リスク アセスメント測定基準カテゴリ：パフォーマンス		会計期間のサーベイを通じてキャプチャされた技術的リスク。 テンプレート NPS	
技術ライフサイクルリスク	月	カスタムスクリプト	アセスメント測定基準タイプ：機能適合性 アセスメント測定基準カテゴリ：機能適合性		選択した会計期間のビジネスアプリケーションの技術ライフサイクルリスクを取得します。	
ビジネス価値	四半期	アセスメント	統合:平均		テンプレート NPS	
合計変更時間	月次	パフォーマンスアナリティクス	マップ先：パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動) > クローズした変更の合計期間 ソース = Changes.Closed (Change_Request テーブル)	スクリプト：Change.ClosedTime.Hours。本日クローズされたすべての変更要求が考慮されます	特定の会計期間におけるアプリケーションのクローズ済み変更の合計期間。 変更のクローズに要した時間 (時間単位)。日次および履歴データの収集。	• [PA 変更] 日次データ収集 • [PA 変更] 履歴データ収集

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前に構成されたインジケーターとソース (続く)

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
			フィールド：オープン済み (Opened)、クローズ済み ステータス = クローズ済み、ビジネスアプリケーション = APM ビジネスアプリケーションのいずれか、本日クローズ済み			

注:
インシデントおよび変更インジケーターの次のシステムプロパティが True に設定されていることを確認します。

- プロパティを設定するには、[すべての>システムプロパティ] > [すべてのプロパティ] に移動し、次のプロパティを検索します。
  - 影響を受ける CI に基づいて影響を受けるサービスを入力 (com.snc.incident.refresh_impacted.include_affected_cis)
  - インシデントのビジネスアプリケーション関連リストに入力 (com.snc.incident.populate_business_application)
  - 変更要求のビジネスアプリケーション関連リストに入力 (com.snc.change_request.populate_business_application)
- レコードの関連リストに [影響を受けるビジネスアプリケーション] タブを表示するには、[他のアクション] アイコンを選択し、[>関連リストの構成] を選択します。影響を受けるビジネスアプリケーションを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動し、[保存] を選択します。
- [サービスを介したインシデントの数] インジケーターと [サービスを介した変更の数] インジケーターの影響を受けるビジネスアプリケーションを表示するには、そのレコードの [影響を受けるサービスと **CI]** 関連リストを更新する必要があります。手順については、「」とRefresh impacted services and CIs for incident 「」を参照してくださいRefresh impacted services and CIs for Change 。

関連情報

アセスメント

サーベイ管理の開始

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションパフォーマンスを測定するための **Performance Analytics** インジケーター

Performance Analytics (PA) インジケーターを使用して、ビジネスアプリケーションに対してログに記録されたインシデント、問題、および変更の数を把握し、このインサイトを使用してアプリケーションのパフォーマンスを改善します。

アプリケーションポートフォリオ管理 は Performance Analytics (PA) から提供されるインジケーターを使用します。これらのインジケーターは、インシデント、問題、変更の数、および特定の日にクローズされた変更要求の数を示します。指定された順序に従ってスケジュールされた時間に PA ジョブを実行し、インジケーターのスコアを取得して、ビジネスアプリケーションのパフォーマンスを評価します。

PA ジョブを実行してスコアを生成する順序

ジョブスケジュールは、次の順序で実行する必要があります。

1. [PA インシデント] 日次データ収集。
2. [PA 変更] 日次データ収集。
3. [PA 問題] 日次データ収集。
4. [APM スケジュール済みジョブ] アプリケーションインジケーターのロードとアプリケーションスコアの計算。

履歴データがある場合は、次の順序で実行します。

注:

6 か月より前の履歴データを取得するには、Performance Analytics Premium for APM (com.snc.pa.premium.apm) プラグインが必要です。

1. [PA インシデント] 履歴データ収集。
2. [PA 変更] 履歴データ収集。
3. [PA 問題] 履歴データ収集。
4. 必要な期間の APM スコアを再生成します。このアクションは、単に既存のスコアを更新するのではなく、日次スコアを含む既存のスコアを削除して新しいスコアを生成します。

インジケータースコアが生成される頻度

スコアは、スクリプトを実行するジョブのスケジュールされた実行に従って生成されます。インジケーターの頻度が以下の場合：

月次
: スコアは、月の最終日にのみ生成されます。

四半期
: スコアは、四半期の最終日にのみ生成されます。

年次
: スコアは、年の最終日にのみ生成されます。

注:
会計期間は、スコア生成と同じタイムゾーンを使用して生成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PA インジケータースコアデータの収集

PA インジケータースコアの収集と保存の期間単位 (日、週、または月) は、データソースインジケーターの頻度によって決まります。ただし、アプリケーションインジケーターが PA インジケーターデータソーススコアを収集する頻度は異なります。

APM では、アプリケーションインジケーターの頻度は、データソースインジケーターの頻度以上である必要があります。

次の表は、ジョブの実行後に APM がデータソースインジケーターからデータを収集する頻度を示しています。

APM データ収集頻度

APM 頻度	データソースインジケーター頻度
月次	月次
四半期ごと	月次および四半期ごと
年次	月次、四半期ごと、および年次

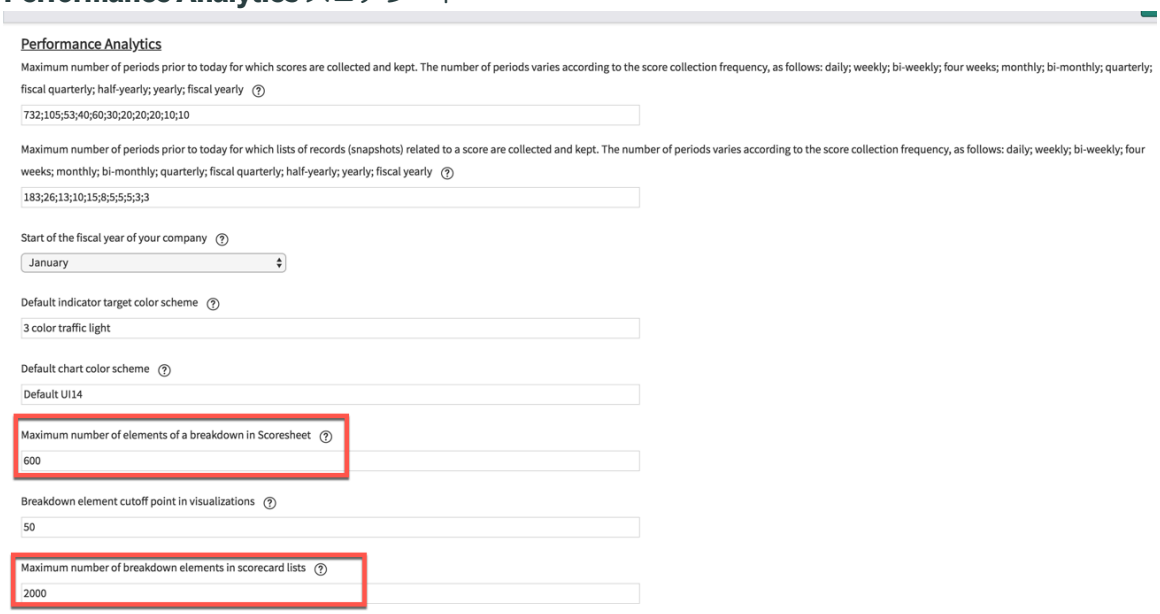
Washington DC リリースにアップグレードした APM 顧客の場合、Performance Analytics データソースインジケーターの [日次] 頻度は使用できません。`RemoveDailyFreqAndUpdatePAIndicator` 修正スクリプトは、PA インジケーターの [日次] 頻度を自動的に削除し、頻度を [月次] に更新します。

アプリケーションブレークダウンを PA スコアシートに表示する際の制限

多数のビジネスアプリケーションがインストールされている場合、すべてのブレークダウンが パフォーマンスアナリティクス > スコアシート(システムプロパティに制限が設定されているためです: `com.snc.pa.scoresheet.max_elements` および `com.snc.pa.scorecards.max_breakdown_elements`)。プロパティ制限を再構成するには：

1. 移動先 パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ.
2. [スコアシートのブレークダウン要素の最大数] フィールドに最大数を入力します。この数は、システムにインストールされているビジネスアプリケーションの数以上にする必要があります。

Performance Analytics スコアシート



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [スコアカードリストのブレークダウン要素の最大数] フィールドに最大数を入力します。
4. [保存] をクリックします。

アプリケーションスコアを計算するためのジョブスケジュール

インジケーターを設定した後で、スコアプロファイルを作成し、プロファイルインジケーターをアタッチしたら、アプリケーションスコアを定期的に計算するジョブをスケジュールします。

システムがアプリケーションスコアを計算する方法を理解し、要件に従ってアプリケーションスコアプロファイルを作成します。

アセスメントフレームワークは、1 ～ 10 のスケール (10 が最高スコア、1 が最低スコア) で、各アプリケーションのアプリケーションスコアを計算します。アセスメントは、構成可能なさまざまな構成済みのインジケーターに基づいています。これらの各インジケーターは、アプリケーションスコアの導出に使用される、関連するアプリケーションデータを定期的にキャプチャします。これらのインジケーターとそれぞれの値 (重み付け) が、アプリケーションプロファイルに追加されます。その後、アプリケーションはアプリケーションプロファイルに関連付けられ、アプリケーションスコアが計算されます。

アプリケーションスコアの正規化

インジケーターとそれぞれの重み付けは、各構成アイテムのアプリケーションスコアプロファイルの計算に使用されます。スコアプロファイルを使用して、アプリケーションスコアを計算し、アプリケーションを評価します。これらのスコアを適用してアプリケーションを比較し、どのアプリケーションを保持、置換、維持、または追加投資するかについて戦略的な決定を下します。

事前に構成されたインジケーターやユーザーが作成したインジケーターは、インジケーター定義ステージで設定された頻度に基づいて関連データを取得します。このデータは、アプリケーションインジケータースコア [apm_app_indicator_score] テーブルの [アプリケーションの重み付け] 列でキャプチャされます。アプリケーションインジケーターの作成時に設定される [最大ターゲット] と [最小ターゲット] は、アプリケーションの正規化値を計算するためのものです。

> **注:**
> データソースがアセスメントの場合は、[最大ターゲット] と [最小ターゲット] を使用できません。

アプリケーションスコアの正規化値は、1 ～ 10 のスケールで測定され、次の式から導き出されます。

```
(Application Weight - Target minimum)/(Target maximum - Target minimum) * 9+1
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- [最大ターゲット] と [最小ターゲット] が設定されていない場合、アプリケーションの範囲内での最大値が最大ターゲット値として使用されます。同様に、アプリケーションの範囲内での最小値が最小ターゲット値として使用されます。
- [最大ターゲット] と [最小ターゲット] が設定されていて、[絶対値を考慮する] チェックボックスがオンの場合、入力された値が考慮されます。
- [最大ターゲット] と [最小ターゲット] が設定されていて、[絶対値を考慮する] チェックボックスがオフの場合、次のインテリジェントロジックに基づいて値が考慮されます。

  ```
  Target maximum = Minimum value of (Target maximum value defined in the Indicator [apm_metric] table, Maximum value of Application Weights for the fiscal period)
  ```

  たとえば、次のようなシナリオを考えてみましょう。

  - アプリケーションの重み付けは、10、20、30、 … 、および 1000 です。
  - [最大ターゲット] フィールドに入力された値は 100 です。

  これらの仮定では、定義された最大ターゲット値 (100) がアプリケーションの最大の重み付け (1000) より小さいため、考慮される最大ターゲット値は 100 です。

  ```
  Target minimum = Maximum value of (Target minimum value defined in the Indicator [apm_metric] table, Minimum value of Application Weights for the fiscal period)
  ```

  たとえば、次のようなシナリオを考えてみましょう。

  - アプリケーションの重み付けは、10、20、30、 … 、および 1000 です。
  - [最小ターゲット] フィールドに入力された値は 100 です。

  これらの仮定では、定義された最小ターゲット値 (100) がアプリケーションの最小の重み付け (10) より大きいため、考慮される最小ターゲット値は 10 です。

最小ターゲット以下のアプリケーションの重み付けには、低い方のスコア (1) が与えられます。

最大ターゲット以上のアプリケーションの重み付けには、最大スコア (10) が与えられます。

アプリケーションインジケーターを設定するときに、[方向] を [最大化] または [最小化] に設定することもできます。方向が [最小化] の場合、最大値を持つアプリケーションが最小スコアを取得します。方向が [最大化] の場合、最小値を持つアプリケーションが最大スコアを取得します。

インジケーターの [方向] が [最小化] の場合：

```
(10 - above calculated Normalized value) + 1
```

アプリケーションプロファイルの重み付けが正規化値に適用され、インジケータースコアが導き出されます。

```
Normalized Value * Weightage as in application score profile %
```

各インジケーターのインジケータースコアが計算された後に、プロファイルで使用されているすべてのインジケータースコアが合計され、アプリケーションスコアが計算されます。

インジケーターのソースが [データソース] フィールドで [インジケーター] である場合、アプリケーションの重み付けは、すべての依存インジケーターの正規化されたスコアの合計として計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- その後、他のすべてのインジケーターと同様の方法で、親インジケーターの正規化されたスコアが計算されます。
- 正規化された値、インジケータースコア、アプリケーションの重み付け、最大ターゲット、最小ターゲット、および重み付けの合計は、すべて小数点以下 2 桁のみに丸められます。

この図では、コストインジケーターとインシデントインジケーターが最小化に設定されているため、コストが低くインシデント数が少ないアプリケーションがより高いスコアになります。

アプリケーションスコアのサンプル

Business Application	Indicator	Application Weight	Normalized Value (NV)	Indicator Score (NV * 30%)
Application A	Cost	100	10	3
Application B	Cost	150	4.5	1.35
Application C	Cost	200	1	0.3
Business Application	**Indicator**	**Application Weight**	**Normalized Value (NV)**	**Indicator Score (NV * 50%)**
Application A	Incidents	10	10	5
Application B	Incidents	80	3	1.5
Application C	Incidents	100	1	0.5
Business Application	**Indicator**	**Application Weight**	**Normalized Value (NV)**	**Indicator Score (NV * 20%)**
Application A	CSAT	10	10	2
Application B	CSAT	2	1	0.2
Application C	CSAT	3	2.125	0.425

アセスメントの正規化値とアプリケーションスコア

インジケーターのソースが [データソース] フィールドの [アセスメント] である場合、[最大ターゲット]、[最小ターゲット]、[アプリケーションの重み付け]、および [重み付け合計] の値はゼロと見なされます。

ビジネスアプリケーションをスコアリングの対象とするには、インジケーターが関連付けられているそれぞれのアプリケーションプロファイルにマッピングする必要があります。スコアリングプロファイルは、apm_application_profileリストで確認できます。

会計期間内に作成されたアセスメントグループを持つ、ビジネスアプリケーションに関連するすべてのビジネスアプリケーション関連のアセスメントカテゴリの結果が、スコアの計算に考慮されます。asmt_category_resultリストで、ビジネスアプリケーションのアセスメントカテゴリ結果を確認できます。

スコアの計算でアセスメントグループを考慮するには、関連するすべてのアセスメントインスタンスが完了またはキャンセルステータスである必要があります。

```
scaleFactor = (9/ scale factor on metric type)
```

```
appAsmtScoreSUM = SUM of ratings of category results groupedBY source for each
 assessment group
```

```
appWeight=((scaleFactor * appAsmtScoreSUM )+1;
```

```
Normalized value = total app weight of BA/appOccurences.
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

totalIndicatorsWeightage = the sum of all indicator weightage mapped to a scoring profile.

appIndWeightage = weightage of the current indicator

Indicator Score = normalizedValue * appIndWeightage / totalIndicatorsWeightage

アプリのオカレンスは、ビジネスアプリケーションのオカレンスです。

アプリケーションパフォーマンスの視覚化

アプリケーションのパフォーマンスをさまざまな側面から、バブルチャート、ダッシュボード、およびアプリケーション 360 ビューで視覚化して、アプリケーションに関する意思決定に役立てることができます。

インジケーターを設定して、アプリケーションスコアプロファイルをアタッチし、定期的にスコアを計算するスケジュール済みジョブを実行することで、アプリケーションスコアを表示できるようになります。

- バブルチャートを使用して、チャートにプロットされたビジネスアプリケーションデータを 3 次元で視覚化すると、インジケータースコアに基づいてアプリケーションを比較および評価する際に役立ちます。
- アプリケーション 360 を使用すると、注意が必要なビジネスアプリケーションに重点を置くことができます。
- アプリケーションアセスメントダッシュボードを使用して、さまざまなアプリケーションのインジケーターの傾向を表示できます。

関連情報

- アプリケーションインジケータースコアの表示
- すべてのアプリケーションスコアの表示
- アプリケーションスコアをバブルチャートで分析する
- アプリケーション 360 でパフォーマンス、コスト、および作業負荷を監視する
- ダッシュボードでアプリケーションのパフォーマンスを評価する

アプリケーション戦略

アプリケーションポートフォリオ管理 では、さまざまなディメンションにわたってアプリケーションの測定基準を収集することで、意思決定を行い、組織の目標と整合させることができます。

アプリケーション戦略ポータルでは、コスト削減の機会を特定し、アプリケーションの戦略を作成するために、段階的なプロセスを踏むことができます。次を実行する際に役立ちます。

- 組織の目標、アプリケーションスコア、またはインジケータースコアに基づいて、投資、統合、移行、維持、置換、または廃止するアプリケーションを決定する。
- 戦略的目標を作成し、デマンドとプログラムを追跡する。たとえば、目標を設定して、アプリケーションの資本経費 (投資) を 40% 削減するプログラムを作成できます。
- アプリケーションアセスメントスコアを推定または決定する。たとえば、ビジネス価値や顧客満足度が低いためにアプリケーションスコアが低い場合は、アプリケーションに投資するデマンドを開始できます。

関連情報

- アプリケーション戦略の目標を作成する
- 目標の達成に向けたデマンドを作成する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション目標のためのプログラムを作成する
プログラムを実行するためのガイド付き計画を作成する

プログラムを実行するためのガイド付き計画

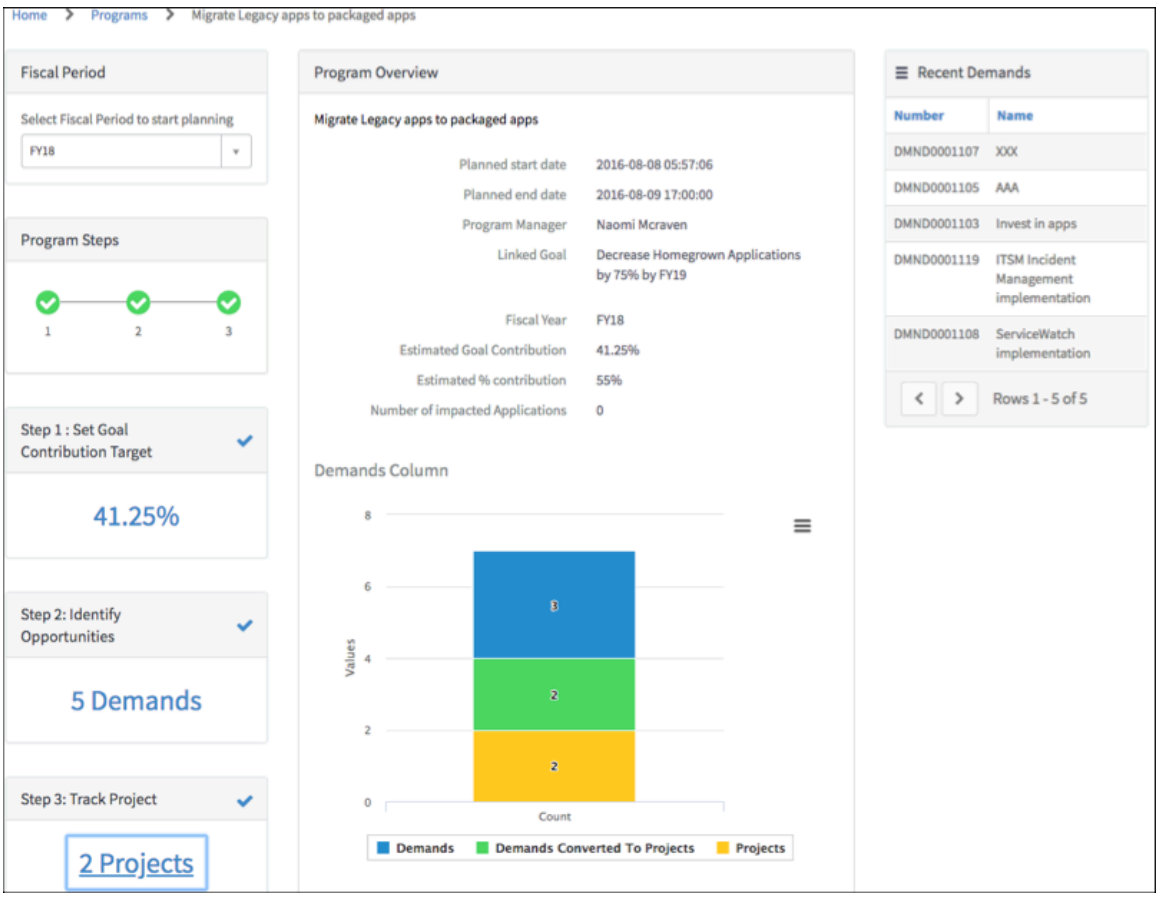
プログラムを作成したら、ガイド付き計画を使用して、作成したプログラムを実行する手順を策定できます。

注:

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、ガイド付き計画を使用してプログラムを実行できます。

特定のプログラムを選択するには、Application Portfolio Management ポータルの [機会およびソリューション] セクションにあるプログラムの表示リンクをクリックして、ガイド付きプログラムナビゲーションページを開きます。プログラムナビゲーションページでは、目標の設定、機会の特定、デマンドの作成、プロジェクトの追跡のためのステップバイステップの計画を作成できます。

プログラムナビゲーションページ



プログラムナビゲーションページは、次のセクションに分かれています。

会計期間

[計画を開始する会計期間を選択する **(Select Fiscal Period to start planning)]** は、目標を設定し、デマンドを実装して、目標を達成する会計期間です。

プログラムステップ

このセクションでは、タスクを完了してターゲット目標を達成するためのガイド付きステップバイステップワークフローを紹介します。

ステップ 1：目標寄与率ターゲットの設定

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リンクを使用して、会計期間の目標寄与率のターゲットを設定します。

ステップ 2：機会の特定

アプリケーションスコアとインジケータースコアを分析して、ターゲットを達成する機会を特定します。

グループ分析ページでは、アプリケーションの詳細をカテゴリ別に統合し、アプリケーションインジケーターのスコアと値でフィルタリングして、ターゲットアプリケーションを絞り込むことができます。

アプリケーションカテゴリをクリックして開きます。バブルチャートのインジケータースコアに基づいて、目標を達成するためのデマンドを作成できます。デマンドとは、デマンドマネージャーとデマンドユーザーが作成する、必要不可欠で適切な要求です。ユーザーがデマンドを送信し、デマンドマネージャーがデマンドを承認します。

グループ分析ページ



Application Category	Number of Apps	Cloud	Homegrown	Apps With Expiring Contract	Apps With EOL
Business Intelligence - ETL	2	-	-	-	-
Business Intelligence - Reports	4	1	1	-	-
Contracts	2	-	-	1	-
Customer Support	4	1	1	-	-
Finance	4	-	-	-	-
Human Capital Management	6	1	2	-	-
Inventory Management	4	-	1	1	-
IT Portfolio Management	5	1	1	-	-
IT Service Management	5	3	-	1	-
Logistics	4	-	1	1	-
Manufacturing	4	-	1	1	-
Marketing	3	1	-	-	-
Procurement	3	-	1	-	-
Sales	4	1	-	1	-
Sourcing	2	-	-	1	-

自動翻訳

アセスメント期間

グループ分析ページの [分析を開始する会計期間を選択する **(Select Fiscal Period to start Analysis)]** は、アプリケーションを評価した会計期間です。これらのアセスメントに基づいて、目標とデマンドを作成し、計画した会計期間 ([計画を開始する会計期間を選択する **(Select Fiscal Period to start planning)]**) でそれらを遂行します。

アプリケーションをフィルター (Filter Applications)

[アプリケーションをフィルター (Filter Applications)] ペインを使用して、アプリケーションインジケーターとスコアに基づいてアプリケーションをフィルターできます。

既存のフィルターをすべて消去するには、各フィルター属性フィールドを個別に消去するのではなく、[アプリをフィルター **(Filter Apps)]** 列で [すべてのフィルターをクリア] を 1 回クリックします。その後、フィルター基準を設定して、表示するアプリケーションをソートできます。

アプリケーションカテゴリ

[アプリケーションカテゴリ] セクションでは、アプリケーションのカテゴリ名と、各カテゴリに該当するアプリケーションの数が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 列のヘッダーをクリックします。
2. アプリケーションカテゴリをアルファベット順または逆アルファベット順にソートするには、表示される矢印をクリックします。
3. 他のアプリケーション列で矢印をクリックすると、値が昇順または降順で一覧表示されます。

   ソートは、リスト内の情報をすばやく見つけたり、より高い値を先頭に表示したりするために役立ちます。また、類似の値を持つアプリケーションのグループ化にも役立ちます。

[電球] アイコン ( )

作成されたデマンドの数を一覧表示し、それらを個別に表示して、デマンドフォームで編集します。

ステップ 4：プロジェクトの追跡

デマンドの承認やプロジェクトの実行で、プロジェクトのステータスを追跡します。

[プログラムの概要] セクション

プログラムの開始予定日と終了予定日、プログラムを推進するマネージャー、マークされた会計年度までに達成するターゲットパーセンテージが設定されたプログラムにリンクされた目標について簡潔なサマリーを表示します。さらに、次の詳細も表示されます。

- 推定目標寄与率：提案されたプログラムの達成ターゲットである目標の推定達成率。
- 推定寄与率 **(%)**：選択した計画会計期間内に達成することをターゲットとする目標の割合。
- 影響を受けるアプリケーション数：プログラムによって影響を受けるアプリケーションの数。

デマンド欄 (Demands Column)

積み上げグラフで、最上部はデマンドを表し、プログラムに対して作成されたデマンドの数が表示されます。中央部は、プロジェクトに変換されたデマンドを表し、その数が表示されます。最下部には、プログラム専用に作成されたプロジェクトの数が表示されます。プロジェクトに変換されたデマンドは表示されません。

[デマンド欄 (Demands Column)] の右上隅にある [チャート] コンテキストメニューを使用して、任意の形式でチャートを印刷できます。

最近のデマンド (Recent Demands)

プログラムに対して作成されたデマンドの数と名前を表示します。デマンドを編集するには、デマンドのハイパーテキストをクリックしてデマンドフォームでデマンドを開きます。

デマンドのリストが長いと、スペース制限のため [最近のデマンド **(Recent Demands)]** セクションにすべてのデマンドが表示されないことがあります。ページネーション設定を使用して短いリストを表示し、その後、矢印をクリックしてデマンドのリストを下または上に進めます。

テクノロジー参照モデル

テクノロジー参照モデル の APM ()TRM 機能を使用して、ソフトウェアおよびハードウェア製品の標準を定義し、組織内の未承認製品を管理します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

TRM の概要と価値・効果

企業で未承認のソフトウェアを使用すると、組織にリスクをもたらすおそれがあります。リスクには次のようなものがあります。

- セキュリティリスク：ソフトウェアがセキュリティの問題にさらされるおそれがあります。
- 納入リスク：ソフトウェアのサポート方法に関する知識が不十分な場合があります。
- 法的リスク：ビジネスアプリケーションがソフトウェアを不正に使用するおそれがあります。

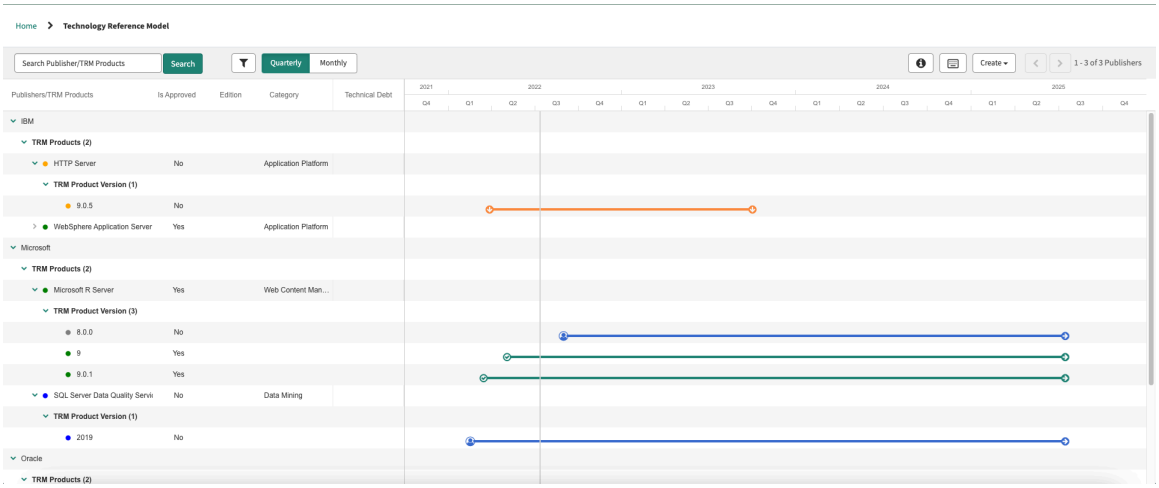
ソフトウェアの使用に関しては、標準を定義する必要があります。組織で使用を許可できるソフトウェアのバージョンを定義する必要があります。また、どのようなときに、どのビジネスアプリケーションで未許可のソフトウェアが組織内で使用されるのかを調査できるようにしておく必要があります。

アプリケーションポートフォリオ管理 の TRM モジュールを使用して、次の作業を行います。

- 組織内でのソフトウェア製品の使用を承認または制限する。
- 組織内でのソフトウェアのバージョンの使用方法を定義する。
- 新しい要件が発生した場合、新しいソフトウェアやビジネスアプリケーションの導入を要求する。
- 組織の TRM ライブラリを管理する。

TRM モジュールを使用すると、テクノロジーの標準を管理し、テクノロジーの使用に関する適切なガードレールを設定できます。標準を設定することで、技術的負債やセキュリティ体制を改善したり、組織のコストを削減したりすることができます。

TRM 製品ビュー



TRM 製品ライフサイクル

TRM ライブラリの各製品は、開始日と終了日を含む一連のライフサイクルフェーズに関連付けられています。ライフサイクルには、承認済み、未承認、制約付きで承認、売却、評価の各フェーズがあります。

TPM ホームページでは、組織で使用されているすべてのビジネスアプリケーションがフェッチされます。これにより、使用されているソフトウェアのステータスを確認できるようになります。さらに、ビジネスアプリケーションが、TRM に含まれていないソフトウェアや、本番用に承認されていないソフトウェアバージョンを使用していないかどうかを確認できるようになります。詳細については、「[技術ポートフォリオ管理] ページの TRM ライフサイクルステータスのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRM とその他のモジュール

> ⚠ 警告:
> TPM と TRM には、SAM Foundation または SAM Professional のインストールが必要です。SAM Foundation プラグインをインストールする前に、ドキュメントを Software Asset Management Foundation plugin migration よく読んでください。インスタンスに SAM Foundation または SAM Professional がインストールされていない場合は、ServiceNow サポートにお問い合わせください。

TRM モジュールは、TPM に類似したモジュールを使用して TRM ライブラリ内を検索します。TRM ライブラリに含まれているソフトウェアを表示したり、TRM ライブラリへのソフトウェアやソフトウェアバージョンの追加を要求したりすることができます。

また、ソフトウェア資産管理 (SAM) プラグインで TRM を使用することもできます。さらに、このプラグインにより、TRM ライブラリの製品やバージョンをフェッチしたり選択したりすることができるようになります。インスタンスにおいて ソフトウェア資産管理 統合モジュールが使用できない場合は、独自のソフトウェア製品を定義することもできます。

関連情報

- 製品要求の追加または編集TRM
- TRM 製品ライフサイクル要求の追加または編集
- TRM カタログを使用した TRM 製品の要求
- TRM カタログを使用した TRM 製品ライフサイクルの要求
- TRM 製品または製品ライフサイクル要求の承認または却下
- TRM カテゴリの追加または編集
- 製品要求の表示および編集
- 製品ライフサイクル要求の表示および編集
- TRM フェーズの追加または編集
- 技術的負債の管理 テクノロジー参照モデル ()TRM
- [技術ポートフォリオ管理] ページの TRM ライフサイクルステータスのレビュー

技術的負債の管理 テクノロジー参照モデル ()TRM

TRMフェーズや標準に沿ってTRMいない製品に対して作成された技術的負債を管理します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

スケジュール設定済みジョブ *Populate TRM technical debts in the EA Workspace* が実行され、EA Workspace の TRM 技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt] テーブルにエントリが作成されます。このテーブルには、ソフトウェアフェーズに沿って TRM いないビジネスアプリケーション内のソフトウェアへの参照が表示されます。このテーブルには、TRM で定義されていないビジネスアプリケーション、またはソフトウェアの使用を制限する TRM 製品ライフサイクルを持つビジネスアプリケーション内のソフトウェアへの参照が表示されます。技術的負債の計算方法については、を参照してください 技術的負債の管理 テクノロジー参照モデル ()TRM。

技術的負債は、次のいずれかの条件が満たされると、2 つのレベルで作成されます。レベル 2 は、システムプロパティ *sn_apm_trm.is_product_life_cycle_tech_debt_enabled* が True に設定されている場合にのみチェックされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- レベル 1
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられているが、製品リストに含まれていない TRM 場合。(または)
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられ、製品リストに含まれている TRM が、TRM フェーズの本番が未承認である場合。
- レベル 2
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられていて、製品リストに TRM 含まれており、TRM フェーズの本番が承認されているが、製品ライフサイクルが関連付けられ TRM ていない場合。(または)
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられ、製品リストの一部 TRM であり、 TRM 本番フェーズが承認されており、製品ライフサイクルが存在する場合は、 TRM 次のいずれかのケースが考慮されます。

    ケース 1:アプリケーションサービスソフトウェアモデルのライフサイクル完全バージョンが空でない場合。

    技術的負債は、TRM 製品ライフサイクルの次の条件が満たされていない場合に作成されます。
    - 生産が承認された TRM フェーズ AND
    - TRM 製品の TRM フェーズ (生産が承認済み) かつ
    - アプリケーションサービスソフトウェアモデルレコードのライフサイクル完全バージョンと一致するバージョン かつ
    - フェーズ開始日<=今日の日付<=フェーズ終了日。

    ケース 2:アプリケーションサービスソフトウェアモデルのライフサイクルの完全バージョンが空の場合。

    技術的負債は、TRM 製品ライフサイクルの次の条件が満たされない場合に作成されます。
    - 生産が承認された TRM フェーズ AND
    - TRM 製品の TRM フェーズ (生産承認あり) かつ
    - バージョンは次で始まる (バージョン演算子と isSampPluginInstalled に基づく) 関連するソフトウェアモデルのバージョン かつ
    - エディションは、関連するソフトウェアモデルのエディション (エディション演算子と isSampPluginInstalled に基づく) で始まり、かつ
    - フェーズ開始日<=今日の日付<=フェーズ終了日。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジー参照モデル **(TRM)** > 技術的負債.
2. TRM 製品と関連するビジネスアプリケーションの詳細に関するリストをレビューします。技術的負債の理由を確認することもできます。

ビジネスアプリケーションのリスク管理

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) と ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) を統合して、ビジネスアプリケーションに関連付けられたリスクを特定し、リスクを軽減するために必要なコントロールを追加することで、アプリケーションオーナーとリスクマネージャーの作業を簡素化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow® Application Portfolio Management の Risk Management との統合 により、ビジネスアプリケーションに内在する包括的なリスクを判別し、リスクを軽減するタスクを特定できます。

ServiceNow® Application Portfolio Management の Policy and Compliance との統合により、ビジネスアプリケーションで決定されたコントロールを表示して、それらのコントロールが準拠しているかどうかを検証し、ビジネスアプリケーションをコントロールに準拠させるために必要なタスクを決定できます。

この統合の主なメリットは次のとおりです。

- リスクマネージャーとアプリケーションオーナーがデジタルリスクに費やす時間を削減します。
- アプリケーションオーナーとリスクマネージャーとの間に、より迅速で効率的なコミュニケーションを提供します。
- ビジネスアプリケーションのデジタルリスク体制の概要を示します。

GRC と APM の統合ソリューションにおける要約的なワークフロー

GRC と APM の統合ソリューションの要約的なワークフローは次のとおりです。

1. ビジネスアプリケーションが作成されます。
2. バックグラウンドで実行される GRC プロファイル生成スケジュール済みジョブに基づいて、GRC は新しいビジネスアプリケーションを検出し、GRC にエンティティを作成します。
3. 新しいアプリケーションが GRC エンティティとして作成されると、新しいリスク識別レコードが作成されます。
4. リスクマネージャーは、設定レコードを変更し、アセスメントのワークフローを決定できます。リスク識別構成が公開された後、リスクマネージャーは設定レコードの一部のフィールドのみを変更できます。
5. アプリケーションマネージャーからアプリケーションの詳細を収集するために、アンケートが開始されます。
6. アプリケーションオーナーがアンケートに回答します。
7. リスクマネージャーは回答をレビューし、さらに情報や説明が必要な場合はアンケートを送り返します。

   注:
   アプリケーションオーナーの回答は、アンケートが返送されても保持されます。

8. リスクマネージャーが回答に満足すると、GRC のリスクアセスメント方法の構成に基づいて固有のアセスメントが開始されます。詳細については、「固有アセスメントを構成」を参照してください。
9. GRC は、エンティティタイプに基づいてリスクとコンプライアンスオブジェクトをマッピングします。
10. リスクマネージャーは、情報オブジェクトマッピングをレビューします。
11. システムは、構成で選択されているアルゴリズムに基づいて、推奨エンジンを実行します。
12. リスクマネージャーは、関連付けられた情報オブジェクトに基づいて、推奨されるリスク、ポリシー、および引用をレビューしてマッピングします。
13. 関連付けられた引用ポリシーとリスクに基づいて、推奨されるコントロールが関連付けられます。
14. アプリケーションオーナーは、関連するステークホルダーと協力してコントロールを実装することで、コントロールのライフサイクルを管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Advanced Risk アセスメントを使用したアプリケーションリスクアセスメント

タイムライン上の製品ライフサイクルデータ

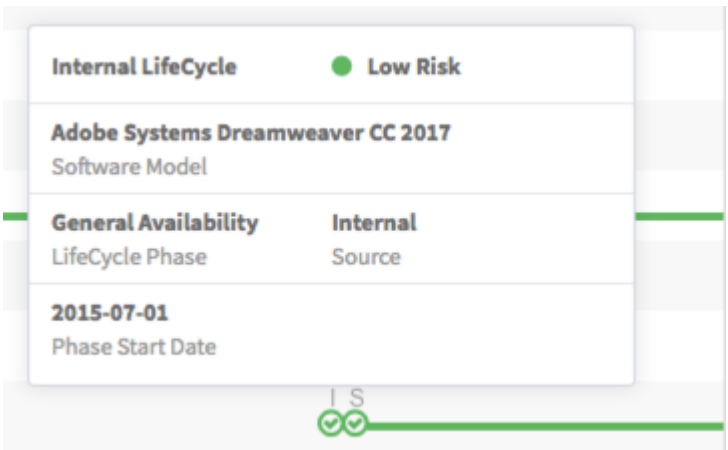
(各完全バージョンの) ソフトウェアモデルとハードウェアモデルのライフサイクルデータは、そのタイプ、フェーズ、ソース、日付、および関連付けられたリスクによって異なります。タイムライン上のソフトウェアモデルのリスクを示すために適用される条件と考慮事項を把握してください。この知識があれば、タイムライン上の文字を解釈できます。

タイムライン上のライフサイクルフェーズ

タイムラインには、公開者と内部という 2 種類のライフサイクルが示されます。タイムラインのポップアップに表示される公開者ライフサイクル情報は、ソフトウェアのソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルとハードウェアのハードウェアモデルライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle] テーブルから取得されます。この情報は、タイムライン上で S や I などの文字で示されます。たとえば、S は ServiceNow を示し、I は内部ライフサイクルを示します。

注:
ハードウェアモデルとソフトウェアモデルの両方をまとめて製品モデルと呼びます。

内部ライフサイクル情報



SAM ユーザーまたはソフトウェアモデルマネージャーは、 ソフトウェア製品ライフサイクル をソフトウェア製品ライフサイクルテーブルに追加できます。このテーブルには、ソフトウェア製品の情報、そのライフサイクルタイプ (内部または外部)、完全バージョン、ライフサイクルフェーズ、フェーズの開始日、およびリスクが保持されます。

ハードウェアモデルマネージャーは、ライフサイクルデータをハードウェアモデルに追加できます。

注:
後続のライフサイクルフェーズの開始日は、直前のライフサイクルフェーズの終了を示します。したがって、ライフサイクル情報ポップアップにはフェーズの終了日が指定されていません。

ライフサイクルフェーズを TPM タイムラインに表示しない場合は、そのソフトウェア製品ライフサイクルレコードの [アクティブ] フラグを false に設定します。たとえば、一般提供、延長サポート終了、およびサポート 終了のライフサイクルフェーズを、[ソフトウェア製品ライフサイクル] リストで **Oracle DB Server** ソフトウェアモデルの 3 つのレコードとして設定できます。ただし、一般提供フェーズをタイムラインに表示しない場合は、そのライフサイクルフェーズレコードのソフトウェア製品ライフサイクルフォームで [アクティブ] チェックボックスをオフにすることができます。このようにすると、タイムラインはサポート終了フェーズから始まります。ソフトウェア製品ラ

自動翻訳

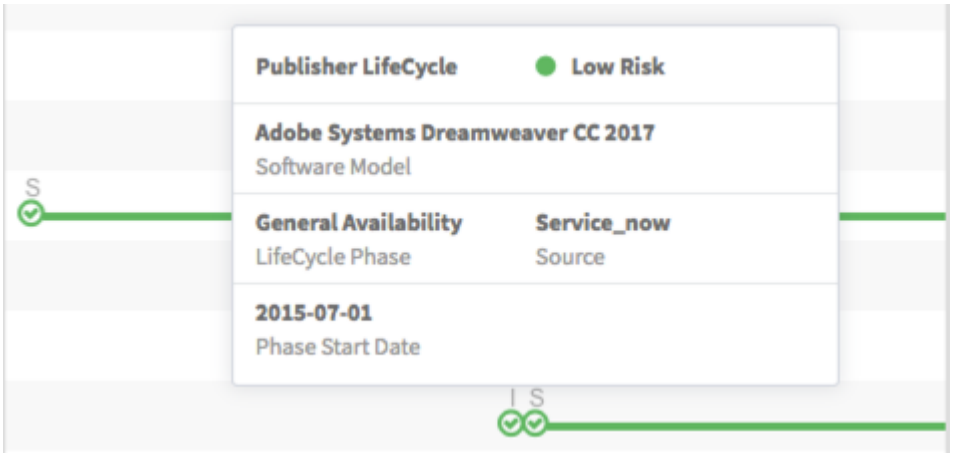
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イフサイクルに対して、そのライフサイクルフェーズレコードは存在しますが、ライフサイクルデータはタイムラインに表示されなくなります。これは、アクティブなライフサイクルレコードのみが考慮され、TPM タイムラインにプロットされることが理由です。

タイムライン上のライフサイクルソース

公開者と内部のライフサイクルタイプのソースは、それぞれ外部と内部で生成されます。内部で作成されたレコードは、タイムライン上で I とマークされます。このような製品ライフサイクルソースは編集できません。ただし、公開者が外部であり、同じ製品モデルに複数の公開者ソースがある場合は、選択肢 [sys_choice_list] テーブルの [シーケンス] フィールドへのフィールドマッピング機能 を使用して、優先公開者ソースを設定できます。

公開者のライフサイクル情報



タイムラインには、次の条件を満たす公開者ソースが表示されます。

- シーケンス番号が最小の公開者ソースが優先され、タイムラインにプロットされます。
- 製品モデルのライフサイクルフェーズに複数の公開者ソースがある場合は、シーケンス番号が最小のソースのみがタイムラインにプロットされ、残りのフェーズは考慮されません。
- 公開者ソースの名前の最初のアルファベットがタイムラインにプロットされます。ただし、同じ文字で始まるソースが複数ある場合は、文字に正の整数が付加されます。たとえば、Central は C1、Corporate は C2 といった具合です。

ライフサイクルフェーズの日付範囲の構成

管理者ユーザーは、日付範囲を設定できます。

1. 日付範囲を設定するには、 システムのプロパティ > すべてのプロパティ.
2. *`startRangeOfTPMLifecycle`* プロパティ名をクリックしてレコードを開きます。
3. タイムラインの TPM ライフサイクルの開始範囲として正の値を入力します。
4. [更新] をクリックします。
5. *`endRangeOfTPMLifecycle`* プロパティ名をクリックしてレコードを開きます。
6. タイムラインの TPM ライフサイクルの終了範囲として正の値を入力します。
7. [更新] をクリックします。

レコードの日付条件とライフサイクルフェーズの詳細については、「日付条件」を参照してください。

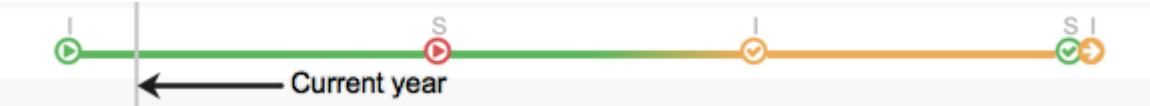
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

製品モデルのリスクを特定するための色分けされたタイムライン

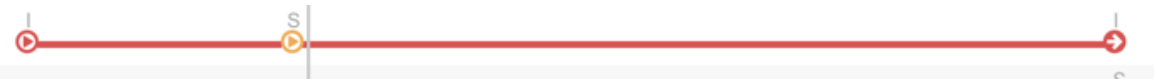
- 1 つのフェーズに対して内部と公開者のレコードが存在する場合、そのフェーズでは内部によって公開者が上書きされます。

内部が外部を上書きするタイムラインの例



- タイムラインの最終フェーズでは、上書きされていない直前のフェーズのリスクの色とソースが使用されます。

上書きされていない直前のフェーズのリスクの色を取得する最終フェーズの例



リスクおよびコントロール情報のアセスメントフォーム

リスクマネージャーは、アセスメントフォームを使用して、アプリケーションのリスクとコントロールに関する情報を収集します。システム管理者は、アプリケーションマネージャーが回答できるように、ビジネスアプリケーションからフォームにアクセスできるようにする必要があります。

リスクマネージャーが開始したアンケートは、アプリケーションに関するリスクやコントロールの詳細を収集するためにアプリケーションマネージャーに送信されるアセスメントフォームの基礎となります。ビジネスアプリケーションフォームの構成方法に関するリスクマネージャー向けの情報については、「リスク管理用のビジネスアプリケーションフォームの構成」を参照してください。

アンケートへの回答方法に関するアプリケーションマネージャー向けの情報については、「リスクアセスメントアンケートへの回答」および「コントロール証明書サーベイの実施」トピックを参照してください。

情報ポートフォリオ

情報ポートフォリオを使用して、組織の資産から情報オブジェクトとして情報をキャプチャします。情報資産を分類し、そのビジネスアプリケーションの用途を決定できます。データが存在するさまざまなレイヤーを接続して、レイヤーをマッピングすることもできます。マッピングは、情報の取得や、情報フローの追跡に役立ちます。

情報ポートフォリオデータモデル

情報ポートフォリオの基本的なデータモデルは、情報オブジェクトとデータドメインという 2 つのテーブルの導入です。

- 情報オブジェクトは、情報を整理された形式で表示する構成アイテムです。情報オブジェクトの目的は、アプリケーションとデータベースの間で交換されるデータ (または情報) のタイプを論理的に記述することです。データベースは、アプリケーションにデータを提供します。
- データドメインは、情報オブジェクトを分類します。

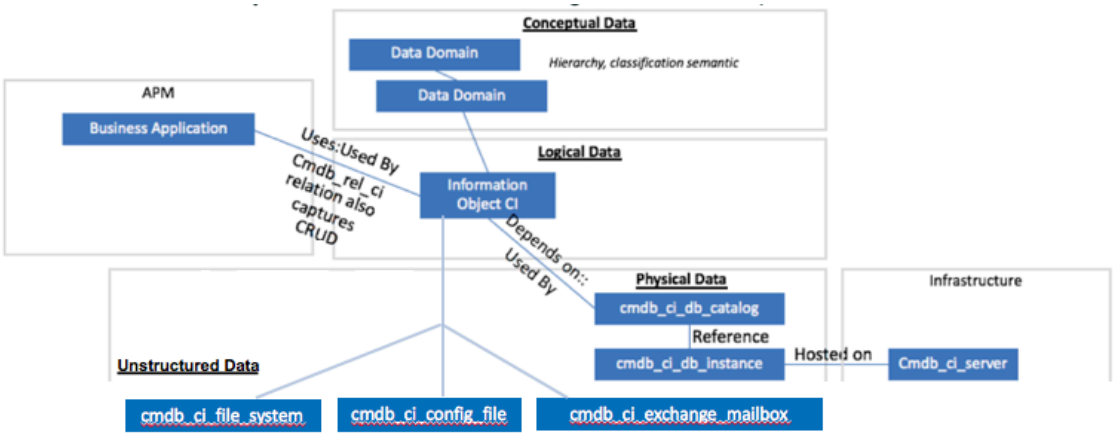
アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) は、ビジネスアプリケーションをデータベースに関連付けることにより、情報ポートフォリオと統合します。データベースは、情報オブジェクト [cmdb_ci_information_object] テーブルと呼ばれる中間の cmdb CI クラスを使用して、アプリケーションに情報を提供します。

ビジネスアプリケーションは、Uses::Used by cmdb CI 関係を確立することによって、情報オブジェクトに関連付けられます。情報オブジェクトは、Depends on::Used by cmdb CI 関係を確立することによって、データベースカタログとインスタンスにリンクされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報ポートフォリオデータモデル



APM は、データベースアプリケーション、データベースインスタンス、およびデータベースカタログを検索する ServiceNow ディスカバリー と統合されています。データベースカタログには、データベースのインスタンスで検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースが一覧表示されます。

プラグインのアクティブ化手順

CMDB プラグインには情報オブジェクト (cmdb_ci_information_object) CI があります。APM プラグインがアクティブ化されると、データドメインフィールドが cmdb_ci_information_object テーブルに追加されます。データドメインフィールドは、APM プラグインに含まれているデータドメインテーブルを参照します。

関連情報

- データドメインを作成する
- データドメインを参照する情報オブジェクトを作成する
- ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付ける
- 情報オブジェクトをデータベースカタログに関連付ける
- ビジネスアプリケーションを別のビジネスアプリケーションに関連付ける

ドメイン分離と アプリケーションポートフォリオ管理

ドメイン分離は アプリケーションポートフォリオ管理 でサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

Application Portfolio Management でのドメイン分離の動作

APM のドメイン分離は「データのみ」レベルですが、ドメイン分離を使用する際に役立ついくつかの要素があります。

- データはドメイン分離できます。
- ドメイン列はベースシステムのアプリケーションテーブルおよび APM テーブルに存在します。
- インスタンスオーナーによって、ドメインが作成され、ドメイン固有の構成が管理されます。
- テナントドメインは、独自のアプリケーションデータを管理できます。
- アプリケーションプロパティはドメインに関連付けられています。
- インスタンスオーナーは、ビジネスロジックとプロセスをドメイン分離することができます。ビジネスルールとポリシーは、テナントによって、特定のドメイン内で作成できます。
- ビジネスロジックとプロセスはテナントドメインによって管理できます。

関連情報

APM ユーザー向けのドメイン分離の設定

Application Portfolio Management プラットフォームアナリティクスソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

プラットフォームアナリティクスソリューション

ダッシュボードの プラットフォームアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。プラットフォームアナリティクスソリューション を使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。いつでも独自のオブジェクトを作成することもできます。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

の Application Portfolio Managementソリューションプラグインを有効にするには、管理者は次の場所に移動します システム定義 > プラグイン Performance Analytics - コンテンツパック - Application Portfolio Management プラグインを有効化します。

関連情報

プラットフォームアナリティクスソリューション

Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予測インテリジェンス **for** アプリケーションポートフォリオ管理

Application Portfolio Management 用 Predictive Intelligence は、機械学習アルゴリズムを使用して、オンボーディングされる新しいアプリケーションのデータ結果を予測、提案、および推進します。

アプリケーション類似性機械学習ソリューションは、ビジネスアプリケーションの登録フォームにビジネスアプリケーションの名前とメリットを入力すると、ビジネスアプリケーションのカテゴリを予測して提案します。

Application Portfolio Management 用 Predictive Intelligence には、次のメリットがあります。

- インスタンス内のデータを使用するため、機械学習ソリューションの提案がより正確になります。
- ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app] 内の既存のアプリケーションの名前と説明に基づいて、新しいアプリケーションの類似性定義を提供します。
- オンボーディングするアプリケーションのカテゴリを提案し、適切なカテゴリにソートできるようにします。アプリケーションを分類することは、APM インベントリの目的と主要なビジネス機能を定義するために重要です。
- ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスによって提供されるビジネスアプリケーションの登録機能を拡張します。

Application Portfolio Management 用 **Predictive Intelligence** のソリューション定義

Application Portfolio Management 用 Predictive Intelligence のソリューション定義は、Application Portfolio Management - Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.apm.predictive_intelligence) で利用できます。詳細については、「Application Portfolio Management の有効化」を参照してください。

Application Portfolio Management のソリューション定義

ソリューション定義	ソリューション タイプ	説明
ビジネスアプリケーション類似性	類似性	[ビジネスアプリケーション名 **(Name of the business application)**] フィールドと [ビジネスアプリケーションのメリット **(Benefit of the business application)**] フィールドで提供された説明から、[ビジネスアプリケーションのカテゴリ **(Category of the business application)**] フィールドを予測します。

予測精度の維持

ビジネスアプリケーションテーブルにさらに多様なデータがある場合は、機械学習ソリューションが既存のレコードを収集して新しい類似レコードと比較する可能性が高くなります。したがって、要求者が入力した名前と説明からビジネスアプリケーションを分類した場合の予測結果は、より正確になる可能性があります。

ベースシステムによって提供されるビジネスアプリケーション類似性モデルの類似性定義を再トレーニングすることで、予測ドリフトを管理できます。機械学習 (ML) ソリューションがトレーニングされたら、Predictive Intelligence API をコールしてソリューション予測を行うことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

APM 予測インテリジェンスワークベンチ

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) 予測インテリジェンスワークベンチ は事前に構築されたユースケーステンプレートを提供し、ビジネスアプリケーション用のインテリジェントなプロセスを作成するための予測型機械学習の実装をガイドします。ビジネスプロセスアーキテクトは、事前に構築された機能を使用します。これには、機械学習のユースケースを開始するためのトレーニング済みモデルが含まれます。

APM 予測インテリジェンスワークベンチ には、事前に構築されたユースケーステンプレートが含まれ、ビジネスアプリケーションに付加価値を与える以下のプロセスを体系的にガイドします。

- 新しい予測モデルを作成しトレーニングします。
- 予測モデルを評価およびテストします。
- 予測モデルをビジネスプロセスに追加します。

カスタムユースケースはトレーニング後、すぐに使用可能になります。APM 予測インテリジェンスワークベンチ の使用に際して、人工知能や機械学習に関する事前の知識や経験は不要です。

アプリケーションには、独自の予測モデルの作成、トレーニング、評価、テスト、作成に役立つ事前に構築されたガイダンスを備えたテンプレートが含まれています。

アクティベーション情報

予測インテリジェンスワークベンチ を使用する前に、APM 用 Predictive Intelligence (com.snc.apm.predictive_intelligence) プラグインを有効化します。

アプリケーションポートフォリオ管理 データの **Microsoft PowerPoint** へのエクスポート

アプリケーションポートフォリオ管理 インスタンスから Microsoft PowerPoint ファイルとしてステータスレポートを生成してダウンロードします。このレポートをステークホルダーやチームと共有してコラボレーションを行うことができます。

ステークホルダーが ServiceNow インスタンスにアクセスできないか、Microsoft PowerPoint を使用して重要な情報を消費することを希望する場合があります。Microsoft PowerPoint を介して、重要なアプリケーションポートフォリオのステータスと健全性の詳細をステークホルダーに伝えることができます。すべてのデータを手動で収集する代わりに、ServiceNow インスタンスから Microsoft PowerPoint にデータをエクスポートできます。

重要:
Export to PowerPointは現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

次のアプリケーションポートフォリオステータスデータをエクスポートできます。

- アプリケーション状況
  - インストールタイプ別のアプリケーションポートフォリオ
  - プラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ
  - テクノロジースタック別のアプリケーションポートフォリオ
  - カテゴリ別のアプリケーションポートフォリオ
  - アプリケーションファミリ別の最も使用されているアプリケーション
  - インストールタイプとプラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ
- 機能の状況

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アセスメント別の機能 (上位スコアリング機能)
- アセスメント別の機能 (下位スコアリング機能)

APM の Export to PowerPoint 機能では、Application Portfolio Management プラグイン (com.snc.apm_ppt_export) に Export to PowerPoint を使用します。このプラグインは、ベースプラグイン Export to PowerPoint (com.snc.sn_ppt_export) に依存します。APM で Export to PowerPoint 機能を使用するには、APM と PowerPoint の両方のプラグインがインストールされていることを確認します。ベースプラグイン、テンプレートの作成、およびレポートタイプの詳細については、「戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint .

関連情報

Microsoft PowerPoint へのデータのエクスポート

アプリケーションポートフォリオ管理 の構成

アプリケーションポートフォリオ管理 のセットアップに必要なプロセスを学び、組織で使用されているアプリケーションを包括的に把握します。

アプリケーションポートフォリオ管理 の有効化

管理者は アプリケーションポートフォリオ管理 プラグインをアクティブ化できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
アプリケーションポートフォリオ管理 (com.snc.apm) プラグインは、アプリケーションの基本的なプラグインです。

Application Portfolio Management プラグインは、以下の関連プラグインをアクティブ化します (まだアクティブ化されていない場合)。

プラグイン	説明
Application Portfolio Management – Predictive Intelligence (com.snc.apm.predictive_intelligence)	ビジネスアプリケーション関連データに類似性などのアルゴリズムを適用して、アプリケーションカテゴリを予測します。
事業計画者 (com.snc.apm.business_planner)	事業計画立案ポータルにアクセスします。
デマンドコア (com.snc.demand_core)	Demand Management の基本的なコアコンポーネントをアクティブ化します。
会計カレンダー (com.snc.fiscal_calendar)	会計カレンダーを作成および管理します。 **注:** APM は、会計カレンダータイプの [標準] のみをサポートしています。
Performance Analytics – コンテンツパック – Application Portfolio Management (com.snc.pa.apm) プラグイン	Performance Analytics を使用して開発された以下のものを表示します。 • 状況ページでのアプリケーションの分析 • ダッシュボードでのアプリケーションインジケータースコア • アプリケーション 360

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラグイン	説明
	このプラグインは、次の 2 つの PA プラグインをアクティブ化します。 • Performance Analytics – コンテンツパック – Application Portfolio Management および Change Management (com.snc.pa.apm.change_request) プラグイン：変更要求に関連付けられたビジネスアプリケーションのパフォーマンス分析測定基準にアクセスします。 • Application Portfolio Management、Performance Analytics、Performance Analytics – コンテンツパック – Problem Management (com.snc.pa.apm.problem) プラグイン：問題管理 に関連付けられたビジネスアプリケーションのパフォーマンス分析測定基準にアクセスします。
Service Portal のバブルチャートウィジェット (com.snc.sp_workbench_widgets)	バブルチャートのサービスポータルコンポーネント (ウィジェットと依存関係) にアクセスします。
ツリーマップ (com.snc.treemap)	任意のアプリケーションでツリーマップビューのサポートを有効にします。

APM モジュールの特定の機能には、次のプラグインが必要です。

Application Portfolio Management – ATF テストプラグイン (com.snc.apm.atf) プラグイン

アップグレードの適用やアプリケーションの開発などの構成変更を行った後に、Application Portfolio Management とその動作を検証します。

Application Portfolio Management の読み取り専用ロールプラグイン (com.snc.apm_read_roles)

レポートとダッシュボードのデータ取得に使用するテーブルのレコードを表示または読み取ります。

Application Portfolio Management コアプラグイン (com.snc.apm_core)

新しいビジネスアプリケーションを登録します。このプラグインは基本アプリケーションに含まれます。Application Portfolio Management プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると、ビジネスアプリケーションの登録機能が拡張され、アプリケーションを APM インベントリにオンボーディングするときに、機械学習ソリューションを使用してアプリケーションカテゴリを予測および提案できるようになります。

ドメインサポート – ドメイン拡張インストーラーシステムプラグイン

APM のドメイン分離機能を有効にします。

APM 用 Performance Analytics プレミアム版 (com.snc.pa.premium.apm) プラグイン

6 か月以上経過した履歴データを取得します。

追加機能を利用するには、次のプラグインをアクティブ化します。

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo)

Project Portfolio Management と IT ソフトウェア開発のためのアプリケーション統合セットをアクティブ化します。

APM 用 Financial Management (com.snc.financial_management_for_apm)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Financial Management を Application Portfolio Management と統合し、事前設定されたビジネスアプリケーション原価計算のコストモデルとコストインジケーターを提供します。

Application Portfolio Management に関連付けられた Financial Management の Performance Analytics ダッシュボードを有効にするために、このプラグインは次のプラグインも有効にします。

Performance Analytics — コンテンツパック — Financial Management for Application Portfolio Management (com.snc.pa.fm.apm)。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

次のタスク
APM Guided Setup を使用して、Application Portfolio Management を設定します。

アプリケーションポートフォリオ管理

sn_apm.apm_admin ロールを使用して、企業で使用されるアプリケーションを分類できます。また、特定のタスクを実行する権限をユーザーに付与したり、アプリケーションのユーザビリティを評価するためのインジケーターを設定したり、アプリケーションを維持するための戦略を定義するために役立つバブルチャートを作成したりすることもできます。

管理者権限では、アプリケーションをグループ化するためのアプリケーション分類属性、アクセスレベルを提供してタスクをアサインするためのユーザーとロール、アプリケーションを評価するためのアプリケーションアセスメントインジケーター、アプリケーション戦略を推奨するバブルチャートを設定できます。これらのセットアップは、アプリケーション分類とインベントリの維持、ユーザーへの特定タスクの実行権限の提供、インジケーターによるアプリケーションユーザビリティ評価、組織目標の計画と実行の戦略の推奨に役立ちます。

アプリケーションポートフォリオ管理 製品ビュー

APM を使用して、組織のアプリケーションを包括的に把握することで、冗長なものを特定して予算コストを削減できます。この製品ビューの目的は、APM 主要エンティティがコア CSDM フレームワークでどのように機能するかを理解することです。

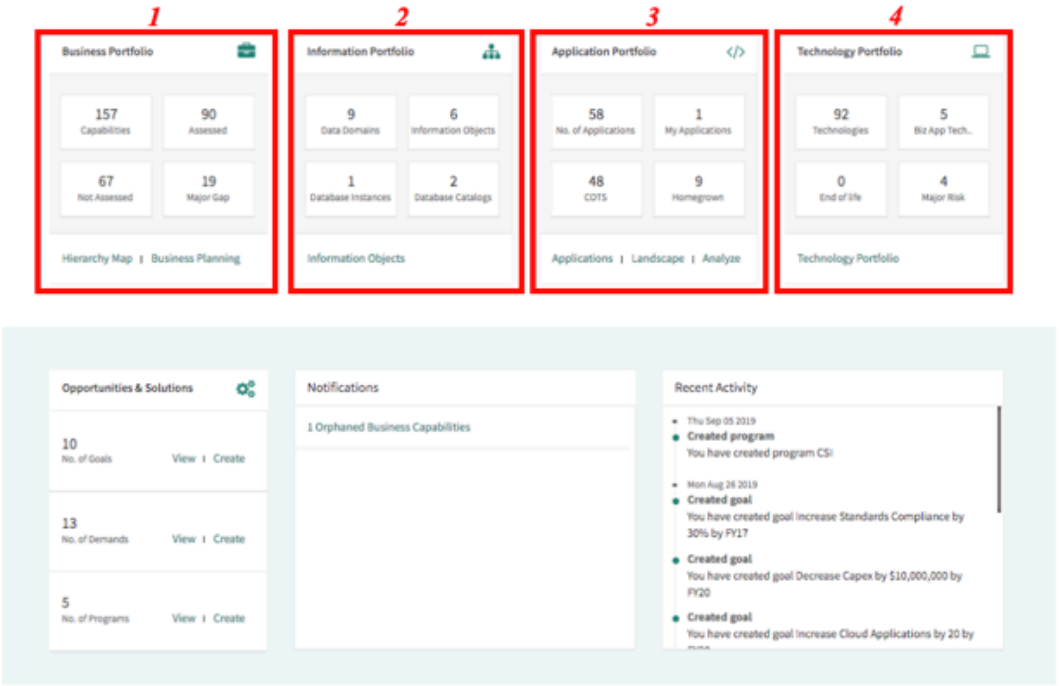
注:
CSDM 4.0 以降のバージョンを使用していない場合は、CSDM について Rome のドキュメントを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

APM ホームページ

APM ホームページには、APM によって使用される CSDM テーブルの多くが整理されています。



ビジネスポートフォリオ

評価済みまたは評価される予定の定義済みのビジネス機能の数、および機能をサポートしているがリスクにさらされているビジネスアプリケーションの数を表示します。

ケイパビリティマッピングを使用してビジネス機能とビジネスアプリケーション間の構成アイテム (CI) の関係を確立する方法の詳細については、[product] を参照してください。

情報ポートフォリオ

資産情報を情報オブジェクトとしてキャプチャします。情報オブジェクトをビジネスアプリケーションに接続して、いつでも使用できるアプリケーションポートフォリオを作成できます。

情報ポートフォリオは、次のデータにリンクされています。

- データドメイン：データドメインテーブル [sn_apm_data_domain] 内のレコードの合計数。
- 情報オブジェクト：情報オブジェクトテーブル [cmdb_ci_information_object] 内のレコードの合計数。
- データベースインスタンス：データベースインスタンステーブル [cmdb_ci_db_instance] 内のレコードの合計数。
- データベースカタログ：データベースカタログテーブル [cmdb_ci_db_catalog] 内のレコードの合計数。

情報ポートフォリオと情報ポートフォリオモデルの詳細については、[product] を参照してください。

アプリケーションポートフォリオ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネス機能をサポートするアプリケーションを追跡し、効果的に管理して組織の目標を達成します。ポートフォリオは、カテゴリ、メーカー、タイプなどの情報を含むアプリケーションのリストを提供します。[アプリケーション] を選択して、組織内のビジネスアプリケーションのリストビューに移動します。

アプリケーションのユーザビリティ、コスト、品質、パフォーマンス、およびリスクの測定の詳細については、[product] を参照してください。

技術ポートフォリオ

アプリケーションのユーザビリティ、コスト、品質、パフォーマンス、およびリスクを測定する測定基準を使用します。

技術ポートフォリオ管理の概要およびビジネスアプリケーションとの関係の詳細については、[product] を参照してください。

アプリケーションポートフォリオ管理 および **CSDM** テーブル

アプリケーションポートフォリオ管理 は CSDM テーブルを管理および使用します。いくつかの ServiceNow 製品は、APM のメリットを活用し、それに対して価値を付加します。

APM によって管理される **CSDM** テーブル

1. ビジネス機能テーブル [cmdb_ci_business_capability]
2. ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app]。

   注:

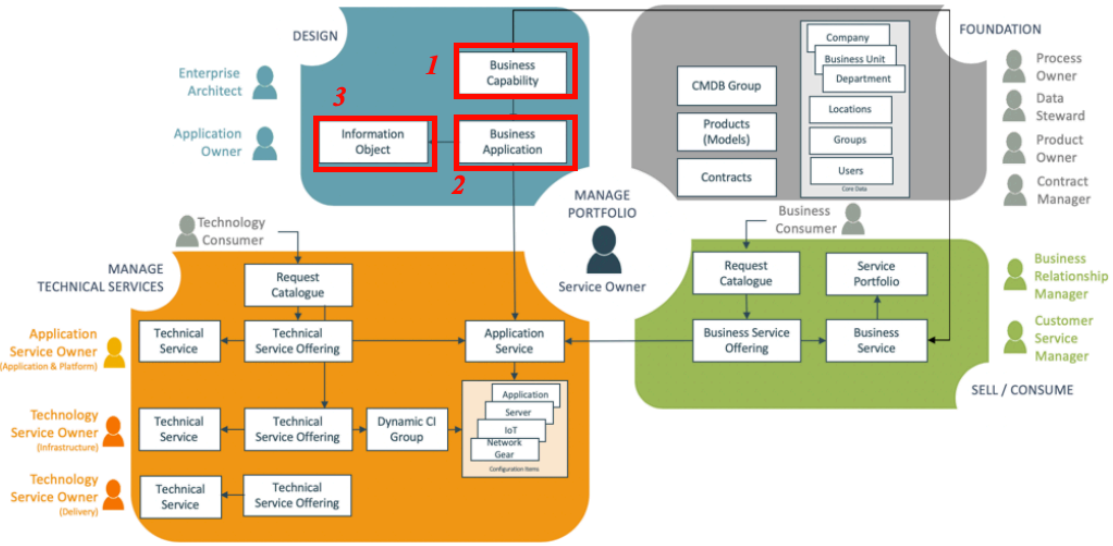
   APM では、ビジネスアプリケーションテーブルの [プラットフォーム] および [プラットフォームアプリ] フィールドを使用して、ビジネスアプリケーションと基礎となるアプリケーションサービス間の関係を確立します。APM は CI 関係ではなく、APM フォームの参照を使用してプラットフォームホスト/プラットフォームアプリの関係を管理します。

   この関係では、計画と設計で使用されるビジネスアプリケーションのレコードが、アプリケーションサービスによってどの分野でどのように運用され実現されるのかに関連付けられます。この関係は、開発、テスト、および本番環境 (開発、テスト、および本番アプリケーションサービスインスタンス) でのビジネスアプリケーションのすべての使用を明らかにします。多くの場合、複数の本番展開があります。たとえば、大規模な小売業者は、1,000 店舗それぞれでレジを実行するビジネスアプリケーションを使用します。したがって、その 1 つのビジネスアプリケーションに対して、アプリケーションサービスの本番インスタンスが 1,000 (店舗ごとに 1 つ) あることになります。関係の詳細については、「CSDM の概要」ビデオをご覧ください。

3. 情報オブジェクトテーブル [cmdb_ci_information_object]

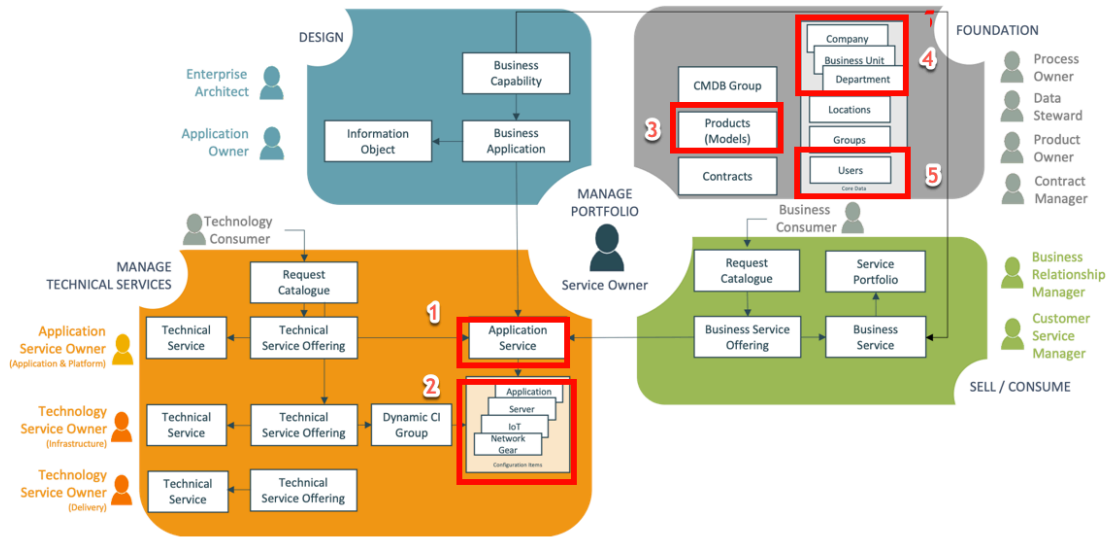
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



APM によって使用される CSDM テーブル

1. マッピング済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered]
2. 構成アイテムテーブル [cmdb_ci*]
3. ビジネス機能テーブル [cmdb_ci_business_capability]
4. ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app]
5. 情報オブジェクトテーブル [cmdb_ci_information_object]
6. SDLC コンポーネントテーブル [cmdb_ci_sdlc_component]



APM に付加価値を提供する製品

APM を以下のいずれかの ServiceNow 製品と併用すると、APM の価値をさらに高めることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ディスカバリー は、使用しているハードウェアおよびソフトウェア CI の詳細を提供します。
- サービスマッピング は、[cmdb_ci_service_discovered] テーブル内のアプリケーションインスタンスサービス、関連するインフラストラクチャおよびアプリケーション [cmdb_ci_appl] CI の詳細を提供します。
- 資産管理は、関連する製品モデルを提供します。ソフトウェア資産管理 (SAM Foundation) およびハードウェア資産管理 (HAM) は、テクノロジーポートフォリオ管理 のライフサイクルデータを提供します。
- プロジェクトポートフォリオ管理 は、ビジネスアプリケーションロードマップを表示します。デマンド、プロジェクト、スプリント、エピックが含まれます。
- Agile Development は、アプリケーションロードマップ内の各ビジネスアプリケーションのバックログストーリーとエピックを表示します。

APM からメリットを得る製品

次の ServiceNow 製品は、APM により価値が向上します。

- IT Service Management (ITSM)：サービスには、ビジネスとアプリケーションのコンテキストと、その下に階層化された情報とテクノロジーがあります。
- Information Technology Operations Management (ITOM)：管理対象のハードウェアおよびソフトウェアとともに、アプリケーションサービスのビジネスコンテキストを理解します。
- ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC)：監査人は、ビジネスアプリケーションおよび関連する情報オブジェクトを活用できます。これは、監査人が、監査のスコーピング、リスクの測定、および監査アクティビティの管理のための設計時のデータ機密性を理解するために役立ちます。
- 資産管理：ビジネスアプリケーションとビジネスサービスのソフトウェアとハードウェアのライフサイクルを管理します。

アプリケーションポートフォリオ管理 のユースケース

APM では、計画とレポートに使用されるすべてのインスタンス、テクノロジー、およびデータを表す、バージョンに依存しない単一のエンティティを定義できます。

APM のユースケース

ビジネスアプリケーションは、資金調達、ロードマッピング、リスクレポートなどの計画およびガバナンスアクティビティに使用できます。ビジネスアプリケーションの合理化は継続的なプロセスであり、コストを削減し、テクノロジーの変革を計画するために非常に重要です。ビジネスアプリケーションの合理化は、合併、売却、またはその他の広範囲に影響するビジネス主導の変更を完了するためにも重要です。

APM ユースケースの主な機能

CMDB は、CSDM フレームワークで使用される場合、次の方法で APM に価値を提供します。

- アプリケーションライフサイクル管理。これには以下の操作が含まれます。
  - 新しいビジネスアプリケーションの登録 (ベースシステムに含まれる)。
  - ビジネスアプリケーションの更新
  - 関連するすべてのアプリケーションサービスとインフラストラクチャを含む、ビジネスアプリケーションのデコミッション。アプリケーションサービスは論理的なものであるため、論理ライフサイクルステータスを使用する必要があります。アプリケーションサービスは、他の論理 CI と同じライフサイクルガイダンスに従います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 測定基準または関連する影響度に基づくビジネスアプリケーションポートフォリオのアセスメント。
- ロードマップの計画と新しいアイデア、デマンド、プロジェクトの作成。
- データ認定プロセス
- 総所有コスト (TCO) の計算 (ファイナンシャルマネジメント モジュールを使用)
- 次の関連エンティティを管理します。
  - 情報オブジェクトテーブル [cmdb_ci_information_object]
  - ビジネス機能テーブル [cmdb_ci_business_capability]

APM ユースケースの結果

このユースケースでは、CSDM はビジネスアプリケーションをモデル化し、重要なデータを関連付けるための一貫した方法を APM に提供します。ユースケースでは、アプリケーションサービス (インスタンス) が、テクノロジーリスクスコア、コスト、および分析に使用されるその他の測定基準を自動化するために必要なように定義されていることを確認します。

TPM のユースケース

TPM を使用すると、サポート終了 (EOL) の日付になったソフトウェアとハードウェアの使用に関連するリスクをよりよく理解できます。CSDM フレームワークによって提供される詳細を使用して、EOL になったソフトウェアとハードウェアを使用することのリスクを判断できます。各製品ライフサイクルの EOL 日付が計算され、CSDM フレームワークに従って組み合わされて、ビジネスアプリケーションレベルのスコアが提供されます。

TPM ユースケースの結果

CSDM フレームワークは、一貫したデータ構造を提供します。この一貫したデータ構造により、テクノロジーのライフサイクルを管理し、組み合わされたテクノロジーリスクを容易に分析できるようになります。

CSDM フレームワークの構成方法により、ITOM、サービス管理 (サービスポートフォリオ管理 (SPM))、および IT Application Management (ITAM) の多くの製品を活用できます。

EOL テクノロジーを使用するリスクは、「」で CMDB特定された各ソフトウェアおよびハードウェア製品モデルのライフサイクルに基づいて計算され、ソフトウェアおよびハードウェア製品モデルと照合されます。

ライフサイクルデータを手動で入力するか、外部ソースからインポートするか、ソフトウェア資産管理プロ または ハードウェア資産管理 のライセンスで提供されたデータを使用することができます。

リスクが計算され、階層で表示されます。ビジネスアプリケーションは最上位レベル、SDLC コンポーネントはビジネスアプリケーションの下にあり、アプリケーションサービスは各展開 (インスタンス) を示し、ソフトウェアと製品モデルは最下位レベルにあります。リスクは以下に示す順序で計算され、現在の日付から EOL の日付までの期間に基づいています。

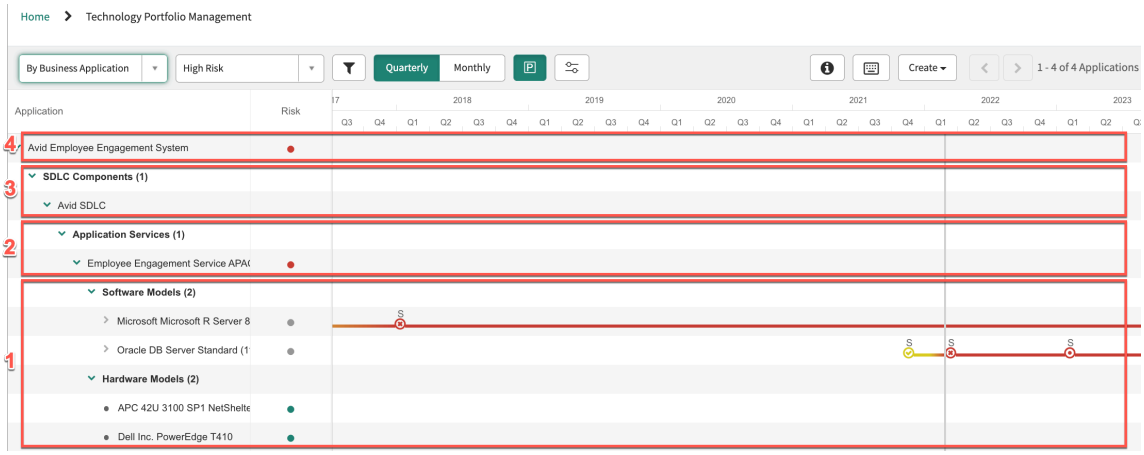
注:
SDLC コンポーネントの設定はオプションです。SDLC コンポーネントを構成しなくても、ビジネスアプリケーションをアプリケーションサービスに直接接続することは可能です。

自動翻訳

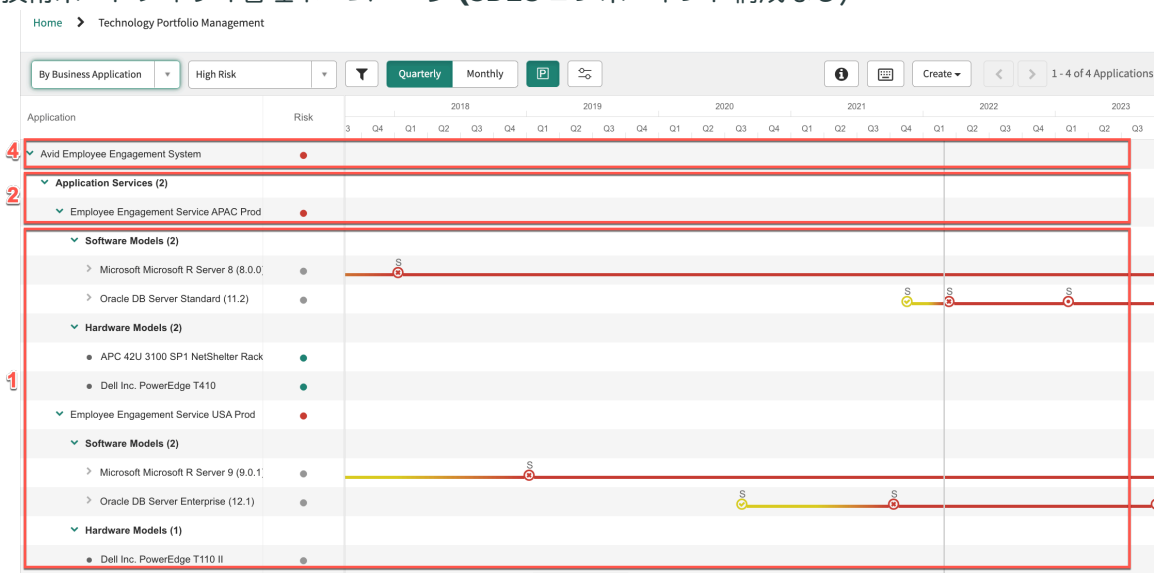
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. ハードウェアおよびソフトウェア製品モデル：現在のライフサイクルフェーズとソースを表示し、リスクのある特定のモデルを示します。
2. アプリケーションサービスレベル：アプリケーションサービス (インスタンス) で使用されている、基礎となるすべてのハードウェアおよびソフトウェア製品モデルの組み合わせのリスクステータスを表示します。
3. SDLC コンポーネント：すべての SDLC コンポーネントと、関連付けられたアプリケーションサービスおよびビジネスアプリケーションを表示します。
4. ビジネスアプリケーションレベル：基礎となるすべてのアプリケーションサービス (インスタンス) を組み合わせて、ポートフォリオレベルでの全体的なリスク評価を判断します。

技術ポートフォリオ管理ホームページ **(SDLC** コンポーネント構成あり)



技術ポートフォリオ管理ホームページ **(SDLC** コンポーネント構成なし)



次の情報は、ビジネスアプリケーションとそのインストール済みアプリケーションサービス (インスタンス) に対する EOL の影響を判断するために使用されます。

- 組織で使用されているビジネスアプリケーションはすべて、1 つ以上のアプリケーションサービスにリンクされています。各アプリケーションサービスは、1 つ以上のテクノロジーモデルまたはソフトウェアモデルで実行されます。

  アプリケーションサービスソフトウェアモデルテーブルの名前は [sn_apm_tpm_service_software_model] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェアモデルには、一連のライフサイクルステージがあります。これらのライフサイクルステージは、インストール日から廃止日までの範囲です。

  一部のビジネス組織は、ソフトウェアモデルのライフサイクルフェーズに基づいて内部の日付を設定します。これらのソフトウェアモデルのフェーズには、早期導入、メインストリーム、使用の減少、および廃止があります。

  同様に、ソフトウェアベンダーは、プレリリース、一般提供、提供終了、使用停止などのベンダーライフサイクルフェーズに基づいて、ソフトウェアの日付を設定します。ベンダーからのサポートは、技術のフェーズによって異なる場合があります。たとえば、ソフトウェアモデルが使用停止フェーズに達すると、ベンダーは技術のサポートを停止する場合があります。

  ソフトウェアモデルのライフサイクルテーブルの名前は [sam_sw_model_lifecycle] です。

アプリケーションポートフォリオ管理 の考慮事項

CSDM フレームワークを実装する際は、次の点を考慮してください。

- ビジネスサービスは、IT 部門が顧客に提供するものです。ビジネスサービスは、ビジネスユーザーに対して公開されるサービスのタイプです。ビジネスサービスは通常、1 つ以上のビジネス機能を実装します。

  ビジネスユーザーは通常、ビジネスサービスを注文します。ビジネスユーザーは、サービスカタログ を使用して目的のオファリングとサービスコミットメントレベルを選択できます。たとえば、調達、出荷、経理などです。

  - ビジネスサービスは運用 CI です。
  - ビジネスサービスは、複数のビジネスサービスの 1 階層ではなく、1 レベルのサービスである必要があります。
  - ビジネスサービスは、インシデント、問題、および変更における影響度と、変更の承認に使用できます。
  - ビジネスサービスは、コンシューマーまたは販売者にフォーカスしたものでなくてはなりません。

- ビジネス機能とは、ビジネスモデルをサポートしたり組織のミッションを完遂したりする高レベルの機能です。

  ビジネス機能は通常、1 つ以上のビジネス成果を達成する特定のタスクを表します。多くの場合、ビジネス機能は動作 (財務管理や IT サポートサービスの提供など) として表示されます。これらのビジネス機能を使用して、ビジネスアプリケーションとビジネスサービスのコストを合理化し、優先順位付けすることができます。

- テクノロジーポートフォリオ管理 の使用：Software Asset Management Foundation プラグイン は、テクノロジーポートフォリオ管理 で使用するライフサイクルデータを提供します。ただし、そのデータを手動で管理することも、別のソースから取得することもできます。両方の製品は、基礎となるテーブルを共有していますが、独立しており、それぞれ単独で使用できます。
- アプリケーションポートフォリオの管理の詳細については、「Application Portfolio Management - インベントリのベストプラクティス」を参照してください。
- アプリケーションとビジネスアプリケーションは、異なるテーブルを使用し、異なる要素を表します。

  ビジネスアプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app] を使用します。
- 使用中のアプリケーションサービス、環境、ソフトウェア、およびハードウェアで構成されるアプリケーションの単一の論理的な構成を表します。

アプリケーション

- アプリケーションテーブル [cmdb_ci_appl] を使用します。
- サーバーで使用されている特定のバージョンのソフトウェアを表します (多くの場合、ディスカバリー または System Center Configuration Manager (SCCM) によって入力されます)。

APM の詳細については、「APM: Application Inventory - Most common questions. (APM：アプリケーションインベントリ - 最も一般的な質問)」を参照してください。

アプリケーション分類

アプリケーションをグループとカテゴリに分類すると、組織でのアプリケーション追跡と比較に役立ちます。アプリケーション間の関係性や冗長性をより容易に特定できます。また、完全なアプリケーションインベントリを構築し、アプリケーションをビジネス機能にマッピングすることもできます。

アプリケーションを分類およびグループ化するために、次の属性を設定します。

アプリケーションカテゴリ

この属性は必須です。これは、アプリケーションの合理化を決定するために使用できるグループ化属性です。通常、この属性を使用して、ビジネスプロセスまたは部門で使用されるアプリケーションをグループ化できます。アプリケーションは、重複する機能やまたは補完的な機能を持つことがありますが、それらは同じビジネス機能の一部であるため、アプリケーションの合理化を行う際に、一緒にレビューする必要があります。アプリケーションカテゴリレベルで要約された情報を使用して、さまざまな測定基準でカテゴリ内のアプリケーションを比較できます。

カテゴリグループ

この属性はオプションです。これは、アプリケーションカテゴリのフィルタリングとレポートのためのグループ化属性です。

アプリケーションファミリ

このオプションの属性を使用して、製品のメーカー分類によってアプリケーションをさまざまな製品スイートにグループ化できます。

ビジネスプロセス

この属性は、主にフィルタリングとレポートに使用されるオプションの属性です。ビジネスプロセスのレベル 1 (L1) とは、組織の事業運営の概要を表す非常におおまかなレベルです。L1 ビジネスプロセスに、観念的にタグを付けることができます。たとえば、Oracle Order Management は、ビジネスプロセス「Quote to Cash」にタグ付けできます。アプリケーションとビジネスプロセス間の詳細なマッピングは、CI 関係を使用して作成できます。

ソフトウェア モデル

この属性はベースインスタンスで使用でき、メーカー、バージョン、リリース日、提供終了日などのソフトウェア仕様が含まれています。ビジネスアプリケーションは、対応するソフトウェアモデルレコードを参照して、ソフトウェア仕様を自動的に取り込みます。

アプリケーション分類の例を確認するには、「アプリケーション分類の例」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションカテゴリグループの追加または編集

アプリケーションカテゴリグループは、アプリケーションカテゴリのコレクションです。カテゴリグループは、アプリケーションカテゴリのフィルタリングとレポートに役立ちます。アプリケーションカテゴリグループを作成することも、既存のカテゴリグループを編集してビジネス要件に適応させることもできます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > アプリケーションカテゴリグループ.
2. [新規] をクリックして新しいカテゴリグループを作成するか、編集する既存のカテゴリグループの名前をクリックします。
3. アプリケーションカテゴリグループの名前と説明を入力します。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

アプリケーションカテゴリの追加または編集

アプリケーションカテゴリは、目的と機能、フィールド、またはエリアによってアプリケーションをグループ化したものです。このような分類は、アプリケーションの統合と、意思決定の合理化に役立ちます。アプリケーションカテゴリを作成することも、既存のカテゴリを編集してビジネス要件に適応させることもできます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
各アプリケーションに、アプリケーションカテゴリが定義されている必要があります。このフィールドは、アプリケーションの目的と、このアプリケーションがサポートする主要なビジネス機能の説明に使用されます。ビジネス機能と同様に、分類を概括的なレベルに保つことができます。たとえば、営業、人事、マーケティング、製造などです。[アプリケーションカテゴリ] フィールドは、分析ダッシュボード (ビジネス価値対技術的リスクをプロットする 2x2 マトリクス) をフィルターするために使用されます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > アプリケーションカテゴリ.
2. [新規] をクリックして新しいカテゴリを作成するか、変更する既存のカテゴリの名前をクリックします。
3. アプリケーションカテゴリの名前と説明を入力します。
4. カテゴリグループにカテゴリを追加する場合は、[カテゴリグループ] フィールドからグループを検索して選択します。
5. [送信] または [更新] をクリックします。

アプリケーションファミリの追加または編集

アプリケーションファミリは、製品のメーカー分類に基づいて一連の関連アプリケーションを製品スイートにグループ化するための属性です。アプリケーションファミリを作成することも、既存のアプリケーションファミリを変更してビジネス要件に適応させることもできます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > アプリケーションファミリー.
2. [新規] をクリックして新しいアプリケーションファミリを作成するか、編集する既存のファミリの名前をクリックします。
3. アプリケーションファミリの名前と説明を入力します。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

アプリケーションビジネスプロセスの追加または編集

ビジネスプロセスは、特定のアプリケーションサービスを遂行するために、関連する構造化されたタスクを実行する方法です。ビジネスアプリケーションのビジネス機能は、ビジネスプロセスとしてモデル化できます。特定のアプリケーションサービスの実現を支援するアプリケーションをグループ化するビジネスプロセスを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
ビジネスプロセスを作成することも、既存のビジネスプロセスを変更してビジネス要件に適応させることもできます。

ビジネスプロセスまたは機能階層は、階層形式でビジネスプロセスを順序付けてグループ化したものです。たとえば、L0、L1 プロセスなどです。

要件に基づき、ビジネスプロセスの関係を使用して、ビジネス機能階層をモデル化できます。CI 関係を使用してビジネスプロセスレコードを編集し、ビジネスプロセス階層を作成できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ 管理 > 管理 > ビジネスプロセス.
2. [新規] をクリックして新しいビジネスプロセスを作成するか、編集する既存のビジネスプロセスの名前をクリックします。
3. フィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ビジネスプロセスフォーム」を参照してください。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. このビジネスプロセスにアイテムを追加する場合は、関連アイテムの CI 関係フォーマッター を使用します。
6. [送信] または [更新] をクリックします。

アプリケーションポートフォリオの作成

ポートフォリオとは、関連するプロジェクトとデマンドのコレクションです。プロジェクトを作成して実行し、アプリケーションポートフォリオの合理化と最新化を図ることができます。アプリケーションのポートフォリオを作成し、複数のプロジェクトの成果と進捗状況を測定するデマンドと目標を設定し、さらに、分析のためにこれらのプロジェクトに関するレポートを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > ポートフォリオ.
2. **[New** (新規)] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ポートフォリオの名前と説明を入力します。
4. [ポートフォリオマネージャー] フィールドで、このポートフォリオのマネージャーの名前を検索して選択します。
5. [ポートフォリオの作成] をクリックします。

アプリケーション管理のための戦略の追加

デマンドアクションは、アプリケーションに対して実行する戦略的決定です。アプリケーションポートフォリオ管理 は、アプリケーションの機能拡張に役立つ事前設定されたアクションを提供します。要件に応じて、新しいデマンドアクションを追加できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
アプリケーション戦略に沿ったデマンドアクションを作成します。

手順
1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > デマンドアクション.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「デマンドアクションフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

ビジネスアプリケーションのライフサイクルを管理

ビジネスアプリケーションのライフサイクルを作成または編集して、ビジネスアプリケーションを適切に管理します。

始める前に
必要なロール:sn_apm.apm_analyst および sn_apm.apm_user

アプリケーションモデル (フィールド名:モデル ID) は、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルライフサイクルを作成するために重要です。

Vancouver リリース以降、アプリケーションモデルが自動的に作成され、ビジネスアプリケーションの追加時にモデル ID がビジネスアプリケーションに追加されます。

既存のビジネスアプリケーションの場合は、スクリプトを実行して *`CSDM Product Model Assignment`* モデル ID を生成できます。

手順
1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションの名前を選択して、ビジネスアプリケーションフォームを開きます。
3. [関連リンク] セクションで、[アプリケーションモデルのライフサイクル] タブを選択します。
   ビジネスアプリケーションに関連付けられたライフサイクルのリストが表示されます。
4. ライフサイクルを作成または編集します。
   - ライフサイクルを作成するには、「 新規」を選択します。
   - 既存のライフサイクルを編集するには、「 編集」**(Edit)** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [アプリケーションモデルのライフサイクル] フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「アプリケーションモデルのライフサイクルフォーム」を参照してください。

6. [送信] を選択します。

関連情報

スケジュール設定済みジョブを実行して、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルを生成する

スケジュール設定済みジョブを実行して、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルを生成する

既存のビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルを生成するスクリプトを実行します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

アプリケーションモデルは、ビジネスアプリケーションの [モデル **ID**] フィールドです。このモデルは、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルライフサイクルを作成するために重要です。既存のビジネスアプリケーションの場合は、スクリプトを実行して *`CSDM Product Model Assignment`* モデル ID を生成できます。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ジョブスケジュール.
2. スケジュール設定済みジョブ *`CSDM Product Model Assignment`*を見つけて開きます。
3. [今すぐ実行] を選択します。

タスクの結果

スクリプトの実行後、[モデル **ID**] フィールドが空である既存のビジネスアプリケーションのモデル ID が自動的に作成されます。

データ分類グループの追加

データ分類を分類するデータ分類グループを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. データ分類グループ [cmdb_data_classification_group] テーブルに移動します。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「データ分類グループフォーム」を参照してください。
   適用されたタグは、フォームの上部にさまざまな色で表示されます。
4. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ分類の追加

データ分類を作成して、情報オブジェクトに適用します。ビジネスアプリケーションで使用されるデータを効果的に制御します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. データ分類 [cmdb_data_classification] テーブルに移動します。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「データ分類フォーム」を参照してください。
   適用されたタグは、フォームの上部にさまざまな色で表示されます。
4. [送信] を選択します。

情報オブジェクトへの分類タグの適用

データ分類タグを情報オブジェクトに適用して、情報オブジェクトデータの可視性と制御を向上させます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 情報ポートフォリオ > 情報オブジェクト.
2. 既存の情報オブジェクトを開きます。
3. [分類タグを選択] リストから、情報オブジェクトデータを分類するための適切なタグを選択します。
   フィールドの詳細については、「情報オブジェクトフォーム」を参照してください。
   適用されたタグは、フォームの上部にさまざまな色で表示されます。
4. [更新] を選択します。

データ認定タスクのスケジュール

ビジネスアプリケーションテーブルのデータを定期的に認定して、ビジネスアプリケーションのインベントリを最新の状態に保ちます。ビジネスアプリケーションに依存するインジケーターが存在するため、これらのビジネスアプリケーションデータを最新の状態に保つことで、ビジネスアプリケーションを正確に評価できるようになります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
APM admin ロールを持つシステム管理者は、データ認定タスクを作成してシステムオーナーにアサインし、ビジネスアプリケーションデータを認定することができます。また、認定が必要なフィールドにフィルターを設定するには、certification_filter_admin ロールが必要です。

ビジネスアプリケーションのインベントリが 1 回作成されます。ただし、ビジネスアプリケーションテーブルのデータは非常に動的であり、時間の経過とともに変化し続けます。したがって、データを完全、正確かつ最新の状態に保つことが不可欠です。データ認定は、データを最新の状態に保つために役立つプラットフォーム機能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Application Portfolio Management (com.snc.apm) プラグインは、Data Certification (snc.certification_v2) プラグインをインストールし、個別のサブスクリプションは必要ありません。

システム管理者がデータ認定タスクをスケジュールする際に、次の事前設定された認定スケジュールを利用できます。認定スケジュールは、設定された条件に基づいて、認定タスクのセットを生成します。

- オンデマンドのビジネスアプリケーション認定/四半期ごとのビジネスアプリケーション認定：ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app] テーブルのデータを認定します。必要に応じてスケジュールを設定する場合はオンデマンドのビジネスアプリケーション認定を使用し、四半期ごとのスケジュールを設定する場合は四半期ごとのビジネスアプリケーション認定を使用します。指定された時間間隔に基づくか、オンデマンドかに応じて、いずれかのスケジュールを使用します。
- オンデマンドのアプリケーションサービスソフトウェアモデル認定：アプリケーションサービスソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_model] テーブルのソフトウェアモデルと完全バージョンフィールドを認定します。
- オンデマンドのソフトウェア製品ライフサイクル内部ソース認定：カスタムソフトウェア製品ライフサイクル [sam_custom_sw_product_lifecycle] テーブルの完全バージョンフィールドを認定します。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > 認定スケジュール.
2. [新規] をクリックして、認定スケジュールの新しいレコードを作成します。

   必要に応じて、事前設定された認定スケジュールをクリックし、レコードをレビューして、詳細を更新することもできます。

   フィールドの詳細については、「認定スケジュールフォーム」を参照してください。
3. [送信] をクリックします。
4. [更新] をクリックして変更を保存するか、[今すぐ実行] をクリックしてスケジュールを実行します。

   [今すぐ実行] をクリックすると認定インスタンスが作成され、システム管理者は [認定インスタンス] 関連リストでそのインスタンスを表示できます。また、認定インスタンスとその完了率を追跡することもできます。

   関連する認定タスク (ビジネスアプリケーションレコードのデータを検証および認定するためのもの) が [認定タスク] 関連リストに作成され、アプリケーションオーナーにアサインされます。システム管理者は、アプリケーションオーナーにアサインされたデータ認定の進捗状況を追跡することもできます。

   認定タスクが新たにアサインされたとき、再アサインされたとき、または期限切れが近づいたときに、当該タスクの保留中ステータスをメールでタスクオーナーに通知できます。

   [APM DC タスクのアサイン **(APM DC task assignment)]**、**[APM DC** タスクの再アサイン **(APM DC task reassign)]**、**[APM DC** タスクの有効期限 **(APM DC task expiry)]** などの事前設定されたメール通知を利用できます。[今すぐ実行] をクリックしてスケジュールを実行し、認定タスクに応じてこれらの通知をトリガーできます。

   これらのメール通知は、デフォルトではアクティブ化されていないので、true に設定してアクティブ化する必要があります。
5. メール通知を有効にするには、次の場所に移動します。 **Service Creator** > **Notifications**.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. APM 関連の通知レコードをクリックして開きます。
7. [アクティブ] チェックボックスをオンにすると、メール通知がアクティブ化されます。

次のタスク
認定タスクをレビューして、必要に応じて更新できます。

アプリケーション認定を表示および更新する

認定インスタンスは、認定スケジュールを実行するための認定タスクのコレクションです。作成したアプリケーションタスクをレビューし、必要に応じて更新します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順
1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > アプリケーション認定.
2. [認定インスタンス] リストで [認定インスタンス] をクリックします。
3. 必要に応じて、認定タスクの詳細を表示および更新します。
4. [認定タスク] 関連リストで認定タスクをクリックします。

次のタスク
認定を必要とし、かつこの特定の認定タスクに属するすべてのビジネスアプリケーションを表示できます。システム管理者は、データ認定プロセスを追跡し、確認済みとして認定されたビジネスアプリケーションレコードの認定フィールドと、認定に失敗した認定フィールドも表示できます。IT_application_owner は認定フィールドを認定します。

ビジネスアプリケーションテーブルのデータの認定

認定ロールを持つアプリケーションオーナーは、自分にアサインされた認定タスクを表示して、必須フィールドを認定できます。フィールドのデータを更新してから認定することもできます。

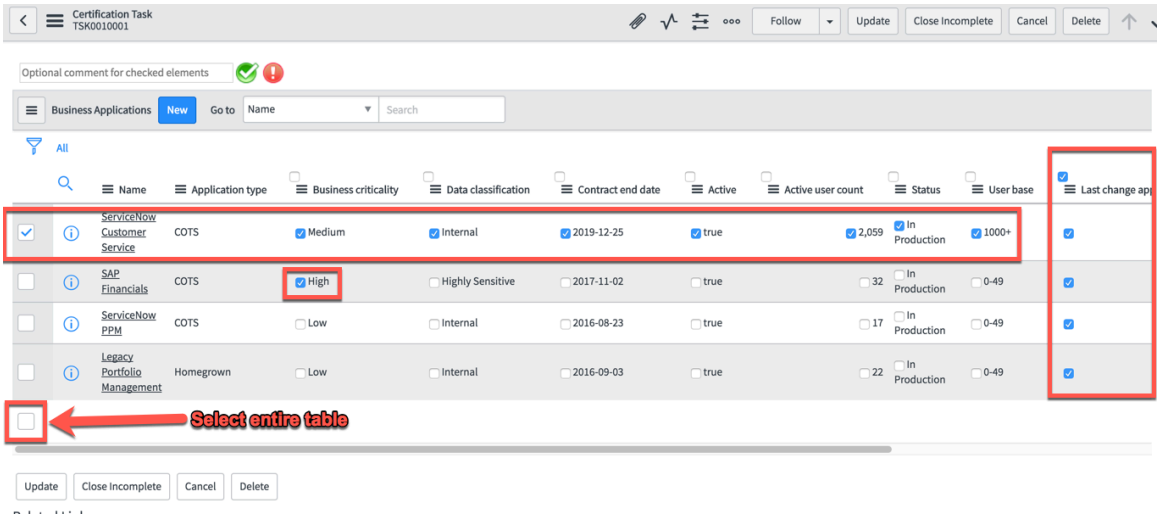
始める前に
必要なロール：certification_admin

手順
1. 移動先 すべて > データ認定 > タスク > 自分のタスク.
2. [認定タスク] リストで、認定が必要なタスク番号をクリックします。
3. フィールドを認定するには、チェックボックスをクリックします。
   フィールドのデータは、次のいずれかの方法で認定できます。
   - フィールド単位：[フィールドレベル] チェックボックスをオンにします。
   - 列単位：[列レベル] チェックボックスをオンにして、すべてのビジネスアプリケーションの特定のデータ要素を認定します。
   - 行単位：[行レベル] チェックボックスをオンにして、特定のビジネスアプリケーションのすべてのデータ要素を認定します。
   - テーブル全体：すべての行を選択するチェックボックスをオンにして、すべてのビジネスアプリケーションのすべてのデータ要素を認定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドを選択してデータを認定する方法



4. 最新でない場合は、フィールドをクリックしてデータを更新します。
5. 認定したフィールドにコメントを入力し、緑色のチェックマークをクリックしてチェックを入れた要素を認定します。

   認定を確認するメッセージが表示されます。

監査を実行して、無効および欠落している構成データを特定する

スクリプト化された監査と適切なステータス監査を実行して、構成データ内の無効な情報や欠落している情報を特定します。これらの監査は、ビジネス機能、ビジネスアプリケーション、ソフトウェアモデル、およびライフサイクル情報のギャップを見つけるのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
スクリプト化された監査を実行することで、他の構成アイテムとの関係にギャップがあるレコードを特定できます。次の関係を確立する際にこのようなギャップがあると、ビジネス機能とそれらが関連付けられているビジネスアプリケーションを現実的に評価することができません。

- ビジネス機能とビジネスアプリケーションの間。
- ビジネスアプリケーションとソフトウェアモデルの間。
- ライフサイクルデータがないソフトウェア製品。

sn_apm.apm_admin ロールを持つユーザーは、ビジネスアプリケーションを評価して、企業のビジネス機能を推定および評価するために、すべての構成アイテムを適切に関連付ける必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > 適切な状況の監査 スクリプト 化された監査です
2. 監査名をクリックします。
3. [監査を実行] をクリックします。

   監査の実行は、次を行う際に役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- それぞれの基準に一致するレコードを特定する。
- レコードの不一致に対処するタスクを作成する。
- ギャップの解決やデータ認定のために、メール通知を通じて IT ビジネスアプリケーション、ソフトウェアモデル、およびビジネス機能のオーナーに連絡する。

これらの通知への対処を容易にしてアプリケーションデータにアクセスするアプリケーション、IT ビジネスアプリケーションオーナー、ソフトウェアモデルオーナー、およびビジネス機能オーナーには、sn_apm.apm_user ロールが付与されます。このロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます コンプライアンス > 自分の後続タスク をクリックしてデータを更新します。

ライフサイクルデータがないハードウェアモデル

スクリプト化された監査は、ライフサイクルデータを持たないが、アプリケーションサービスによって使用され、ビジネスアプリケーションに関連するハードウェアモデルのレコードを取得します。監査によってタスクが生成され、ハードウェアモデルオーナーにメール通知が送信されます。

> **注:**
> システムは、ビジネスアプリケーションの本番インスタンスのライフサイクルデータのみを確認します。つまり、開発インスタンスやテストインスタンスなどの非本番インスタンスは考慮されません。

ライフサイクルデータがないソフトウェア製品

スクリプト化された監査は、ライフサイクルタイプ、そのフェーズ、ライフサイクルフェーズの開始日と終了日、リスクなどのライフサイクルデータを持たないビジネスアプリケーションが使用するすべての製品バージョンについて、そのソフトウェアモデルレコードを取得します。監査によってタスクが生成され、ソフトウェアモデルオーナーにメール通知が送信されます。

> **注:**
> システムは、ビジネスアプリケーションの本番インスタンスのライフサイクルデータのみを確認します。つまり、開発インスタンスやテストインスタンスなどの非本番インスタンスは考慮されません。

孤立したビジネス機能 (Orphaned Business Capabilities)

スクリプト化された監査は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、親機能または子機能を持たない機能、および関連付けられたビジネスアプリケーションがない機能を確認します。タスクが作成され、アサインされたタスクがビジネス機能のオーナーにメールで通知されます。

同じ階層にある複数のビジネス機能に関連するビジネスアプリケーション (Business applications related to multiple business capabilities in the same hierarchy)

スクリプト化された監査は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、同じビジネスアプリケーションが階層の同じレベルにある複数のビジネス機能に関連付けられている可能性を確認します。たとえば、BA1 が Cap 1.1.2 に関連付けられていて、Cap 1.1.2.1 にも関連付けられている状況です。ビジネス機能 [cmdb_ci_business_capability] テーブルから機能の階層レベルを把握できます。

いずれのソフトウェアモデルにも関連しないビジネスアプリケーション (Business applications not related to any software model)

監査は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、どのソフトウェアモデルにも関連していないビジネスアプリケーションを確認します。スクリプト化された監査では、ビジネスサービスの本番インスタンスのみが考慮されます。通知が IT アプリケーションオーナーに送信されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> システムはビジネスアプリケーションの本番インスタンスのみを確認し、開発インスタンスやテストインスタンスなどの非本番インスタンスは考慮しません。

どのビジネス機能にも関連していないビジネスアプリケーション (Business applications not related to any business capability)

適切なステータスの監査は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、どのビジネス機能にも関連していないビジネスアプリケーションを確認します。

どの情報オブジェクトにも関連していないビジネスアプリケーション

適切なステータスの監査は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、どの情報オブジェクトにも関連していないビジネスアプリケーションを確認します。関連のないビジネスアプリケーションが見つかった場合は、IT アプリケーションオーナーに通知が送信されます。

関係属性でキャプチャされないビジネスアプリケーションと情報オブジェクトの関係

適切なステータスの監査は、CI 関係属性 [cmdb_rel_attributes] テーブルで、ビジネスアプリケーションと情報オブジェクト間の CI 関係を確認します。関係属性が見つからない場合は、ビジネスオーナーに通知が送信されます。

ビジネスアプリケーションと情報オブジェクトの関係でキャプチャされない CRUD 情報

適切なステータスの監査は、CI 関係属性 [cmdb_rel_attributes] テーブルで、ビジネスアプリケーションと情報オブジェクト間の CI 関係を確認します。関係属性が見つかっても CRUD の修飾子プロパティ情報が空の場合、ビジネスオーナーに通知が送信されます。

どのビジネスアプリケーションにも関連していない情報オブジェクト

適切なステータスの監査は、情報オブジェクト [cmdb_ci_information_object] テーブルで、どのビジネスアプリケーションにも関連していない情報オブジェクトを確認します。このような監査はオンデマンドで実行できます。関連していない情報オブジェクトが見つかった場合は、[アサイン先] フィールドに記載されている情報オブジェクトのオーナーに通知が送信されます。

また、オンデマンドまたは四半期ごとのいずれかで認定スケジュールが実行されるたびに、アプリケーションポートフォリオ管理 ホームページに通知が表示されます。実行された認定スケジュールごとに、対応する通知エントリがホームページに表示されます。通知には、100% 完了していないオープンの認定インスタンスが表示されます。逆に、ホームページセクションには、100% 完了していて、まったく生成されていない認定インスタンスは表示されません。

現在の日付および今後 90 日以内に高リスクおよび中リスクになるソフトウェアモデルに関する通知も表示されます。本番インスタンスに関連するビジネスアプリケーションに関連付けられたソフトウェアモデルのリスク要因のみが考慮されます。通知をクリックして、ソフトウェアモデルテーブルから関連レコードを開きます。

スクリプト化された適切なステータス監査の結果は、Application Portfolio Management ホームページの [通知] セクションにも投稿されます。通知をクリックして関連タスクまたは関連データ認定タスクを開きます。

APM の類似性ソリューションをトレーニングして、登録時にアプリケーションを分類する

Application Portfolio Management 用 Predictive Intelligence に含まれるビジネスアプリケーション類似性定義をトレーニングして、ビジネスアプリケーションが登録またはオンボーディングされるときにそのカテゴリを提案します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
Application Portfolio Management – Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.apm.predictive_intelligence) が有効化されていることを確認します。

必要なロール：ml_admin

手順

1. 移動先 すべて > 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション定義.
2. 類似性定義 [ML ビュー] で、ビジネスアプリケーションの類似性 (ml_sn_sn_apm_ml_global_ba_similarity) ラベルをクリックします。
3. 類似性定義ビジネスアプリケーションの類似性 [ML ビュー] フォームで、ビジネスアプリケーションの類似性のデフォルト値を確認します。

   類似性定義フォームフィールドの詳細については、「類似ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。

   注:
   アプリケーションスコープを [Application Portfolio Management - Predictive Intelligence] に設定して、フォームを編集します。表示される警告メッセージの最後にある単語をクリックします。

   類似性定義フォーム

フィールド	定義
ラベル	類似性定義の一意の名前。
ワードコーパス	システムがテキストの類似性に基づいてインスタンスレコードを比較する際に、語彙として使用する、ビジネスアプリケーションの名前や説明に関連する単語およびフレーズのコレクション。
処理言語	ソリューション定義でトレーニングしているデータセットの主要言語。データセットの言語がイタリア語の場合は、[イタリア語] を選択します。 **注:** デフォルトでは、すべてのデータセットに英語の処理が適用されます。
ストップワード	ソリューションに関連する既存のワードコーパス。リストにストップワードを追加することもできます (例：Application など)。
トレーニング頻度	1 日 1 回または 30 日に 1 回、3 か月単位で最大 180 日まで再トレーニングするためのオプション。
更新頻度	類似性結果の取得に使用するデータのリフレッシュ頻度。

4. [更新 & 再トレーニング] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
予測をトリガーするビジネスアプリケーションの名前と説明に関連する単語やフレーズを使用して、類似性ソリューションを作成できます。また、機械学習ソリューションのトレーニング頻度を設定して、既存のレコードを収集し、類似性定義の新しいレコードと比較することもできます。

類似性ソリューションを使用して、オンボーディング中にアプリケーションを分類します。

類似のビジネスアプリケーションに基づいてアプリケーションカテゴリを提案する

類似のビジネスアプリケーションを検索してアプリケーションカテゴリを提案するために、類似のビジネスアプリケーションソリューション定義のトレーニング手順を説明するガイド付きテンプレートを使用します。

始める前に
必要なロール：piwb_manager

手順

1. 移動先 すべて > 予測インテリジェンスワークベンチ > ユースケース > テンプレートから新規作成.
2. [類似のビジネスアプリケーション] テンプレートを選択します。
3. [開始] をクリックします。
   [ユースケースセットアップ] ページが開いて、ユースケースの名前と説明が表示されます。
4. [移動 **(Take me there)**] をクリックします。
   [ServiceNow 機械学習ソリューション] ページが開き、利用可能なすべてのソリューションが表示されます。
5. 類似性ソリューションを展開して、利用可能なソリューション定義を表示します。

   類似のビジネスアプリケーションを検索するための類似性ソリューションを構成またはトレーニングします。

   - 類似のビジネスアプリケーションソリューション定義 (ml_sn_sn_apm_ml_global_ba_similarity) を構成するには、[構成] をクリックします。
   - 類似のビジネスアプリケーションソリューション定義 (ml_sn_sn_apm_ml_global_ba_similarity) をトレーニングするには、[トレーニング] をクリックします。詳細については、「APM の類似性ソリューションをトレーニングして、登録時にアプリケーションを分類する」を参照してください。

リスク計算をカスタマイズするスクリプトを構成する

リスクが次のレベルに上昇する拡張ポイントでリスク計算スクリプトを構成します。このような構成では、リスクエンジンはリスク計算のデフォルトロジックを無視し、カスタムロジックを検索します。

始める前に
必要なロール：script_include_admin

このタスクについて
API 拡張ポイントは 3 つあり、スクリプトに基づいてリスクが次のレベルに上昇します。

以下のレベルでスクリプトを構成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- sn_apm.productModelCustomRiskCalculation – リスクパラメーターレベルから製品モデル (ハードウェアモデルとソフトウェアモデル) リスクレベル：リスクがリスクパラメーターレベルから製品モデルリスクレベルに上昇するレベル。
- sn_apm.AppBusinessServicesCustomRiskCalculation – 製品モデルリスクレベルからアプリケーションサービスリスクレベル：製品モデルリスクレベルからアプリケーションサービスリスクレベルにリスクが上昇するレベル。
- sn_apm.BusinessApplicationCustomRiskCalculation – アプリケーションサービスリスクレベルからビジネスアプリケーションリスクレベル：アプリケーションサービスリスクレベルからビジネスアプリケーションリスクレベルにリスクが上昇するレベル。

手順

1. 移動先 すべて > システムの拡張点 > スクリプト化済みの拡張点.
2. [アプリケーション] 列で Application Portfolio Management アプリケーションをフィルタリングします。
3. API 名をクリックします。
4. [実装] セクションまで下にスクロールし、拡張ポイントをクリックします。
5. [クラス] フィールドの横にある [このレコードをプレビューします] アイコン ( ) をクリックします。
6. [スクリプトインクルード] ポップアップで、[レコードを開く] ボタンをクリックします。

デフォルトでは、この関数の sys_id は各 API 名について **False** を返し、リスクエンジンは APM ロジックに従ってリスクを計算します。

リスクを計算するカスタムスクリプトを構成する (例：**sn_apm.AppBusinessServicesCustomRiskCalculation)**

```
var productModelCustomRiskCalculation = Class.create();
productModelCustomRiskCalculation.prototype = {
    initialize: function() {},

    useCustomRiskForProductModel: function(productModelSysID) {
        return false;
    },

    /*
    productModelJson formats is as follows:
        {
            'productType'      : 'software_model/hardware_model',

            'riskParamJson' : { 'riskParamSysID1' : 'riskValue',
                                'riskParamSysID2' : 'riskValue',
                                'riskParamSysID3' : 'riskValue',
                                'riskParamSysID4' : 'riskValue'
                              }
        }
    */
    getProductModelRisk: function(productModelSysID, productModelJson) {
    },

    type: 'productModelCustomRiskCalculation'
};
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 製品モデルレベル、アプリケーションサービスレベル、またはビジネスアプリケーションレベルで API の sys_id に基づいて **True** を返すように関数を構成します。

   その後、リスクエンジンはカスタムロジックの API を呼び出し、このロジックに沿ってリスクを計算します。これにより、次の上位レベルでリスク計算が実行されます。

8. [更新] をクリックします。

スケジュール済みジョブを実行してリスク値を生成する

製品モデルとビジネスアプリケーションのリスクは時間に依存します。外部および内部のライフサイクルに基づいて、リスクは毎日変化するため、リスクは毎日計算する必要があります。ソフトウェアモデルとビジネスアプリケーションのリスクを計算する、毎日実行されるスケジュール済みジョブが作成されます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

製品モデルのリスクを計算するには、**[TPM** リスクパラメーターのロードとアプリケーションサービスリスクの計算] スケジュール済みジョブを毎日実行する必要があります。スケジュール済みジョブは、アプリケーションサービスリスク値を生成するスクリプトを実行します。必要に応じてスクリプトで時間を設定できます。バックエンドジョブを実行して、アプリケーションリスクのリアルタイムステータスを取得し、リスクデータをビジネスアプリケーションリスクテーブルに保存します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. **[TPM** リスクパラメーターのロードとアプリケーションサービスリスクの計算] スケジュール済みジョブを選択します。

   注:

   このジョブは、デフォルトでは非アクティブです。[アクティブ] チェックボックスをオンにすると、スケジュール済みジョブがスケジュールされた時間に実行されます。

3. [今すぐ実行する] をクリックします。

   a. スクリプトで時間を設定するには、 システムスケジューラ > スケジュール済みジョブ > スケジュール済みジョブ.
   ジョブがアクティブな場合は、ジョブを実行する時間をスケジュールできます。

   b. [*Load TPM Risk Parameters and compute Bus*] を選択します。

   c. [ジョブ定義を構成] 関連リンクをクリックします。

   d. 上部パネルのリンクをクリックして、レコードを編集します。

   e. [今すぐ実行する] をクリックします。

      スケジュール済みジョブを実行した後、エンジンはリスク値をビジネスアプリケーションリスク [sn_apm_tpm_business_application_risk] テーブルに自動的に保存します。ジョブの実行後に、毎回テーブルの値が更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. 移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM)** > ビジネスアプリケーション リスク値.

g. テーブル内の各ビジネスアプリケーションのリスクレコードを表示します。

リスク値は次のとおりです。

高
: 1 つまたは複数の関連付けられたアプリケーションサービスが高リスクです。

中
: 1 つまたは複数の関連付けられたアプリケーションサービスが中リスクです。

低
: 1 つまたはすべての関連付けられたアプリケーションサービスが低リスクです。

未評価
: ビジネスアプリケーションにアプリケーションサービスが関連付けられていないか、関連付けられたアプリケーションサービスが本番タイプではありません。

タスクの結果

TPM リスクエンジンは、リスクパラメーターをロードして実行し、リスクパラメータースコア、ソフトウェアモデルリスク値、ハードウェアモデルリスク値、およびアプリケーションサービスリスク値を生成します。

次のタスク

次のテーブルに移動して、リスク値とスコアを表示します。

- 移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM)** > リスクパラメータースコア リスクパラメーターのスコアを表示します。
- 移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM)** > ハードウェアモデルリスク値 ハードウェアモデルのリスクを表示します。
- 移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM)** > ソフトウェアモデルリスク値 ソフトウェアモデルのリスクを表示します。
- 移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM)** > アプリケーションサービスリスク値 をクリックして、アプリケーションサービスのリスクを表示します。

ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、ハードウェア、およびソフトウェアモデルのリスク値は、技術ポートフォリオ管理タイムラインに表示されます。

アプリケーションポートフォリオ管理 **(APM)** クラウドアセスメントアプリケーションをインストール

APM クラウドアセスメントアプリケーション (app-apm-cloud-readiness) を ServiceNow Store からインストールします。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. [ServiceNow Store] に移動します。
2. アプリケーションポートフォリオ管理 クラウドアセスメントアプリケーションを検索します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. アプリケーションタイルをクリックします。

   アプリケーションに関する詳細情報を表示できます。

   > **注:**
   > 該当する場合は、[要件] および [依存関係] セクションを読むことを検討してください。

4. [取得] をクリックし、Now Support ログイン資格情報を入力します。
5. [購入] をクリックします。
6. インスタンスの [インスタンス名] と [理由] を入力し、[インスタンスを検証] をクリックします。
7. [要求] をクリックします。

   詳細なインストール手順が記載されたメールが届きます。

8. アプリケーションポートフォリオ管理 クラウドアセスメントをインストールするインスタンスにログインします。
9. システム [アプリケーション] > [アプリケーション] に移動します。
10. アプリケーションを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。

次のタスク

ビジネスアプリケーションを追加または編集して、クラウドアセスメント採点プロファイルをビジネスアプリケーションに割り当てることができます。採点プロファイルを適用した後、定期的にアプリケーションスコアを計算するためのジョブをスケジュールします。また、すべてのアプリケーションスコアを表示し、アプリケーションスコアをバブルチャートで分析できます。

アプリケーションスコアを計算するためのジョブをスケジュールする

アプリケーションとインジケーターのスコアを定期的に計算するには、*Load Application Indicators and compute Application Scores* スケジュール済みジョブを有効にします。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

このジョブは、すべてのインジケーターのスコア、これらのインジケーターがアタッチされている採点プロファイル、これらの採点プロファイルに関連付けられているビジネスアプリケーションを再計算します。

ジョブは、インジケーターフォームの [頻度] フィールドに設定された期間に従って、インジケーターのスコアを生成します。ジョブは、頻度として設定された会計期間の最終日にスコアを生成します。つまり、会計期間の最終日にのみ、スコアが生成されます。

たとえば、[機能適合性] インジケーターの [頻度] オプションが月次に設定された場合、このインジケーターのスコアはその月の最終日に生成されます。**[CSAT]** インジケーターに設定された頻度が四半期の場合、CSAT のスコアはその四半期の最終日に生成されます。同様に、[ビジネス価値] インジケーターの頻度が年次に設定されている場合、スコアはその年の最終日に生成されます。

> **注:**
> 頻度が年次の場合、インジケーターのスコアはその年の最終日に生成されます。さらに、その年の最後の四半期と最後の月のスコアも生成されます。これらにも、スコアが生成される年の最終日が含まれます。

ただし、特定の期間のいずれかの日付にオンデマンドでスコアを生成する場合は、特定のインジケーターのインジケーターフォームにある [インジケータースコアを再生成] オプションを使用してスコ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アを生成できます。このアクションは、既存のスコアを更新するのではなく、既存のスコアを削除して新しいスコアを生成します。参照：「アプリケーションを評価するためのインジケーターを作成または編集する」。また、採点プロファイルフォームの [スコアを再生成] オプションを使用して、その採点プロファイルにアタッチされているすべてのインジケーターのスコアを生成することもできます。参照：「アプリケーションスコアプロファイルの作成およびプロファイルインジケーターのアタッチ」。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. *Load Application Indicators and compute Application Score* スケジュール済みジョブを検索して選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「スクリプトの実行を予定フォーム」を参照してください。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
5. [今すぐ実行する] をクリックします。
   ジョブはスケジュール済みの日時に実行されます。

次のタスク

ジョブの実行内容と、アセスメントフレームワークがアプリケーションスコアを正規化する方法を理解します。

APM ユーザー向けのドメイン分離の設定

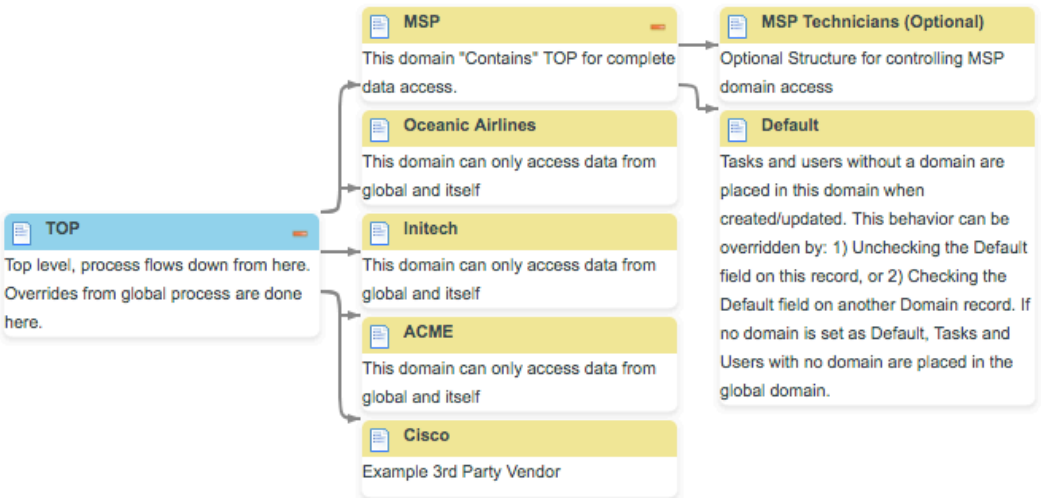
Application Portfolio Management は、マネージドサービスプロバイダー (MSP) のドメイン分離をサポートし、各顧客の機密データを保護します。この保護は、ある顧客のビジネスアプリケーションデータを別の顧客が表示できないことを確実にし、ドメイン内のデータも保護します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

ドメインマップのサンプルの図



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

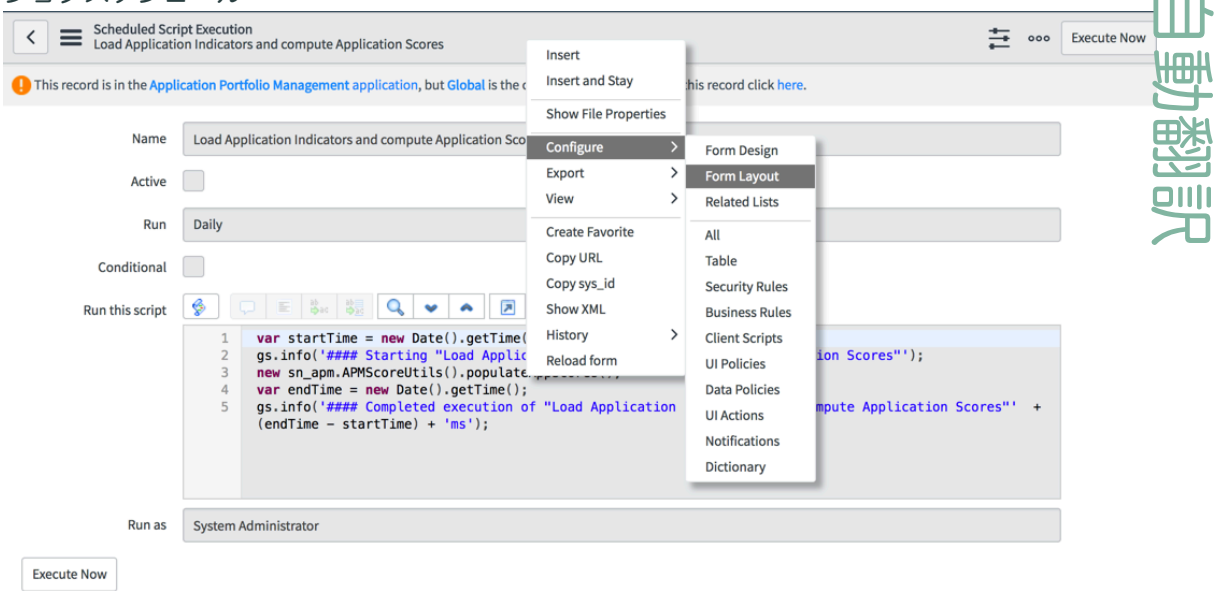
1. ドメインサポート – ドメイン拡張インストーラーシステムプラグインをインストールして、APM のドメイン分離機能を有効にします。
2. 各ドメインレベルで管理者ロールを作成します。

   管理者は、ジョブスケジュールのみを構成して実行できます。
3. 企業に固有のすべてのアプリケーションポートフォリオデータエンティティを、グローバルレベルではなく、ドメイン内で作成します。
4. ドメインレベルでインジケーターを作成します。

   グローバルレベルで作成したり、親レベルの下で各顧客のインジケーターを再利用したりしないでください。データはグローバルレベルでは表示されません。
5. ユーザーが所属する企業のデータのみを表示できるように、ユーザーグループを作成し、ドメインレベルでユーザーにロールをアサインします。
6. ドメイン分離されたデータに対してジョブを実行します。

   別のユーザーとして実行 (Run as) ロールを使用して、ジョブスケジュール、認定スケジュール、インジケーターとスコアのアセスメントをドメインレベルで実行できます。スクリプトの実行を予定フォームのレイアウトを構成して、コンテキストメニューから [別のユーザーとして実行 **(Run as)]** フィールドを追加します。

ジョブスケジュール



CMDB クエリビルダーレポートのジョブスケジュールの実行

CMDB クエリーに対して、スケジュールされた時刻または繰り返しのスケジュールで実行するジョブをスケジュールします。このアクションは必ずグローバルスコープで実行してください。

始める前に
必要なロール： sys_admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. 関連するスケジュール済みジョブを検索してクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [実行] フィールドで、スケジュール済みジョブの実行頻度を選択します。
4. [今すぐ実行する] をクリックします。

> **注:**
> システム管理者として、これらのジョブスケジュールをグローバルスコープからのみ実行する必要があります。

ベースシステムが提供する、次の CMDB クエリビルダーレポートのジョブスケジュールを選択して実行します。

- ビジネスアプリケーションによって提供されるビジネス機能
- ビジネスアプリケーションによって使用されるアプリケーションサービス
- ビジネス機能を提供するビジネスアプリケーション
- ビジネス機能によって提供されるビジネスサービス
- 情報オブジェクトを使用するビジネスアプリケーション
- ビジネスアプリケーションによって使用される情報オブジェクト
- ビジネスアプリケーションのデマンド
- ビジネスアプリケーションのプロジェクト

TPM ライフサイクルデータを生成するジョブをスケジュールする

ジョブスケジュール *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles* を有効にして、テクノロジーライフサイクルリスクを定期的に計算します。

始める前に

必要なロール：admin

> **注:**
> ソフトウェア製品のデータは、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > システムスケジューラ > ジョブスケジュール > ジョブスケジュール.
2. ジョブスケジュール *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles* を検索して選択します。
3. [次のアクション] フィールドで、ジョブを実行する日時を選択します。
4. [更新] をクリックします。

タスクの結果

ジョブはスケジュールどおりに実行され、TPM ライフサイクルデータが生成されます。

> **注:**
> オンデマンドでジョブを実行することもできます。詳細については、「スケジュール設定済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する」を参照してください。

スケジュール設定済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する

ジョブスケジュールを実行して、技術ポートフォリオの技術ライフサイクルデータをフェッチします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
技術ポートフォリオの技術ライフサイクルデータをフェッチするために、ジョブスケジュール *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles* が作成されます。このジョブをオンデマンドで実行して、技術ライフサイクルリスクを計算できます。スケジュール設定済みジョブは、ソフトウェアおよびハードウェアモデルのサポート終了日、延長サポート終了日、提供終了日を含むライフサイクルリスク日付を生成するスクリプトを実行します。

注:
Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインのみがインストールされている場合、ソフトウェア製品のデータが表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ジョブスケジュール.
2. スケジュール設定済みジョブ *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles*を見つけて開きます。
3. [今すぐ実行] を選択します。

タスクの結果
スケジュール設定済みジョブを実行した後、エンジンはテクノロジーとライフサイクルの値を TPM テクノロジーライフサイクル [sn_apm_tpm_technology_lifecycle] テーブルに自動的に保存します。ジョブの実行後に、毎回テーブルの値が更新されます。

次のタスク
ジョブスケジュールのステータスを確認するには、TPM 検出テクノロジーの実行ログ [sn_apm_tpm_discovered_technology_run_log] テーブルを参照してください。技術ライフサイクル情報を表示するには、TPM 技術ライフサイクル [sn_apm_tpm_technology_lifecycle] 表を参照してください。[ポートフォリオ] > [技術ポートフォリオ管理>ログ] ページで結果を表示できます。

TPM テクノロジーリスクを生成するジョブをスケジュールする

スケジュール設定済みジョブを実行します *Populate Technology Lifecycle Risks* 。TPM テクノロジーライフサイクルリスクを生成し、TPM テクノロジーライフサイクルリスク [sn_apm_tpm_technology_risk] テーブルに結果を入力します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムスケジューラ > ジョブスケジュール > ジョブスケジュール.
2. ジョブスケジュール *Populate Technology Lifecycle Risks* を検索して選択します。
3. [今すぐ実行] を選択します。

アプリケーションポートフォリオ管理 の使用

アプリケーションポートフォリオ管理 の機能を使用して、ビジネスアプリケーションのインベントリを特定し、測定基準を収集してアプリケーションを測定し、使用状況を評価して、アプリケーションの保守、置き換え、または廃止を決定する方法を学びます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネスアプリケーションの追加または編集

ビジネスアプリケーションフォームを使用し、その機能と遂行するビジネスプロセスに基づいて、組織で使用するアプリケーションを追加します。APM で、コスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクの評価と追跡の対象にするビジネスアプリケーションを追加します。

始める前に

APM ユーザーロール (sn_apm.apm_user) がある場合は、ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスを使用して、ビジネスアプリケーションを要求、追加、または廃止します。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. 新規 を選択して新しいアプリケーションを追加するか、編集する既存のアプリケーションの名前を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ビジネスアプリケーションフォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] を選択します。
5. CI 関係エディターを使用してビジネスアプリケーションをアプリケーションサービスに関連付けるには、[関連アイテム] セクションの [CI 関係を追加] (+) アイコンを選択します。
6. ビジネスアプリケーションとその関連データの ロードマップを表示するには 、[アプリケーションロードマップを表示] を選択します。
   ビジネスアプリケーションロードマップを表示するには、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをアクティブ化する必要があります。
7. ビジネスアプリケーションの利用可能な重要な情報をすべて取得するには、[アプリケーション360] を選択します。
8. 前期のアプリケーションコストを把握し、アプリケーションコストを総支出の割合として管理し、その将来の傾向を判断し、コスト効率の高いビジネスアプリケーションを提供するには、[アプリケーション**TCO**]を選択します。

   詳細については、「 アプリケーション TCO 」を参照してください。

   注:

   アプリケーション TCO ダッシュボードへのリンクは、事前設定された ビジネスアプリケーション原価計算 コストモデルを使用する場合に機能します。Application Portfolio Management プラグイン (com.snc.apm) および Financial Management for APM (com.snc.financial_management_for_apm) プラグインをアクティブ化すると、統合が機能します。デフォルトでは、Performance Analytics - コンテンツパック - Application Portfolio Management (com.snc.pa.apm) プラグインは、Application Portfolio Management プラグイン (com.snc.apm) アクティベーションの一環としてアクティブ化されます。

   Financial Management For APM (com.snc.financial_management_for_apm) プラグインについては、いずれかのパートナーストアアプリにお問い合わせください。ServiceNow 実装パートナーがパートナーストアアプリの詳細をお手伝いします。

9. ビジネスアプリケーションのデマンドを作成するには、[デマンドを作成] を選択します。
   開かれたデマンドフォームで、関連するビジネスアプリケーションが [ビジネスアプリケーション] フィールドに入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. ビジネスアプリケーションに関連付けられたソフトウェアモデルを取得するには、[テクノロジーモデルの管理] を選択します。
    また、スケジュール済みジョブが最後に実行されたときにソフトウェアモデル提案エンジンが取得したソフトウェアモデルのログも取得されます。
11. ビジネスアプリケーションのタイムラインビューに移動し、関連するすべてのエピック、ストーリー、拡張、その他のストーリー、プロジェクト、およびデマンドのタイムラインを表示するには、他のアクションアイコン ( ) を選択し、[アプリケーションバックログを表示] ボタンを表示するように UI アクションを構成します。

    ボタンを選択して、タイムラインのアプリケーションバックログビューに移動します。

    このタイムラインビューの詳細については、「アプリケーションバックログビュー」を参照してください。

次のタスク
ビジネスアプリケーションを完全に表示するには、 アプリケーション 360 ダッシュボードを選択します。

ビジネスアプリケーションロードマップの表示

アプリケーションロードマップのグラフィカルで包括的な概要を使用して、ビジネスアプリケーションへの投資を表示します。

始める前に

注:
PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをアクティブ化して、ビジネスアプリケーションロードマップを表示します。

投資ポータルビューを機能させるには、プロジェクトとデマンドをビジネスアプリケーションに関連付ける必要があります。

必要なロール：it_project_manager and sn_apm.apm_user

このタスクについて
アプリケーションロードマップを表示すると、ビジネスアプリケーションの投資ポータルに移動します。このポータルは アプリケーションポートフォリオ管理 専用です。

手順

1. 次のオプションのいずれかを使用して、アプリケーションロードマップに移動します。

   - 特定のビジネスアプリケーションのロードマップを表示するには、次に移動します: アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.

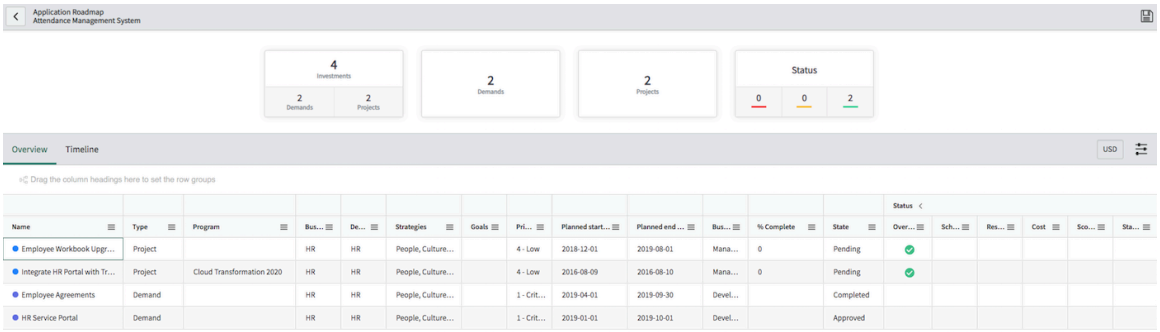
     a. ビジネスアプリケーションの名前をクリックして、フォームビューで開きます。
     b. [アプリケーションロードマップを表示] ボタンをクリックして、ポータル内のビジネスアプリケーションレコードとそのすべての投資の詳細を開きます。

   - 所有するアプリケーションのロードマップを表示するには、次に移動します: アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > 自分のアプリケーションロードマップ.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

投資ポータルのアプリケーションロードマップ



2. トップパネルのウィジェットを使用して、次の詳細を表示します。

- ビジネスアプリケーションで計画されている投資の合計数。プロジェクトとデマンドの数も個別に示されます。
- 現在および将来の会計年度で、ビジネスアプリケーションに影響を与えるプロジェクトおよびデマンドの合計数。
- 高、中、低のリスクを示す赤、黄、緑に色分けされたプロジェクトおよびデマンドのステータス。

3. ポータルでビューを構成するには、構成ウィジェット ( ) をクリックします。

a. アイテム列のチェックボックスをオンにして、必要な列を追加します。
ポータルビューから列を削除するには、チェックボックスをオフにします。

4. 構成を保存するには、[保存] アイコン ( ) をクリックします。
この設定は、次回投資ポータルを開いてアプリケーションロードマップを表示したときに反映されます。この設定は、構成対象の元のビジネスアプリケーションだけでなく、開いている他のビジネスアプリケーションに対しても保持されます。

5. [概要] タブを使用して、以下を表示します。

- アプリケーションが関連付けられているプロジェクトとデマンドの名前。
- プロジェクトとデマンドが属しているプログラム。プロジェクトとデマンドは、プロジェクトに関連付けられている場合もあれば、関連付けられていない場合もあります。
- プロジェクトとデマンドがアタッチされている事業部門。
- プロジェクトとデマンドがサポートするビジネス機能。
- プロジェクトとデマンドの戦略と目標。
- 開始予定日と完了予定日。
- プロジェクトとデマンドの全体的なステータス。

6. ポータルの [タイムライン] タブを使用して、以下でタイムラインを表示します。

- グリッドビュー。開始日と終了日、考えられるリスク、および問題を表示します。
- ガントビュー。プロジェクトとデマンドのスケジュールを示します。

関連情報

ビジネスアプリケーションの追加または編集

アプリケーション状況ダッシュボードでビジネスアプリケーションを監視する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

提案されたテクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付ける

アプリケーションオーナーは、ソフトウェアモデル提案エンジンを実行してソフトウェアモデルをフェッチできます。これらのモデルは、手動でマッピングせずに、アプリケーションサービスに関連付けることができます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

APM ユーザーには、次のテーブルへの読み取り専用アクセス権限があります。

- ハードウェア [cmdb_ci_hardware]
- ハードウェア モデル [cmdb_hardware_product_model]
- ハードウェアモデルのライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle]
- ソフトウェア検出モデル [cmdb_sam_sw_discovery_model]
- ソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install]
- ソフトウェア モデル [cmdb_software_product_model]
- ソフトウェアモデルのライフサイクル [sam_sw_model_lifecycle]

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
   次のいずれかのオプションに従うことができます。
   - ビジネスアプリケーションの名前を右クリックし、[テクノロジーモデルの管理] オプションをクリックします。
   - ビジネスアプリケーションの名前をクリックして、フォームビューでレコードを開きます。次に、[テクノロジーモデルの管理] ボタンをクリックします。
2. [テクノロジーモデル取得ログ] リストでアプリケーションサービスレコードを右クリックします。
3. [製品モデルを取得] オプションをクリックします。
4. ビジネスアプリケーションが実行されているすべてのハードウェアモデルを取得するには、開かれている [製品モデルを取得] ポップアップで [ハードウェアモデルのみ] チェックボックスをオンにします。
   テクノロジーモデル提案エンジンは、ハードウェアモデルのみを取得します。
5. すべてのハードウェアとソフトウェアを取得するには、[ハードウェアおよびソフトウェアモデル] チェックボックスをオンにします。

   注:

   Software Asset Management Professional (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化すると、[ハードウェアおよびソフトウェアモデル] チェックボックスが表示されます。

   アプリケーションサービスに関連付けられているハードウェア製品モデルは、アプリケーションサービス用のハードウェアモデル [sn_apm_tpm_app_service_hardware_model] マッピングテーブルに一覧表示されます。テクノロジーモデル取得ログ [sn_apm_suggestion_engine_run_log] テーブルには、アプリケーションサービスが実行されているハードウェアモデルの数も一覧表示されます。アプリケーションサービスに関連付けられているソフトウェアモデルは、アプリケーションサービスソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_model] データベーステーブルに一覧表示されます。

   デフォルトでは、テクノロジーモデル提案エンジンは、ジョブの前回の実行以降に新しいソフトウェアがインストールされたハードウェアのみを確認します。ただし、エンジンが前回の実行に関

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

係なくすべてのハードウェアを確認する必要がある場合は、すべてのインストールに対する確認を強制します。

6. ジョブの前回の実行までに行われた確認に関係なく、すべてのハードウェアを確認するには、[すべてのインストールの確認を強制] チェックボックスをオンにします。

   エンジンは、そのビジネスアプリケーションのさまざまなアプリケーションインスタンスを取得します。

   また、[すべてのインストールの確認を強制] オプションは、検出モデルとソフトウェアモデルの間のマッピングに差異がある場合に、更新されたソフトウェアモデルをスキャンして提案します。差異は、ソフトウェアモデルが手動または正規化ルールによって更新されたときに発生します。

7. **[OK]** をクリックします。

   [テクノロジーモデル取得ログ] リストでは、以下を表示できます。

   - [完了率] 列：アプリケーションサービスレコードに対応するエンジンの進捗状況。「モデルを取得する Progress Worker が出席管理サービスに対して正常に送信されました (Progress Worker to Fetch models is submitted successfully for Attendance Management Service)」というメッセージも上部に表示されます。
   - [ソフトウェアモデルの提案数] 列：エンジンが提案するソフトウェアモデルの数。
   - [ハードウェアモデルの数] 列：アプリケーションサービスが実行されているハードウェアモデルの数。

8. 選択したアプリケーションサービスの [ステータス] を確認します。

   [完了率] は 100% になっている必要があります。または、[情報] アイコン (ⓘ) をクリックして、アプリケーションサービスのログステータスを表示します。

9. [テクノロジーモデル取得ログ] リストビューでアプリケーションサービスレコードをクリックします。

   [取得済みのソフトウェアモデル] タブには、テクノロジーモデル取得ビューでアプリケーションインスタンスの関連ハードウェアから取得された、すべてのソフトウェアモデルが一覧表示されます。また、エンジンがアプリケーションサービスとの関連付けを提案している、ソフトウェアモデルの総数と名前も確認できます。

10. ソフトウェアモデルの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択した 行のアクション] リストから [ソフトウェアモデルに関連付ける] アクションをクリックして、ソフトウェアモデルをアプリケーションサービスに関連付けます。

    ソフトウェアモデルのステータスが [関連付け済み **(Associated)]** に変わります。アプリケーションサービスソフトウェアモデルマッピングテーブルにレコードが作成されます。関連付けられたソフトウェアモデルは、[TPM タイムライン] ビューでも表示できます。

    ジョブを初めて実行したときは、抽出されたすべてのソフトウェアモデルのステータスが [新規 **(New)]** になります。ただし、提案されたソフトウェアモデルのステータスは、ジョブの前回の実行時に実行されたアクションに基づいて変更されます。

    ソフトウェアモデルリストの下にある [アクション] 選択リストで、アクションを選択できます。

    ソフトウェアモデルのステータスの詳細については、「ソフトウェアモデルのステータス」を参照してください。

11. [アプリケーションサービスソフトウェアモデル] タブをクリックして、アプリケーションサービスに関連付けられているソフトウェアモデルのリストを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションサービスソフトウェアモデルレコードを削除するには、削除対象としてマークするレコードを選択し、[選択した行のアクション] リストで [削除] をクリックします。アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付けるには、「アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付ける」を参照してください。

12. [アプリケーションサービス用のハードウェアモデル] タブをクリックして、アプリケーションサービスに関連付けられているハードウェア製品モデルを表示します。
アプリケーションサービス用のハードウェアモデル [sn_apm_tpm_app_service_hardware_model] マッピングテーブルはこのデータを格納します。
アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付けるには、「アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付ける」を参照してください。

ビジネス機能を評価する

インジケーターフレームワーク内でビジネス機能を評価し、スコアに基づいて、ビジネス機能をサポートするビジネスアプリケーションに関する戦略的意思決定を行うことができます。

始める前に

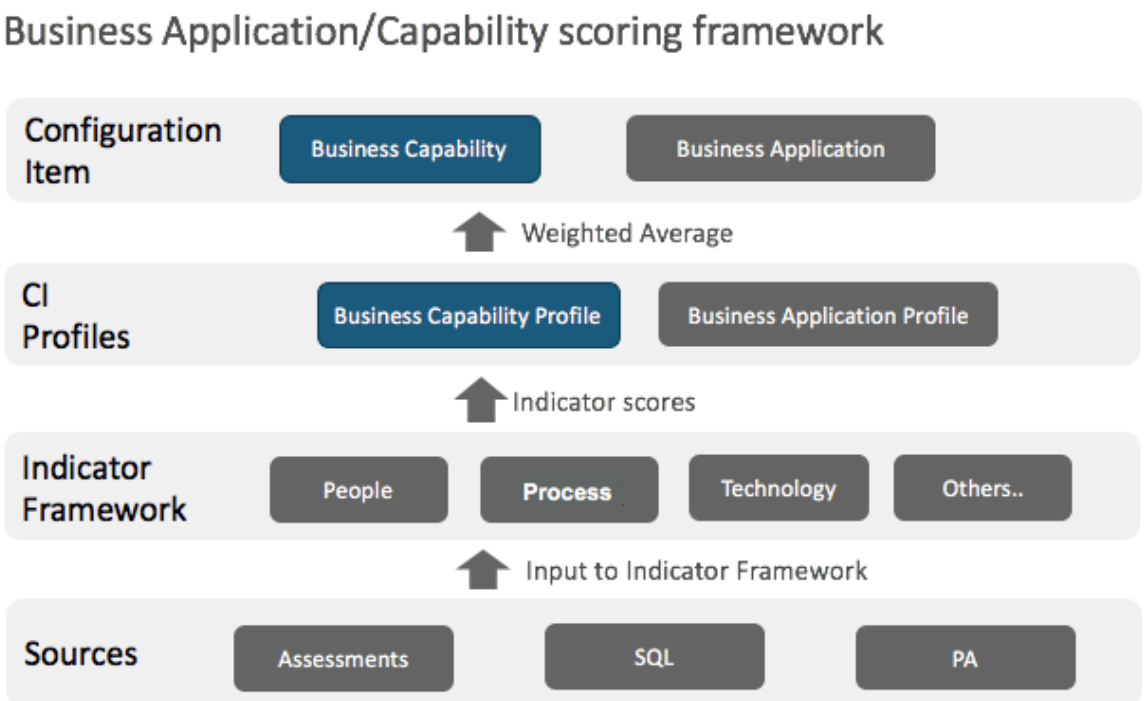
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて

各ビジネスアプリケーションとビジネス機能には、構成アイテム (CI) として一意の ID があります。このような区別は、これらの独立した構成アイテム間の関係を確立する際に役立ちます。CI 関係は、ビジネス機能とビジネスアプリケーション、およびビジネスアプリケーションとビジネス機能の間の親子関係を確立する際に役立ちます。

評価用の重み付けスコアを生成するには、構成アイテムを一連のインジケーターに関連付ける必要があります。人、プロセス、テクノロジーなどの事前に構成されたインジケーターは、ビジネス機能の評価に使用されます。

ビジネス機能スコアリングフレームワーク



インジケータースコアリングフレームワークは、ビジネスアプリケーションに加えてビジネス機能のスコアリングもサポートしています。このフレームワーク内では、人、プロセス、テクノロジーなどの事前に構成されたインジケーターと、ユーザーが作成したインジケーターが評価され、インジケータースコアが与えられます。ビジネスアプリケーションに対して、複数の採点プロファイルを作成できます。各採点プロファイルには、複数のインジケーターを含めることができます。ただし、機能に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

対しては、1 つの採点プロファイルのみを作成できます。複数の採点プロファイルは作成できません。

手順

1. CI 関係を作成するか、CMDB の CI 関係 を使用して既存の関係を編集します。
2. 次の事前に決定された CI 関係タイプを使用して、ビジネス機能とビジネスアプリケーションを関連付けます。

関係のタイプ

親	タイプ	子
ビジネス機能	Provided By::Provides	ビジネスアプリケーション
ビジネスアプリケーション	Provides::Provided by	ビジネス機能

注:
ビジネス機能とビジネスアプリケーションはどちらも構成アイテムエンティティです。

機能テーブルの親列は、機能階層の作成に使用されます。

次のタスク
ビジネス機能を作成し、CI 関係エディターを使用して、その機能をビジネスアプリケーションに関連付けます。

ビジネス機能を作成し、その機能をアプリケーションに関連付ける

ビジネス機能とは、アクティビティを実行して、ビジネス目標を達成するための組織の能力です。機能を作成して、組織の目標とビジネス機能を適合させます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
ビジネス機能フォームを使用して、ビジネス機能を作成および更新します。リーフノードレベルで、新しい機能の追加、既存の機能の更新、機能の削除を実行する場合は、それに応じて、その階層内のすべての機能とリーフノードのレベルを更新する必要があります。[機能レベルおよび **HierarchyID** を更新] 関連リンクをクリックして階層内のレベルを更新し、機能マップに更新が反映されるようにします。[リーフノード] フィールドと [レベル] フィールドは編集不可になりますが、リーフノードにあり、階層内に位置付けられている機能については、そのレベルを表示できます。

機能を更新または削除するための条件は次のとおりです。

- 機能を追加すると、アタッチされている親機能のレベルに基づいて、階層内の新しい機能のレベルが自動的にアサインされます。
- 階層内で親機能が更新されると、そのすべての子機能のレベルが再計算されます。これ以外の場合であれば、機能の名前、説明、または親のみが更新されます。
- 機能の追加や更新の際には、階層内のレベルの合計数が 6 を超えることはできません。たとえば、レベルには 0 ～ 5 を指定できます。0 はルートレベルです。
- リーフノードレベルにある機能のみを削除できます。つまり、独自の子機能を持たない機能を削除できます。
- 循環関係を作成しないでください。親機能を作成する際に、子機能をその親にすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > ビジネス機能.

   また、次の場所に移動することもできます。 組織 > ビジネス機能.

2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「ビジネス機能フォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

   ルートつまりレベル 0 の機能が作成された場合、または機能の親フィールドが null に指定された場合は、階層 ID を再計算するために、ビジネス機能のレベル更新ジョブの実行を求めるメッセージが表示されます。

5. [階層 **ID**] フィールドを編集可能にするには、 システムのプロパティ > すべてのプロパティ.

   a. sys_properties.list の *use_business_capability_custom_hierarchy_id* システムのプロパティをクリックします。

   b. [値] フィールドに true と入力します。

   c. [更新] をクリックします。

   > **注:**
   > 階層 ID はカスタマイズされているため、設定した数や値に競合がないかどうかはシステムで確認されません。

6. 作成した機能の子機能を作成するには、レコードを開き、ビジネス機能フォームの [機能] 関連リストで [新規] ボタンをクリックします。
7. [機能レベルおよび **HierarchyID** を更新] 関連リンクをクリックして階層内のレベルを更新します。
   [機能レベルおよび **HierarchyID** を更新] リンクをクリックすると、[機能レベルおよび **HierarchyID** を更新] スケジュール済みスクリプトが実行されます。更新された階層は、機能マップで表示できます。

   親、順序、または階層 ID を更新した後に、機能レベルの更新ジョブを実行せずに機能階層マップに移動した場合は、機能レベルの更新ジョブを実行し、ページを再起動して機能階層マップに最新の変更を反映するように求めるメッセージが表示されます。

8. 機能をアプリケーションに関連付けるには、ビジネス機能をクリックして開きます。
9. ビジネス機能フォームの [関連アイテム] セクションで [CI 関係を追加 (Add CI relationship)] (+) アイコンをクリックして関係エディターを起動し、CI 関係 を作成します。

   ビジネス機能とビジネスアプリケーションの間の関係は、常に provided by::provides タイプになっている必要があります。

次のタスク
機能ベース計画立案を表示して、関連するアプリケーションにマッピングされた機能の階層を理解し、アプリケーションのテクノロジーがリスクにさらされている場合はアプリケーションへの投資を計画します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画に機能マップを使用する

機能ベース計画立案は、ビジネス目標を達成する上で、ビジネス機能およびそれらをサポートするビジネスアプリケーションの理解に役立ちます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

機能マップは、機能ベース計画立案において、機能を階層的に図で表現するものです。階層構造であるため、簡単に最下位レベルにドリルダウンして、重大なギャップや軽度なギャップを特定できます。このマップを使用すると、すべての機能、各機能に関連付けられたアプリケーション、および機能に関連付けられた各ビジネスアプリケーションのインジケータースコアの完全なビューを取得できます。

機能は色分けされており、重大、中程度、軽度のギャップを持つ機能を一目で識別できます。機能をサポートするビジネスアプリケーションを視覚化できるので、目標、デマンド、またはプログラムを作成して、アプリケーションのパフォーマンスを改善できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティマップ.

   左ペインには、階層内のすべての親機能が一覧表示されます。デフォルトでは、レベル 0 の階層の最初のビジネス機能が展開され、すぐ次のレベル 1 の子機能が表示されます。後続のビジネス機能と子機能については、 アイコンをクリックして展開することで、各レベルのサブ機能を表示できます。このビューは、ビジネス機能、技術リスク、および機能階層の管理のビューに似ています。

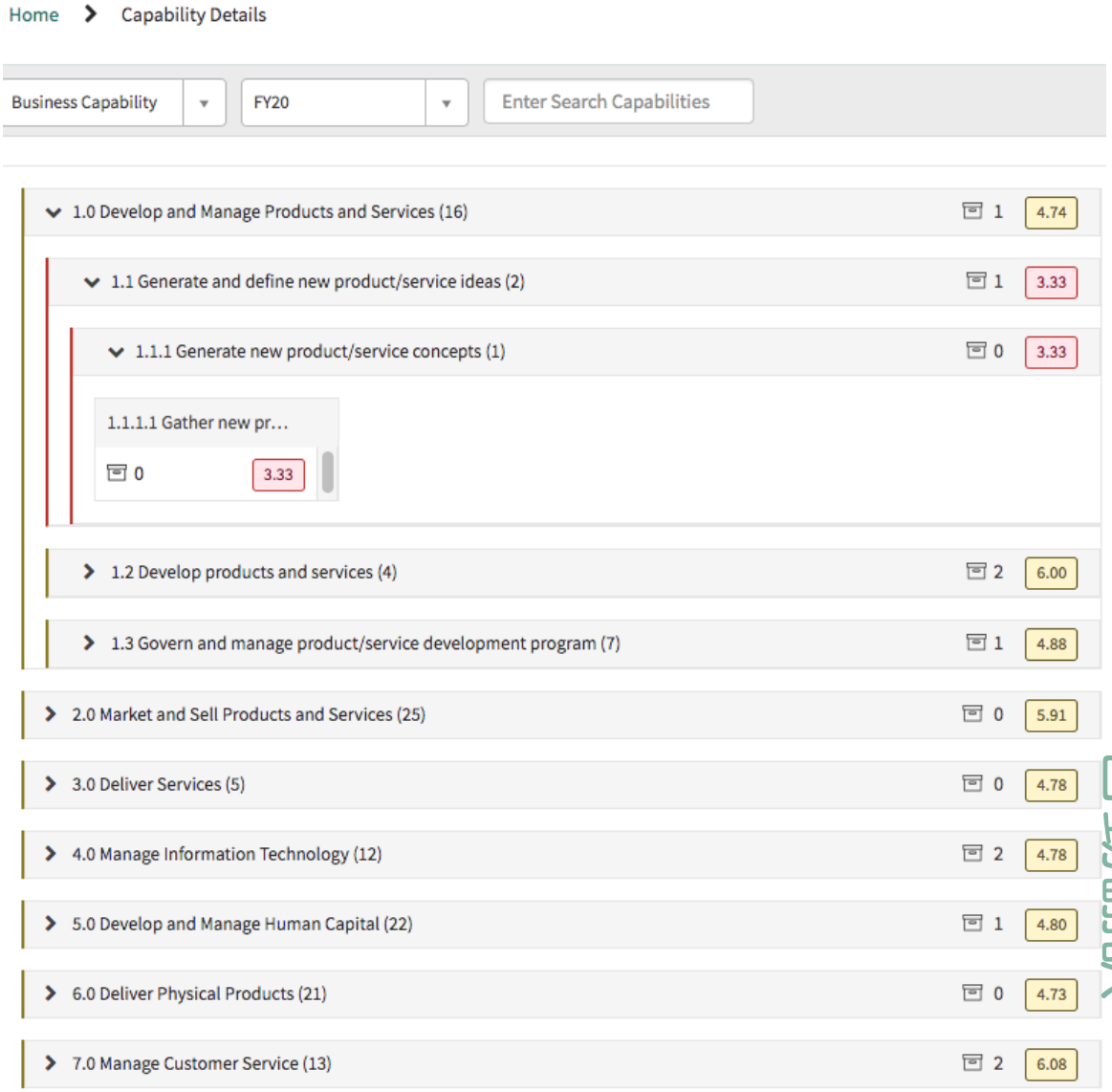
   左ペインでは、各親機能の下にあるサブ機能の合計数、各機能に直接関連するビジネスアプリケーションの合計数、およびそれらの機能スコアも表示されます。同様に、親機能を展開すると、サブ機能の数と、そのレベルのサブ機能に直接関連するビジネスアプリケーションの合計数が表示されます。

   右ペインには、企業内のビジネス機能について、全体的な機能のサマリーが次の詳細とともに表示されます。技術リスクビューに切り替えると、全体的な機能リスクのサマリーが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能ベース計画立案ビュー



自動翻訳

できること

左ペインのリストに表示されるビジネス機能の合計数。機能の合計数は、ビジネス機能ビューと技術リスクビューの両方に表示されます。

リーフ機能

左ペインに一覧表示されているビジネス機能のすべての階層における、リーフレベル (独自の子機能を持たない) 機能の合計数。

評価済み

評価されたビジネス機能の合計数。

未評価

評価されていない機能の合計数。

重大なギャップ

スコアが 1 ～ 4 の範囲内にある機能の合計数。

技術リスクビューには、技術リスクが高いアプリケーションを使用する機能の数が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

中程度のギャップ

スコアが 4 ～ 7 の範囲内にある機能の合計数。

技術リスクビューには、技術リスクが中程度のアプリケーションを使用する機能の数が表示されます。

ギャップなし

スコアが 7 ～ 10 の範囲内にある機能の合計数。

技術リスクビューには、技術的なリスクがないアプリケーションを使用する機能の数が表示されます。

2. デフォルトでは、機能の全体的なサマリーが表示されます。
次のいずれかの選択肢を使用して、ビューと機能マップに表示する詳細を設定します。

- ビジネス機能ビュー：[ビジネス機能] を選択すると、スコアビューが有効になります。それに関連付けられた機能とアプリケーションが表示されます。

  このビューでは、次の検索オプションがあります。

  会計期間：会計期間を選択すると、その会計期間に生成された機能スコアが表示されます。会計期間において機能が評価されていない場合は、[未評価] と表示されます。逆に言えば、機能の詳細を表示するには、会計期間も選択する必要があるということです。そうしないと、エラーメッセージとともにアラートが発生します。

- 技術リスクビュー：技術リスクビューを選択して、提供終了または期限切れのテクノロジーが原因でリスクにさらされている機能を把握できます。各ビジネスアプリケーションのビジネス機能と技術リスクの全体的なサマリーが表示されます。また、技術リスクの結果として影響を受ける機能も表示されます。機能の技術リスクは、ビジネスアプリケーションの技術リスクから導出されます。

  機能検索の入力 (Enter Search Capabilities)

  [機能検索の入力 **(Enter Search Capabilities)]** フィールドを使用してテキストを入力し、探しているビジネス機能を検索します。

  凡例 ( )

  カテゴリを色分け表示し、対応する説明を表示します。マップで使用されているアイコンも一覧表示されます。

  作成

  リストをクリックして、現在選択している機能に対するデマンド、目標、またはプログラムを作成します。

  同様に、技術がリスクに晒されている場合は、技術リスクビューに切り替えて、アプリケーションの基礎となるテクノロジーに対して、デマンドを提出したり、目標やプログラムを作成したりできます。

  > **注:**
  > [プログラム] オプションは、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、使用可能です。

  機能階層を管理

  機能マップで、レベル 0 機能の作成、子機能の追加、既存の機能の編集、およびリーフレベル機能の削除を実行できます。これらの機能を実行するためにビジネス機能フォームに移動する必要はなく、UI ですべてのビジネス機能の関係を管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 各ビジネス機能を展開して、機能の詳細と技術リスクの詳細を表示します。
詳細については、「機能マップでのビジネス機能の詳細を表示する」および「機能マップで技術リスクの詳細を表示する」を参照してください。

機能マップでビジネス機能の詳細を表示する

機能マップを使用して、人、プロセス、テクノロジーなどのディメンションから機能を評価し、それに応じて投資を計画します。ビジネスアプリケーションの現在の傾向を表示し、目標、デマンド、およびプログラムを作成してそれらを強化する計画を立て、マップで進捗状況を追跡します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティマップ.
2. ビジネス機能ビューを選択します。
3. 各機能をクリックすると、サブ機能とそれらの詳細が表示されます。

マップの左ペインには、機能が次の情報とともに表示されます。

サブ機能の数

各機能レベルでは、サブ機能の合計数と後続のサブ機能レベルが、機能名の横にある括弧内に表示されます。つまり、親機能レベルでは、子機能の合計数とその直接の子機能が一覧表示されます。

機能にリンクされているアプリケーションの数

[アプリケーション] アイコン ( ) には、その機能に関連するアプリケーションの合計数が表示されます。

機能スコア

ビジネス機能の機能スコアは、小数点以下 2 桁のみに丸められ、アプリケーション数の横にある色分けされたボックスに表示されます。各色は次を示します。

- 重大なギャップ：赤色、1 ～ 4 の範囲のスコア。
- 中程度のギャップ：オレンジ色、4 ～ 7 の範囲のスコア。
- ギャップなし：緑色、7 ～ 10 の範囲のスコア。

ビジネス機能について、選択した会計期間での機能が評価され、apm_app_score テーブルからスコアデータが取得されます。

親機能の総合スコアは、すべての直接の子機能が持つスコアの平均合計です。つまり：

`親機能のスコア = すべての子機能のスコア/子機能の合計数`

親機能が評価されず、スコアの代わりに (該当なし) が表示された場合は、そのすべての子機能が評価されていないことを意味します。ただし、子機能のいずれかが評価されていない場合は、評価された他の子機能のスコアに基づいて、親機能のスコアが計算されます。

機能レベルとアセスメント

マップには、最大 6 レベルの機能が表示されます。最下位レベルの機能または子を持たない機能は、リーフレベルと呼ばれます。リーフレベルの機能は、人、プロセス、および技術のディメンションでのみ評価されます。親を持たない階層内の機能は、レベル 0 機能つまりルート機能です。

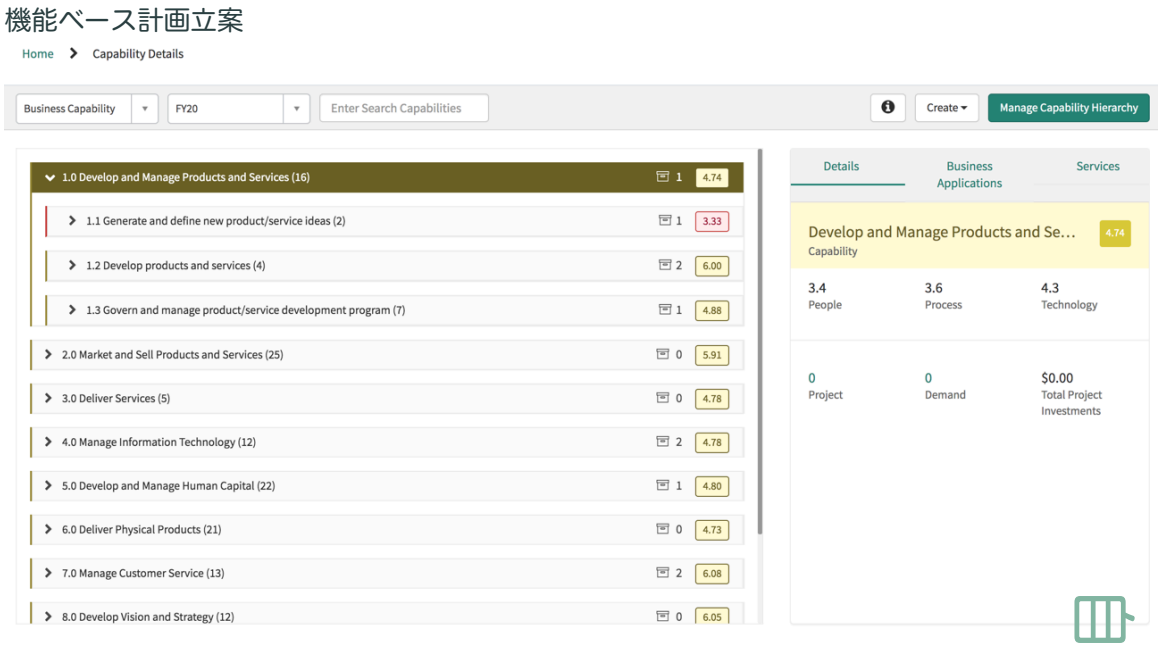
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップの右ペインには、左ペインで選択した機能の詳細と、その機能に関連するすべてのビジネスアプリケーションが表示されます。

詳細

ビジネス機能ビューでは、選択した機能のすべてのデータが [詳細] タブに表示されます。



- 機能：選択されているビジネス機能の名前を表示します。機能名をクリックしてビジネス機能フォームに移動し、選択した機能のレコードの詳細を表示します。
- 機能スコア：選択したビジネス機能の機能スコアと、人、プロセス、および技術のディメンションに基づく個々のインジケータースコアを表示します。

  注:
  ビジネス機能がリーフレベルにあり、サブ機能がない場合は、機能スコアをクリックできます。リンクをクリックすると、CI スコアフォームが開き、機能マップで選択した会計期間におけるビジネス機能構成アイテムのスコアが表示されます。

  同様に、人、プロセス、技術のインジケータースコアは、リーフ機能のみの場合はクリック可能です。これらの各リンクをクリックすると、関連するインジケータと、機能マップで選択した会計期間のビジネス機能構成アイテムのインジケータースコアフォームが開きます。

- プロジェクト：選択したビジネス機能が属しているプロジェクトの合計数を表示します。サブ機能にアタッチされたプロジェクトは、その親にロールアップされます。同様に、階層内のすべてのサブ機能のプロジェクトは、ルートのレベル 0 の機能にロールアップされます。

  プロジェクトの数をクリックすると、ビジネス機能のプロジェクトの詳細を示すプロジェクトフォームが開きます。

- デマンド：選択したビジネス機能に対して作成されたデマンドの合計数を表示します。サブ機能に対して作成されたデマンドは、その親にロールアップされます。同様に、階層内のすべてのサブ機能にアタッチされたデマンドは、その階層内のルート、レベル 0 の機能にロールアップされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップの左ペインで機能またはサブ機能を選択すると、機能、サブ機能、またはその技術に対して作成または追加されたデマンドとプロジェクトの合計数が右ペインに表示されます。親機能を選択すると、親またはその子機能のいずれかに対して作成されたデマンドを合わせた合計数が表示されます。

デマンドの数をクリックすると、ビジネス機能のデマンドの詳細を示すデマンドフォームが開きます。

- プロジェクトの総投資：選択した会計期間に選択したビジネス機能に投資した連結された合計額を表示します。プロジェクトの総投資は、1 つ以上のプロジェクトを通じて機能に対して行われた投資の連結された総額です。1 つ以上のビジネス機能の目標を達成するためのプロジェクトを作成できます。同様に、ビジネス機能の目標を達成するために、複数のプロジェクトにビジネス機能を関連付けることができます。

  注:
  [プロジェクト] および [プロジェクトの総投資] の詳細は、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、使用可能です。

  2 つのビジネス機能の目標を達成するためにプロジェクトが作成された場合、プロジェクトにアタッチされたコスト計画の合計計画コストは、2 つのビジネス機能間で均等に分割されます。たとえば、ビジネス機能 BC1 と BC2 に影響するプロジェクト P1 に 100 ドルが投資された場合、100 ドルの投資額は BC1 と BC2 の間でそれぞれに 50 ドルとして分割されます。

  子機能に対する投資は、その親にロールアップされます。同様に、階層内のすべてのサブ機能への投資は、その階層内のレベル 0 の機能にロールアップされます。

ビジネスアプリケーション

機能とその全体的なスコアに直接的および間接的に関連するアプリケーションの名前を表示します。

直接的に関連するアプリケーションとは、機能に直接関連するアプリケーションのことです。間接的に関連するアプリケーションとは、機能階層内の別の機能に関連するアプリケーションのことです。つまり、これらのアプリケーションは、その階層内のいずれかの親またはいずれかの子に関連しています。

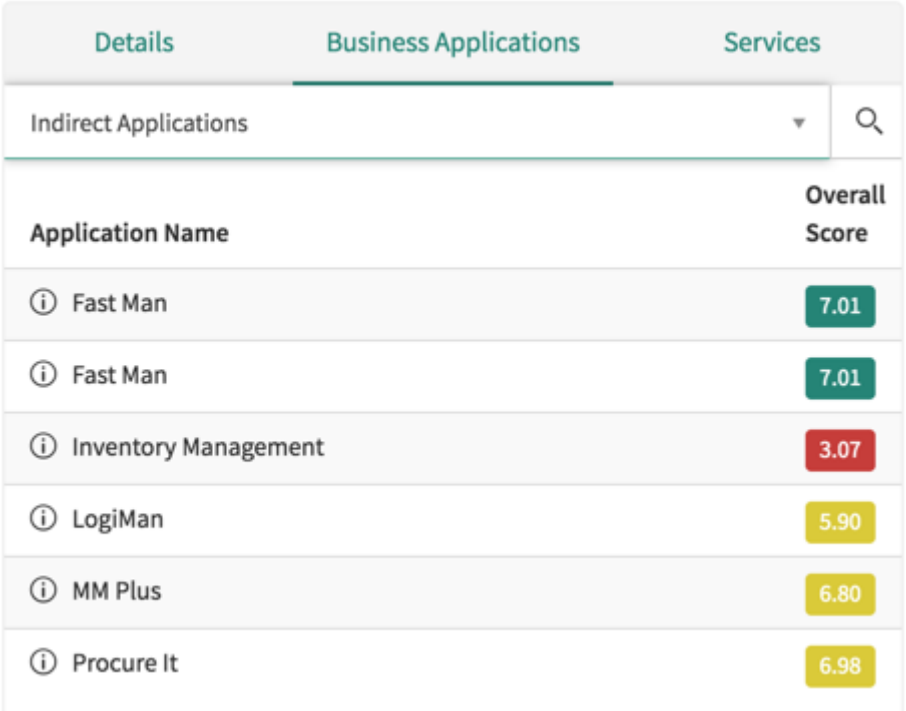
ビジネス機能ビューと技術リスクビューの両方に、直接的および間接的なビジネスアプリケーションを表示するオプションがあります。ただし、アプリケーションに関して表示される詳細は若干異なります。

ビジネス機能ビュー：左ペインで選択したビジネス機能に関連するビジネスアプリケーションの名前を右ペインに表示し、個々のアプリケーションの全体的なスコアを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

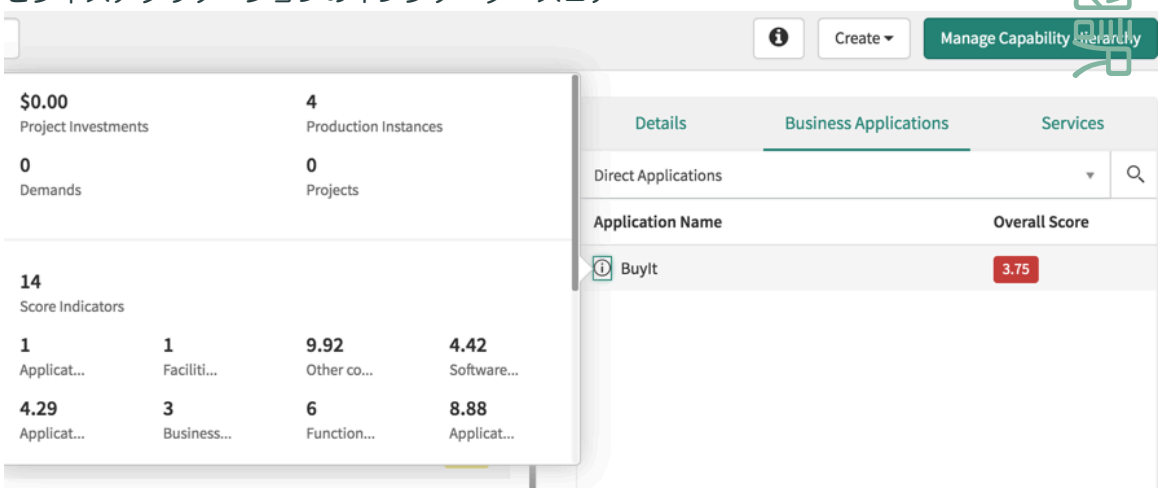
ビジネスアプリケーションの全体的なスコアビュー



ビジネスアプリケーションのハイパーテキストをクリックしてビジネスアプリケーションフォームに移動し、レコードの詳細を表示します。

アプリケーションの [情報] アイコン (ⓘ) をクリックすると、次の詳細が表示されます。

ビジネスアプリケーションのインジケータースコア



- プロジェクト投資：選択したビジネスアプリケーションへの、規定の会計期間における投資合計額を表示します。プロジェクト投資とは、1 つ以上のプロジェクトを通じてビジネスアプリケーションに対して行われた投資の連結された総額です。1 つ以上のビジネスアプリケーションの目標を達成するためのプロジェクトを作成できます。同様に、ビジネスアプリケーションの目標を達成するために、複数のプロジェクトにビジネスアプリケーションを関連付けることができます。

  プロジェクトが 1 つ以上のビジネスアプリケーションに影響を与える場合、プロジェクトにアタッチされたコスト計画の合計計画コストは、ビジネスアプリケーション間で均等に分割されます。たとえば、ビジネスアプリケーション BA1 と

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BA2 に影響するプロジェクト P1 に 100 ドルが投資された場合、100 ドルの投資額は BA1 と BA2 の間でそれぞれ 50 ドルとして分割されます。同様に、1 つのビジネスアプリケーション (BA1) に関連付けることができる 1 つ以上のプロジェクトに投資することができます。投資額は、これらの各プロジェクトに関連付けられたアプリケーション間で均等に分割されます。さまざまなプロジェクトからの連結された総額が、ビジネスアプリケーション (BA1) のプロジェクト投資額になります。

注:
[プロジェクト投資] および [プロジェクト] は、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、使用可能です。

ビジネスアプリケーションは独立したエンティティであり、階層構造ではないため、コストはロールアップできませんが、ビジネス機能では投資をロールアップできます。

プロジェクト投資は、1 つのプロジェクト内でビジネス機能とビジネスアプリケーションの両方に対して行うことはできません。プロジェクトの合計計画コストは、ビジネス機能に投資する場合はビジネス機能用、ビジネスアプリケーションに投資する場合はビジネスアプリケーション用のいずれかとみなされ、両方に対するものとはみなされません。

- 本番インスタンス：ビジネスアプリケーションが関連する本番タイプのアプリケーションサービスの数。

  データは、ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスの間の consumes::consumed by 関係に基づいて、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルから取得されます。

- デマンドおよびプロジェクト：ビジネスアプリケーションレベルで作成されたデマンドとプロジェクトの数。
- スコアインジケーター：ビジネスアプリケーションが評価されるインジケーターの数。また、各インジケーターの個別スコアも表示されます。
- サポートされている機能：ポップアップを下にスクロールして、ビジネスアプリケーションがサポートしている機能の数と各機能の名前を表示することもできます。

  ビジネス機能とビジネスアプリケーションの間の関連付けは、CI 関係テーブルの provided by::provides 関係タイプに基づいています。

ページネーションオプションを使用して、左ペインで選択したビジネス機能にアタッチされたビジネスアプリケーションを表示します。機能に直接的および間接的に関連する最大 10 件のビジネスアプリケーションレコードを表示できます。左矢印または右矢印をクリックして、前または次のレコードセットを連続して表示できます。ページネーションオプションは、機能のすべてのレベルで使用できます。このオプションは、特にルートレベルの機能に多数のアプリケーションがアタッチされている場合に、それに連結されたすべての機能のビジネスアプリケーションを表示する際に役立ちます。

サービス

タブの左ペインには、選択した親ビジネス機能に関連するサービスの名前が表示されます。ページネーションオプションを使用して、サービスのアルファベット順または

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その逆順でのソート、サービスの検索、選択した数のサービスのみの表示が可能です。

サービスハイパーテキストをクリックしてサービスレコードに移動し、レコードを編集します。ビジネス機能は、Provided by::Provides CI 関係を確立することでサービスに関連付けられます。

次のタスク
機能マップで技術リスクの詳細を表示する

機能マップで技術リスクの詳細を表示する

機能マップの技術リスクビューを使用して、ビジネス機能をサポートする技術のリスクプロファイルを把握できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
技術リスクビューを有効にすると、選択したビジネス機能の基礎となっている、リスクが低、中、高の技術の数が表示されます。

手順

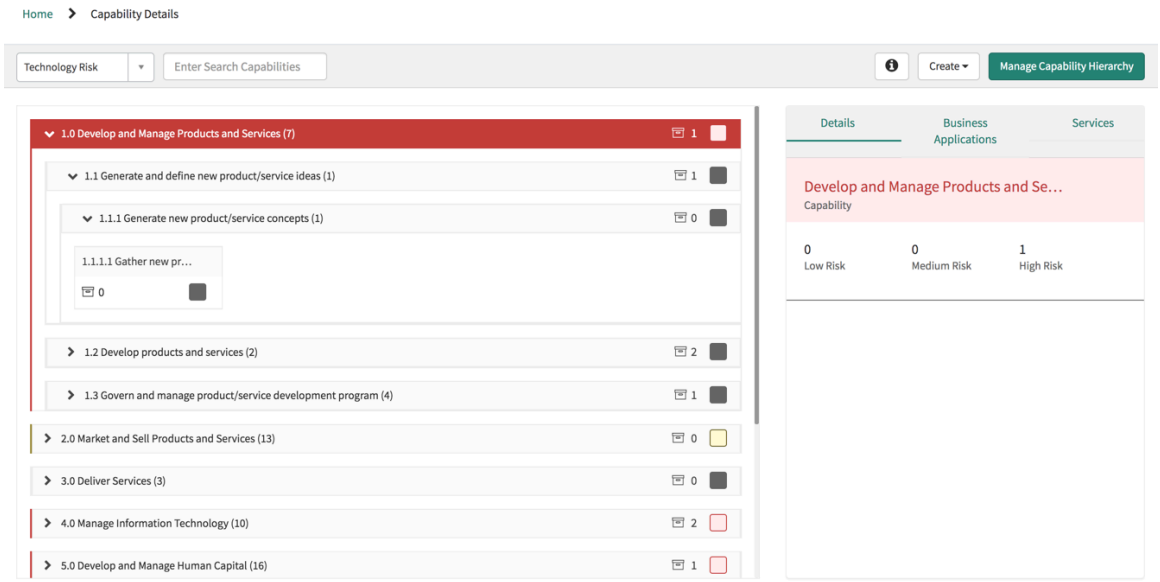
1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティマップ.
2. 技術リスクビューを選択します。

   技術リスクビューには、ビジネス機能 (左ペイン) と全体的な機能リスクのサマリー (右ペイン) が表示されます。親機能を展開すると、そのサブ機能と関連付けられたリスクの詳細が右ペインに表示されます。

   詳細

   タブには、選択した機能の基礎となっている、リスクが高、中、低のテクノロジーの数が表示されます。機能名をクリックしてビジネス機能フォームに移動し、選択した機能のレコードの詳細を表示します。

   ビジネス機能の技術リスクプロファイル



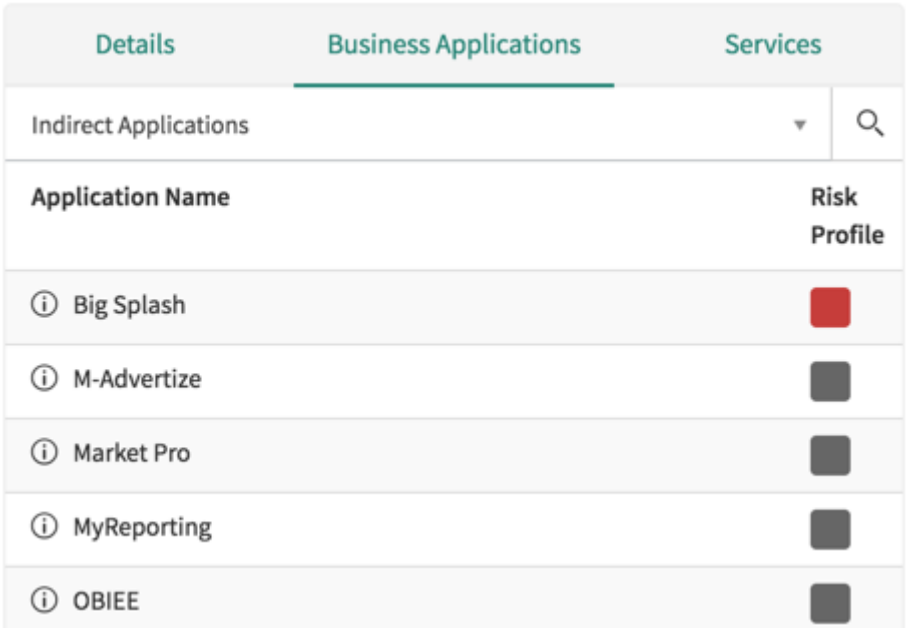
   ビジネスアプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

技術リスクは、ビジネスアプリケーションレベルで表示できます。ビジネスアプリケーションのリスクプロファイルは、ビジネスアプリケーションリスク [sn_apm_tpm_business_application_risk] テーブルに保存され、そこから取得されます。

ビジネスアプリケーションリスクプロファイル



- アプリケーションの [情報] アイコン ( ) をクリックすると、ビジネスアプリケーションがサポートする機能の数と機能の名前が表示されます。
- アプリケーションレコードの詳細を表示するには、ビジネスアプリケーションのハイパーテキストをクリックして、ビジネスアプリケーションフォームに移動します。
- [関連技術のビューリスト (View list of related technologies)] アイコン ( ) をクリックし、技術ポートフォリオ管理タイムラインビューに移動して、ビジネスアプリケーションのリスクプロファイルを表示します。アプリケーションをフィルターして、リスクにさらされている基礎となる技術に対して積極的な対策を講じます。

サービス

タブの左ペインには、選択した親ビジネス機能に関連するサービスの名前が表示されます。ページネーションオプションを使用して、サービスのアルファベット順またはその逆順でのソート、サービスの検索、選択した数のサービスのみの表示が可能です。

サービスハイパーテキストをクリックしてサービスレコードフォームに移動し、レコードを編集します。ビジネス機能は、Provided by::Provides CI 関係を確立することでサービスに関連付けられます。

機能マップで機能階層を管理する

機能マップでは、ルートレベルの機能の作成、親への子機能の追加、機能の編集、リーフ機能の削除、機能間の関係の管理を実行できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
子機能を追加したり、階層内の順序を更新したりすると、ページを更新または再ロードすることで、機能マップの階層ツリービューで変更の影響をすぐに確認できます。一方、レベル 0 の機能を追加または編集すると、ビジネス機能レベルを更新するビジネス機能レベルの更新スケジュール済みジョブが自動的に実行され、マップ内の機能の順序と階層が更新されます。機能マップでビジネス機能を更新すると、時間を節約でき、マップ内の更新されたデータにすばやくアクセスできるようになります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティマップ.
2. [機能階層を管理] ボタンをクリックします。
   機能マップが編集モードで開きます。
3. レベル 0 機能を作成するには、[新機能] ボタンをクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ビジネス機能の新しいレコードフォーム」を参照してください。
5. [送信] をクリックします。
6. ルート機能に子を追加するには、子機能を追加するルートレベルのビジネス機能の横にある省略記号 ( ) アイコンをクリックします。
7. [機能を追加] ボタンをクリックし、ビジネス機能の新しいレコードフォームのフィールドに入力します。

   注:
   [親] フィールドには、選択したルート機能の名前が自動的に入力されます。

8. [送信] をクリックします。
9. 機能を編集するには、ルートレベルのビジネス機能の横にあるをクリックします。
10. [機能を編集] ボタンをクリックし、ビジネス機能を編集フォームのフィールドに入力します。

    注:
    [名前] フィールドには、ルート機能の名前が自動的に入力されます。編集オプションを使用して、次を実行できます。

    - 機能の名前と説明を編集します。
    - ルートレベルの機能を別の階層の子機能として移動します。
    - 子機能を編集して、新しいルートレベルの機能にします。
    - 子機能をあるルートから別のルートに移動します。

    機能に対して新しい名前を入力するか、同じ名前を保持したまま、親を追加して、ルートレベルの機能を既存の階層から別の階層に子機能として移動できます。ビジネスシナリオでは、ある事業部門から別の事業部門にビジネス機能を移動する必要がある場合に、この機能が特に役立ちます。たとえば、組織が従業員の報酬と保持のビジネス機能を経理から人事に移行することを決定した場合、ビジネス機能 (およびその子機能) を経理から移動し、人事ビジネス機能階層に追加できます。

11. [送信] をクリックします。
12. リーフ機能を削除するには、リーフ機能に移動し、リーフ機能の横にあるをクリックします。
13. [機能を削除] ボタンをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> [機能を削除] ボタンは、リーフレベルの機能でのみ使用可能です。リーフレベルの機能は、それ自体の子を持たない機能です。

14. [削除] をクリックします。

> **注:**
> 削除アクションは、ビジネス機能 [cmdb_ci_business_capability] テーブルから機能を削除します。また、機能と CI 関係テーブル内の他の構成アイテムとの関係も削除されます。

15. 加えた変更をマップに反映させるには、ページを更新または再ロードします。

技術リスクをタイムラインで表示する

組織で使用されているすべての技術または製品モデルの内部および外部のライフサイクルフェーズを、技術ポートフォリオ管理のタイムラインで表示します。リスク要因の観点から、色分けにより、技術のステージを特定できます。

始める前に

TPM タイムラインビューでデータを表示するには：

- ビジネスアプリケーションのインベントリを作成します。
- ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスを関連付けます。
- アプリケーションサービスとソフトウェアモデルを関連付けます。
- アプリケーションサービスとハードウェアモデルを関連付けます。

エンタープライズアーキテクト (EA) は、タイムラインビューを使用して、テクノロジーのバージョンとライフサイクル、およびそれらの技術で実行されているアプリケーションの数を追跡できます。EA は、提供終了によるビジネスアプリケーションのリスクを評価し、必要に応じてデマンドとプロジェクトを作成できます。

TPM 画面の線は、製品モデルのライフサイクルを示しています。線は色分けされており、その四半期または年にソフトウェアモデルが直面するリスクのステージを示しています。

> **注:**
> アプリケーションポートフォリオ管理 のコンテキストでは、ビジネスサービスはアプリケーションサービスと呼ばれます。アプリケーションサービスは、サービス [cmdb_ci_service] テーブルに基づいて作成されます。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM)** > 技術ライフサイクル.

2. ビジネスアプリケーション別、製品分類別、ソフトウェアモデル別、またはアプリケーションバックログでグループ化されたビューを選択します。

3. デフォルトでは、1 年の 4 四半期のタイムラインを表示する [四半期ごと] ボタンが有効になっています。

「TPM タイムラインのビュー」を参照してください。

[月次] ボタンをクリックして切り替えると、1 年のすべての月のタイムラインが表示されます。月次ビューは、1 年の特定月におけるアプリケーションのリスクステージの追跡に役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [本番] アイコン ( ) をクリックすると、現在の四半期または月のリスクの対象となる本番インスタンスが表示されます。
5. ソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースは、次の 2 つの方法のいずれかで表示できます。

   - 特定のソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースを表示するには、[ソフトウェアモデルの展開] アイコン ( ) をクリックします。
   - ビジネスアプリケーションに関連するすべてのソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースを表示するには、[すべてのライフサイクルデータソースを表示] アイコン ( ) をクリックします。このアイコンを使用して、データソースの表示と非表示を切り替えます。

   ライフサイクルデータソースのタイムラインは、ビジネスアプリケーション別、製品分類別、ソフトウェアモデル別、アプリケーションバックログの各ビューで表示できます。ソフトウェアモデルで利用可能なすべてのソースが照会され、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルから取得されます。選択肢 [sys_choice_list] テーブルには、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルに対応するソフトウェアモデルのすべてのソースが一覧表示されます。

   ソフトウェアライフサイクルデータのソースは内部にある場合もあれば、複数の外部ソースから取得される場合もあります。選択肢 [sys_choice] テーブルからのシーケンス番号が最小で、1 つの外部公開者データを含む内部データのライフサイクルフェーズ情報が、タイムラインの各ソフトウェアモデルに対して照合され、表示されます。他に外部公開者データソースが存在する場合、タイムラインには表示されません。また、ソフトウェアモデルのタイムラインで内部公開者情報と外部公開者情報が重複していると、2 つのソース間でフェーズが区別できなくなる可能性があります。

   すべてのライフサイクルデータソースを表示することで、製品モデルのすべての公開者データソースを、シーケンス番号が最小のタイムラインではなく、個別のタイムラインとして表示できるようになります。各ソースのライフサイクル情報は、内部か外部かにかかわらず、個別に表示されます。複数の外部公開者ソースが存在する場合、表示されるソースはアルファベット順に表示されます。ライフサイクルフェーズ情報は結合も照合もされないため、各ソースのフェーズ詳細がタイムライン上で理解しやすくなっています。

6. [凡例] アイコン ( ) をクリックすると、タイムライン上のマーキングと色分けされた線の意味を理解できます。
   色のグラデーションは、あるステージから徐々に次のステージへとフェーズ移行するリスクを示しています。PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プロジェクトの凡例を表示できます。
7. [作成] リストをクリックして、デマンドまたはプロジェクトを作成します。

   注:

   PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、リスト内にプロジェクトが表示されます。

8. アプリケーションサービス、ハードウェアモデルとソフトウェアモデル、プロジェクトを表示および編集し、ビジネスアプリケーションに関連付けるデマンドを作成するには、[アプリケーション] 列でビジネスアプリケーションをクリックして展開します。

   「タイムラインからアプリケーション関連タスクを実行する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、ビジネスアプリケーション用のプロジェクトを作成できます。

9. [リスク] 列のリスクバブルをポイントして、各ビジネスアプリケーションのリスクを表示します。

   ビジネスアプリケーションの基礎となる技術リスクステータスを [ビジネスアプリケーション別] ビューでも表示できます。

   リスク情報は、ビジネスアプリケーションリスクテーブルから取得されます。

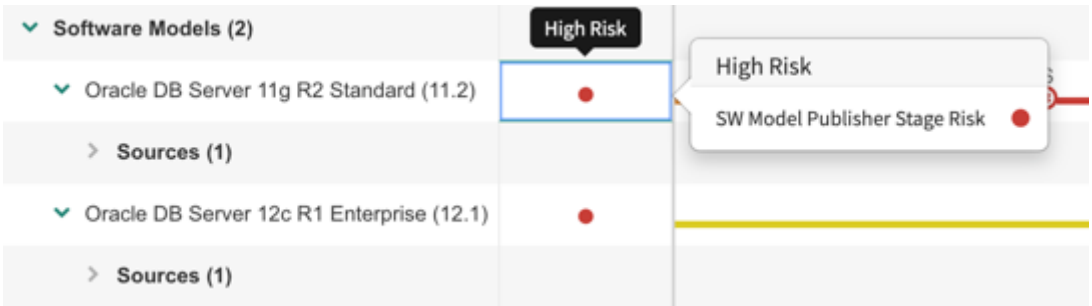
   リスクは、アクティブなすべてのビジネスアプリケーションについて計算されます。アプリケーションサービスを利用するビジネスアプリケーションはアクティブと呼ばれ、両者の関係は CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで確立されます。エンジンは、各アプリケーションサービス (本番タイプのみ) のリスクを評価します。また、アプリケーションサービスリスク [sn_apm_tpm_business_service_risk] テーブルから、ビジネスアプリケーションによって利用されるすべてのアプリケーションサービスのリスクをまとめて評価します。いずれかのアプリケーションサービスのリスクが高い場合、全体的なリスクが高くなります。

   以前、ビジネスアプリケーションリスクは、TPM タイムラインのロード中に動的に計算されていました。リスクエンジンの負荷を軽減するために、現在、エンジンは各ビジネスアプリケーションのリスクを計算し、その情報をビジネスアプリケーションリスク [sn_apm_tpm_business_application_risk] テーブルに保存するようになりました。

   TPM リスクパラメーターのロードとアプリケーションサービスリスクの計算スケジュール済みジョブを毎日実行して、ビジネスアプリケーションが実行されているアプリケーションサービスのリスクステータスを取得します。

10. ソフトウェアモデルのリスクバブルをクリックして、リスクパラメーターレベルでスコアを表示します。

    ソフトウェアモデルの **TPM** リスクプロファイル

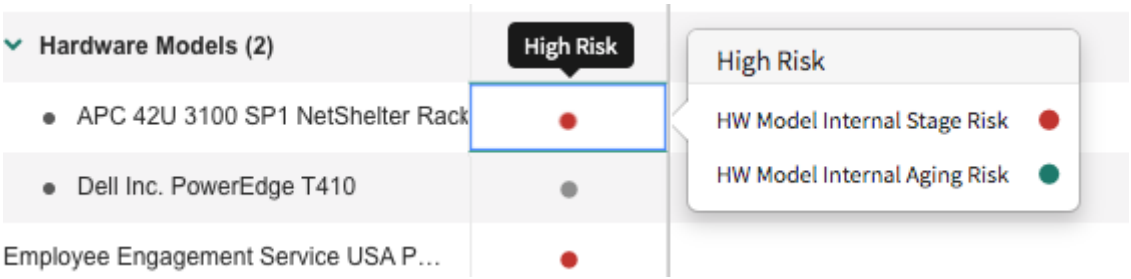
    事前に構成されたリスクパラメーターのスクリプトを設定して、リスクパラメータースコア [sn_apm_tpm_risk_param_score] テーブルに保存されている独自のリスク値を評価することができます。

11. ハードウェアモデルのリスクバブルをクリックして、そのリスクのブレークダウンを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェアモデルの **TPM** リスクプロファイル



12. ページネーションオプションを使用して、最初の 15 個のビジネスアプリケーションと、関連するアプリケーションサービスおよびソフトウェアモデルを入力します。
メインテナンスユーザーは、[アプリケーション] 列に 20 または 25 個までのビジネスアプリケーションをロードするように設定できます。

    a. 移動先 システムのプロパティ > すべてのプロパティ.

    b. *sn_apm.noOfBusinessAppsPerTPMPage* をクリックして値を更新します。

    c. [更新] をクリックします。

13. ハードウェアまたはソフトウェアのタイムラインで [ライフサイクルフェーズ] アイコン ( ) をクリックすると、ハードウェアまたはソフトウェアモデルのライフサイクル情報がポップアップで表示されます。

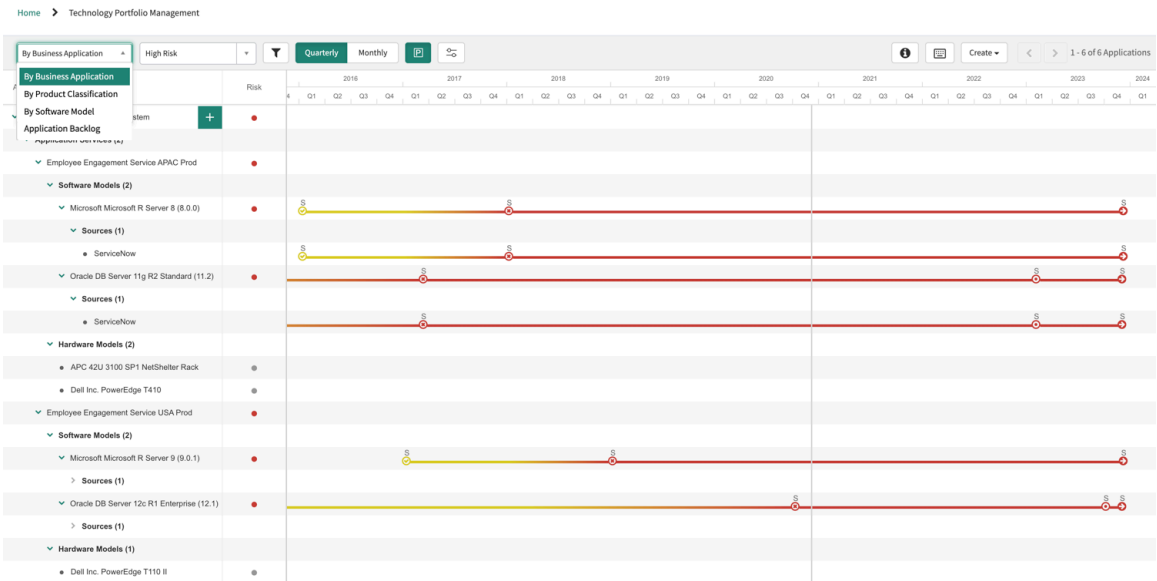
    タイムラインの縦線は、現在の四半期を示します。「タイムライン上のソフトウェア製品ライフサイクルデータ」を参照してください。

TPM の複数のビュー

TPM タイムライン画面内の複数のビューにより、ユーザーはニーズに合った方法でビジネスアプリケーションのリスクを表示できます。ビューは、アプリケーションのシンプルなリストにしたり、機能に基づいて製品別にアプリケーションを分類したり、またはアプリケーションの基礎となる技術別に表示したりすることができます。

これらの各ビューでは、アプリケーションによってサポートされているそれぞれの基礎となるアプリケーションサービス、アプリケーションが実行されている基礎となる技術、または使用されているビジネスアプリケーションにドリルダウンできます。

技術ポートフォリオ管理タイムラインビュー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

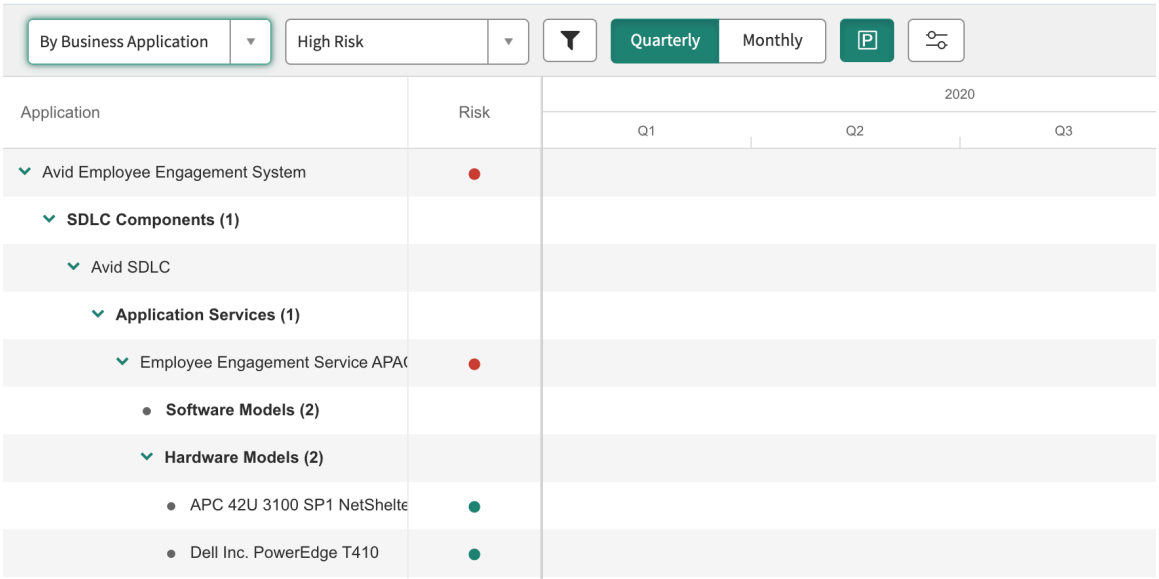
[ビジネスアプリケーション別] ビュー

[ビジネスアプリケーション別] ビューには、ビジネスアプリケーションのアプリケーションサービスに関連付けられているすべてのソフトウェアモデルとハードウェアモデルが表示されます。

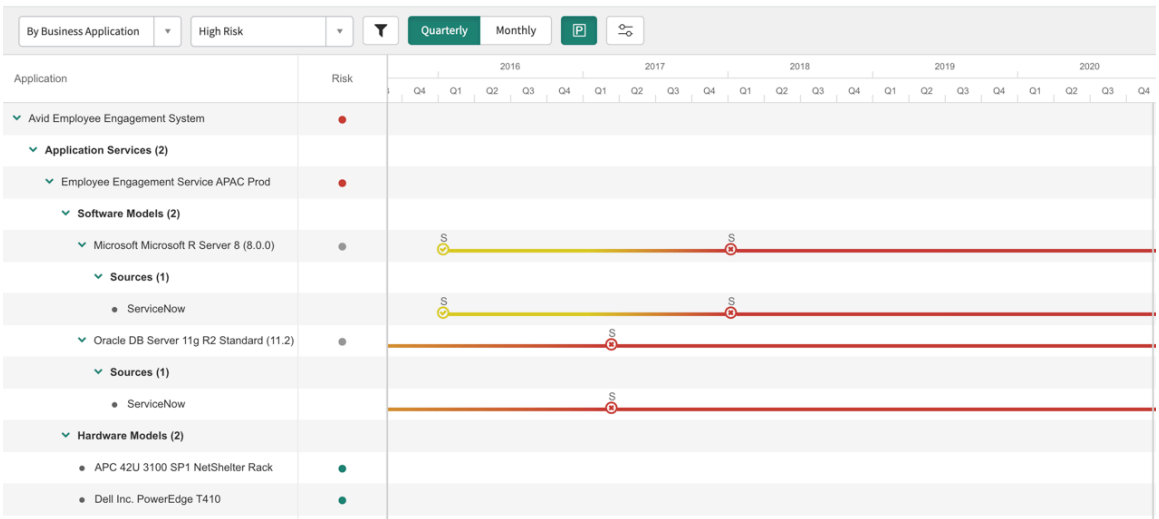
CSDM v4.0 が実装されている場合、[ビジネスアプリケーション別] ビューには ビジネスアプリケーション > **SDLC** コンポーネント > アプリケーションサービス > **Hardware** モデル、および ソフトウェアモデル または技術構造の連続。CSDM v4.0 が実装されていない場合、[ビジネスアプリケーション別] ビューには ビジネスアプリケーション > アプリケーションサービス > ソフトウェアモデル、 ハードウェアモデル 、または技術構造が連続して表示されます。メーカー (Oracle、SAP など) 別にアプリケーションを表示することもできます。

[ビジネスアプリケーション別] ビューでは、次の操作を実行できます。

[ビジネスアプリケーション別] ビュー **(CSDM v4.0** の実装あり)



[ビジネスアプリケーション別] ビュー **(CSDM v4.0** の実装なし)



- ビジネスアプリケーションリスクフィルターを使用し、リスク要因に基づいてビジネスアプリケーションをフィルタリングします。デフォルトでは、タイムラインビューに、高リスクの本番インスタンスを持つビジネスアプリケーションが表示されます。すべてのリスクタイプ (高、中、低、未評価) のビジネスアプリケーションを表示するには、[すべてのリスクを表示] オプションを選択します。未評価のビジネスアプリケーションもフィルタリングできます。フィルタリングされた基準

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に基づいて、ほとんどまたはすべてのビジネスアプリケーションを [アプリケーション] 列に表示できます。

- [フィルター] アイコン ( ) を使用すると、ビジネスアプリケーションテーブルに存在する属性でアプリケーションを検索およびフィルタリングできます。[ビジネスアプリケーションフィルターを設定] ダイアログボックスで条件ビルダーを使用して、フィルターを定義します。[新しい基準] ボタンを使用して、レコードを適切にフィルタリングするために必要な条件を必要な数だけ設定できます。フィルター設定は保存され、フィルター条件を編集またはクリアしない限り、同じユーザー資格情報で再度ログインすれば、その後も使用できます。
- 新しいデマンドまたはプロジェクトをビジネスアプリケーションに追加します。ビジネスアプリケーションをポイントし、アプリケーション名の横に表示される [新しいプロジェクトまたはデマンドを追加] アイコン ( ) をクリックします。デマンドまたはプロジェクトのフォームには、デマンドまたはプロジェクトを作成する [ビジネスアプリケーション] フィールドに入力されたビジネスアプリケーション の名前が示されます。

  注:
  PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プロジェクトをビジネスアプリケーションに追加できます。

[製品分類別] ビュー

製品分類別ビューでは、テクノロジーを確認できます カテゴリ > ソフトウェアモデル > ビジネスアプリケーション > アプリケーションサービス 連続した構造。

このビューでは、技術カテゴリ別にもアプリケーションが一覧表示されます。たとえば、データ技術、サーバー技術、ネットワーク技術、アプリケーション技術などです。

このビューには、ビジネスアプリケーションに関連付けられていないソフトウェアモデルも含め、すべてのソフトウェアモデルが表示されます。

このビューを選択すると、すべての技術カテゴリを動的にロードできます。技術カテゴリを展開して、カテゴリに関連付けられているすべてのソフトウェアモデルをロードします。同様に、ソフトウェアモデルを展開して完全バージョンを表示したり、バージョンを展開して関連付けられたビジネスアプリケーションを表示したり、ビジネスアプリケーションを展開して関連するアプリケーションサービス、デマンド、プロジェクトを表示したりすることができます。

注:

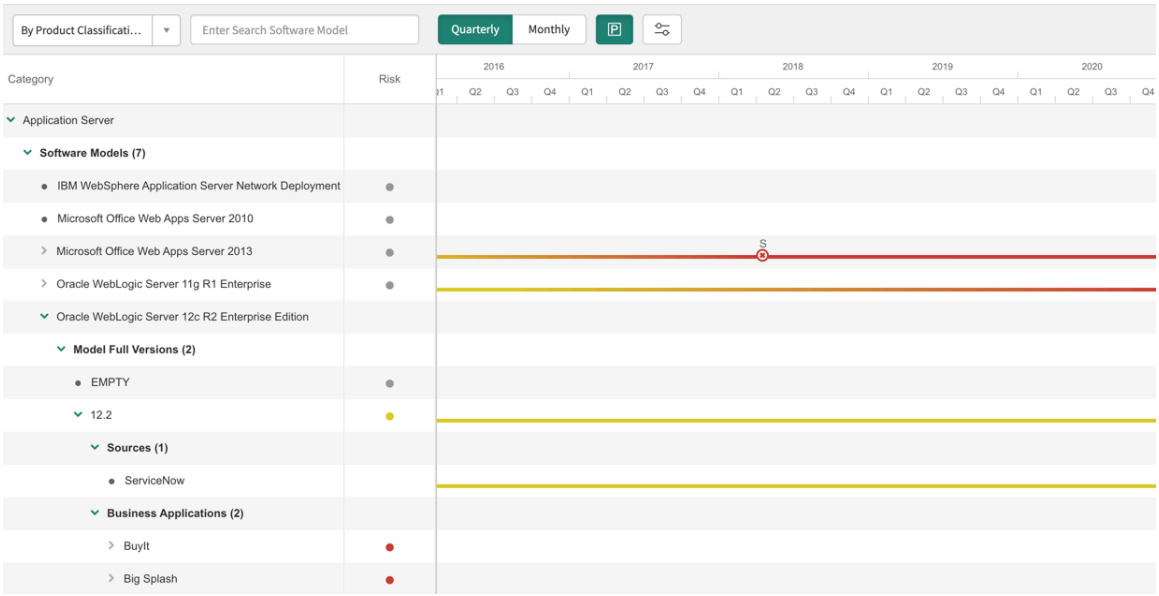
PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プロジェクトを表示できます。

製品分類別ビューでは、次の検索を実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品分類別ビュー



[検索ソフトウェアモデルの入力] フィールドを使用して名前を入力し、[カテゴリ] 列のリストからソフトウェアモデルを検索します。

[ソフトウェアモデル別] ビュー

[ソフトウェアモデル別] ビューには、 ソフトウェアモデル > ビジネスアプリケーション > アプリケーションサービス.

このビューでは、完全バージョンとともにすべてのソフトウェアモデルのリストを表示できます。ソフトウェアモデルをクリックして展開すると、そのソフトウェアモデルで実行されているすべてのビジネスアプリケーションを表示できます。ビジネスアプリケーションをさらに展開すると、ビジネスアプリケーションがサポートするすべてのアプリケーションサービスを表示できます。

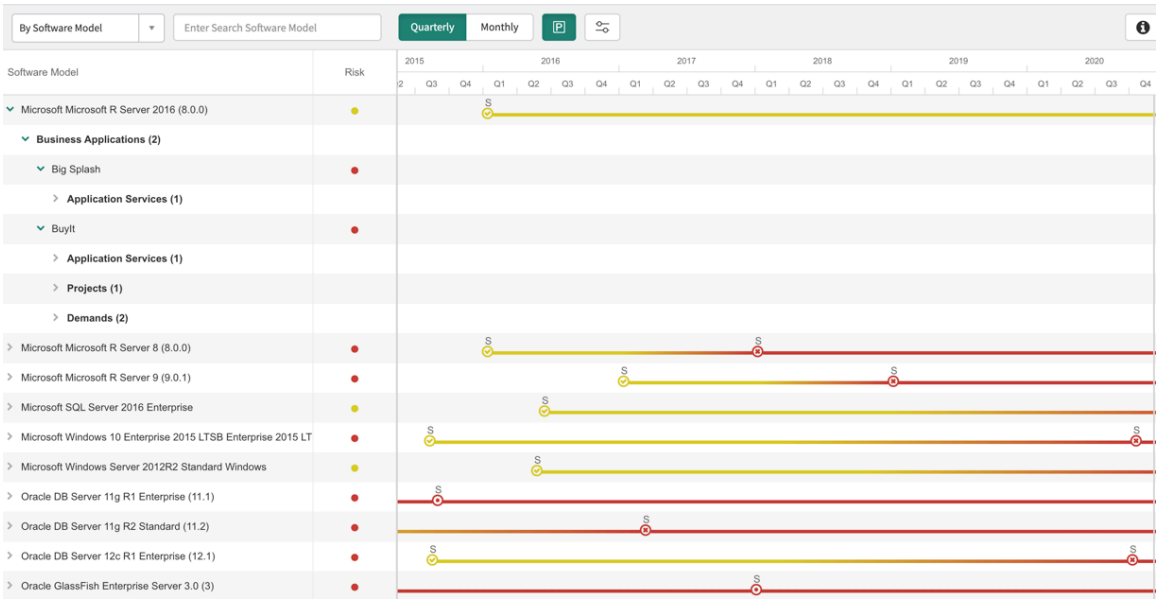
ビジネスアプリケーションとソフトウェアモデルの間には、直接の cmdb CI 関係はありません。一方、ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスは、cmdb 関係によって関連付けられます。アプリケーションサービスの場合、関連するソフトウェアモデルがあります。これらは、アプリケーションサービスソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_model] テーブルに保存されていて、そこから取得されます。したがって、ソフトウェアモデル別ビューの利点は、そのソフトウェアモデルとその完全バージョンで実行されているすべてのビジネスアプリケーションを直接表示できることです。

このビューでは、少なくとも 1 つ以上のビジネスアプリケーションが実行されているソフトウェアモデルのみを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアモデル別ビュー



次の操作も実行できます。

- ソフトウェアモデルを検索します。
- ソフトウェアモデルをフィルタリングするための条件を設定します。
- 増分ページネーションオプションを使用して、選択した数のソフトウェアモデルレコードを表示します。
- デマンドまたはプロジェクトをソフトウェアモデルに追加します。ソフトウェアモデルをポイントし、ソフトウェアモデル名の横に表示される アイコンをクリックします。開かれたデマンドまたはプロジェクトフォームには、選択したソフトウェアモデルで実行されるビジネスアプリケーションの名前が、[ビジネスアプリケーション] フィールドに入力されています。

> **注:**
> PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プロジェクトをソフトウェアモデルに追加できます。

アプリケーションバックログビュー

エンタープライズアーキテクトとして、このビューは、ビジネスアプリケーションに影響を与えるスクラムの作業単位であるエピック、ストーリー、および拡張の理解に役立ちます。

> **注:**
> Agile Development 2.0 (com.snc.sdlc.agile.2.0) プラグインをアクティブ化して、TPM タイムラインでアプリケーションバックログビューを取得します。

アプリケーションバックログビューは、エピック、ストーリー、拡張などのさまざまなタスクタイプのレコードについて、一元化されたバックログを調べる際に役立ちます。このビューにより、1 つの場所でのさまざまなタスクタイプレコードの優先順位付けと順序付けが容易になるため、多くのステップでのソートやフィルタリングの手間が省けます。このビューでは、次の操作を実行できます。

- デフォルトでは、高リスクのすべてのアプリケーション (最初の列) が表示されますが、2 番目の列でそれらのリスクの強度に基づいてフィルタリングできます。
- ビジネスアプリケーションテーブルの任意の属性別にアプリケーションレコードをフィルタリングします。タイムラインを四半期ビューまたは月次ビューに切り替えます (3 列目)。
- アプリケーションに追加するプロジェクトまたはデマンドを作成します。

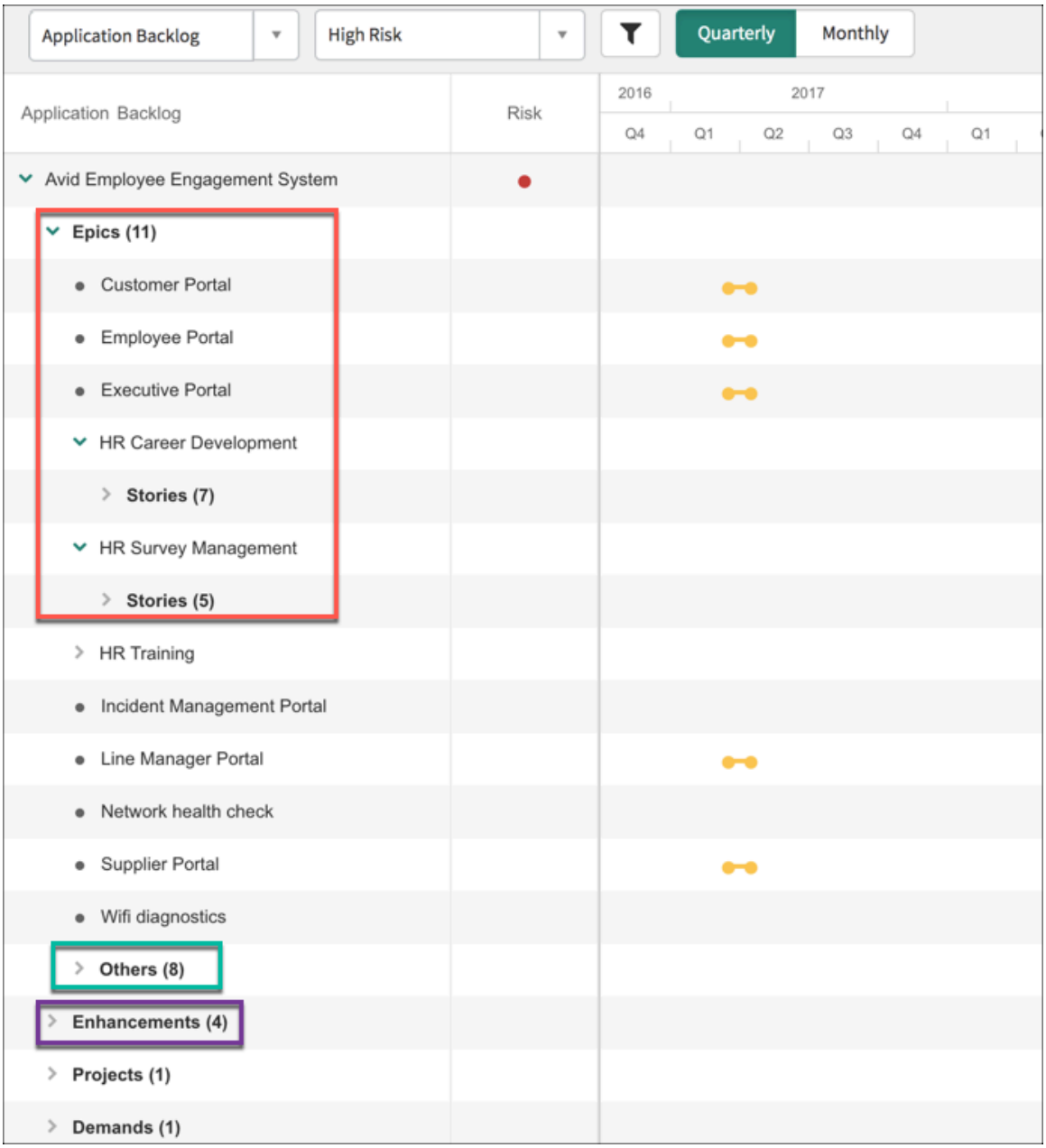
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 単一のビューに表示されるアプリケーションの数を指定します。
- ビジネスアプリケーションを展開すると、アプリケーションにアタッチされているエピック、ストーリー、拡張、プロジェクト、およびデマンドの統一されたバックログが表示されます。括弧内でこれらのエンティティの合計数を確認することもできます。

アプリケーションにアタッチされたプロジェクトとデマンドに加えて、次のアプリケーションバックログエンティティをタイムラインで表示できます。

タイムラインのアプリケーションバックログビュー



エピック

アプリケーションの概括的なレベルのビジネス目標は、1 つ以上のエピックに分解されます。エピックとは、アプリケーション目標の一部を完了するために必要な作業を、小さく分割して整理したものです。エピックは、さらにストーリーに分解されます。ストーリーは基本的な作業単位であり、ビジネス要件を簡潔に説明し、スプリント内で完了することができます。エピックのタイムラインは、エピックの開始予定日と終了予定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

日に基づいて表示されます。エピックのステータスは [完了] または [キャンセル] 以外になっている必要があります。

ストーリー

ストーリーは通常、エピックの一部です。ビジネスアプリケーションにアタッチされたエピックに含まれ、ステータスが [完了] または [キャンセル] 以外のストーリーが、タイムラインに表示されます。タイムラインは、開始予定日から始まり、ストーリーがタグ付けされているスプリントの終了予定日で終了します。

その他

エピックにアタッチされずに、ビジネスアプリケーション自体に直接関連付けられているストーリーが存在する場合があります。このようなストーリーは、エピック内で [その他] として一覧表示され、タイムラインに表示されます。

拡張

拡張は、スクラム以外のロールを持つユーザーからの特別な要求です。スクラム製品のオーナーはこれらの要求をレビューし、1 つ以上のユーザーストーリーを作成します。[完了してクローズ]、[保留中]、および [キャンセル] ステータス の拡張は、タイムラインに表示されません。拡張タイムラインは、スプリント作業の開始と終了がスケジュールされている開始予定日から終了日までになります。

プロジェクト

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プロジェクトをビジネスアプリケーションに追加できます。

デマンド

PPM Standard プラグインがアクティブ化されていない場合は、デフォルトでデマンドが作成されます。

注:
エピック、ストーリー、および拡張を表示するタイムラインの場合、これらの各レコードが、それにアタッチされているビジネスアプリケーションを参照している必要があります。詳細については、「エピックをビジネスアプリケーションに関連付ける」を参照してください。

[アプリケーション] 列

[アプリケーション] 列に一覧表示されているすべてのエピック、ストーリー、拡張、プロジェクト、およびデマンドはクリック可能です。それぞれをクリックすると、クリック可能なフィールドのポイント先となっている新しいタブでレコードが開かれます。

[リスク] 列

ビジネスアプリケーションのリスクのみが表示され、エピック、ストーリー、拡張、プロジェクト、またはデマンドのリスクは表示されません。

[タイムライン] 列

ビジネスアプリケーションにアタッチされた作業単位の開始日と終了日が、実線でプロットされます。ただし、開始日または終了日のいずれかの日付のみが存在する場合は、その日付のみが塗りつぶされた円としてプロットされます。

アプリケーションバックログビューのビジネスアプリケーションにエピックを関連付ける

エピックをタイムラインのアプリケーションバックログビューに表示するには、エピックがビジネスアプリケーションを参照している必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin、scrum_user、または scrum_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Development** > エピック.
2. エピックリストビューで、[カスタマイズリストの更新] アイコン ( ) をクリックします。
3. [ビジネスアプリケーション] を [選択済み] リストに移動します。
4. **[OK]** をクリックします。
5. エピックのビジネスアプリケーション列をダブルクリックし、ビジネスアプリケーションを追加します。
6. [保存] アイコンをクリックします。

同様の方法で、Agile Development アプリケーションのそれぞれのリストビューで、ビジネスアプリケーションをストーリーと拡張に追加できます。

[SDLC コンポーネント別] ビュー

[SDLC コンポーネント別] ビューには、 **SDLC** コンポーネント > アプリケーションサービス > **Hardware** モデル そして ソフトウェアモデル 連続した構造。また、ビジネスアプリケーションは、[ビジネスアプリケーション] セクションに同じインデントレベルのアプリケーションサービスで表示されます。

このビューでは、すべての SDLC コンポーネントと、関連付けられたアプリケーションサービスおよびビジネスアプリケーションを表示できます。また、アプリケーションサービスに関連付けられている、基礎となるソフトウェアおよびハードウェアのモデルを表示することもできます。ソフトウェアとハードウェアのモデルを展開すると、それらのソースを表示できます。[SDLC コンポーネント別] ビューは、ServiceNow 共通サービスデータモデル (CSDM) v4.0 が実装されている場合に使用できます。

SDLC コンポーネントは、固有のコード開発作業を表す構成アイテムです。SDLC コンポーネントの目的は、より大きなビジネスアプリケーションの構成品、または個々に開発されたコンポーネントに分解されたデジタル製品を表すことです。SDLC コンポーネントは、より大きなアプリケーションまたはテクノロジー全体のソフトウェア構成品または要素です。

SDLC コンポーネントには、アプリケーションとインフラストラクチャの 2 つのタイプがあります。「アプリケーション」タイプの例としてはマイクロサービスがあり、「インフラストラクチャ」タイプの例はデータベース構成やセキュリティ構成です。「アプリケーション」タイプの SDLC コンポーネントの展開済みインスタンスは、アプリケーションサービスになります。「インフラストラクチャ」タイプの SDLC コンポーネントの展開済みインスタンスは、任意のインフラストラクチャ CI で、SDLC コンポーネントがその構成詳細のスナップショットを表します。

ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、および SDLC コンポーネント間の CMDB 関係は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルを使用して作成できます。CSDM v4.0 に準拠した CMDB 関係を作成するには、アプリケーションサービスと SDLC コンポーネントの間の関係、さらには SDLC コンポーネントとビジネスアプリケーションの間の関係を作成する必要があります。

[SDLC コンポーネント別] ビューの利点は、SDLC コンポーネントに関連するすべてのアプリケーションサービスとビジネスアプリケーションを直接表示できることです。CMDB 関係を作成する方法については、「CI 関係エディターを使用したビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスの関連付け」を参照してください。

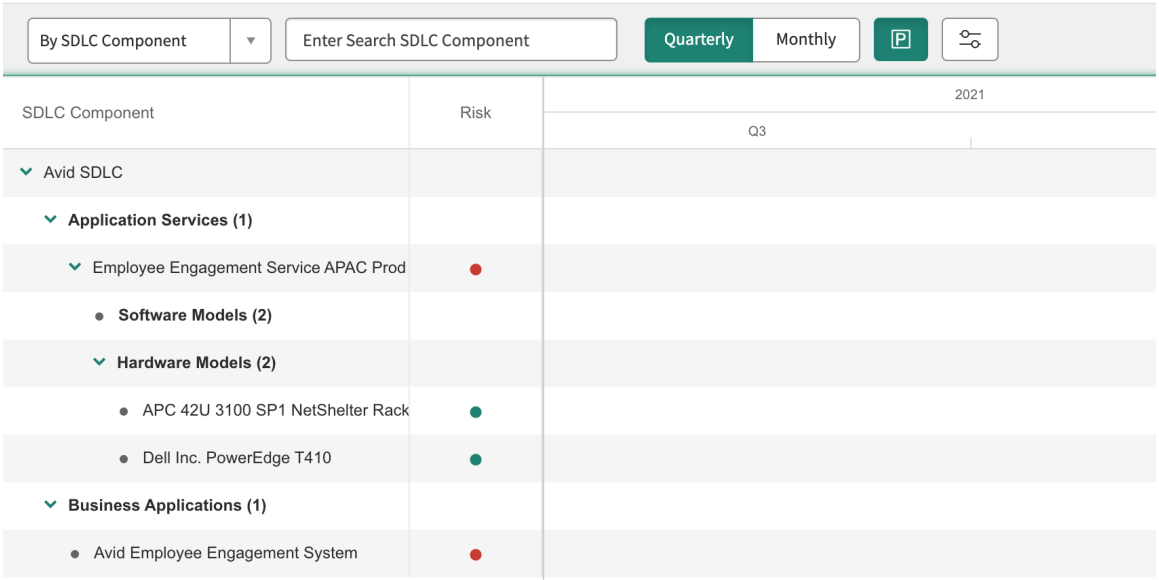
注:
このビューでは、少なくとも 1 つの SDLC コンポーネントが関連付けられているアプリケーションサービスのみを表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[SDLC コンポーネント別] ビューでは、次の検索を実行できます。

[SDLC コンポーネント別] ビュー



[検索 **SDLC** コンポーネントを入力] フィールドを使用して名前を入力し、[SDLC コンポーネント] 列のリストから SDLC コンポーネントを検索します。

タイムラインを使用してアプリケーション戦略を実行する

[ビジネスアプリケーション別] ビューの [アプリケーション] 列には、組織で使用されているすべてのビジネスアプリケーションが一覧表示されます。製品分類別ビューに切り替えると、[カテゴリ] 列ですべての技術を表示できます。ソフトウェアモデル別ビューでは、各完全バージョンのすべてのソフトウェアモデルを表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

デフォルトでは、TPM タイムラインビューは、リスト内の最初のビジネスアプリケーションを展開し、関連付けられたアプリケーションサービスを最初のレベルで表示します。次に、アプリケーションサービスの基礎となるソフトウェアとハードウェアのモデルが次のレベルで表示されます。

後続のビジネスアプリケーションのリストの場合、ビジネスアプリケーションラベルの矢印をクリックして展開すると、アプリケーションに関連付けられているアプリケーションサービスの数とリストが表示されます。また、ビジネスアプリケーションに関連付けられている、基礎となるソフトウェアおよびハードウェアのモデルを表示することもできます。

アプリケーションサービス、ソフトウェアモデル、およびハードウェアモデルのヘッダーは、太字で示されています。これは、ハイパーテキストであるアプリケーションサービス、ソフトウェアモデル、およびハードウェアモデルのラベルと区別するためです。

手順

1. ビジネスアプリケーションフォームに移動して、レコードの詳細を表示および更新するには、ビジネスアプリケーションラベルをクリックします。
2. アプリケーションサービスフォームに移動して、レコードの詳細を更新するには、アプリケーションサービスラベルをクリックします。
3. TPM タイムラインからソフトウェアモデルフォームに直接移動するには、ソフトウェアモデルラベルをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア製品のライフサイクルの詳細 (各完全バージョンの製品モデル) は、フォームで変更できます。

4. ハードウェアフォームに移動して、[ハードウェアモデルライフサイクル] 関連リストでハードウェアライフサイクルの詳細を追加または更新するには、ハードウェアラベルをクリックします。
5. 特定のビジネスアプリケーション ([ビジネスアプリケーション別] ビュー内) またはソフトウェアモデル (ソフトウェアモデル別ビュー内) にデマンドまたはプロジェクトを追加するには、アプリケーションまたはソフトウェアモデルをポイントし、アプリケーションまたはソフトウェアモデルの名前の横に表示される [新規プロジェクトまたはデマンドを追加] アイコン ( ) をクリックします。

   注:

   PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、ビジネスアプリケーションのプロジェクトを作成できます。

   新規デマンド (New Demand) フォームでは、[ビジネスアプリケーション] フィールドに自動入力されるビジネスアプリケーション名を確認できます。

   複数のビジネスアプリケーションにデマンドを追加できます。デマンド (最初からビジネスアプリケーションにアタッチされている場合もあれば、されていない場合もある) は、同様に、別のビジネスアプリケーションにもアタッチできます。

   ビジネスアプリケーションにデマンドを追加し、TPM ページのタイムラインビューでデマンドを表示するには：

   a. 移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > デマンド.
   b. デマンドをクリックして開きます。
   c. デマンドフォームの [ビジネスアプリケーション] 選択リストで、デマンドの追加先にするビジネスアプリケーションを選択します。
   d. レコードを [保存] または [更新] します。
   e. 移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM)** > 技術ライフサイクル をクリックし、TPM ページのタイムラインビューを更新します。

      ビジネスアプリケーションに追加されたデマンドの数を表示できます。矢印をクリックして展開し、デマンド名を表示します。

      注:
      ビジネスアプリケーションにアタッチされているデマンドの開始日と終了日が、デマンドタイムラインにプロットされます。デマンドの開始日または終了日のいずれかの日付のみが存在する場合は、その日付が点としてプロットされます。

CI 関係エディターを使用したビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスの関連付け

ビジネスアプリケーションは複数のインスタンスを持つことができます。アプリケーションインスタンスは、アプリケーションサービスに他なりません。ビジネスアプリケーションをアプリケーションサービスに関連付けることで、ビジネスアプリケーションをインスタンスに関連付けます。ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスは 2 つの異なる構成アイテムであり、CI 関係を通じて関連付ける必要があります。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > すべてのビジネスアプリケーション > ビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスを関連付けるには、ビジネスアプリケーションをクリックして開きます。
3. ビジネスアプリケーションフォームの [関連アイテム] セクションで [CI 関係を追加 (Add CI relationship)] (+) アイコンをクリックして関係エディターを起動し、CI 関係 を作成します。
4. [構成アイテム] セクションから 1 つ以上のアプリケーションサービスを選択します。

   Service Mapping との統合は、構成アイテム間の直接関係を作成する CI 関係エディターを介して行われます。

5. [関係] セクションの (+) アイコンをクリックします。
   デフォルトでは、**Consumes::Consumed by** 関係タイプが選択されます。

   CMDB の提案された関係タイプを使用して、2 つの構成アイテムを関連付けることができます。関係タイプが自動的に選択されるだけでなく、関係の一貫性も確保されます。提案された関係は、機能とアプリケーションの間、およびアプリケーションとサービスの間で確立されます。

6. [保存して終了] をクリックします。

次のタスク
これで、ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスとの関係が作成されました。次に、アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付けることができます。

アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付ける

ハードウェアモデルを使用して、コンピューターやサーバーなどの機器資産を追跡します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて
ハードウェアモデルは、特定のデバイスモデルに対応した仕様を持つ構成アイテムです。仕様は、デバイスのサイズ、奥行き、画像、モデル、電源のいずれかにすることができます。

> **注:**
> アプリケーションポートフォリオ管理 では、コンピューターとサーバーのみがハードウェアまたはハードウェアモデルとして追跡されます。プリンター、ネットワーク機器、周辺機器、UPS など、他のタイプのハードウェアは、アプリケーションサービスでは追跡されません。

ビジネスアプリケーションは、さまざまなタイプのハードウェアにインストールできる複数のアプリケーションサービスで実行されている場合があります。そのため、アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付けることは、基礎となるハードウェアに起因するアプリケーションサービスリスクの把握に役立ちます。

製品モデルの取得ジョブを実行すると、アプリケーションサービスがハードウェアモデルに自動的に関連付けられます。アプリケーションサービスとハードウェア製品モデルがマッピングされ、アプリケーションサービス用のハードウェアモデル [sn_apm_tpm_app_service_hardware_model] テーブルにレコードが作成されます。ただし、ハードウェアを含むすべてのハードウェアモデルにアプリケーションサービスを手動で関連付けることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「TPM リスクパラメーターのロードとアプリケーションサービスリスクの計算」スケジュール済みジョブが実行された後、ハードウェアモデルの技術リスクデータが生成され、ハードウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_hardware_model_risk] テーブルに保存されます。

> **注:**
> APM ユーザーは、ハードウェア製品モデルリスクテーブルへのアクセスが読み取り専用に制限されています。ただし、APM 管理者は、テーブル内のハードウェアモデルリスクを作成、変更、および削除できます。また、ハードウェア [cmdb_ci_hardware]、ハードウェアモデル [cmdb_hardware_product_model]、およびハードウェアモデルライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle] テーブルへのアクセスは読み取り専用です。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM)** > アプリケーションサービス.
2. ハードウェアモデルを関連付けるアプリケーションサービスであるサービスレコードをクリックします。
3. [アプリケーションサービス用のハードウェアモデル] 関連リストをクリックします。
4. [新規] をクリックします。

   アプリケーションサービス用のハードウェアモデルデータベーステーブルには、アプリケーションサービス用のハードウェアモデル情報が保存されます。アプリケーションナビゲーターからアプリケーションサービス用のハードウェアモデルテーブルに、直接移動することもできます。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「アプリケーションサービス用のハードウェアモデル」を参照してください。
6. [送信] をクリックします。

アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付ける

ビジネスアプリケーションには、開発、QA、本番などの複数のインスタンスがあります。インスタンスは、アプリケーションサービスに他なりません。アプリケーションサービスのリスクを知るには、アプリケーションサービスをソフトウェアモデル (それぞれの完全バージョン) に関連付ける必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM)** > アプリケーションサービス.
2. ソフトウェアモデルを関連付けるアプリケーションサービスであるサービスレコードを選択します。
3. [アプリケーションサービスソフトウェアモデル] 関連リストを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。

   アプリケーションサービス用のソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_model] データベーステーブルに、アプリケーションサービス用のソフトウェアモデル情報が保存されます。また、アプリケーションナビゲーターからアプリケーションサービス用のソフトウェアモデルテーブルに直接移動することもできます。このテーブルのデータは、[TPM] 画面の [ソフトウェアモデル別] ビューにソフトウェアモデルタイムラインとして表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「アプリケーションサービス用のソフトウェアモデルフォーム」を参照してください。
6. [送信] を選択します。

次のタスク
ソフトウェアモデルのリスクを評価するためのリスクパラメータースコアを作成します。ソフトウェアモデルのリスクに基づいて、アプリケーションサービスのリスクを計算できます。最後に、アプリケーションサービスのリスクに基づいて、ビジネスアプリケーションのリスクを評価できます。

リスクパラメーターを作成

ソフトウェアモデルのリスクは、外部経過時間リスク、内部経過時間リスク、外部ステージリスク、内部ステージリスクなどの事前に構成された 4 つのパラメーターに基づいて計算されます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
事前に構成されたパラメーターに加え、ビジネスアプリケーション要件とそのベースとなるソフトウェアモデルに従って、リスクパラメーターを作成することもできます。ただし、パラメーターを作成する場合は、そのパラメーターのリスクを計算するロジックが含まれたスクリプトも記述する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > **TPM** リスクパラメーター.
2. **[New** (新規)] をクリックするか、レコードを開きます。
3. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「リスクパラメーターフォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

次のタスク
リスクパラメーターを作成した後で、TPM リスクエンジンを実行してリスクパラメーターをロードし、アプリケーションサービスリスクを計算します。

アーキテクチャアーティファクトの作成または編集

アーキテクチャアーティファクトを作成したり編集したりして、ビジネス要件に対応します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アーキテクチャアーティファクト > アーティファクト.
2. アーキテクチャアーティファクトを作成または編集します。
   - アーティファクトを作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存のアーティファクトを編集するには、アーティファクトの名前をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドの詳細については、「アーキテクチャアーティファクトフォーム」を参照してください。

4. [送信] または [更新] をクリックします。

アーティファクトとビジネスエンティティとの関連付け

ビジネス機能やビジネスアプリケーションなど、Now Platform における既存の要素にアーキテクチャアーティファクトを関連付けます。関連付けにより、アーティファクトと関連エンティティ間の関係が作成されます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アーキテクチャアーティファクト > アーティファクト.
2. 関連エンティティを追加するアーティファクトの名前をクリックします。
3. 表示された詳細フォームで、[関連エンティティ] タブをクリックします。
4. [新規] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「関連エンティティフォーム」を参照してください。
6. [送信] をクリックします。

ビジネス機能のアーティファクトの管理

ビジネス機能に関連付けられているアーティファクトを表示したり管理したりします。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > ビジネス機能.
2. ビジネス機能の名前をクリックして、関連するアーティファクトを表示します。
3. [関連リンク] セクションで、[アーキテクチャアーティファクト] タブを選択します。
   ビジネス機能に関連付けられたアーティファクトのリストが表示されます。
4. アーティファクトを作成するか、既存のアーティファクトを編集します。
   - アーティファクトを作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存のアーティファクトを編集するには、[編集] をクリックします。

   要件に応じて、選択したアーティファクトをダウンロードしたり削除したりすることもできます。

ビジネスアプリケーションのアーティファクトの管理

ビジネスアプリケーションに関連付けられているアーティファクトを表示したり管理したりします。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションの名前をクリックして、関連するアーティファクトを表示します。
3. [関連リンク] セクションで、[アーキテクチャアーティファクト] タブを選択します。
   ビジネスアプリケーションに関連付けられたアーティファクトのリストが表示されます。
4. アーキテクチャアーティファクトを作成または編集します。
   - アーティファクトを作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存のアーティファクトを編集するには、[編集] をクリックします。

   要件に応じて、選択したアーティファクトをダウンロードしたり削除したりすることもできます。

アーティファクトカテゴリの作成または編集

アーティファクトのカテゴリを作成したり編集したりします。アーキテクチャアーティファクトにカテゴリをアサインします。カテゴリにより、アーティファクトの分類や管理がより効率的になります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アーキテクチャアーティファクト > カテゴリ.
2. アーキテクチャカテゴリを作成または編集します。
   - 新しいアーキテクチャカテゴリを作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存のカテゴリを変更するには、カテゴリの名前をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「アーキテクチャカテゴリフォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

アーティファクトバージョンの作成

アーキテクチャアーティファクトのバージョンを複数作成して、承認を依頼します。各アーティファクトに対して承認を受けられるバージョンは 1 つだけです。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アーキテクチャアーティファクト > アーティファクト.
2. アーティファクトバージョンを作成するアーキテクチャアーティファクトを選択します。
3. [アーキテクチャアーティファクトのバージョン] タブを選択します。
4. [新規] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドの詳細については、「アーキテクチャアーティファクトのバージョンフォーム」を参照してください。

6. [送信] をクリックします。

アーティファクトバージョンのダウンロード

承認されたアーティファクトバージョンをダウンロードして、アーキテクチャ図を表示します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アーキテクチャアーティファクト > バージョン.
2. ダウンロードするアーキテクチャアーティファクトのバージョンを選択します。
3. [アーティファクトをダウンロード] をクリックします。

> **注:**
> 未承認のアーティファクトバージョンまたは URL のアーティファクトバージョンはダウンロードできません。これらをダウンロードしようとすると、エラーメッセージが表示されます。

タスクの結果
承認済みバージョンのドキュメントがダウンロードされます。

アーティファクトバージョンの承認の要求

エンタープライズアーキテクトユーザーにアーキテクチャアーティファクトバージョンの承認を要求します。ユーザーが要求をレビューして承認します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アーキテクチャアーティファクト > アーティファクト.
2. アーティファクトバージョンの承認を要求するアーキテクチャアーティファクトを選択します。
3. [アーキテクチャアーティファクトのバージョン] タブを選択します。
4. レコードのバージョン番号をクリックして開きます。
5. [要求承認] を選択します。

タスクの結果
レコードバージョンが、承認のためにエンタープライズアーキテクトに送信されます。メール通知が、承認者に送信されます。

アーティファクトバージョン要求の承認または却下

エンタープライズアーキテクトは、他のユーザーによって送信されたアーキテクチャアーティファクトのバージョン要求を作成、編集したり、承認または却下したりできます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ユーザーがアーティファクトを要求すると、メール通知が承認者に送信されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Service Desk** > 自分の承認.
2. 承認または却下するアーティファクト要求を選択します。
3. [承認] または [却下] を選択します。

タスクの結果
要求者は、承認または却下のメール通知を受け取ります。

アーキテクチャレビュー要求の承認

エンタープライズアーキテクトグループに属している場合は、アーキテクチャレビュー要求を承認できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
グループ内の承認者は、必ずしも APM ユーザーである必要はなく、APM ロールを持っている必要もありません。ただし、承認者はユーザーテーブル [sys_user] に含まれているユーザーである必要があります。エンタープライズアーキテクトグループのどの承認者も、アーキテクチャレビュー要求を承認できます。

グループのメンバーを追加または変更するには、次の場所に移動します。 アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > **Services** 承認グループ.

手順

1. 移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > サービス要求.
2. タスクの番号をクリックします。
3. [承認者] 関連リストまで下にスクロールし、承認のステータスをクリックします。
4. [ステータス] フィールドで [承認済み] または [却下] を選択します。
5. [更新] をクリックします。

   ARB 要求が承認または却下されると、要求者はメール通知を受け取ります。自動化された Flow Designer プロセスも作成されます。次に移動できます アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > サービスフローデザイナー をクリックしてフローを確認します。

ビジネスアプリケーションの **Lucidchart** 図を作成

ビジネスアプリケーション階層の図 Lucidchart を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けます。

始める前に
次の ServiceNow ストアアプリがインストールされていることを確認します。

- Lucidchart Diagramming スポーク
- Lucidchart 統合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Lucid との接続が確立されていることを確認します。詳細については、「Lucidchart で OAuth 2.0 クライアントを作成する」および「Lucidchart Diagramming スポークの接続および資格情報エイリアスを作成する」を参照してください。

必要なロール: エンタープライズアーキテクトグループのメンバー

手順

1. ビジネスアプリケーション図に移動します。
   - 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アーキテクチャアーティファクト > 図.
   - 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション をクリックし、ビジネスアプリケーションを選択します。
2. [図を作成] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

   注:
   [ダイアグラムを作成] ウィンドウの認証リンクを使用して認証トークンを生成し、Lucid フォルダーをフェッチしてダイアグラムを保存します。

   フィールドの詳細については、「ビジネスアプリケーションの [図を作成] フォーム」を参照してください。
4. [図を作成] をクリックします。

タスクの結果
送信が成功すると、新しく作成された Lucid 図へのリンクが画面上部に表示されます。リンクを選択すると、図に移動できます。[アーキテクチャアーティファクト] ページには、Lucidchart 図へのリンクとそれに関連付けられたアーティファクト名が表示されます。それぞれのリンクを選択して、アーティファクトまたは図にアクセスできます。

ビジネス機能の **Lucid** 図を作成

ビジネス機能マップの図 Lucidchart を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けます。

始める前に
次のストアアプリをインストールします。

- Lucidchart Diagramming スポーク
- Lucidchart 統合

Lucid との接続が確立されていることを確認します。詳細については、「Lucidchart で OAuth 2.0 クライアントを作成する」および「Lucidchart Diagramming スポークの接続および資格情報エイリアスを作成する」を参照してください。

必要なロール: エンタープライズアーキテクトグループのメンバー

手順

1. 次のいずれかの方法で、ビジネス機能図に移動します。
   - 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アーキテクチャアーティファクト > 図.
   - 移動先 すべて > 組織 > ビジネス機能 をクリックし、ビジネス機能を選択します。
2. [図を作成] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> [ダイアグラムを作成] ウィンドウの認証リンクを使用して認証トークンを生成し、Lucid フォルダーをフェッチしてダイアグラムを保存します。

フィールドの詳細については、「ビジネス機能の図を作成」を参照してください。

4. [図を作成] をクリックします。

タスクの結果

送信が成功すると、新しく作成された Lucid 図へのリンクが画面上部に表示されます。リンクを選択すると、図に移動できます。[アーキテクチャアーティファクト] ページには、Lucidchart 図へのリンクとそれに関連付けられたアーティファクト名が表示されます。それぞれのリンクを選択して、アーティファクトまたは図にアクセスできます。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してアプリケーションを要求または廃止する

APM ユーザーは、ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスを使用して、ビジネス用の新しいビジネスアプリケーションを要求または登録する必要があります。他のサービスカタログアイテムを注文するのと同様に、ビジネスアプリケーションを要求できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

ベースシステムでも、すべての Now Platform 顧客に対して、サービスとして [ビジネスアプリケーションの登録] を提供しています。Application Portfolio Management コアプラグイン (com.snc.apm_core) がこのサービスを提供し、プラグインは新規および再起動されたインスタンスで使用できます。アプリケーションポートフォリオ管理 アプリケーションを所有していない顧客は、このサービスを利用して新しいビジネスアプリケーションを要求することができます。ただし、Application Portfolio Management プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると、機械学習ソリューションを使用してアプリケーションカテゴリを予測および設定するために、このサービスが拡張されます。

プラグインの詳細については、「Application Portfolio Management のアクティブ化」を参照してください。「」を参照してください。 予測インテリジェンス for アプリケーションポートフォリオ管理 ビジネスアプリケーションの機械学習ソリューションの詳細を確認します。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > ビジネスアプリケーションカタログ.

   ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスが、サービスカタログページで開きます。

2. 新しいビジネスアプリケーションを登録するには、[ビジネスアプリケーションの登録] カードをクリックするか、[ビジネスアプリケーションの登録] カードで [詳細を表示] をクリックします。
3. ビジネスアプリケーションの登録フォームに詳細を入力します。

   ビジネスアプリケーションの名前は必須です。必須フィールドの横に赤のアスタリスク (*) があります。

4. [送信] をクリックします。

   システムが要求を検証し、同じ名前のビジネスアプリケーションが存在するかどうかを確認します。存在する場合は、エラーメッセージが表示されます。存在しない場合は、フローがトリガーされ、ビジネスアプリケーションの登録要求が作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

承認要求は、ビジネスアプリケーション登録承認グループに送信されます。グループのメンバーが要求を承認した後、ビジネスアプリケーションがビジネスアプリケーションテーブルにレコードとして作成されます。これに対するメール通知が届きます。

5. 不要になったビジネスアプリケーションを廃止するには、[ビジネスアプリケーションの廃止] カードをクリックするか、[ビジネスアプリケーションの廃止] カードで [詳細を表示] をクリックします。

   a. [ビジネスアプリケーションの廃止] フォームの値リストからアプリケーションの名前を選択します。
   ビジネスアプリケーションを廃止するための条件：
   - アプリケーションの IT オーナー、ビジネスオーナー、またはアプリケーションをサポートするユーザーのみが、アプリケーションの廃止を要求できます。
   - ビジネスアプリケーションを廃止するには、sn_apm.apm_user または sn_apm.apm_analyst ロールが必要です。
   - APM ユーザーは、ビジネスアプリケーションレコードを削除したり、アプリケーションを [非アクティブ] としてマークしたりすることはできません。ただし、アプリケーションを廃止するための新しい要求を出すことはできます。
   - 廃止を選択するビジネスアプリケーションは、[廃止] ステータスになっていない必要があります。また、アプリケーションレコードの [アクティブ] フィールドが **[False]** (非アクティブ) になっていない必要があります。

   b. [送信] をクリックします。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスの要求

新しいビジネスアプリケーションに対して、APM ユーザーから出された要求を承認することも、ユーザーが必要としなくなったアプリケーションを廃止することもできます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

承認者 (apm_analyst) もエンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。グループのメンバーを追加または変更するには、次の場所に移動します。 アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > **Services** 承認グループ.

手順

1. 移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > サービス要求.

   ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスに関連するすべての要求は、ビジネスアプリケーション要求テーブル [business_app_request] にタスクとして保存されます。

   承認のために、キューにあるタスクをメモします。

2. タスク番号を選択します。
3. [承認者] 関連アイテムまで下にスクロールします。
4. 承認タスクのステータスを選択します。
5. [ステータス] フィールドのリストから適切なステータスを選択します。
6. 必要に応じてコメントを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [更新] を選択します。

   要求を承認または却下すると、対応するフローがトリガーされます。[**Show flow engine context**] 関連リンクを選択して、要求のフローエンジンコンテキストを表示します。また、次の場所に移動することもできます。 アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > サービスフローデザイナー をクリックして、Flow Designer でフローを確認します。

   ビジネスアプリケーションの登録要求を承認する場合

   - 承認されたビジネスアプリケーションは、ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app] に識別番号を持つレコードとして作成されます。アプリケーションのステータスは [実装中 **(Implementing)]** ステータスです。
   - ビジネスアプリケーションの承認を通知するメールが、要求者に送信されます。

   ビジネスアプリケーションの廃止要求を承認する場合

   - システムプロパティで選択された値に基づいて、*sn_apm.retireBusinessApplicationTaskType*プロジェクトまたはデマンドが作成されます。値がプロジェクトとして設定されている場合、システムプロパティ *sn_apm.retireBusinessAppProjectTemplate* で定義されたプロジェクトテンプレートが適用されます。

     アプリケーションポートフォリオ管理 のベースシステムは、アプリケーションを適切に廃止するために、事前定義された 8 つの異なるプロジェクトテンプレートタスクを含むビジネスアプリケーションの廃止と呼ばれるプロジェクトテンプレートを提供します。

     プロジェクトが作成され、プロジェクトマネージャーがプロジェクトにアサインされた後、プロジェクトマネージャーは必要に応じてタスクをレビュー、編集、または追加できます。プロジェクトテンプレートの詳細については、「プロジェクトテンプレート」を参照してください。プロジェクトタスクを理解するには、「プロジェクトタスク」を参照してください。

   - *sn_apm.retireBusinessApplocationTaskType* システムプロパティの値がデマンドに設定されている場合は、デマンドが作成されます。

     プロジェクトとは異なり、APM は事前設定されたデマンドタスクを含むテンプレートからはデマンドを生成しません。代わりに、必須フィールドに自動入力される特定の値を使用してデマンドが作成されます。

     アプリケーションを廃止するために作成されるデマンドを表示するには、次の場所に移動します。 アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > デマンド.

     フィールドの詳細については、「アプリケーションを廃止するデマンドフォーム」を参照してください。

   - 既にプロジェクトまたはデマンドが存在している要求を承認した場合は、そのリクエストに対して別のプロジェクトまたはデマンドが作成されることはありません。
   - アプリケーションの廃止要求が却下された場合は、要求者にメール通知が送信されます。ただし、承認または却下にかかわらず、ビジネスアプリケーションのステータスは更新されません。
   - APM 管理者またはアナリストは、ビジネスアプリケーションレコードを削除したり、アプリケーションを [非アクティブ] としてマークしたりすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してアーキテクチャレビューを要求する

アーキテクチャレビューボードに提示することで、ビジネスアプリケーションのテクノロジーに関する新しいアーキテクチャ設計提案のレビューを要求できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて
アプリケーションオーナーは、ビジネスアプリケーションの基礎となるテクノロジーの変更やネットワーク設計の変更を提案したり、新しいサービス、ソリューション、またはハードウェア標準を提案したりすることができます。

設計提案は、次を目的として、アーキテクチャレビューボードを形成するエンタープライズアーキテクトのチームによってレビューされます。

- 開発と IT 戦略を適合させます。
- 設計レビュープロセスを通じて製品の品質を高めます。
- 特定の設計上の質問に対する推奨プラクティスについてガイダンスを提供します。
- セキュリティ、パフォーマンス、UI 設計の照会チームとして機能し、影響を受ける可能性がある今後の機能をレビューします。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > ビジネスアプリケーションカタログ.
2. アーキテクチャレビューを要求するには、[アーキテクチャレビューを要求] リンクまたは [アーキテクチャレビューを要求] カードの [詳細を表示] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

   ビジネスアプリケーションの名前は必須です。必須フィールドの横に赤のアスタリスク (*) があります。

   注:

   アーキテクチャレビューを要求するには、ビジネスオーナー、IT アプリケーションオーナー、またはアプリケーションをサポートするユーザーである必要があります。

   フィールドの詳細については、「アーキテクチャレビューを要求フォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

   送信時に、エンタープライズアーキテクトグループのメンバーに承認要求が送信されます。要求がレビューボードによって承認されるとすぐに、メール通知が送信されます。要求が却下された場合でも、通知されます。

アプリケーションを評価するインジケーターを作成または編集する

アプリケーションインジケーターは、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価するビジネス測定基準です。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
各インジケーターは、アプリケーションスコアの計算に使用される関連アプリケーションデータを定期的にキャプチャします。アプリケーションのアセスメントは、構成されたさまざまなインジケーターに基づく拡張可能なフレームワークで実行されます。アプリケーションスコアを計算するために事前に構成されたもの以外のインジケーターが必要な場合は、ビジネス要件に基づいてインジケーターを作成できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > アプリケーションインジケーター.
2. [新規 **(New)]** をクリックするか、既存のアプリケーションインジケーターをクリックして編集します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「インジケーターフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。
5. アプリケーションのインジケータースコアを再生成するには、インジケーターをクリックして開きます。

   a. コンテキストメニューの [インジケータースコアを再生成] オプションをクリックします。

      このアクションは、単にそのインジケーターの既存のスコアを更新するのではなく、スコアを削除して新しいスコアを生成します。このインジケーターは、1 つ以上の採点プロファイルにアタッチされている場合があるため、この採点プロファイルに関連付けられているすべてのビジネスアプリケーションのスコアを再計算します。

   b. [アプリケーションインジケータースコアを再生成] ダイアログボックスで会計期間を選択します。

   c. **[OK]** をクリックします。

   d. [更新] をクリックします。

6. 依存インジケーターを作成するには、インジケーターをクリックして開きます。
   [データソース] フィールドで [インジケーター] を選択した場合、そのインジケーターレコードを開くと、[インジケーター依存関係] 関連リストが表示されます。

   注:
   データソースがインジケーターになっているインジケーターは、依存子インジケーターとして追加できません。

   a. [インジケーター依存関係] 関連リストで [新規] をクリックします。
      親インジケーターが [親インジケーター] フィールドに自動入力されます。

   b. [子インジケーター] フィールドで依存インジケーターを選択します。

   c. [送信] をクリックします。

7. ビジネスアプリケーションを評価するには、[アセスメントを生成] をクリックします。

次のタスク
事前に構成されたインジケーターを使用して、コスト、品質、およびリスクに基づいてアプリケーションを評価します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サーベイアセスメントを生成し、APM 内で結果を表示する

APM 内で、ビジネスアプリケーションを使用するユーザーにアセスメントアンケートをアサインし、アプリケーションに関するフィードバックを取得できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて

APM は アセスメントとサーベイ と統合し、アセスメント測定基準タイプに基づいてビジネスアプリケーションとビジネス機能を評価します。アセスメントから提供されたアプリケーションインジケーターは、アセスメント測定基準でのみ評価できます。

アセスメント測定基準は、ビジネスアプリケーションを評価するために使用される特性または値です。関連測定基準は、アセスメント測定基準カテゴリにグループ化され、そのカテゴリのみでビジネスアプリケーションを評価するために使用できます。一方、測定基準タイプは、組織がビジネスアプリケーションを評価する際に使用する一連の基準を定義する、多くの測定基準カテゴリから構成できます。

たとえば、組織は、顧客満足度、ビジネス価値、技術的リスク、機能適合性などのアセスメント測定基準タイプを使用して、ビジネスアプリケーションを評価できます。さらに、組織は、顧客満足度の CSAT カテゴリなど、1 つのアセスメント測定基準カテゴリに基づいてビジネスアプリケーションのグループを評価できます。この CSAT カテゴリ内では、アセスメントアンケートの質問などの実際のアセスメント測定基準を定義できます。`How likely is it that you would recommend this application to others?`

ビジネスアプリケーションはアセスメント可能なレコードであり、測定基準タイプにリンクされています。カスタム UI を使用して、基準を満たすビジネスアプリケーションテーブルの列に基づいて条件を設定し、アプリケーションをフィルタリングします。ターゲット査定人としてユーザーグループまたは選別されたユーザーのいずれかを選択し、サーベイに回答するためのアンケートを送信します。[アセスメントインスタンス] でアセスメントとそのステータスを表示し、[インジケーター] 関連リストの [測定基準カテゴリの結果] タブで結果を表示します。

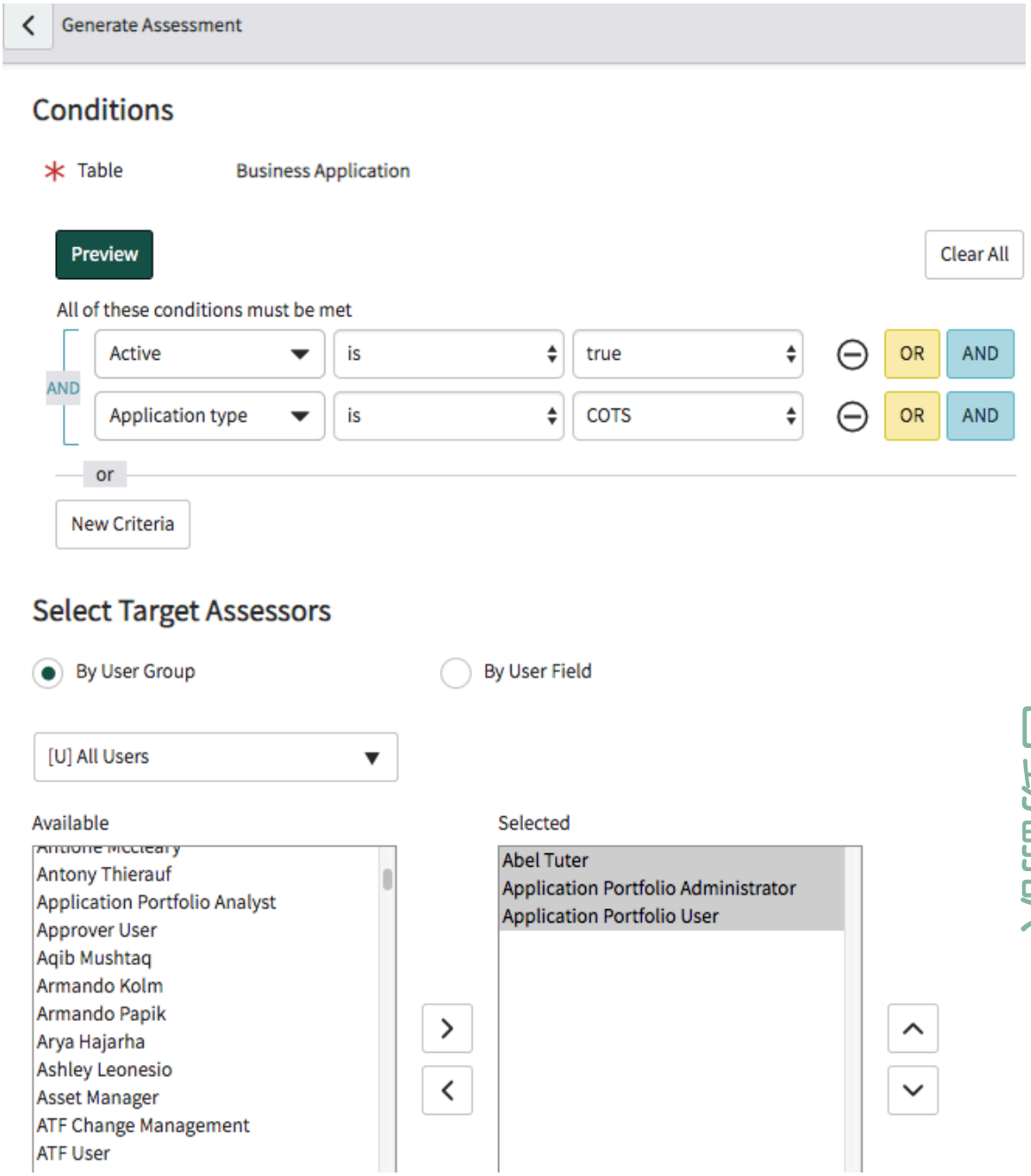
手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > アプリケーションインジケーター.
2. データソースがアセスメントになっているインジケーターをクリックして開きます。
3. [アセスメントを生成] ボタンをクリックします。
4. 評価する必要があるビジネスアプリケーションをフィルタリングするには、開かれた [アセスメントを生成] UI の条件ビルダーにある [フィールド]、[オペレーター]、および [値] フィールドで条件を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメント **UI** の生成



フィルター基準はビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app] テーブルのすべてのレコードに適用されます。また、テーブルの任意の列でアプリケーションをフィルタリングできます。

5. 依存条件を追加するには、条件の横にある **[AND]** または **[OR]** をクリックします。
6. トップレベルの条件または複数のフィルター基準を追加するには、[新しい基準] ボタンをクリックします。
7. 既存のフィルター条件を消去して新しい条件を設定するには、[すべて消去] ボタンをクリックします。
8. [ターゲット査定人を選択] 領域でユーザーを選択し、アセスメントの質問を送信します。

   ユーザーグループを選択することも、個々のアプリケーションユーザーを [査定人] リストに移動することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [アセスメント送信] をクリックします。
10. [アセスメント送信] ダイアログボックスで **[OK]** をクリックして確定します。

    ユーザーは、次の場所に移動して、アサインされたアセスメントを表示して実施できます。 セルフサービス > 自分のアセスメントとサーベイ.

    詳細については、「サーベイの実施」を参照してください。

    ユーザーがアセスメントを送信すると、[アセスメントのインスタンス] タブのアセスメントのインスタンスの [ステータス] が [完了] に変わります。

11. [アセスメントのインスタンス] タブをクリックして、作成されたアセスメントのインスタンス、フィルター基準に適合するユーザーに送信されたアセスメントの合計数、およびアセスメントのインスタンスのステータスを表示します。

    1 つのアセスメントのインスタンスは、1 人のユーザーにアンケートがアサインされた 1 回分に相当します。

    注:

    インジケータースコアと対応するアプリケーションスコアは、アセスメントグループ内のすべてのユーザーがアセスメントを完了した場合にのみ計算されます。

12. [測定基準カテゴリの結果] タブをクリックして、ユーザーまたはユーザーグループによってアセスメントされた各ビジネスアプリケーションの重み付け、評価、および正規化値を表示します。
    詳細については、「アセスメントカテゴリ結果の表示」を参照して、アセスメント結果の計算方法について確認してください。

アプリケーションスコアプロファイルの作成およびプロファイルインジケーターのアタッチ

アプリケーションスコアプロファイルを作成したり、デフォルトのアプリケーションプロファイルを要件に応じて新しいプロファイルインジケーターで更新したりできます。スコアプロファイルを作成した後で、それをインジケーターに関連付ける必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
採点プロファイルを新しいインジケーターで作成または更新し、ビジネスアプリケーションに関連付けることができます。多くの採点プロファイル内で同じインジケーターを使用して、その採点プロファイルに固有のインジケータースコアを生成することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > 採点プロファイル.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「採点プロファイルフォーム」を参照してください。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。

   スコアプロファイルを作成した後、プロファイルインジケーターをスコアプロファイルに関連付ける必要があります。

5. [プロファイルインジケーター] 関連リストで、インジケーターを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [新規] をクリックします。

b. フォームのフィールドに入力します。

プロファイルインジケーターフォーム

フィールド	説明
プロフィール	アプリケーションプロファイルの名前。
インジケーター	アプリケーションインジケーターの名前。
アプリケーション採点プロファイル内で評価 (Evaluate within Application Scoring Profile)	スコアの評価において、選択した採点プロファイルに関係するビジネスアプリケーションを考慮するためのオプション。 チェックボックスをオフにすると、必然的に、企業内のすべてのビジネスアプリケーションまたはすべての採点プロファイルが評価されます。
ドメイン	インジケーターが属するドメイン。
CI スコア計算で使用	アプリケーションスコアの計算でアプリケーションインジケーターを使用するためのオプション。
重み付け	インジケーターに対する数値。 インジケーターのアプリケーションスコアプロファイルで指定された重み付けは、アプリケーションの合計スコアに寄与します。

プロファイルに追加するインジケーターは、依存子インジケーターを持つ親インジケーターにすることができます。このような親インジケーターが採点プロファイルに追加されると、そのすべての依存子インジケーターも、採点プロファイルにまだ存在していない場合は、重み付け 0 で追加されます。

依存インジケーターの作成方法の詳細については、「アプリケーションを評価するためのインジケーターを作成または編集する」を参照してください。

c. [送信] をクリックします。

次のタスク

スコアを再生成：採点プロファイルにアタッチされているすべてのインジケーターのスコアを再生成するには、[スコアを再生成] ボタンをクリックします。このアクションは、単に既存のスコアを更新するのではなく、既存のスコアを削除して新しいスコアを生成します。したがって、この採点プロファイルに関連付けられているすべてのビジネスアプリケーションのスコアも再計算されます。

定期的にアプリケーションスコアを計算するためのジョブをスケジュールできます。

アプリケーションインジケータースコアの表示

アプリケーションインジケーターに定義されたソーシングセットアップに基づいて、ソーシングおよび計算されたアプリケーションインジケータースコアを表示します。アセスメントフレームワークは、少なくとも 1 つの採点プロファイルにアタッチされているインジケーターのスコアのみを計

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

算します。インジケータースコアは、アプリケーションを評価し、戦略的な決定を下す際に役立ちます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
会計期間における、ビジネスアプリケーションのアプリケーションインジケータースコアの詳細を表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーション評価 > インジケータースコア.
   アプリケーションが一覧表示され、各会計期間のインジケーター、インジケータースコア、正規化値、アプリケーションの重み付け、および重み付けの合計が表示されます。正規化値、インジケータースコア、アプリケーションの重み付け、最大ターゲット、最小ターゲット、および重み付けの合計は、すべて小数点以下 2 桁に丸められます。
2. リスト内のビジネスアプリケーションをクリックして、アプリケーションの詳細を表示します。

関連情報

アプリケーションを評価するインジケーターを作成または編集する

すべてのアプリケーションスコアの表示

アプリケーション採点プロファイルのアプリケーションインジケーターの重み付けの合計で計算されたアプリケーションスコアを表示します。アプリケーションスコアは、アプリケーションを評価して、戦略的な決定を下す際に役立ちます。

始める前に
スコアは手動で作成できますが、アセスメントフレームワークでスコアを計算することをお勧めします。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
会計期間内における、特定のビジネスアプリケーションのアプリケーションスコアを表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーション評価 > すべてのアプリケーションスコア.
   アプリケーションは、各会計期間のそれぞれのスコアとともに一覧表示されます。スコアは小数点以下 2 桁に丸められます。
2. リスト内のビジネスアプリケーションをクリックすると、アプリケーションの詳細ビューが表示されます。

関連情報

アプリケーションスコアの正規化

アプリケーションスコアをバブルチャートで分析する

バブルチャートは、アプリケーションインジケータースコアをプロットするインタラクティブなグラフです。戦略の特定に役立ちます。バブルチャートで複数のインジケーターの組み合わせを構成することで、カテゴリのアプリケーションを評価し、アプリケーションについて投資するか、維持するか、または置き換えるかを決定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
バブルチャートを使用して、アプリケーションのインジケータースコアを X 軸と Y 軸にプロットします。これらのスコアを使用して、目標を戦略化し、アプリケーションに投資するデマンド、もしくはアプリケーションを置換または維持するデマンドを作成できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > 分析.

   グループ分析ページが表示されます。

   [グループ分析] ページには、次のセクションがあります。

   アセスメント期間

   アプリケーションの分析対象となる会計期間。

   アプリをフィルタリング

   アプリケーションインジケータースコアに設定された基準に基づいて、アプリケーションカテゴリをフィルタリングする際に役立ちます。

   [カテゴリ] ドロップダウン

   アプリケーションファミリ、アプリケーションカテゴリ、機能などのグループ別にアプリケーションをフィルターするのに役立ちます。

2. [カテゴリ] ドロップダウンリストから [アプリケーションカテゴリ] を選択します。

   機能のリストが表示されます。

3. アプリケーションカテゴリをクリックして開きます。

   アプリケーションカテゴリのバブルチャートが開きます。バブルチャートは、フィルターされた値の範囲内にあるアプリケーションインジケータースコアの測定基準を表示するのに役立ちます。

   [アプリケーション分析] セクションを使用して、選択したインジケーターのアプリケーションを比較します。小数点以下 2 桁に丸められたアプリケーションの合計スコア、契約更新の詳細、そのライフタイムの詳細、およびアプリケーションに関連付けられたさまざまなコストが表示されます。どのアプリケーションにさらに投資するか、どのアプリケーションが実は役立っていないかを分析して把握できます。ビジネスアプリケーションフォームでビジネスアプリケーションレコードの詳細を表示するには、リスト内でアプリケーションの名前をクリックします。ダッシュボードビューでアプリケーションの詳細を表示するには、ビジネスアプリケーションフォームで [アプリケーション 360] タブをクリックします。

4. バブルチャートの構成を変更するには、[構成] アイコン ( ) をクリックし、グラフのディメンションを選択フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「グラフのディメンションを選択フォーム」を参照してください。

次のタスク
チャート内のバブルをポイントしてアプリケーションをクリックするか、バブルを右クリックして [デマンドを作成] を選択し、アプリケーションのデマンドを作成します。

アプリケーション戦略のバブルチャートを作成または編集する

選択したカテゴリ内でのアプリケーションの相対的な順位を比較および評価するバブルチャートを設定します。このチャートは、どのアプリケーションにさらに投資するか、どのアプリケーションを保持、置換、または廃止するかを決定する際に役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin
新しいインジケーターが必要な場合は、アプリケーションフレームワークがスコアを計算するアプリケーションバブルチャートを作成する前に、アプリケーションインジケーターを作成します。

このタスクについて
既存のアプリケーションバブルチャートを構成することも、ビジネスニーズに合わせて作成することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 管理 > バブルチャート.
2. [新規] をクリックして新しいチャートを作成するか、既存のチャートの名前をクリックして編集します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「アプリケーションバブルチャートフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

次のタスク
バブルチャートを表示するには、グループ分析ページに移動します。

アプリケーション **360** でパフォーマンス、コスト、および作業負荷を監視する

アプリケーション 360 ダッシュボードはレポートツールとして機能し、Performance Analytics を使用して、焦点を当てて注意を払う必要があるビジネスアプリケーションを特定することで、アプリケーションポートフォリオ管理 に対して意思決定アプローチを提供します。ダッシュボードは、インジケータースコアを分析し、効果的な意思決定を実行する際に役立ちます。

始める前に
[ビジネスアプリケーション] 選択リストでアプリケーションを選択して、そのパフォーマンス、コスト、および作業負荷を、アプリケーション 360 ダッシュボード内の次のタブとセクションで監視します。

- 概要：会計期間における全体的なアプリケーションスコアを確認します。
  - アプリケーションインジケータースコア：選択した会計期間におけるさまざまなインジケーターの傾向と分布を表示します。
- コスト：
  - 会計四半期ごとの総コスト：四半期ごとの会計期間に発生した総コストの詳細を表示します。
  - スコアカード：コストの詳細と評価を経時的に確認し、四半期ごとに比較します。
- 作業負荷：選択した会計期間における新規インシデント、問題、および変更の数と作業負荷の傾向を示した図を表示します。

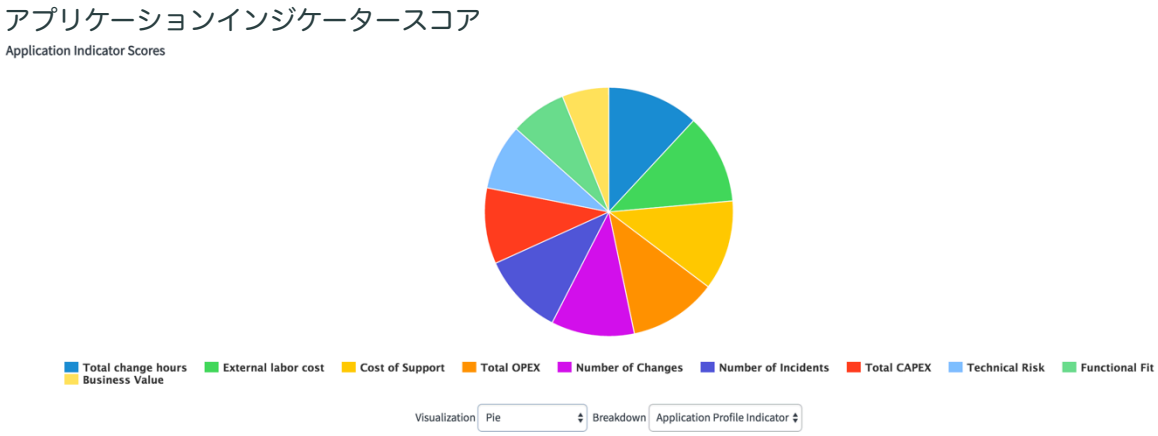
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > アプリケーション **360**.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

レポートの開始

ダッシュボードを作成および使用する

ダッシュボードでアプリケーションのパフォーマンスを評価する

アプリケーションアセスメントダッシュボードを使用して、ビジネスアプリケーションのパフォーマンスに関するレポートの概要を確認します。スプライングラフでは、会計期間中の異なる四半期における、アプリケーションインジケーターの正規化値に対する傾向を確認できます。

始める前に

アプリケーションアセスメントダッシュボードを使用するには、Performance Analytics – コンテンツパック – Application Portfolio Management (com.snc.pa.apm) プラグインをアクティブ化する必要があります。このプラグインを使用して、Performance Analytics (PA) レポートとダッシュボードで使用される APM アプリケーションインジケータースコアにアクセスできます。

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

アプリケーションポートフォリオ管理 は、事前に構成されたレポートをアプリケーションアセスメントダッシュボードに提供します。これらのレポートは、ダッシュボードを使用して構成できます。ダッシュボードでデータをフィルターすることもできます。

アプリケーションアセスメントダッシュボードは、アプリケーションの完全なビューを提供するレスポンシブダッシュボードです。さまざまなインジケーターとインジケータースコアを持つウィジェットを共有できます。ダッシュボードの PA ウィジェットを使用してデータを経時的に視覚化すると、ビジネスプロセスの分析や改善が必要な領域の特定に役立ちます。

ダッシュボードには、傾向の分析に役立つ次のレポートが用意されています。

- 顧客満足度の傾向：アプリケーションファミリーに属するさまざまなアプリケーションにおける経時的な顧客満足度のレベル。正規化値は、アプリケーションの重み付けの最大値と最小値の計算によって導き出されます。
- 使用傾向：アプリケーションの経時的な使用状況。
- ビジネス価値の傾向：アプリケーションの経時的なビジネス価値。
- サポートコストの傾向：アプリケーションの経時的なコスト。
- 変更の合計数の傾向：変更の経時的な合計数。
- 技術的リスクの傾向：アプリケーションで経時的に生じる可能性がある技術的リスク。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > ダッシュボード.
2. グラフを JPG または PNG ファイルとして保存するには、グラフをポイントし、表示されるメニューアイコンをクリックします。
3. スプライングラフのデータをフィルターするには、[アプリケーションカテゴリ]、[ポートフォリオ]、[ビジネスプロセス]、および [事業部門] リストからオプションを選択します。

   注:
   PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをアクティブ化して、ポートフォリオフィルターを適用します。

関連情報

レポートの開始

ダッシュボードを作成および使用する

アプリケーション戦略の目標を作成する

アプリケーションを評価して戦略を決定したら、選択した会計期間のインジケーターに応じて最大化または最小化する具体的な目標を設定します。

始める前に
必要なロール：user_admin、pps_admin

このタスクについて
組織戦略のパフォーマンスを理解するには、 Strategic Spend Tracking for PPM ダッシュボード リンクできますプロジェクトの計画コスト、実際のコスト、メリットが、組織の戦略に対して経時的にどのように推移するかを理解できる、包括的な視覚化を提供します。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > ホーム をクリックし、[**Opportunities & Solutions** (商談とソリューション)]、[Goals (目標)] セクションの **[Create** (作成)] をクリックします。

   次のいずれの手順でも移動できます。

   - アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > 目標 をクリックし、[新規] をクリックします。
   - 組織 > 目標 をクリックし、[新規] をクリックします。

2. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「新しい目標フォーム」を参照してください。
3. [保存] をクリックします。
4. [最新の目標] セクションで、作成した目標をクリックし、次のフィールドを更新します。
   フィールドの詳細については、「目標の更新フォーム」を参照してください。
5. [保存] をクリックします。
   [すべて表示] をクリックすると、ポータルの [最新の目標] セクションのリストからすべての目標を表示できます。

次のタスク
目標を実行するプログラムを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

プロジェクトの戦略と目標の割合の割り当てまたは変更

目標の達成に向けたデマンドを作成する

アプリケーションのコスト節減の機会を特定し、ターゲットを達成するためのステップとしてデマンドを使用します。デマンドアクションに関連付ける戦略によって、アプリケーションの戦略が決まります。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

アクション、開始およびターゲットの会計期間、アプリケーション、プログラムなどの詳細をキャプチャするデマンドを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > デマンド をクリックし、[新規] をクリックします。

   次のいずれのポータルからでも、デマンドフォームに移動できます。

   - Application Portfolio Management ホームページ
   - 機能ベース計画立案マップ
   - バブル チャート
   - 技術ポートフォリオ管理タイムライン

2. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「デマンドフォーム」を参照してください。
3. レコードを送信してリストビューに戻るには、[送信] をクリックします。
4. [保存] をクリックしてレコードを保存し、同じフォームをそのまま使用して、デマンドにさらに詳細を追加します。

アプリケーション目標のためのプログラムを作成する

プログラムを作成して、それを作成した目標にリンクし、プログラムマネージャーをプログラムに関連付けます。目標を作成したら、作成した目標を達成するためのプログラムを用意する必要があります。

始める前に

注:

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プログラムを作成できます。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > ホーム.

   また、次の場所に移動することもできます。 アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > プログラム をクリックし、[新規] をクリックします。

2. [作成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「新しいプログラムフォーム」を参照してください。
4. [保存] をクリックします。
   ポータルの [プログラム] リストセクションですべてのプログラムを表示できます。

次のタスク
作成したプログラムまたはリスト内の他のプログラムを実行するためのガイド付き計画について学習し、作成します。

プログラムを実行するためのガイド付き計画を作成する

目標を設定し、機会を特定して、デマンドを作成し、プロジェクトをトラッキングすることで、ガイド付き計画を作成します。ガイド付き計画は、作成したプログラムの実装に役立ちます。

始める前に
PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、ガイド付き計画を作成してプログラムを実行できます。

プログラムのガイド付き計画を作成する前に、プログラムを作成しておく必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
プログラムナビゲーションページでは、目標を達成するための会計年度の目標ターゲットを設定できます。また、プログラム作成のどの段階でもアプリケーション合理化ロードマップを表示できます。

1. 移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > ホーム.
2. [機会およびソリューション] セクションの [プログラム数] ペインで [ビュー] をクリックします。
3. [プログラム] リストでプログラムをクリックします。
4. [会計期間] セクションの [計画を開始するための会計期間を選択 **(Select Fiscal Period to start planning)]** 選択リストをクリックし、プログラムステップで開始する会計年度を選択します。

手順

- ステップ 1：目標寄与率ターゲットの設定

  1. [ターゲットを設定] をクリックします。

  2. フォームのフィールドに入力します。
     フィールドの詳細については、「目標寄与率ターゲットフォーム」を参照してください。

  3. [保存] をクリックします。
     [ステップ 1：目標寄与率ターゲットの設定] には、選択した会計期間内で達成する必要がある目標の割合が示されます。たとえば、2018 会計年度にクラウドアプリケーションを 40% 最大化する目標を掲げ、[ターゲット目標寄与率 **(%)]** を 50% に設定した場合、[目標寄与率ターゲットの設定] には 20% と表示されます。

- ステップ 2：機会の特定

  1. プログラムナビゲーションページで [機会を特定] をクリックします。

     [グループ分析] ページで、アセスメント期間を確認し、アプリケーションカテゴリを分析して、各カテゴリに対してアプリケーションの数を評価します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. [アセスメント期間] セクションの [分析を開始する会計期間を選択する **(Select Fiscal Period to start Analysis)]** 選択リストをクリックし、アプリケーションを分析する会計期間を選択します。

3. [アプリをフィルター] ペインを使用して、アプリケーションインジケーターとスコアに基づいてフィルター条件を設定できます。

4. [アプリケーションカテゴリ] セクションで、カテゴリ名別にアプリケーションを比較および分析します。

5. [カテゴリ名] 列のアイテムをクリックします。

6. バブルチャートでバブルを右クリックし、[デマンドを作成] プロンプトをクリックしてデマンドを作成します。
   たとえば、カテゴリへの投資を増やすことが目標の場合は、その目標を達成するために投資バブルをクリックします。
   デマンドを保存すると、ページの右上隅にある [電球] アイコン ( ) に、作成されたデマンドの数が表示されます。

- ステップ 3：プロジェクトを追跡

1. プロジェクトのリンクをクリックすれば、いつでもプロジェクトのステータスを追跡できます。[プログラムワークベンチ] が開きます。ここは、プロジェクトを作成および管理するための一元的な場所です。デマンドマネージャーがデマンドを承認し、プロジェクトが実行されると、プログラムワークベンチに移動してプロジェクトのステータスを追跡できるようになります。

TRM製品を追加

エンタープライズアーキテクトは、新しい TRM 製品をライブラリに追加できます TRM 。

始める前に
必要なロール:sn_apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジー参照モデル > 製品.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「新製品 TRM フォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

製品要求の追加または編集TRM

新しい要求を追加するか、既存の要求を編集して、新しいソフトウェアまたはハードウェア製品を TRM ライブラリに含めます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジー参照モデル > 製品要求.
2. 要求を作成または編集します。
   - TRM 製品要求を作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存の TRM 製品要求を編集するには、製品要求の名前をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM 製品要求フォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

TRM 製品ライフサイクル要求の追加または編集

TRM 製品のライフサイクルを作成するには、新規の要求を追加するか、既存の要求を編集します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて
TRM ライブラリでは、各製品が [承認済み]、[制約付きで承認 (Approved with Constraints)]、[売却]、[評価]、[未承認] などの一連のフェーズに関連付けられています。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジー参照モデル > 製品ライフサイクル要求.
2. TRM 製品ライフサイクルを作成または編集します。
   - 新しい TRM 製品ライフサイクルを作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存の TRM 製品ライフサイクルを編集するには、ライフサイクルの名前をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM 製品ライフサイクル要求フォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

TRM カタログを使用した TRM 製品の要求

新しいソフトウェアを TRM ライブラリに追加するには、TRM カタログを使用して TRM 製品を要求します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジー参照モデル > **TRM** カタログ.
   [サービスカタログ] ページで [テクノロジー参照モデル管理] ページが開きます。
2. **[TRM** 製品要求] カードをクリックします。
3. TRM 製品要求フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM カタログフォームを使用した製品要求」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRM カタログを使用した TRM 製品ライフサイクルの要求

TRM 製品のライフサイクルを追加するには、TRM カタログを使用して TRM 製品ライフサイクルを要求します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジー参照モデル > **TRM** カタログ.
   [サービスカタログ] ページで [テクノロジー参照モデル管理] ページが開きます。
2. **[TRM** 製品ライフサイクル要求] カードをクリックします。
3. TRM 製品ライフサイクル要求フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、 TRM 製品ライフサイクル要求フォーム
4. **[Submit** (送信)] をクリックします。

TRM 製品または製品ライフサイクル要求の承認または却下

エンタープライズアーキテクトは、他のユーザーによって送信された TRM 製品のバージョン要求を承認または却下することができます。

始める前に
ユーザーは、エンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
APM ユーザーが TRM 製品や TRM 製品ライフサイクルの承認を要求すると、メール通知が承認者に送信されます。承認者は、エンタープライズアーキテクトグループに属しています。

手順

1. 移動先 すべて > **Service Desk** > 自分の承認.
2. 承認する TRM 製品または製品ライフサイクル要求を選択します。
3. [承認] または [却下] を選択します。

タスクの結果
要求者は、承認または却下のメール通知を受け取ります。

TRM カテゴリの追加または編集

TRM カテゴリを作成するには、新規の要求を追加するか、既存の要求を編集します。

始める前に
ユーザーは、エンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

注:
ユーザー (sn_apm.apm_analyst) は、エンタープライズアーキテクチャグループに属している必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
TRM カテゴリは、TRM ソフトウェア製品を目的別や機能別にグループ化したものです。分類することにより、TRM 製品の統合や、意思決定の合理化ができるようになります。TRM カテゴリを作成するか、既存のカテゴリを編集して、ビジネス要件に適応させることができます。カテゴリを定義することも、ソフトウェア資産管理 製品分類に依存することも可能です。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジー参照モデル > カテゴリ.
2. カテゴリを作成または編集します。
   - カテゴリを作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存のカテゴリを編集するには、カテゴリの名前をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM カテゴリフォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

製品要求の表示および編集

すべての製品要求を表示したり、ステータスを追跡したり、既存の要求を編集したりします。要求の承認者を管理することもできます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジー参照モデル > 自分の製品要求.
   すべての製品要求と承認ステータスを確認できます。
2. 編集する既存の製品要求の名前をクリックします。
3. TRM 製品要求フォームに、詳細情報を入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM 製品要求フォーム」を参照してください。
4. [承認者] セクションで、要求の承認者を追加または編集します。
   - 新しい承認者を追加するには、[新規] をクリックします。
   - 要求の承認者を管理するには、[編集] をクリックします。
5. [更新] をクリックして変更内容を送信します。

製品ライフサイクル要求の表示および編集

すべての製品ライフサイクル要求を表示したり、ステータスを追跡したり、既存の要求を編集したりします。要求の承認者を管理することもできます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジー参照モデル > 自分の製品ライフサイクル要求.
   すべての製品ライフサイクル要求と承認ステータスを確認できます。
2. 編集する既存の製品要求の名前をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. TRM 製品ライフサイクル要求フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM 製品ライフサイクル要求フォーム」を参照してください。
4. [承認者] セクションで、要求の承認者を追加または編集します。
   - 新しい承認者を追加するには、[新規] をクリックします。
   - 要求の承認者を管理するには、[編集] をクリックします。
5. [更新] をクリックして変更内容を送信します。

TRM フェーズの追加または編集

独自の TRM フェーズを定義したり、既存の TRM フェーズを編集したりします。

始める前に

ユーザーは、エンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

TRM 製品のフェーズは、色や形状で表されます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジー参照モデル > フェーズ.
2. TRM フェーズを作成または編集します。
   - TRM フェーズを作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存の TRM フェーズを編集するには、フェーズの名前をクリックします。

   ベースシステムから次の TRM フェーズが使用できます。

   - 承認済み：テクノロジーの使用は承認されています。
   - 制約付きで承認 (Approved with Constraints)：テクノロジーは、コメントで指定された制約の範囲内で使用できます。
   - 売却：テクノロジーの使用権が売却されることが決定しています。
   - 評価：このテクノロジーは評価中のため、本番目的には使用できません。
   - 未承認：テクノロジーの使用は許可されていません。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM フェーズフォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

[技術ポートフォリオ管理] ページの TRM ライフサイクルステータスのレビュー

テクノロジーポートフォリオ管理 ページのリスクおよび技術的負債と併せて TRM ライフサイクル情報を表示します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

TPM 画面の線は、製品バージョンのライフサイクルを示しています。線は色分けされており、当該の月または四半期においてソフトウェアモデルが抱えているリスクのステージを示しています。TPM ページにより、ビジネスアプリケーションや技術的負債のステータスを確認することができるようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM)** > 技術ライフサイクル.
2. ビジネスアプリケーション別またはソフトウェアモデル別にグループ化されたビューを選択します。
3. [月次] ボタンをクリックして、年間のすべての月におけるタイムラインを表示します。
   デフォルトでは、1 年の 4 四半期のタイムラインを表示する [四半期ごと] ボタンが有効になっています。一方、月次ビューでは、年間の特定月におけるビジネスアプリケーションやソフトウェアモデルのリスクステージを追跡することができます。
4. [本番] アイコン () をクリックして、当四半期または当月のリスクの対象となる本番インスタンスを表示します。
5. ソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースを表示します。
   - 特定のソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースを表示するには、ソフトウェアモデルの展開アイコン () をクリックします。
   - ビジネスアプリケーションに関連するすべてのソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースを表示するには、すべてのライフサイクルデータソースを表示アイコン () をクリックします。

     このアイコンを使用して、データソースの表示と非表示を切り替えます。

リスク管理用のビジネスアプリケーションフォームの構成

ビジネスアプリケーションフォームを構成して、アプリケーションマネージャーが、リスクアセスメントアンケートまたはコントロール証明書サーベイを通じて、ビジネスアプリケーションに関連付けられたリスクおよびコントロール情報を提供できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションを開きます。
3. [他のアクション] アイコンをクリックし、 **>**関連リストの構成.
4. [リスクに関するアンケート]、[リスクサマリー]、[リスク対応タスク]、[コントロール証明書]、**[GRC** 問題]、および **[GRC** 問題修正タスク] を [選択済み] リストに追加し、[保存] をクリックします。
5. [証明書を取得] 列を [リスクに関するアンケート] および [コントロール証明書] 関連リストに追加します。
   a. [リスクに関するアンケート] または [コントロール証明書] タブのいずれかをクリックして、関連付けられた関連リストにアクセスします。
   b. いずれかの列をクリックし、 **>**リストレイアウトの構成.
   c. [証明書を取得] を [選択済み] リストに追加し、[保存] をクリックします。
   d. 他の関連リストについても、この手順を繰り返します。

次のタスク
リスクアセスメントアンケートまたはコントロール証明書サーベイへの回答

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクアセスメントアンケートへの回答

リスクに関するアンケートに回答して、ビジネスアプリケーションのリスク関連情報をリスクマネージャーに提供します。

始める前に
必要なロール：grc_business_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションを開きます。
3. [リスクに関するアンケート] 関連リストをクリックします。
4. [アセスメントの実施] リンクをクリックします。
5. フォームに回答を入力します。
6. [送信] をクリックします。

コントロール証明書サーベイの実施

コントロール証明書サーベイを返却して、コントロールがビジネスアプリケーションに実装されていることを検証するための情報を提供します。

始める前に
必要なロール：grc_business_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションを開きます。
3. [コントロール証明書] 関連リストを選択します。
4. [アセスメントの実施] リンクをクリックします。
5. フォームに回答を入力します。
6. [送信] をクリックします。

データドメインを作成する

データドメインは、情報オブジェクトのコレクションです。情報オブジェクトをデータベースインスタンスのデータベースカタログに関連付けて、物理データを収集します。ServiceNow ディスカバリー は、データベースのインスタンスで検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースを一覧表示するデータベースカタログを検索します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

アプリケーションポートフォリオ管理 ユーザー (sn_apm.apm_user) はデータドメインを作成できますが、データドメイン [sn_apm_data_domain] テーブルのアクセス制御は異なるユーザーに制限されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sn_apm.apm_admin ロールを持つアプリケーションポートフォリオアナリストおよびアプリケーションポートフォリオ管理者には、作成、書き込み、および削除の権限があります。
- sn_apm.apm_user ロールを持つアプリケーションポートフォリオユーザーには、読み取り専用アクセス権があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 情報ポートフォリオ > データドメイン.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「データドメインフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

次のタスク
情報オブジェクトを作成し、データドメインを情報オブジェクトにリンクします。

データドメインを参照する情報オブジェクトを作成する

ビジネスアプリケーションの論理データをキャプチャする情報オブジェクトを作成します。このデータは、ビジネスアプリケーションに適用されると、情報になります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

アプリケーションポートフォリオアナリストとアプリケーションポートフォリオユーザーは、情報オブジェクトを作成し、ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付け、情報オブジェクトをデータベースカタログに関連付けることができます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 情報ポートフォリオ > 情報オブジェクト.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「情報オブジェクトフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

次のタスク
情報オブジェクトを作成した後に、cmdb CI で提案された関係を使用して、ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付ける必要があります。

ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付ける

Uses::Used by タイプの CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルを使用して、ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付けます。この提案された関係を使用して、ビジネスアプリケーションを活用するために使用できる情報オブジェクトの論理データを取得します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:

この UI は 2 つの構成アイテム間の関係の属性もキャプチャするので、カスタム作成した [関係性を追加] UI を使用して、ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付けることができます。関係の作成、読み取り、更新、および削除 (CRUD) 属性は関係エディターでキャプチャできないため、CMDB 関係エディターを使用して 2 つの構成アイテムを関連付けることはできません。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションレコードを開きます。
3. ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付けるには、[情報オブジェクト属性] 関連リストをクリックします。
4. 情報オブジェクトを追加するには、[追加] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「関係性を追加フォーム」を参照してください。

   ビジネスアプリケーションに情報オブジェクトを追加すると、CI 関係 [cmdb_ci_rel] テーブルにレコードが作成されるだけでなく、CI 関係属性 [cmdb_rel_attributes] テーブルにも CRUD 属性がキャプチャされます。
6. [保存] をクリックします。
   情報オブジェクトの CRUD 関係を編集するには、レコードを選択して [編集] をクリックします。[関係性の管理] ポップアップで、CRUD の詳細を更新します。

   ビジネスアプリケーションと情報オブジェクトレコードの関係を削除するには、レコードを選択し、[関係の削除] をクリックします。このアクションでは、CI 関係テーブルから関係レコードが削除されます。また、ビジネスアプリケーションと情報オブジェクトの間にあるこの関係に設定されている、CI 関係属性テーブルでキャプチャされた修飾子プロパティも削除されます。

   ビジネスアプリケーションにリンクされていない情報オブジェクトを確認するには、オンデマンドで、「どのビジネスアプリケーションにも関連していない情報オブジェクト」の適切なステータス監査を実行します。詳細については、「どのビジネスアプリケーションにも関連していない情報オブジェクト」を参照してください。

次のタスク
情報オブジェクトをデータベースカタログに関連付けます。

情報オブジェクトをデータベースカタログに関連付ける

情報オブジェクトは、データベースインスタンスを参照するデータベースカタログから物理データを取り出します。したがって、情報オブジェクトとデータベースカタログの間に、提案されている関係を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて
提案された cmdb CI 関係、Depends on::Used by は、情報オブジェクトをデータベースカタログに関連付けます。この関係は、データベースから物理データを取り出すことで機能し、それを、データドメインを参照する情報オブジェクトテーブルに論理データとして保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、従業員給与の詳細は Oracle データベースインスタンスに依存します。構成アイテム間で関係が逆になると、Oracle データベースインスタンスが従業員給与によって使用されます。

- IT Operations Management（ITOM) ディスカバリー は、すべてのサーバー、インスタンス、およびデータベースを検出します。
- データベースカタログは、すべてのデータベースのリストです。
- データベースカタログ (cmdb_ci_db_catalog) には、データベースのインスタンスから検出されたすべてのカタログオブジェクトやデータベースが一覧表示されます。たとえば、Oracle カタログと MySQL カタログはデータベースカタログの子テーブルです。
- データベースインスタンス (cmdb_ci_db_instance) は親テーブルです。Oracle インスタンス (cmdb_ci_db_ora_instance) と MySQL インスタンスは、データベースインスタンスの子テーブルです。
- データベースインスタンスとデータベースカタログ間の参照は 1 対多です。
- データベースインスタンスはサーバー (cmdb_ci_server) でホストされているため、基礎となるすべての構成アイテムにアクセスできます。

注:

従来のデータベースにデータを保存しないアプリケーションが存在する可能性があります。構成ファイル (cmdb_ci_config_file)、ファイルシステム (cmdb_ci_file_system)、Exchange メールボックス (cmdb_ci_exchange_mailbox) などの構成アイテムテーブルに保存されている、このような非構造化データも追跡できます。データを追跡するには、情報オブジェクトと非構造化データソースの間で同じ Depends On::Used by 関係タイプを使用します。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > 情報ポートフォリオ > 情報オブジェクト.
2. 情報オブジェクトとデータベースカタログの間で提案された関係を作成するには、情報オブジェクトレコードを開きます。
3. 情報オブジェクトフォームの [関連アイテム] セクションで、[CI 関係を追加] アイコン (+) をクリックし、関係エディターを起動して、CI 関係を作成します。
   フィルターはデータベースカタログに自動的に適用されます。
4. 提案された Depends on::Used By 関係タイプを選択します。
5. [構成アイテム] セクションで、カタログクラスの中からレコードを選択します。
6. [関係] セクションで、CI 関係アイコン (+) をクリックします。
7. [保存して終了] をクリックします。

   データベースカタログテーブルに、データベースインスタンスの参照があることを確認します。

次のタスク

[情報オブジェクト] 関連アイテムの [依存関係ビューを表示] アイコン ( ) をクリックすると、データベースサーバー上で実行されている情報オブジェクトを使用しているビジネスアプリケーションの依存関係が表示されます。

情報オブジェクトの依存関係ビュー



情報ポートフォリオを監査用に適用します。GRC と統合 (ガバナンス、リスク、コンプライアンス) して、情報オブジェクトをエンティティとして使用します。GRC は、データベース、サーバー、ビ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジネスアプリケーションなど、あらゆるエンティティを使用して監査します。情報オブジェクトを監査エンティティとして関連付けると、情報オブジェクトとそのデータソースを使用するビジネスアプリケーションの完全なプロファイルが得られます。

ビジネスアプリケーションを別のビジネスアプリケーションに関連付ける

Interfaced by::Interfaces タイプの CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルを使用して、ビジネスアプリケーションを別のビジネスアプリケーションに関連付けます。この提案された関係を使用して、ビジネスアプリケーションとインターフェイスする他のビジネスアプリケーションの情報を取得します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーション間の提案された関係を作成するには、ビジネスアプリケーションレコードを開きます。
3. ビジネスアプリケーションフォームの [関連アイテム] セクションで、[CI 関係を追加] アイコン ( ) をクリックし、関係エディターを起動して、CI 関係を作成します。
   フィルターはビジネスアプリケーションに自動的に適用されます。
4. 提案された Interfaced by::Interfaces 関係タイプを選択します。
5. [構成アイテム] セクションで、ビジネスアプリケーションの中からレコードを選択します。
6. [関係] セクションで、CI 関係アイコン ( ) をクリックします。
7. [保存して終了] をクリックします。

次のタスク

[ビジネスアプリケーション] 関連アイテムの [依存関係ビューを表示] アイコン ( ) をクリックすると、他のビジネスアプリケーションとインターフェイスしている、またはインターフェイスされているこのビジネスアプリケーションの依存関係が表示されます。

CMDB クエリビルダーを使用した APM レポートの視覚化

APM は、CMDB クエリビルダーを使用して、Application Portfolio Management で使用される構成アイテムのリストをクエリし、それらをレポートとして視覚化します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて
APM は、CMDB クエリビルダーを利用して複雑なクエリを構築し、さまざまな CMDB CI 関係によって互いに関連付けられている CMDB CI クラス、APM テーブル、および構成アイテムからデータを取得します。

テーブルと CMDB CI クラスからデータを取得するレポートを起動する前に、それぞれのジョブスケジュールを実行する必要があります。これらのジョブは、[オンデマンド] の頻度でアクティブになります。ただし、レポートのデータを更新する頻度に基づき、要件に応じて、頻度を日次、週次、月次、定期的、1 回、オンデマンド、ビジネスカレンダー - エントリー開始、ビジネスカレンダー - エントリー終了に更新します。それに応じて、これらのジョブスケジュールの頻度を設定します。詳細については、「CMDB クエリビルダーレポートのジョブスケジュールの実行」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> これらのジョブスケジュールは、必ず、グローバルスコープからのみ実行してください。システム管理者のみが、これらのジョブスケジュールをグローバルスコープから実行できます。APM ユーザーは、レポートを表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > **CMDB** クエリビルダー.
   ベースシステムが提供するすべてのレポートは、CMDB クエリビルダーのアプリケーションナビゲーターにあるメニューオプションとして提供されます。
2. レポートを表示する、関連する CMDB クエリビルダー名をクリックします。

   レポートは新しいタブで開かれ、デフォルトでは棒グラフとして表示されます。レポートを表示して、以後の使用のために保存しておくことができます。

   > **注:**
   > レポートに表示されるデータは、オンデマンドで実行されたスケジュール済みジョブの最新の実行から取得されます。

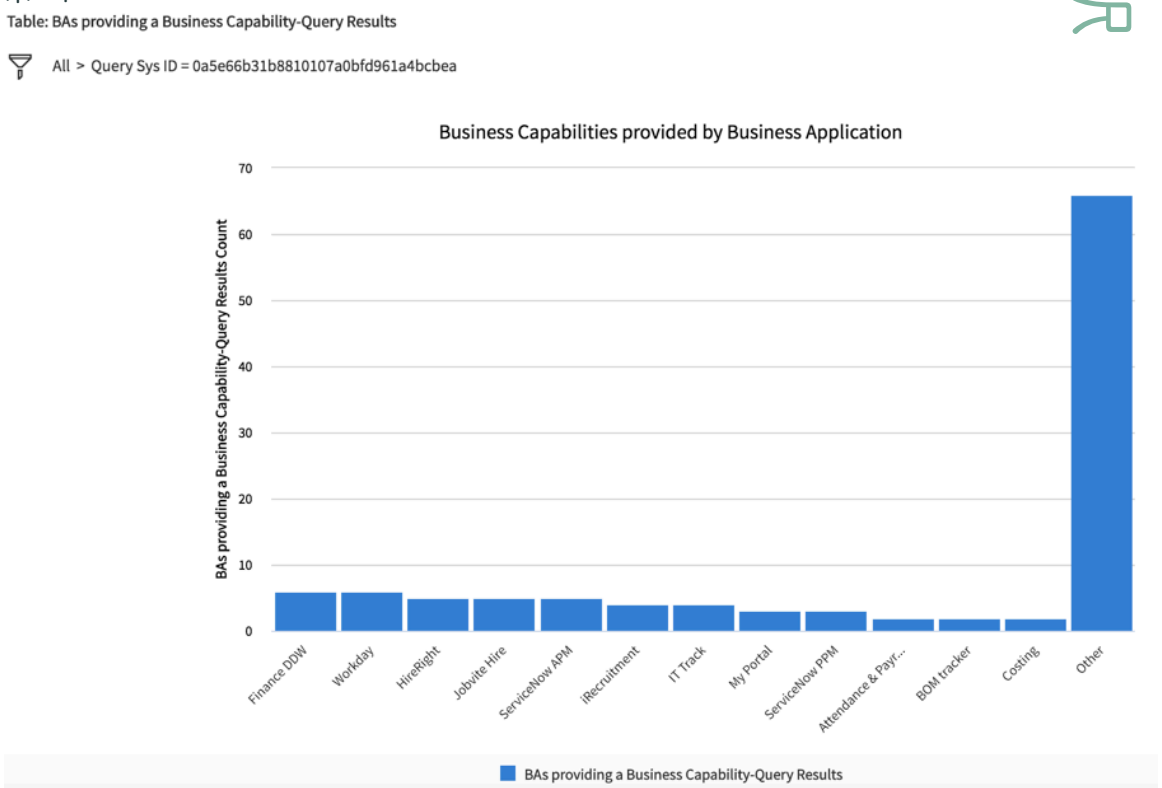
3. 各オプションをクリックすると、それぞれのレポートが表示されます。

   > **注:**
   > ビジネスアプリケーション CMDB クエリビルダーレポートでプロジェクトを生成するには、PPM Standard プラグインをアクティブ化する必要があります。

APM ベースシステムには、APM レポートを生成するための次のクエリーリストが用意されています。

ビジネスアプリケーションによって提供されるビジネス機能

ビジネスアプリケーションによって提供されるビジネス機能を示すレポート

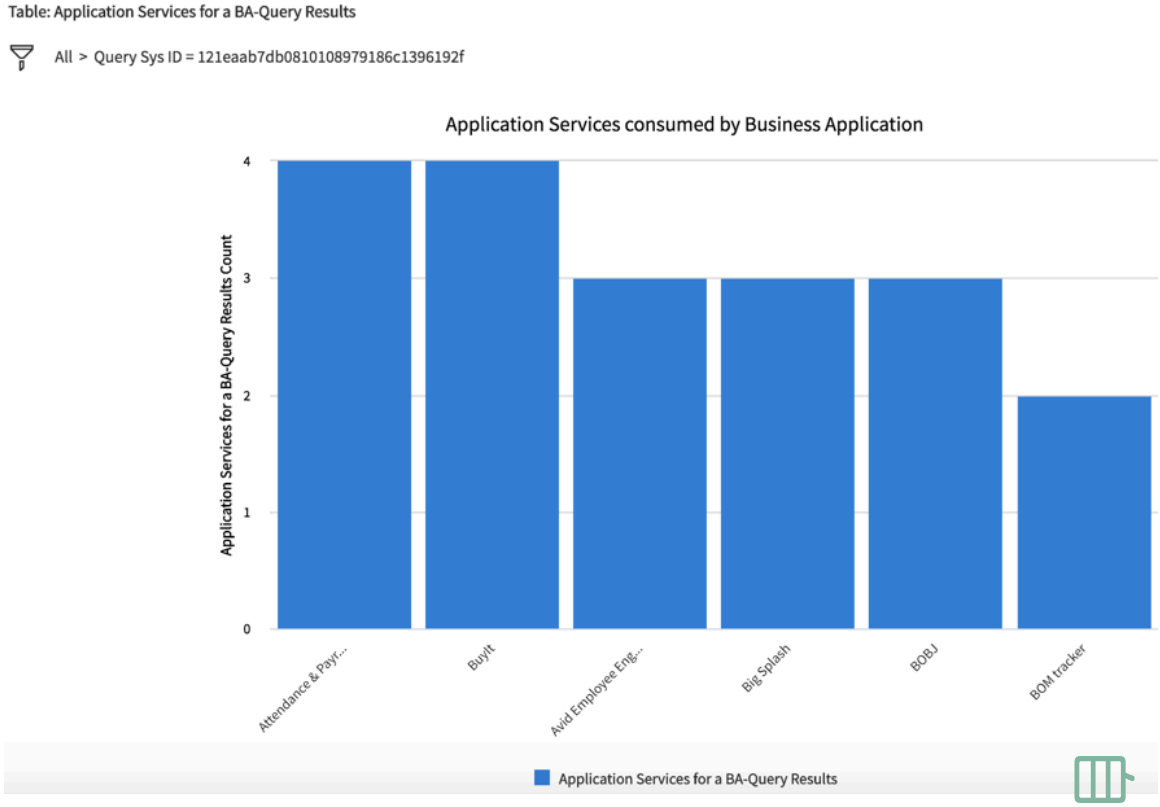


ビジネスアプリケーションによって使用されるアプリケーションサービス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネスアプリケーションによって使用されるアプリケーションサービスを示すレポート



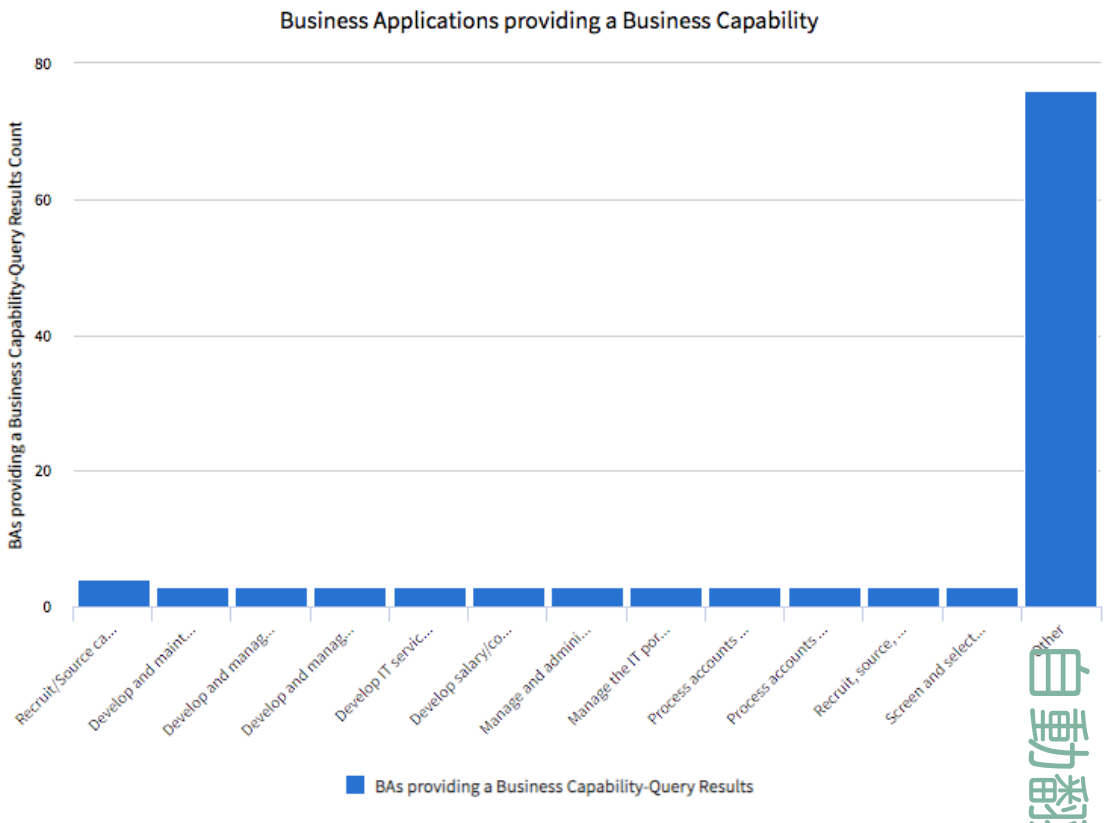
ビジネス機能を提供するビジネスアプリケーション

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネス機能を提供するビジネスアプリケーションを示すレポート

Table: BAs providing a Business Capability-Query Results

All > Query Sys ID = 0a5e66b31b8810107a0bfd961a4bcbea

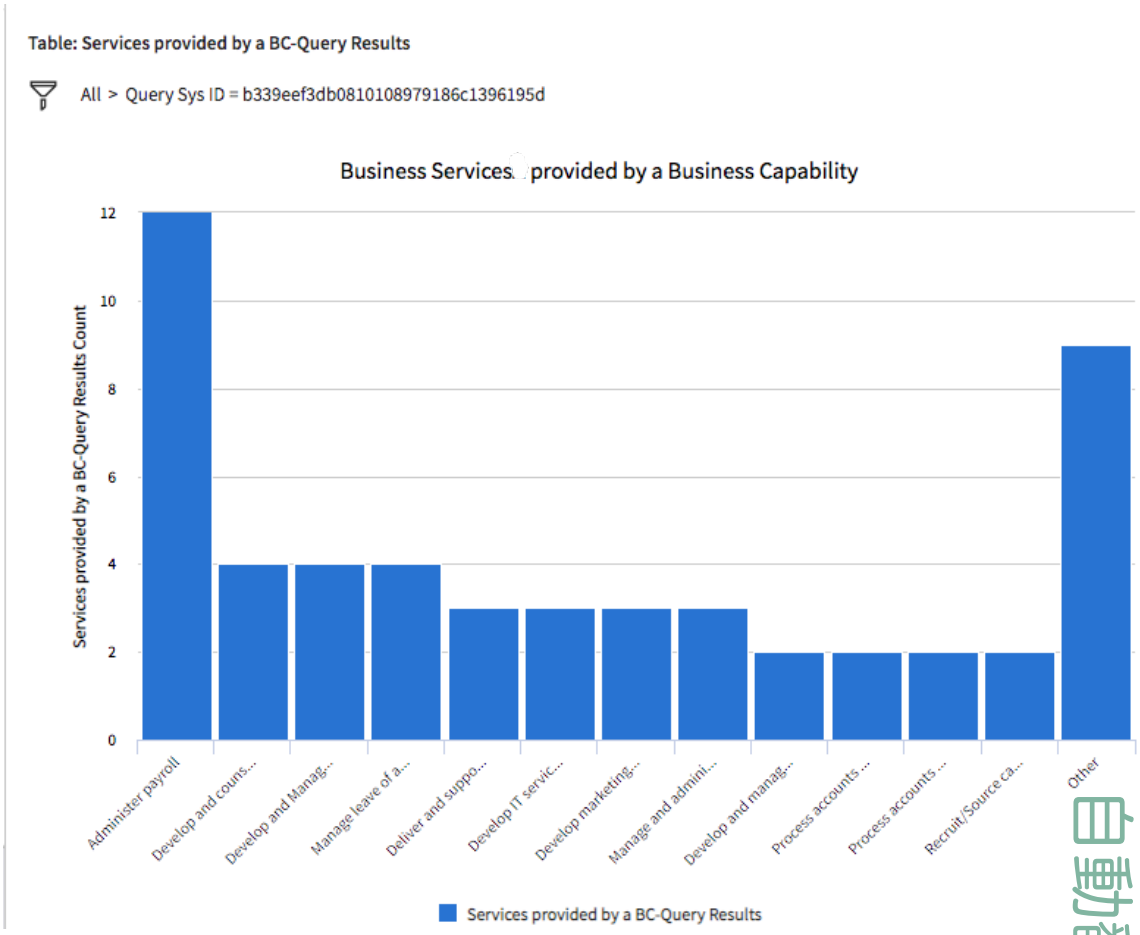


ビジネス機能によって提供されるビジネスサービス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネス機能によって提供されるビジネスサービスを示すレポート

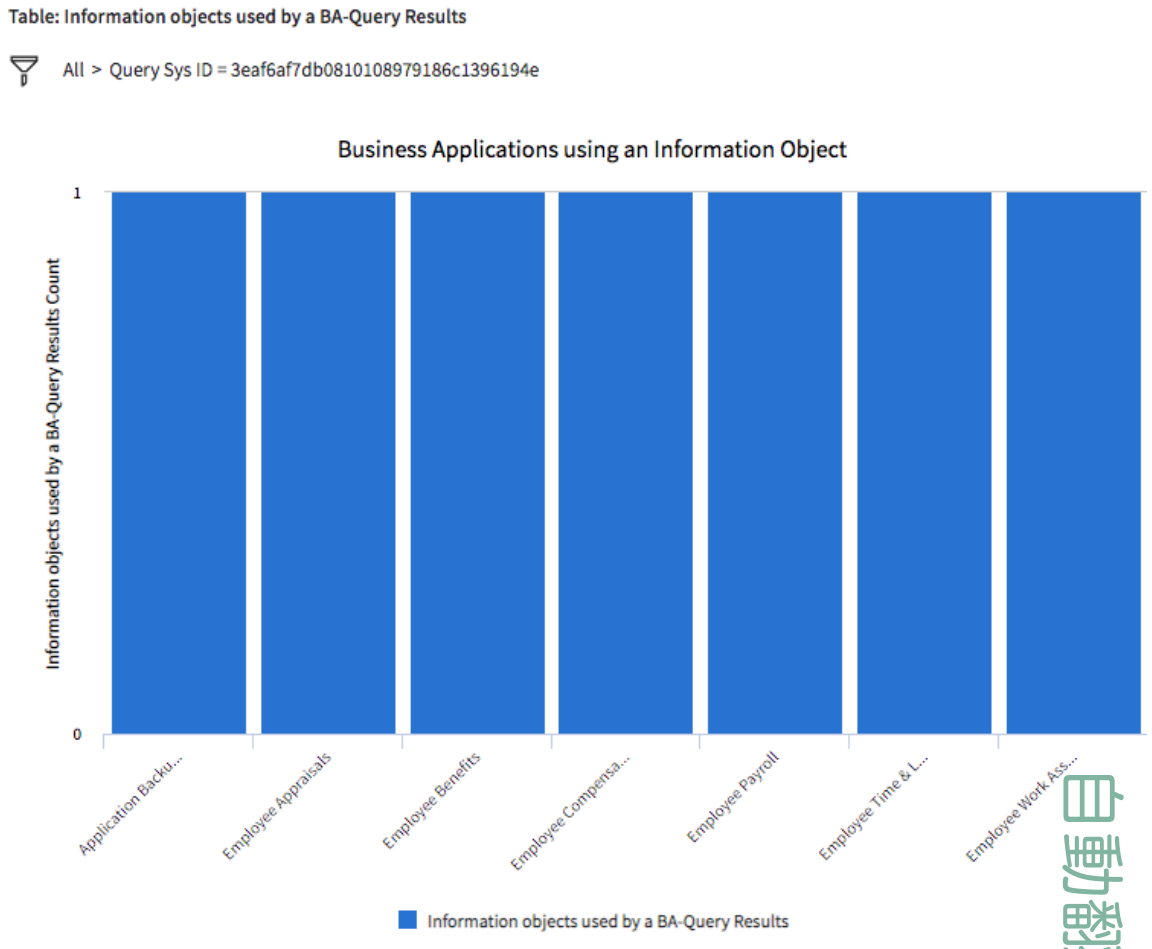


情報オブジェクトを使用するビジネスアプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報オブジェクトを使用するビジネスアプリケーションを示すレポート

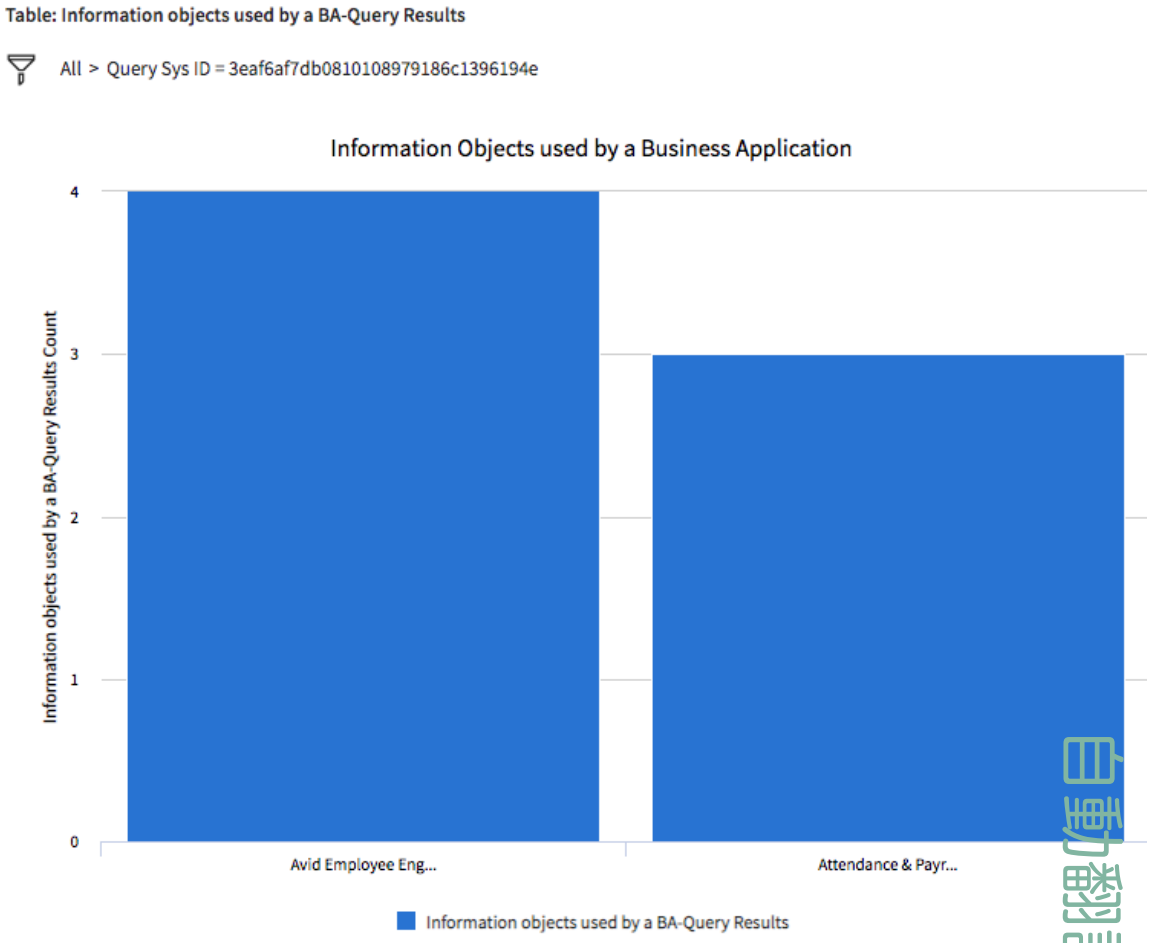


ビジネスアプリケーションによって使用される情報オブジェクト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションによって使用される情報オブジェクトを示すレポート



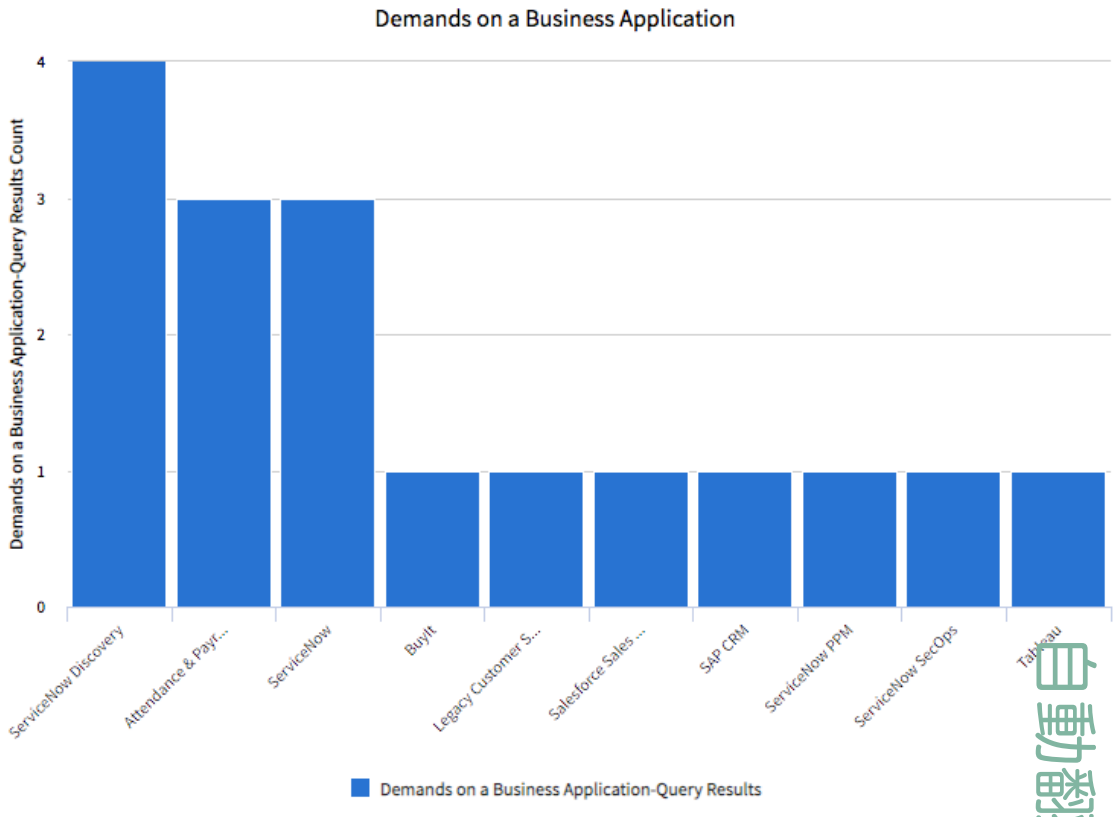
ビジネスアプリケーションのデマンド

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションのデマンドを示すレポート

Table: Demands on a Business Application-Query Results

All > Query Sys ID = 0eefe6f31b8810107a0bfd961a4bcbc6

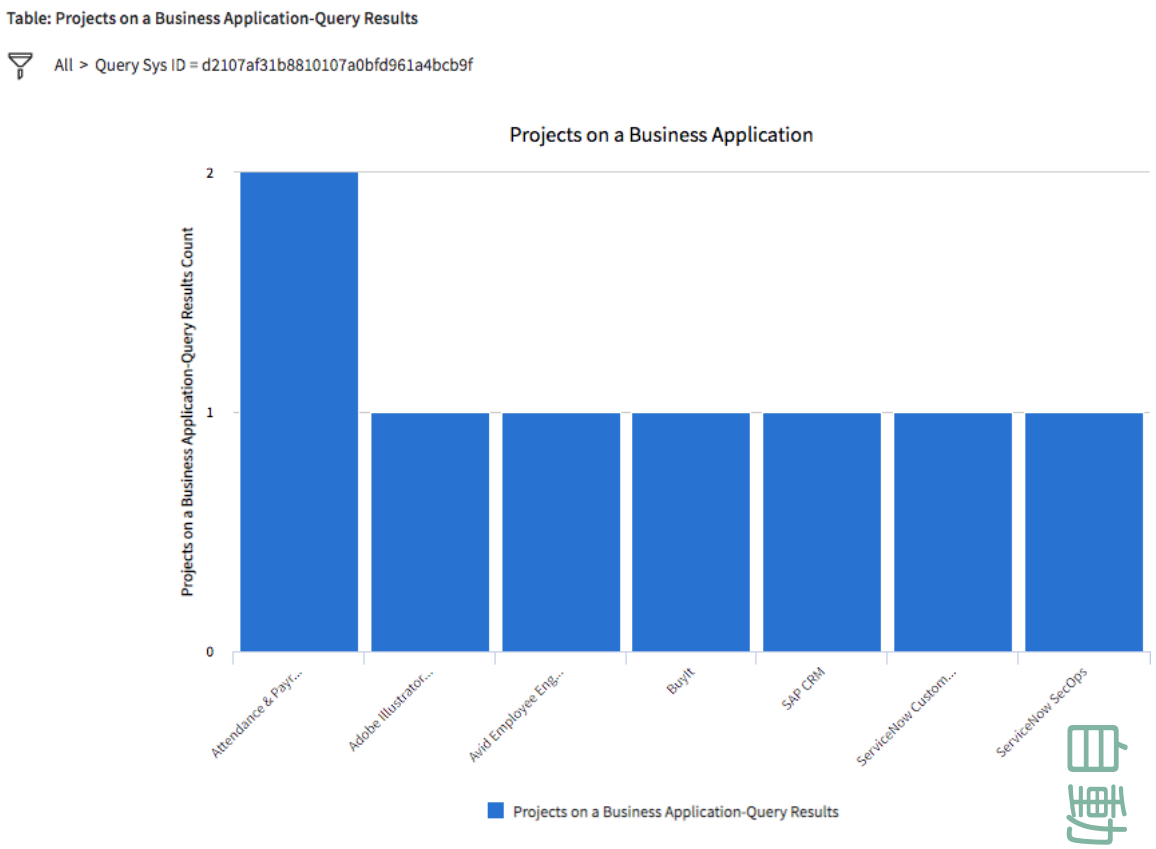


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションのプロジェクト

ビジネスアプリケーションのプロジェクトを示すレポート



関連情報

CMDB クエリビルダーレポートのジョブスケジュールの実行

Microsoft PowerPoint へのデータのエクスポート

アプリケーションポートフォリオのステータスデータを Microsoft PowerPoint にエクスポートします。ビジネスオーナー、マネージャー、ソリューションアーキテクトなど、組織内の他のステークホルダーとデータを共有します。

始める前に

重要:
Export to PowerPointは現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > **APM** の **Export to PowerPoint**.
2. ドロップダウンリストからテンプレートを選択します。
   APM レポートテンプレートはベースシステムから提供されます。
3. [ダウンロード] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
アプリケーションポートフォリオのステータスの詳細を含む PowerPoint のスライドがダウンロードされます。

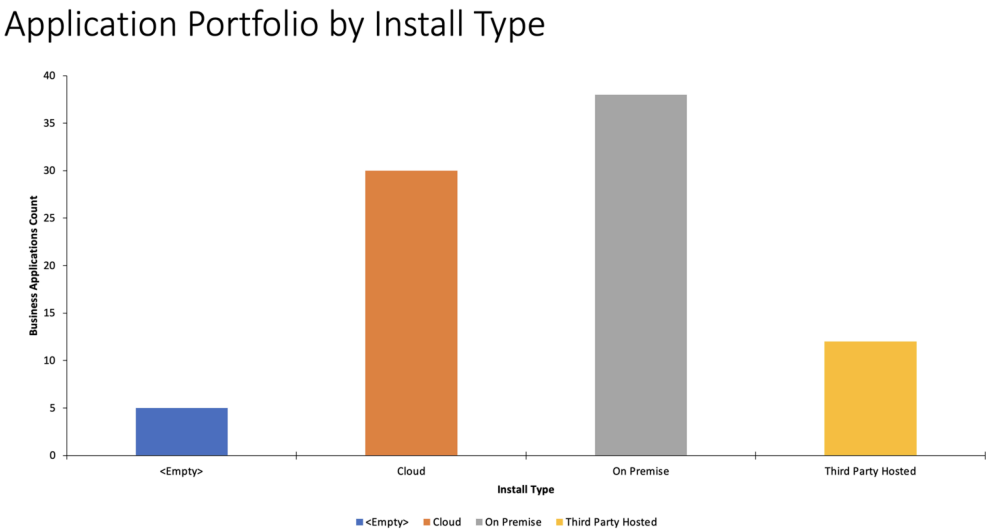
アプリケーション状況レポート

アプリケーションポートフォリオステータスデータを Microsoft PowerPoint にエクスポートすると、次のアプリケーション状況レポートタイプが PowerPoint のスライドにエクスポートされます。

インストールタイプ別のアプリケーションポートフォリオ

インストールタイプ別のアプリケーションポートフォリオレポートには、インストールされているアプリケーションの数とインストールのタイプ (クラウド、オンプレミスなど) が表示されます。

インストールタイプ別のアプリケーションポートフォリオ

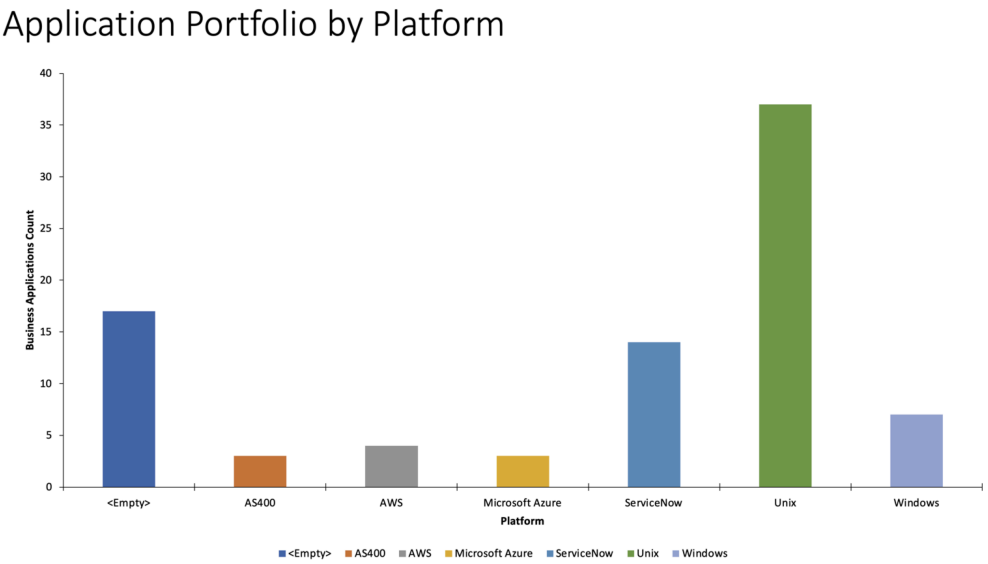


プラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ

プラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオレポートには、プラットフォームタイプ (AWS、Microsoft Azure、ServiceNow など) 別に分類されたアプリケーションの数をグラフで示したものが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ

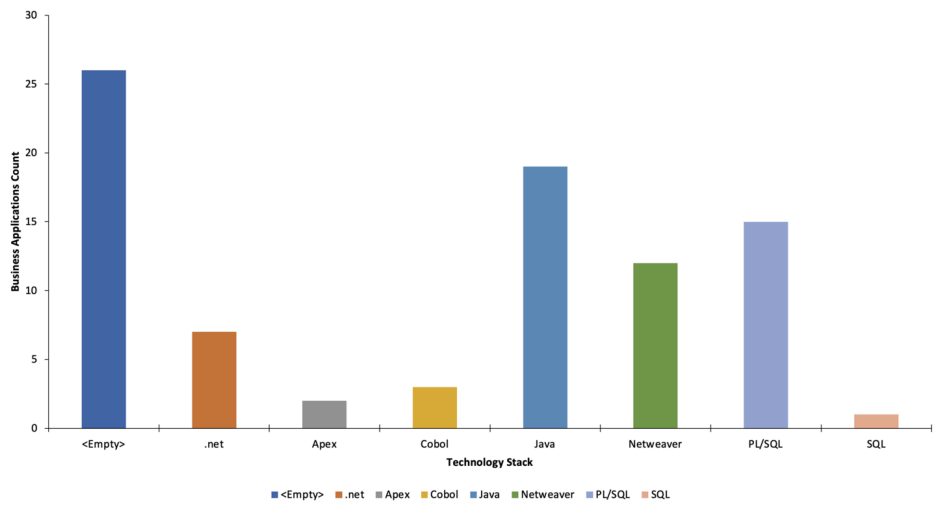


テクノロジースタック別のアプリケーションポートフォリオ

テクノロジースタック別のアプリケーションポートフォリオレポートには、テクノロジー (Java、SQL など) 別に分類されたアプリケーションの数をグラフで示したものが表示されます。

注:
テクノロジースタックのないアプリケーションは、<Empty> と表示されます。

テクノロジースタック別のアプリケーションポートフォリオ



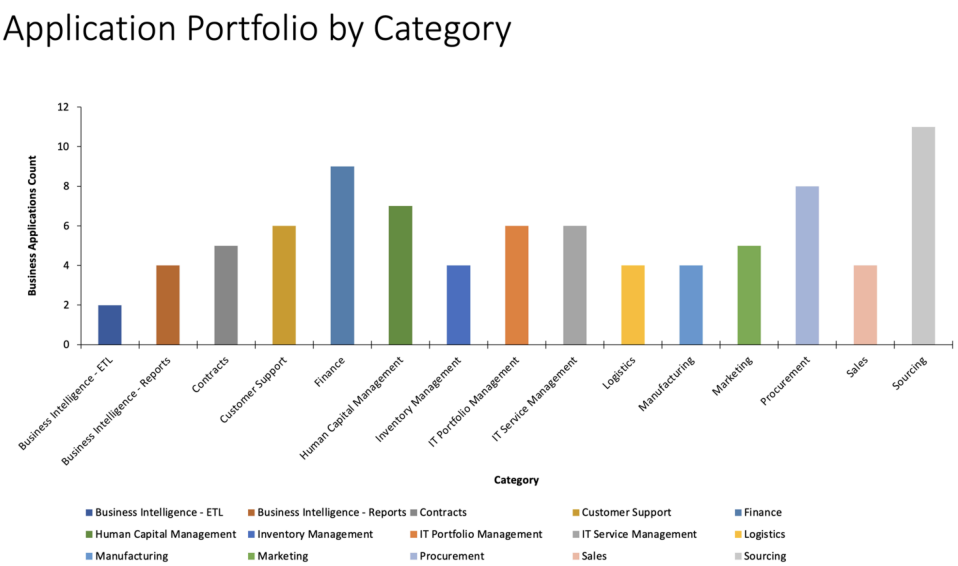
カテゴリ別のアプリケーションポートフォリオ

カテゴリ別のアプリケーションポートフォリオレポートには、アプリケーションとカテゴリ (カスタマーサポート、経理、マーケティングなど) の数をグラフで示したものが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリ別のアプリケーションポートフォリオ

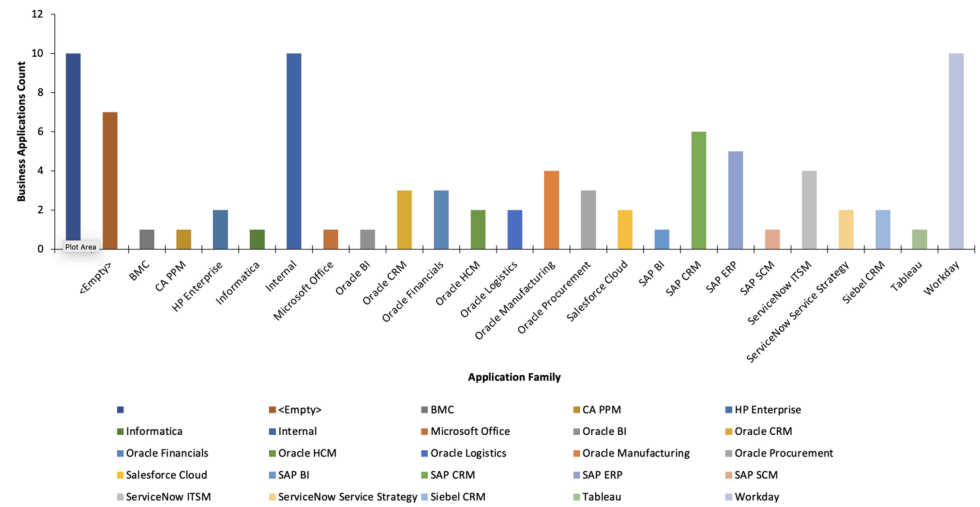


アプリケーションファミリ別の最も使用されているアプリケーション

アプリケーションファミリ別の最も使用されているアプリケーションには、組織 (BMC、Microsoft Office、SAP BI など) 別に分類されたアプリケーションの数をグラフで示したものが表示されます。

注:
現在、アプリケーションファミリレポートには 30 のカテゴリが表示されます。これらの 30 のカテゴリのうち、29 のスタックにカテゴリ名が表示され、1 つのスタックがその他として表示されます (残りのアプリケーションの累積)。

アプリケーションファミリ別の最も使用されているアプリケーション



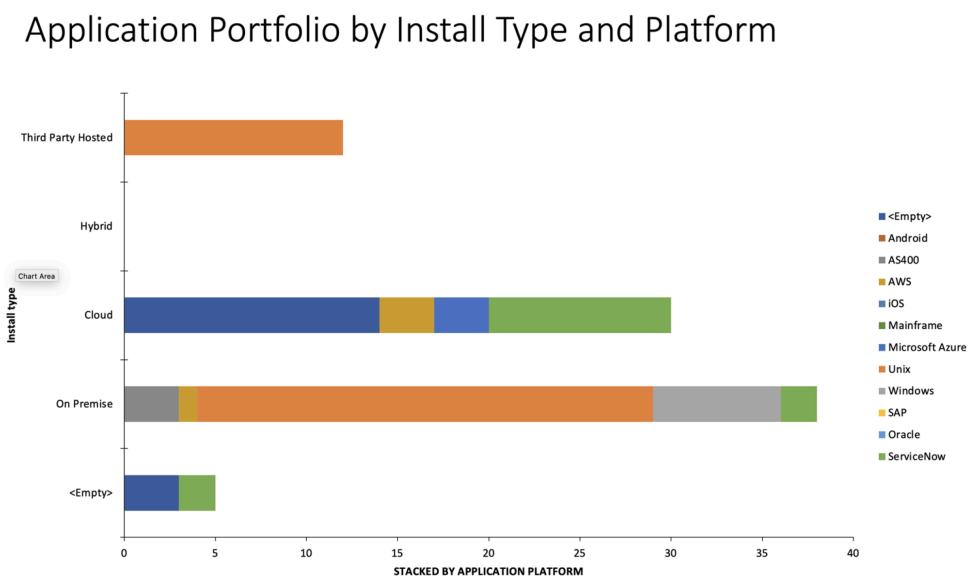
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールタイプとプラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ

インストールタイプとプラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオレポートには、プラットフォームにスタックされたアプリケーションとそのインストールタイプの数をグラフで示したものが表示されます。

インストールタイプとプラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ



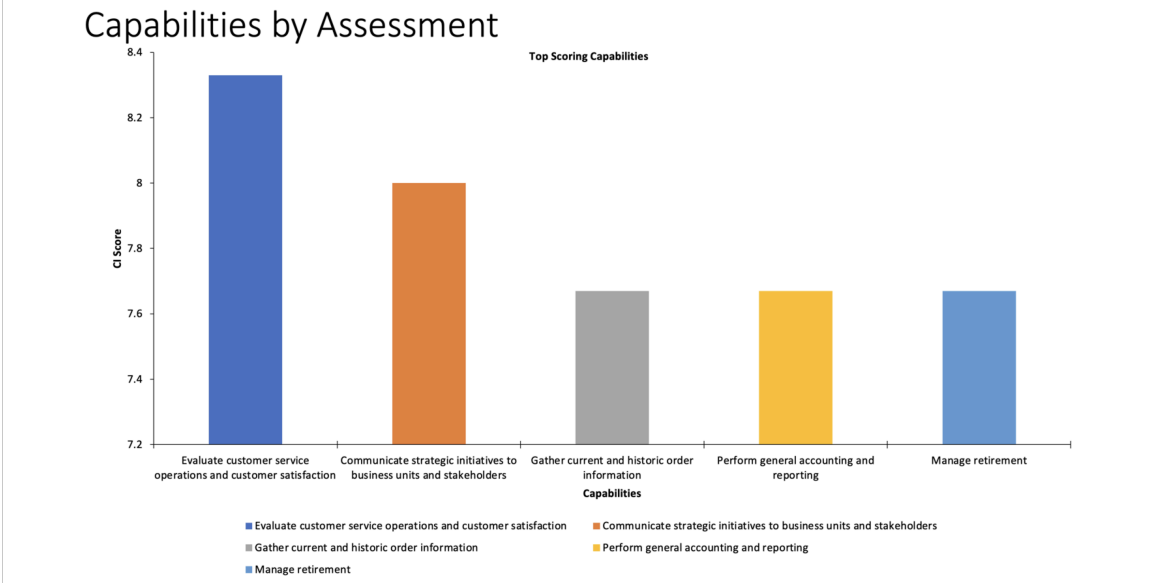
機能の状況レポート

アプリケーションポートフォリオステータスデータを Microsoft PowerPoint にエクスポートすると、次の機能の状況レポートタイプが PowerPoint のスライドにエクスポートされます。

アセスメント別の機能 (上位スコアリング機能)

アセスメント別機能 (上位スコア機能) レポートには、組織の上位 5 つのスコアリング機能をグラフで示したものが表示されます。

アセスメント別の機能 (上位スコアリング機能) グラフ



自動翻訳

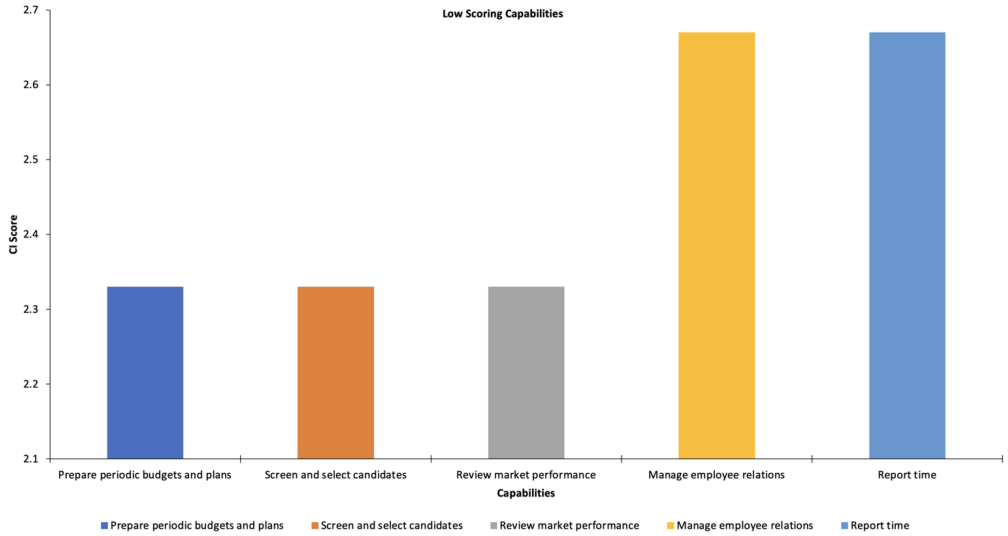
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメント別の機能 (下位スコアリング機能)

アセスメント別機能 (下位スコア機能) レポートには、組織の下位 5 つのスコアリング機能が表示されます。

アセスメント別の機能 (下位スコアリング機能)

Capabilities by Assessment



他のアプリケーションとの アプリケーションポートフォリオ管理 の統合

アプリケーションポートフォリオ管理 のセットアップに必要なプロセスを理解し、ServiceNow プラットフォームの主要アプリケーションと連携して、アプリケーションに関する詳細なインサイトを提供します。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス と統合して、アプリケーションのリスクとコントロールを特定する

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) と ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) を統合すると、ビジネスアプリケーションリスクの特定と評価に役立ちます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

GRC アプリケーションを使用して、ハードウェア、ソフトウェア、ビジネスアプリケーションなどの資産に関連するリスクを分析できます。また、これらのリスクに関連するコントロールを特定してテストしたり、それらの資産に対して実施された監査を確認したりすることもできます。この分析により、アプリケーションオーナーが、ビジネスアプリケーションのリスクを効果的に理解できるようになります。

アプリケーションオーナーは、外部監査システムを利用してアプリケーションを監査しなくても、ビジネスアプリケーションがさらされている重大なリスクとコンプライアンスの問題を特定できます。

次のプラグインをアクティブ化して、APM と GRC を統合します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プラグイン.
2. GRC: GRC プロファイル依存関係 (com.snc.grc_profile_dep) プラグインをインストールします。
3. GRC: Vendor Risk Management 依存関係 (com.snc.grc_vrm_dep) プラグインをインストールします。
4. GRC: Policy and Compliance Management 依存関係 (com.snc.grc_policy_dep) プラグインをインストールします。

   これには、ServiceNow アプリストアからの app-compliance のインストールも必要になります。

   注:
   統合には、特定のアプリケーションを ServiceNow アプリストアからインストールする必要もあります。ダウンロードしてアクティブ化する手順については、「ストアでアプリを要求する」を参照してください。

次のタスク
ビジネスアプリケーションを参照するエンティティを作成します。エンティティを監査にアタッチします。

ビジネスアプリケーションを参照する監査のエンティティを作成する

ビジネスアプリケーションテーブルとその特定のアプリケーションレコードへの参照を使用してエンティティを作成します。エンティティを使用して、リスクエクスポージャーのスコープを設定し、ビジネスアプリケーションのリスクアセスメントを実行します。

始める前に
必要なロール：sn_audit.admin または sn_audit.manager

このタスクについて
GRC では、プロファイルの代わりにエンティティという用語を使用します。エンティティは、監査可能なデータベース、サーバー、ビジネスアプリケーションなどの監査可能な任意の対象を指します。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > スコーピング > すべてのエンティティ.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「エンティティフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

   詳細については、以下を参照してください。

   - プロファイルを作成します。
   - プロファイルタイプ、プロファイルクラス、およびプロファイルを確立します。

リスクをエンティティに関連付ける

エンティティをリスクにアタッチし、リスクレコードを作成します。ビジネスアプリケーションに悪影響を与える可能性のあるリスクを評価および特定します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin および sn_risk.manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > リスク > リスク登録 > すべてのリスク.
2. リスクフォームでリスクを作成します。

   参照：「リスクを手動で作成」。

   注:

   [エンティティ] フィールドで、リスクをエンティティに関連付けます。

エンゲージメントへのビジネスアプリケーションエンティティの追加

エンティティは、監査エンゲージメントについて査定および評価されます。その後、監査エンゲージメントのスコープが設定されて検証されたエンティティが、監査に関連付けられます。

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager または sn_audit.admin

ビジネスアプリケーションエンティティをエンゲージメントに追加するには、エンティティフォームの [エンティティ] フィールドでビジネスアプリケーションを参照するエンティティを作成する必要があります。参照：「ビジネスアプリケーションを参照する監査のエンティティを作成する」。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > すべてのエンゲージメント.
2. ビジネスアプリケーションエンティティをエンゲージメントに追加するには、[エンティティ] 関連リストの [追加] ボタンをクリックします。

   注:
   エンゲージメントは、[スコープ] または [検証] ステータスである必要があります。

   参照：「エンゲージメントスコープにプロファイルを追加」。

   アプリケーションプロファイルがエンゲージメントにアタッチされると、エンゲージメントへのプロファイル [sn_audit_m2m_profile_engagement] テーブルに関連するプロファイルを持つエンゲージメントレコードが作成されます。

ビジネスアプリケーションエンティティにコントロールを追加する

リスクにさらされている可能性のあるビジネスアプリケーションエンティティにコントロールを関連付けます。リスクを軽減してビジネスを保護するには、ビジネスアプリケーションに効果的なコントロールを設定することが必須です。ビジネスアプリケーションをアップグレードするときに、古いコントロールを置き換えることができます。

始める前に
必要なロール：admin

コントロールを関連付ける前に、エンティティを作成しておく必要があります。コントロールは GRC で作成されます。

手順

コントロールを作成してエンティティをコントロールに追加するには、「コントロールの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コントロール [sn_compliance_control] テーブルから選択するエンティティはビジネスアプリケーション、レコードのエンティティの [クラス] はアプリケーションである必要があります。
- コントロールレコードは、[ドラフト] または [廃止] のいずれかのステータスになります。ただし、このようなステータスのコントロールは、ビジネスアプリケーションに関連付けるための アプリケーションポートフォリオ管理 には表示されません。

ビジネスアプリケーションの ガバナンス、リスク、コンプライアンス リスクとエンゲージメントの表示

アプリケーションオーナーは、ビジネスアプリケーションがさらされているリスクを表示できます。ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) がビジネスアプリケーションエンティティを監査し、監査されたリスクとエンゲージメントは、スクリプト化された関連リストとしてビジネスアプリケーションフォームにキャプチャされます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user、sn_apm.business_stakeholder_apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. **[GRC** リスク] 関連アイテムをクリックします。
3. リスクステートメントの名前、説明、リスクのカテゴリ (法務、財務、運用など)、リスクのレベルを示す固有の影響、およびリスク発生の可能性を示す固有の可能性を表示します。
   参照：「リスク、リスクステートメント、リスクフレームワークを管理する」
4. [エンゲージメント] 関連アイテムをクリックします。
5. エンゲージメントの名前、アサインされているユーザー、エンゲージメントのステータス、アクティビティの開始予定日、終了日、完了したエンゲージメントの割合、およびエンゲージメントの実際のコストを表示します。
   参照：「エンゲージメントを管理する」
6. [コントロール] 関連アイテムをクリックします。
7. コントロールの名前、オーナー、準拠しているかどうかを示すコントロールステータス、コントロールの分類 (予防、修正、または検出)、およびスケジュール済みジョブが実行される証明頻度を表示します。

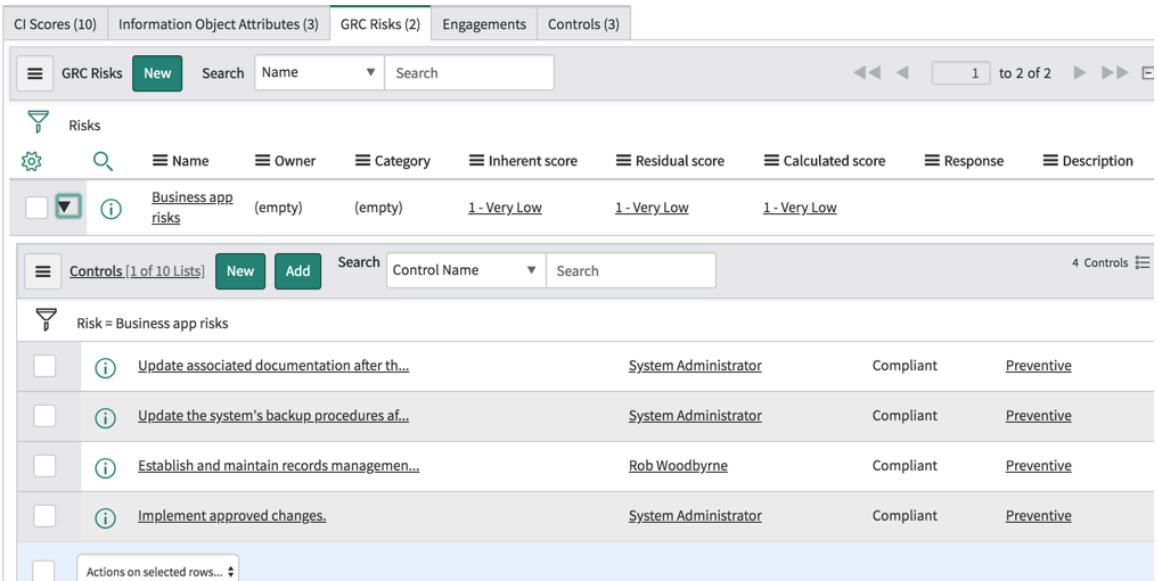
   参照：「コントロールを管理する」
8. [GRC リスク] 関連リストのリスクレコードの横にある [階層リストの表示/非表示] 矢印をクリックして、ビジネスアプリケーションのリスクに関連付けられているすべてのコントロールを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロールをリスクに関連付けると、コントロールとそれに関連付けられたリスクが、コントロールへのリスク [sn_risk_m2m_risk_control] テーブルに作成されます。

リスクに関連付けられたコントロール



類似性ソリューションを使用してアプリケーションを分類し、サービスカタログと統合する

機械学習エンジンを使用して、APM インベントリに登録しているビジネスアプリケーションのカテゴリを提案します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

ビジネスアプリケーションの登録フォームを使用して APM にアプリケーションをオンボーディングする方法は、サービスカタログ カテゴリからのアイテムを要求する方法と同様です。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > ビジネスアプリケーションカタログ.
2. [ビジネスアプリケーションの登録] カードをクリックして、新しいビジネスアプリケーションを登録します。
3. ビジネスアプリケーションの登録フォームに詳細を入力します。

   必須フィールドの横に赤のアスタリスク (*) があります。

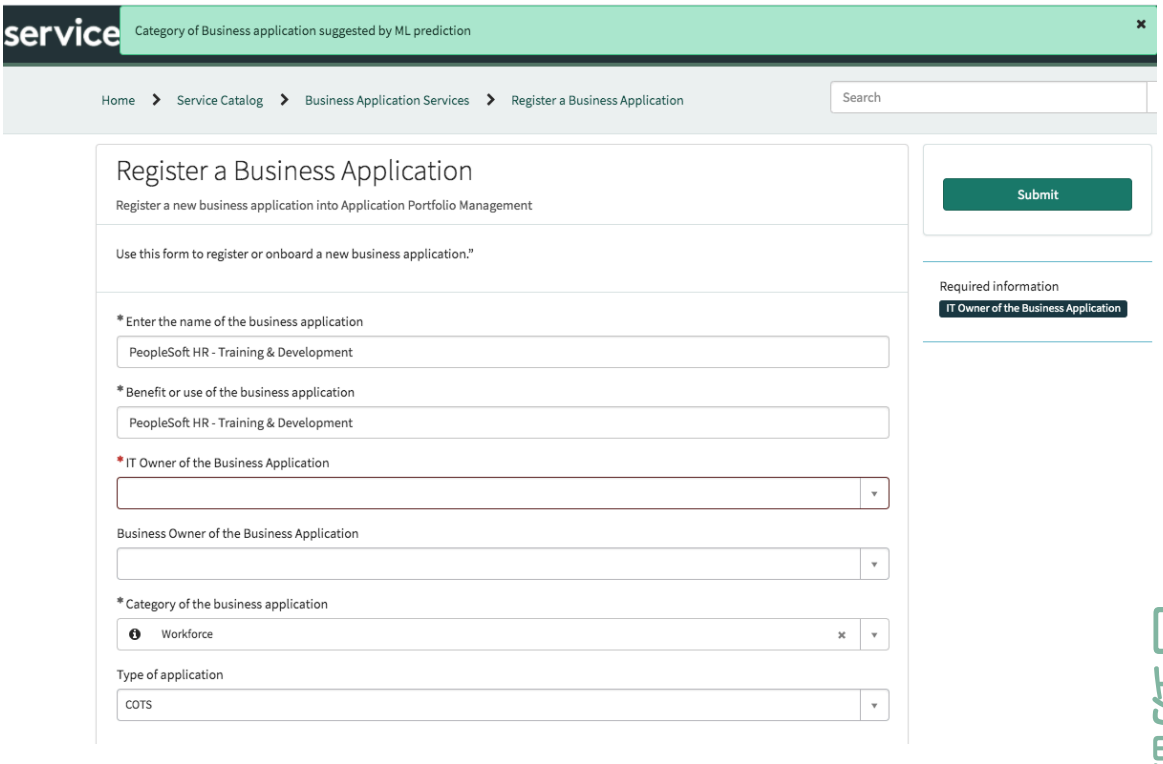
ビジネスアプリケーションの登録フォーム

フィールド	説明
ビジネスアプリケーション名を入力	要求または登録するビジネスアプリケーションの名前。
ビジネスアプリケーションのメリットまたは使用 (Benefit or use of the business application)	ビジネスアプリケーションの目的。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ビジネスアプリケーションの IT オーナー	アプリケーションの IT オーナーの名前。
ビジネスアプリケーションのビジネスオーナー	アプリケーションのビジネスオーナーの名前。

ビジネスアプリケーションの登録



ビジネスアプリケーションの名前とメリットを入力すると、機械学習アルゴリズムの類似性ソリューションがトリガーされ、ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app] から類似のビジネスアプリケーションが検索されます。エンジンが類似のレコードを見つけると、ML がアプリケーションテーブルで類似のレコードを見つけたことを示すメッセージがフォームの上部に表示されます。結果に基づいて、エンジンは登録するアプリケーションのカテゴリを提案します。また、ビジネスアプリケーションをグループ化できる可能性のある [ビジネスアプリケーションのカテゴリ] フィールドに、提案されたカテゴリが表示されます。

機械学習ソリューションによって予測および提案されたカテゴリを選択した場合、アプリケーションカテゴリは将来の分析のためにビジネスアプリケーション要求テーブル [business_app_request] の **[ML** 予測カテゴリ] フィールドに保存されます。

4. 該当する場合は、ML が提案したカテゴリを選択します。
5. [送信] をクリックします。

Lucidchart との アプリケーションポートフォリオ管理 **(APM)** 統合

Lucidchart でビジネスアプリケーションとビジネス機能の拡張アーキテクチャ図を作成し、ServiceNow インスタンスからアクセスします。

Lucidchart アプリケーションに現在と将来の状態を含めることで、組織のアーキテクチャを視覚的にモデル化できます。これらの図を APM のアーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。

エンタープライズアーキテクトとして、統合を使用して、次のタスクを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネスアプリケーション階層を Lucidchart にプッシュします。
  - チャートに含めるエンティティを選択します。
  - エンティティの形状と色をチャートでどのように表示するかをカスタマイズします。
  - アーキテクチャアーティファクトバージョンとして図の参照を保持します。
  - Lucidchart の図を表示して編集します。
- Lucidchart にビジネス機能をプッシュします。
  - チャートに含める子機能とビジネスアプリケーションを含む 1 つ以上の機能を選択します。
  - アーキテクチャアーティファクトバージョンとして図の Lucidchart 参照を保持します。

Lucidchart の統合により、Lucidchart 図をアーティファクトの URL として関連付けるアーキテクチャアーティファクト機能が強化されます。現在の統合は、ServiceNow インスタンスから図をプッシュして Lucidchart でモデル化する 1 つの方法でのみ機能します。

で Lucidchart 図を作成してアーキテクチャ アプリケーションポートフォリオ管理アーティファクトに関連付けるには、次のストアアプリケーションを からインストールする必要があります。ServiceNow Store:

- Lucidchart Diagramming スポーク - ServiceNow と Lucidchart 間の接続を確立するのに役立ちます。アプリケーションポートフォリオ管理 で Lucidchart の図を作成するアクションを利用できます。Lucidchart Diagramming スポークでは、Lucid アカウントでワークスペースおよびカスタムアプリを作成し、ServiceNow の要求を認証するための OAuth 2.0 トークンを生成する必要があります。また、アプリケーションポートフォリオ管理 からの図を作成するアクションを許可するには、Lucidchart アプリケーションの接続と資格情報レコードを作成する必要があります。詳細については、「Lucidchart Diagramming スポーク」、「Lucidchart で OAuth 2.0 クライアントを作成する」、および「Lucidchart Diagramming スポークの接続および資格情報エイリアスを作成する」を参照してください。
- Lucidchart 統合 – Lucidchart でビジネスアプリケーションまたはビジネス機能図を作成するのに役立ちます。Lucidchart に表示されるエンティティの形状と色を設定することもできます。からアプリケーションをインストールする ServiceNow Store

Application Portfolio Management の Risk Management との統合および Application Portfolio Management の Policy and Compliance との統合のインストール

ServiceNow Store から Application Portfolio Management の Risk Management との統合および Application Portfolio Management の Policy and Compliance との統合をインストールします。

始める前に

必要なロール：admin

Application Portfolio Management の Risk Management との統合および Application Portfolio Management の Policy and Compliance との統合をインストールする前に、ServiceNow Store から ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) アプリケーションをダウンロードしてアクティブ化します。詳細については、 「ServiceNow Store からの GRC アプリケーションの初回ダウンロード」トピックを参照してください。

このタスクについて

次のプラグインをアクティブ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。
   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow へのリクエストが必要になることもあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースメモ情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
3. [インストール] をクリックします。
4. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、GRC - アプリケーションリスクアセスメントよりも先にインストールする必要があります。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] をクリックします。

   (Optional) デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   > **重要:**
   > インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。
6. [インストール] をクリックします。

アプリケーションポートフォリオ管理 **(APM)** に必要な ガバナンス、リスク、コンプライアンス **(GRC)** ロール

sn_apm.apm_user ロールにロールを追加して、APM から GRC 情報にアクセスできるようにします。

ユーザーへのロールのアサイン方法の詳細については、「ユーザーへのロールのアサイン」を参照してください。

アプリケーションポートフォリオ管理 参照

フィールド、ユーザーロール、テーブル、ガイドライン、ドメイン分離情報など、アプリケーションポートフォリオ管理 に関する追加の詳細を提供するための参照情報。

APM のビジネスステークホルダーロール

APM ユーザーの場合、ビジネスステークホルダー (com.snc.business_stakeholder) プラグインには APM のビジネスステークホルダーロールが含まれます。このロールを持つユーザーは、レポートとダッシュボードのデータ取得に使用するテーブルのレコードを承認、表示または読み取ることができます。顧客はこのロールを、レポートをレビューおよび承認するビジネスステークホルダーとなっている任意のユーザーにアサインできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アップグレード情報

アップグレードする顧客

Washington DC にアップグレードする場合、Application Portfolio Management (com.snc.apm_read_roles) プラグインの読み取り専用ロールがアクティブ化されている場合にのみ、APM のビジネスステークホルダーロールを使用できます。

新規顧客

新規顧客の場合は、Application Portfolio Management (com.snc.apm_read_roles) プラグインの読み取り専用ロールが zBoot 上でアクティブ化されます。ただし、APM のビジネスステークホルダーロールは、APM プラグインがインストールされている場合のみ使用可能です。

ビジネスステークホルダーの読み取り専用ロールである理由

アプリケーションポートフォリオ管理 のアナリスト (sn_apm.apm_analyst) ロールは、サブスクリプションが必要なライセンス可能なロールです。このロールを持つユーザーは、すべての APM PA ダッシュボードにアクセスできます。このロールには、情報データの読み取りだけでなく、承認および更新のためのさまざまなレベルのアクセス権を持つ APM 管理者ロールが含まれています。このライセンス可能なロールは価格が伴うため、組織は数を限定して調達します。ビジネスステークホルダーロールにも同様の機能がありますが、アクセスは読み取り専用レベルで制御されます。このロールを持つユーザーは、レポートにアクセスしてレビューと承認のみを行うことができます。

ビジネスステークホルダーの読み取り専用ユーザーとダッシュボードを共有する

APM のビジネスステークホルダーロール (sn_apm.apm_read) ロールを持つ APM ユーザーは、ダッシュボードとレポート、およびダッシュボードの基礎となるすべてのテーブルへの読み取り専用アクセス権を持ちます。

ベースシステムは、このロールを持つユーザーに、アプリケーション状況、アプリケーション **360**、およびアプリケーションアセスメントダッシュボードを表示するためのアクセス権を提供します。これらのダッシュボードレポートのデータ取得元テーブルにもアクセスできます。

カスタム作成されたダッシュボードとレポートを構成する方法でも、ビジネスステークホルダーロールをユーザーに提供できます。ビジネスステークホルダーに読み取り専用アクセスを提供するには、「レスポンシブダッシュボードの共有」の手順に従います。

ビジネスステークホルダーとダッシュボードのウィジェットを共有する

ダッシュボードの個々のウィジェットをビジネスステークホルダーの読み取り専用ロールを持つユーザーと共有するには：

1. 移動先 アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ分析 > ダッシュボード
2. [ウィジェットを追加 (Add Widget)] アイコン ( ) をクリックします。
3. 共有するウィジェットの [コンテンツの編集] アイコン ( ) をクリックします。
4. 共有アイコン ( ) をクリックします。
5. [共有] セクションで [共有] オプションをクリックします。
6. 検索フィールドで business_stakeholder を検索し、[共有設定] ウィンドウでロールをクリックして追加します。
7. **[OK]** をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスステークホルダーロールを持つユーザーがアクセス可能な APM テーブル

APM のビジネスステークホルダーロールを持つユーザーは、APM ダッシュボード内でウィジェットをロードするためのデータを格納している次のテーブルにアクセスできます。

APM テーブル

ラベル	テーブル名
ビジネスアプリケーション	cmdb_ci_business_app
ビジネス機能	cmdb_ci_business_capability
CMDB の関係	cmdb_rel_ci
CI スコア	apm_app_score
インジケータースコア	apm_app_indicator_score
インジケーター	apm_metric
会計年度	fiscal_period
ビジネスプロセス	cmdb_ci_business_process
アプリケーションファミリ	apm_application_family
アプリケーションカテゴリ	apm_application_category
アプリケーションカテゴリグループ	apm_application_category_group
採点プロファイル	apm_application_profile
ポートフォリオ	pm_portfolio

アプリケーション分類の例

関係性と冗長性を識別するためのグループとカテゴリへのアプリケーション分類の例。

アプリケーション分類を使用するシナリオ

次の表は、アプリケーションがカテゴリ、ファミリ、およびソフトウェアモデルに基づいて分類されている例を示しています。

ビジネスアプリケーション	ビジネスプロセス (L1)	アプリケーションカテゴリグループ	アプリケーションカテゴリ	アプリケーションファミリ	ソフトウェア モデル
Oracle EBS Order Management	Quote to Cash	販売および流通	オーダー管理	Oracle EBS SCM	Oracle EBS R12.2 Order Management
Oracle EBS General Ledger	レポートする財務計画	財務管理	総勘定元帳	Oracle EBS Financials	Oracle EBS R12.2 Financials

関連情報

アプリケーション分類

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスプロセスフォーム

ビジネスプロセスは、特定のアプリケーションサービスを完了するために、関連する構造化されたタスクを実行する方法です。

ビジネスプロセスフォームフィールド

フィールド	値
名前	ビジネスプロセスの一意の名前。
資産管理番号	組織によって資産にアサインされた英数字タグ。
担当者	このアイテムの使用者または責任者。
カテゴリ	ビジネスプロセスのカテゴリ。
不具合発生回数	障害の数。
ステータス	ビジネスアプリケーションのステータス。

関連情報

アプリケーションビジネスプロセスの追加または編集

デマンドアクションフォーム

デマンドアクションは、アプリケーションに対して実行する戦略的決定です。アプリケーションポートフォリオ管理 は、アプリケーションの機能拡張に役立つ事前設定されたアクションを提供します。

デマンドアクションフォームフィールド

デマンドアクションフォーム

フィールド	説明
アクション	アプリケーションに関する決定。
説明	アクションの説明。
戦略	アクションを実装するための計画。

関連情報

アプリケーション管理のための戦略の追加

認定スケジュールフォーム

APM 管理者ロールを持つシステム管理者は、データ認定タスクを作成してシステムオーナーにアサインし、ビジネスアプリケーションデータを認定することができます。

認定スケジュールフォームフィールド

フィールド	説明
名前	認定スケジュールの名前。
フィルター	テーブルデータのフィルターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テーブル	認定されるデータを構成するテーブル。デフォルトは cmdb_ci_business_application テーブルです。 **注:** データ認定は、一度に 1 つのテーブルにのみ適用できます。別のテーブルにもデータ認定が必要な場合は、別のテーブルを作成します。
表示フィールド	ビジネスアプリケーションから表示するフィールドを選択します。 **注:** [表示フィールド] を [認定フィールド] と同じにすることはできません。これらは相互に排他的です。
認定フィールド	個々のフィールド認定を必要とする、表示するフィールドを選択します。認定するフィールドを指定します。 [アプリケーション **URL]**、[ビジネス上の重要度]、[データ分類]、[契約終了日]、[アクティブ]、[アクティブユーザー数]、[ステータス]、[ユーザーベース]、および [前回変更適用日] は、データ認定用に事前設定されたフィールドの一部です。
割り当てタイプ	ターゲットテーブルからユーザー参照フィールドを選択します。 • ユーザーフィールド：[アサイン 先] フィールドで、ビジネスアプリケーションテーブルの特定のフィールドを選択してアサインします。 • 特定のユーザー：[ユーザー] フィールドで、特定のユーザーを選択してアサインします。 • グループフィールド：[アサイン先グループ] フィールドで、認定スケジュールをグループにアサインします。 • 特定のグループ：[グループ] フィールドで、認定スケジュールを選択してグループにアサインします。
アサイン先	ビジネスアプリケーションのデータの認定を担当するアプリケーションオーナー。
ユーザー	アサインされていないすべてのタスクをアサインするユーザーを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループに割り当て	ビジネスアプリケーションテーブルから、グループを選択します。
グループ	選択リストから、グループを選択します。
空に割り当て	選択リストから、値を選択します。 • タスクを作成しない：これらのレコードに対して認定タスクは作成されません。 • 未アサインタスクの作成 **(Create Unassigned Task)**：認定タスクは作成されますが、アサインされません。 • アサインされるタスクの作成 **(Create Assigned Task)**：認定タスクを作成し、特定のユーザーまたはグループにアサインします。 注: このフィールドは、[アサインタイプ] を [ユーザーフィールド] または [グループフィールド] として選択している場合にのみ使用可能です。
完了までの日数	認定を完了するまでに必要な日数を入力します。
有効	このジョブは、デフォルトでは非アクティブです。チェックボックスを選択すると、スケジュールされたジョブが実行されます。
実行	認定タスクの実行頻度：日次、週次、月次、定期的、1 回、オンデマンド。
最終実行日	デフォルトは、認定が実行された日の前日です。認定スケジュールが新規レコードの場合、このフィールドは編集できません。
タスク詳細	認定タスクの簡単な説明。
説明	アプリケーションオーナーに対するタスク関連の詳細な指示。
認定インスタンス	
数値	認定インスタンスの番号。
認定スケジュール	認定が必要な情報と、認定の実行頻度を定義します。デフォルトは、選択した認定スケジュールです。
ステータス	認定のステータス：[対応中] または [完了]。
作成日時	認定インスタンスの作成日。
完了期日	認定タスクを完了する日付。[完了までの日数] が [作成日時] の日付に追加されます。
完了率 (%)	アプリケーションオーナーが認定するフィールドごとに、認定フィールドの総数に対するパー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	セントが計算されます。システム管理者は、データ認定タスクの進捗状況を追跡できます。
簡単な説明	認定インスタンスの簡単な説明。
認定タスク	
数値	認定タスクにアサインされた番号。
担当者	タスクがアサインされ、データを認定する権限を持つアプリケーションオーナー。
アサイン先グループ	タスクは、グループのユーザーにアサインすることもできます。
エスカレーション	デフォルトは [通常] です。

関連情報

データ認定タスクのスケジュール

ビジネスアプリケーションフォーム

APM は、システム管理者がビジネスアプリケーションを追加して、そのコスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクを評価および追跡するのに役立ちます。

ビジネスアプリケーションフォームフィールド

フィールド	説明
名前	ビジネスアプリケーションの名前。
数値	ビジネスアプリケーションレコードの構成可能なプリフィックスを持つ、自動生成された一意の識別番号。
ビジネスプロセス	アプリケーションが使用されるビジネスプロセス。
ポートフォリオ	アプリケーションが属するポートフォリオの名前。 このフィールドは、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合に表示されます。
アプリケーションタイプ	アプリケーションのタイプ。このフィールドは、アプリケーションがカスタムか商用かを示します。 • 自家製：社内で構築されたアプリケーションです。 • エンドユーザーコンピューティング:アプリケーションは、エンドユーザーが日常のタスクを実行するために使用されます。 • 商用オフザシェルフ **(COTS):**アプリケーションは、他社から購入した商用アプリケーションです。 • **SaaS**:アプリケーションは、サードパーティベンダーによって管理されるクラウドアプリケーションです。
公開者	アプリケーションパブリッシャーの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アーキテクチャタイプ	アプリケーションアーキテクチャのタイプ。 • クライアントサーバー：サービスプロバイダーとサービス要求者の間でタスクを分割するアプリケーション構造。 • **N** 層：プレゼンテーション、処理、およびデータ管理が物理的に分離されたレイヤーとして存在するマルチレイヤーアーキテクチャ。 • **Web** ベース：ネットワーク接続を介してアクセスされるアプリケーション。 • その他：その他のタイプのアーキテクチャ。 • プラットフォームホスト：ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 • プラットフォームアプリケーション：プラットフォーム上で実行され、ホストに関連付けることができるアプリケーション。 この場合、ビジネスアプリケーションは、開発ツール、実行サービス、データサービスなどの標準操作をプラットフォームに依存して実行します。
プラットフォームホスト	ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 [アーキテクチャタイプ] フィールドで [プラットフォームアプリケーション] 値を選択する場合、このフィールドは必須です。
インストールタイプ	インストールのタイプ。次のオプションを使用します。 • オンプレミス • クラウド • ハイブリッド • サードパーティホスト
プラットフォーム	プラットフォームによってホストされるアプリケーション。
業務部門	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている事業部門。
部門	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている部門。
インストール日	アプリケーションがインストールされた日時。
ステータス	アプリケーションの運用ステータス。次のオプションを使用します。 • 実装中 • 生産中 • パイロット • 廃止 監査が有効になっています。したがって、ユーザーがこのフィールドの値を更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ライフサイクルステージ	アプリケーションのライフサイクルステージ。このフィールドは、[ステータス] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。データは、ライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルからフェッチされます。
ライフサイクルステージのステータス	アプリケーションのライフサイクルステージのステータス。このフィールドは、[ステータス] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。データは、ライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルからフェッチされます。
アプリケーション採点プロファイル	戦略のアプリケーションスコアを計算するために使用されるプロファイル。
アプリケーションカテゴリ	アプリケーションの目的と機能。この情報を使用して、アプリケーションを合理化または統合します。
アプリケーションファミリ	共通のプラットフォームまたはベンダーを持つ関連アプリケーションのセット。
テクノロジースタック	アプリケーションが構築されたテクノロジースタック。
ユーザーベース	アプリケーションを使用しているユーザーの数。 監査が有効になっています。したがって、ユーザーがこのフィールドのレコードを更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。
アクティブユーザー数	ユーザーベース全体のうちアクティブなユーザーの数。フィールドの監査が有効になっています。
前回変更適用日	アプリケーションが最後に更新された日付。フィールドの監査が有効になっています。
アクセシビリティレベル	ビジネスアプリケーションのアクセシビリティレベル。次のオプションを使用します。 • A (最低) • AA (中程度) • AAA (最高)
経過時間 (月)	ビジネスアプリケーションの経過時間 (月単位)。このフィールドは、[インストール済み] フィールドに日付と時刻を入力すると自動入力されます。
説明	アプリケーションの一意の説明です。
モデル ID	ビジネスアプリケーションの製品モデル ID。
契約	
ベンダー	アプリケーションのベンダーの詳細。
サポートベンダー	現在アプリケーションをサポートしているベンダー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
契約終了日	サブスクリプション契約またはサポート契約の有効期限。フィールドの監査が有効になっています。
計画的処分	
計画的処分	ビジネスアプリケーションの計画的な処分。次のオプションを使用します。 • 投資 • 維持 • 移行 • 廃止
移行戦略	ビジネスアプリケーションの移行戦略。このフィールドは、[**Planned Disposition**] フィールドで **[Migrate]** が選択されている場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します。 • 再ホスト • 再プラットフォーム化 • 再購入 • リファクター
ターゲットビジネスアプリケーション	予定されている処分を追加するビジネスアプリケーションの名前。このフィールドは、[**Planned Disposition**] フィールドで **[Migrate]** が選択されている場合にのみ表示されます。
論拠	予定されている処分の決定の理由。
所有者	
ポートフォリオマネージャー	ポートフォリオのオーナー。通常は IT 部門のメンバーです。 このフィールドは、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) がアクティブ化されている場合に表示されます。
事業主	ビジネス側からのアプリケーションオーナー。アプリケーションごとに、ビジネスオーナーがアサインされている必要があります。
管理担当者	ビジネスアプリケーションを管理するユーザー。
管理担当者グループ	ビジネスアプリケーションを管理するユーザーグループ。
アプリケーションの IT オーナー	IT 側からのアプリケーションオーナー。 ビジネスアプリケーションには、オーナーがアサインされている必要があります。 IT アプリケーションオーナーとして指定されている場合は、自分がオーナーであるすべてのアプリケーションを [自分のアプリケーション] メニューに表示できます。
最終更新者	アプリケーションレコードを最後に更新した人。
サポート担当者	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
サポートグループ	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザーグループ。
コンプライアンス	
ビジネス上の重要度	ビジネスに対するアプリケーションの重要度。フィールドの監査が有効になっています。
緊急時の対応 (Emergency tier)	緊急時にアプリケーションに対して実行されるアクションまたは計画。
データ分類	アプリケーション内のデータのセキュリティレベル。この属性は、アプリケーションに適用可能な Governance, Risk, and Compliance (GRC) ポリシーを決定します。 データのカテゴリ。ベースシステムには、[内部]、[公開]、[機密]、および [極秘] のカテゴリがあります。 フィールドの監査が有効になっています。
認定	要件を満たしている、または組織のポリシーに準拠しているアプリケーションのステータス。
アクティビティ	
作業メモ	自分が入力した作業メモ。

関連情報

ビジネスアプリケーションの追加または編集

[デジタル統合を作成] フォーム

[デジタル統合を作成] フォームを使用して、2 つのビジネスアプリケーション間に新しいデジタル統合を作成します。

デジタル統合を作成フォーム

フィールド	説明
登録者ビジネスアプリケーション	統合を登録する登録者ビジネスアプリケーションの名前。
登録者デジタルインターフェイス	統合を登録するデジタルインターフェイスの名前。
プロバイダービジネスアプリケーション	統合を提供するプロバイダービジネスアプリケーションの名前。
新しい プロバイダー デジタルインターフェイス	新しいデジタルインターフェイスを作成するオプション。
プロバイダー デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。
IT 所有者	データ統合の IT オーナーの名前。
説明	デジタル統合の説明。
デジタル統合名	デジタル統合の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[登録者ビジネスアプリケーション]、[プロバイダービジネスアプリケーション]、および [デジタルインターフェイス **(Digital Interface)]** フィールドが選択されている場合に自動入力されます。自動入力された名前は変更できます。
タイプ	統合のタイプ。 次のオプションを使用します。 • データ統合 • プロセス統合 • ユーザーインターフェイス統合
サブタイプ	統合のサブタイプ。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [データ統合] を選択した場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します。 • プロセスの構成 • 基盤データ • 構成アイテム • Events • レポート • システムログ
トリガー	統合をトリガーする方法。 次のオプションを使用します。 • マニュアル • スケジュール済み • プロセス駆動型 • イベント
間隔	統合をトリガーする頻度。 間隔のオプションは次のとおりです。 • 秒 • 分 • 時間 • 日 • 週 • 月

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 四半期 • 年 • オンデマンド • リアルタイム
事業主	統合のビジネスオーナー。

関連情報

デジタル統合の作成

デジタル統合の更新フォーム

デジタル統合フォームを使用して、2 つのビジネスアプリケーション間のデジタル統合を更新します。

デジタル統合フォーム

フィールド	説明
名前	デジタル統合の名前。
数値	デジタル統合の数。このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。
プロバイダー デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。このフィールドは編集できません。
プロバイダービジネスアプリケーション	統合を提供するプロバイダービジネスアプリケーションの名前。このフィールドは編集できません。
登録者デジタルインターフェイス	統合を登録する登録者デジタルインターフェイスの名前。
登録者ビジネスアプリケーション	統合を登録する登録者ビジネスアプリケーションの名前。このフィールドは編集できません。
タイプ	統合のタイプ。 次のオプションを使用します。 • データ統合 • プロセス統合 • ユーザーインターフェイス統合
サブタイプ	統合のサブタイプ。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [データ統合] を選択した場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します。 • プロセスの構成 • 基盤データ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 構成アイテム • Events • レポート • システムログ
バージョン	統合のバージョン。
ライフサイクルステージ	統合のライフサイクルステージ。
ライフサイクルステージステータス	統合のライフサイクルステージステータス。
事業部門	統合が属する事業部門の名前。
説明	デジタル統合についての説明。
機能的	
データフロー方向	統合におけるデータフローの方向。 次のオプションを使用します。 • 送信 • 受信 • 双方向
トリガー	統合をトリガーする方法。 次のオプションを使用します。 • マニュアル • スケジュール済み • プロセス駆動型 • イベント
間隔	統合をトリガーする頻度。 間隔のオプションは次のとおりです。 • 秒 • 分 • 時間 • 日 • 週 • 月 • 四半期 • 年 • オンデマンド • リアルタイム。
応答	登録者が受信した応答のタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合フォーム (続く)

フィールド	説明
	次のオプションを使用します。 • 同期 • 非同期
インタラクションタイプ	プロバイダービジネスアプリケーションと登録者ビジネスアプリケーション間のインタラクションのタイプ。 次のオプションを使用します。 • 保証されたメッセージ (Guaranteed Message) • Pub-Sub • プル • プッシュ
ミドルウェア	統合で使用されるミドルウェアの名前。
ビジネスへの影響度	
重要度	ビジネスへの影響度の重大度のレベル。
機密性	統合の機密性レベル。
完全性	統合の整合性レベル。
可用性	統合の可用性。
所有者	
事業主	統合のビジネスオーナー。
IT 所有者	デジタル統合の IT オーナー。
サポート担当者	統合をサポートするユーザー名。
サポートグループ	統合をサポートするグループ名。
アクティビティ	
作業メモ	統合に関するコメント。

関連情報

デジタル統合の更新

デジタル統合要求フォーム

デジタル統合を要求して、2 つのビジネスアプリケーション間の統合を有効にします。

デジタル統合を要求フォーム

フィールド	説明
登録者ビジネスアプリケーション	統合を登録する登録者ビジネスアプリケーションの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合を要求フォーム (続く)

フィールド	説明
登録者デジタルインターフェイス	統合を登録する登録者デジタルインターフェイスの名前。
プロバイダービジネスアプリケーション	統合を提供するプロバイダービジネスアプリケーションの名前。
新しい プロバイダー デジタルインターフェイス	新しいデジタルインターフェイスを作成するオプション。このチェック ボックスをオンにした場合は、[新しいデジタル インターフェイス] の [新しいプロバイダー デジタル インターフェイス名] フィールドに新しいインターフェイスの名前を入力します。
プロバイダー デジタルインターフェイス	プロバイダーデジタルインターフェイスの名前。
デジタル統合名	デジタル統合の名前。 このフィールドは、[登録者ビジネスアプリケーション]、[プロバイダービジネスアプリケーション]、および [デジタルインターフェイス **(Digital Interface)]** フィールドが選択されている場合に自動入力されます。自動入力された名前は変更できます。
IT 所有者	データ統合の IT オーナーの名前。
事業主	統合のビジネスオーナー。
タイプ	統合のタイプ。 次のオプションを使用します。 • データ統合 • プロセス統合 • ユーザーインターフェイス統合
サブタイプ	統合のサブタイプ。 [データ統合] を選択すると、[サブタイプ] フィールドが表示されます。次のオプションを使用します。 • プロセスの構成 • 基盤データ • 構成アイテム • Events • レポート • システムログ
説明	統合についての説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してデジタル統合を要求

アプリケーションモデルのライフサイクルフォーム

アプリケーションモデルのライフサイクルは、ビジネスアプリケーションのライフサイクルをより適切に管理するのに役立ちます。

[アプリケーションモデルのライフサイクル] フォームのフィールド

フィールド	説明
モデル	ビジネスアプリケーションのモデル ID。このフィールドは、ビジネスアプリケーションフォームの [モデル **ID**] フィールド値から自動的に入力されます。
ライフ サイクル タイプ	ライフサイクルのタイプ。次のオプションを使用します。 • 内部 • 公開者
ライフ サイクル フェーズ	ライフサイクルのフェーズ。次のオプションを使用します。 • 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 • 提供終了
ソース	ライフサイクルのソース。このフィールドは、ビジネスアプリケーションフォームから自動生成されます。
フェーズ開始日	ビジネスアプリケーションライフサイクルフェーズの開始日。
フェーズ終了日	ビジネスアプリケーションライフサイクルフェーズの終了日。
リスク	アプリケーションライフサイクルに関連付けられたリスク。次のオプションを使用します。 • 非常に高い • 高 • 中 • 低 • なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	ライフサイクルをアクティブ化するオプション。
説明	アプリケーションライフサイクルの簡単な説明。

関連情報

ビジネスアプリケーションのライフサイクルを管理

データ分類フォーム

データ分類タグは、管理ユーザーがビジネスアプリケーションで使用されるデータをより適切に制御するのに役立ちます。

データ分類フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	データ分類名。
説明	データ分類の簡単な説明。
データ分類グループ	分類が含まれるグループ名。
アクティブ	分類を有効にするオプション。
アプリケーション	データ分類を作成しているアプリケーション名。このフィールドは、インスタンスに設定されたアプリケーションスコープに基づいて自動入力されます。
順序	分類が表示される順序。
色	分類タグの色。

関連情報

データ分類の追加

データ分類グループフォーム

データ分類グループは、管理者ユーザーが情報オブジェクトの分類タグを分類するのに役立ちます。

データ分類グループフォームのフィールド

フィールド	説明
名前	データ分類グループの名前。
説明	データ分類グループの簡単な説明。
複数選択を許可	複数のデータ分類の選択を有効にするオプション。
アプリケーション	データ分類を作成しているアプリケーション名。このフィールドは、インスタンスに設定されたアプリケーションスコープに基づいて自動入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

データ分類グループの追加

エンティティフォーム

エンティティは、リスクエクスポージャーのスコープを設定し、ビジネスアプリケーションのリスクアセスメントを実行するために使用されます。

エンティティフォームフィールド

フィールド	説明
名前	プロファイルの名前。
オーナー	プロファイルのオーナー。
適用先	すべてのビジネスアプリケーションレコードが保存されているビジネスアプリケーションテーブル。 開かれたダイアログボックスで、[テーブル名] フィールドにビジネスアプリケーションテーブルを入力し、[ドキュメント] フィールドにビジネスアプリケーションレコードを入力します。
有効	エンティティをアクティブ化するチェックボックス。
クラス	アプリケーションが属するプロファイルクラス。

関連情報

ビジネスアプリケーションを参照する監査のエンティティを作成する

アーキテクチャアーティファクトフォーム

アーキテクチャアーティファクトは、企業のシステム、ソリューション、進捗状況を説明します。APM のアーキテクチャアーティファクトは、エンタープライズアーキテクトが、組織で使用されるアーティファクトを作成および管理できるようにします。

アーキテクチャアーティファクトフォームフィールド

フィールド	説明
名前	アーティファクトの名前。
所有者	アーティファクトの所有者。所有者は作成者になります。
レビュー担当者	アーティファクト要求をレビューできるレビュー担当者。
説明	アーティファクト要求に関する説明。
アーキテクチャカテゴリ	新しく作成されたアーティファクトのアーキテクチャカテゴリ。アーキテクチャカテゴリを検索して選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクセス設定	
参照レコード別	参照レコードでアーティファクトにアクセスする APM ユーザーにアクセス権を付与するオプション。アーティファクトがビジネス機能やビジネスアプリケーションに関連付けられている場合、これらのビジネスエンティティにアクセスできる APM ユーザーは、ビジネスエンティティに関連付けられたアーティファクトにもアクセスできます。
管理者アクセス権	ドキュメント管理の管理者にアクセス権を付与するオプション。ドキュメント管理の管理者ロールを有するユーザーは、アーティファクトにアクセスすることができます。
権限の共有	他のユーザーやグループとドキュメントを共有できるアクセス権を付与するオプション。付与できる権限は次の通りです。 • ロールの権限 • ユーザー基準の権限 • ユーザー権限 • グループの権限

関連情報

アーキテクチャアーティファクト

アーキテクチャアーティファクトの作成または編集

でのアーキテクチャアーティファクトの作成 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

関連エンティティフォーム

APM は、エンタープライズアーキテクトがビジネス機能やビジネスアプリケーションなど、Now Platform における既存の要素にアーキテクチャアーティファクトを関連付けられるようにします。これらの関連付けにより、アーティファクトと関連エンティティ間の関係が作成されます。

関連エンティティフォームフィールド

関連エンティティフォーム

フィールド	説明
アーキテクチャアーティファクト	アーキテクチャアーティファクトの名前。
エンティティ	ビジネスエンティティのタイプ。エンティティタイプは、ビジネスアプリケーションまたはビジネス機能になります。
ターゲットレコード	アーティファクトを関連付ける特定のビジネスアプリケーションまたはビジネス機能の名前。

関連情報

アーティファクトとビジネスエンティティとの関連付け

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アーキテクチャカテゴリフォーム

アーキテクチャカテゴリを使用すると、アーティファクトを効率的に分類および管理できます。

アーキテクチャカテゴリフォームフィールド

フィールド	説明
名前	カテゴリの名前。
説明	カテゴリの説明。
親カテゴリ	階層カテゴリ。[アーキテクチャカテゴリ] ページから親カテゴリを選択します。

関連情報

- アーティファクトカテゴリの作成または編集
- EA Workspace でのアーキテクチャアーティファクトカテゴリの作成

アーキテクチャアーティファクトのバージョンフォーム

APM は、エンタープライズアーキテクトがアーキテクチャアーティファクトのバージョンを複数作成して、承認を依頼できるようにします。各アーティファクトに対して承認を受けられるバージョンは 1 つだけです。

アーキテクチャアーティファクトのバージョンフォームフィールド

フィールド	説明
アーキテクチャアーティファクト	アーキテクチャアーティファクトの名前。
ファイルタイプ	URL または添付ファイルのいずれかのファイルタイプ。次のいずれかを実行します。 • ファイルをアップロードするには、[添付ファイル] を選択して、[添付ファイル] アイコン (📎) をクリックし、ファイルを選択します。 • ドキュメントにリンクするには、**[URL]** を選択してリンクを指定します。
ステータス	アーティファクトバージョンのステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。

関連情報

- アーティファクトバージョンの作成

ビジネスアプリケーションの [図を作成] フォーム

エンタープライズアーキテクトは、ビジネスアプリケーション階層を使用して Lucidchart 図を作成し、それをアーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[図を作成] フォームフィールド

フィールド	説明
図の名前	図の名前。
図のタイプ	図のタイプ。次のいずれかになります。 • ビジネスアプリケーション階層 • ビジネス機能マップ このフィールドは、ビジネスアプリケーションまたはビジネス機能ビューから図を作成すると自動入力されます。
作図ツール	図の作成に使用するツール。このフィールドは自動的に **[Lucidchart]** に設定されます。
ビジネスアプリケーション	図を作成しているビジネスアプリケーションの名前。 このフィールドは、ビジネスアプリケーションビューから図を作成すると自動入力されます。
アーティファクトへのリンク	図を関連付けるアーティファクト。 次のオプションを使用します。 • なし：図を表示するが、アーティファクトに関連付けない場合に選択します。 • 新しいアーティファクト：アーティファクトを作成し、図を関連付ける場合に選択します。 • 既存のアーティファクト：既存のアーティファクトに図を関連付ける場合に選択します。
アーティファクト名	アーティファクトの名前。このフィールドは、[アーティファクト] フィールドで [新しいアーティファクト] または [既存のアーティファクト] が選択されている場合にのみ表示されます。
エンティティ	チャートに含まれるエンティティ。 図に含める次の項目を選択します。 • アプリケーションサービス ○ ハードウェアモデル ○ ソフトウェア モデル • ビジネスケイパビリティ • デマンド • デジタル統合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• デジタルインターフェイス • 情報オブジェクト • プロジェクト管理 注: [プロジェクト] オプションは、PPM Standard プラグインがインストールされている場合に使用できます。
フォルダ	Lucid フォルダーの名前。図を保存するフォルダを選択します。フォルダを選択すると、そのサブフォルダが表示されます。

関連情報

ビジネスアプリケーションの Lucidchart 図を作成

ビジネス機能の図を作成

エンタープライズアーキテクトは、ビジネス機能マップを使用して Lucidchart 図を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。

[図を作成] フォームフィールド

フィールド	説明
図の名前	図の名前。
図のタイプ	図のタイプ。次のいずれかになります。 • ビジネスアプリケーション階層 • ビジネス機能マップ このフィールドは、ビジネスアプリケーションまたはビジネス機能ビューから図を作成すると自動入力されます。
ビジネスアプリケーションを含みます	ビジネスアプリケーションを含めるオプション。
すべてのビジネスケイパビリティ	図にすべてのビジネス機能マップに含めるオプション。
ビジネス機能	図を作成するビジネス機能のリスト。複数の機能を検索して追加できます。 注: 前の手順で [すべてのビジネス機能] のチェックボックスをオンにした場合、このフィールドは表示されません。
作図ツール	図の作成に使用するツール。このフィールドは自動的に **[Lucidchart]** に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アーティファクトへのリンク	図を関連付けるアーティファクト。 次のオプションを使用します。 • なし：図を表示するが、アーティファクトに関連付けない場合に選択します。 • 新しいアーティファクト：アーティファクトを作成し、図を関連付ける場合に選択します。 • 既存のアーティファクト：既存のアーティファクトに図を関連付ける場合に選択します。
アーティファクト名	アーティファクトの名前。このフィールドは、[アーティファクト] フィールドで [新しいアーティファクト] または [既存のアーティファクト] が選択されている場合にのみ表示されます。
フォルダ	Lucid フォルダーの名前。図を保存するフォルダを選択します。フォルダを選択すると、そのサブフォルダが表示されます。

関連情報

ビジネス機能の Lucid 図を作成

アプリケーションを廃止するデマンドフォーム

アプリケーションが使用されなくなった場合、APM ユーザーはアプリケーションの廃止を要求できます。

デマンドフォームのフィールド

フィールド	説明
アクション	アプリケーションを廃止します。
名前	廃止するビジネスアプリケーションの名前。
カテゴリ	オペレーショナル。
タイプ	プロジェクト。

関連情報

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスの要求

アーキテクチャレビューを要求フォーム

APM ユーザーは、アーキテクチャレビューボードにビジネスアプリケーションのテクノロジーに関する新しいアーキテクチャ設計提案のレビューを要求できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アーキテクチャレビューを要求フォームフィールド

フィールド	説明
ビジネスアプリケーション	アーキテクチャレビューが要求されているビジネスアプリケーションの名前。
プロジェクト	アーキテクチャレビューが要求されているビジネスアプリケーションに関連付けることができるプロジェクト。 注: プロジェクトマネージャーとして所有しているプロジェクトがリストに表示されます。[プロジェクト] フィールドは、PPM Standard プラグインがアクティブ化されている場合にのみ表示されます。
簡単な説明	アーキテクチャレビューの理由を述べる簡単な説明。
アーキテクチャレビューの要求日 (Architecture Review Requested Date)	アーキテクチャレビューを実施する日付。 アーキテクチャレビューの日付は将来の日付にする必要があります。 レビュー用の詳細計画または補足ドキュメントを添付できます。

関連情報

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してアーキテクチャレビューを要求する

インジケーターフォーム

アプリケーションインジケーターは、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価するビジネス測定基準です。

インジケーターフォームフィールド

フィールド	説明
名前	アプリケーションインジケーターの名前。
単位	数値、通貨、時間、期間 (分、時間、日、月、四半期)、またはレート。 要件に従って単位を作成することもできます。
頻度	頻度は、インジケーターソースのデータを収集する間隔を決定します。 [頻度] フィールドは、[データソース] リストから **Performance Analytics** が選択されている場合には使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
最大ターゲット	インジケーターの最大値。 [データソース] リストから [アセスメント] が選択されている場合、[最大ターゲット] フィールドは使用できません。
アクティブ	[アクティブ] オプションを選択してインジケーターを有効にします。
CI クラス	スコアが生成される CI タイプ。
方向	最大値または最小値を持つビジネスアプリケーション。値が小さいほど良好な場合は、[最小化] を選択します。値が大きいほど良好な場合は、[最大化] を選択します。
最小ターゲット	インジケーターの最小値。 [最小ターゲット] フィールドは、[データ ソース] リストから [アセスメント] が選択されている場合には使用できません。
絶対値を考慮する	[最大ターゲット] および [最小ターゲット] フィールドの値を考慮するオプション。 このフィールドは、[最大ターゲット] および [最小ターゲット] フィールドに値が入力されている場合にのみ使用可能です。 チェックボックスをオフにすると、最大ターゲットと最小ターゲットの値は、インテリジェントロジックに基づいて考慮されます。
簡単な説明	アプリケーションインジケーターの簡単なサマリー。
データソース構成	

データソース	このインジケーターのデータ元の場所を定義します。
	
	• **Performance Analytics**：Performance Analytics で作成されたインジケーターからのスコアを収集します。「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。
	• カスタムスクリプト：別のアプリケーションからデータを収集するスクリプトを記述できます。[データソース] フィールドの下に、サンプルスクリプトが表示されます。必要に応じてスクリプトをカスタマイズします。カスタムスクリプトの例を次に示します。
	
	`var results = {};`
	`var applications = [];`
	`var incidentCount = 0;`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明

	``
	var applicationsGr = new GlideRecord("cmdb_ci_business_app");
	applicationsGr.addQuery('active', true);
	applicationsGr.query();
	//for each application get incident count at business service level
	while(applicationsGr.next()) {
	  incidentCount = 0;
	
	  var gr = new GlideRecord("incident");
	
	gr.addEncodedQuery("opened_atBETWEEN" + startDate + "@" + endDate);
	  gr.addQuery('cmdb_ci_business_app', applicationsGr.getUniqueValue());
	  gr.query();
	
	  incidentCount = gr.getRowCount();
	  var appInfo = {};
	  appInfo.appId = applicationsGr.getUniqueValue();
	  appInfo.weight = incidentCount;
	  applications.push(appInfo);
	  }
	results.applications = applications;
	results;
	``
	• クエリー条件：フィルターの実行対象にするテーブルを選択して、データを取得できます。
	• アセスメント：テーブル内のレコードにアセスメントを行って、レコードを評価、スコアリング、およびランク付けできます。「測定基準タイプの作成とアセスメント可能なレコードの生成」を参照してください。APM 内でサーベイアセスメントの結果を表示するには、「サーベイアセスメントを生成し、APM 内で結果を表示する」を参照してください。
	• インジケーター：依存する子インジケーターを追加できます。子インジケーターを介して、親インジケーターにデータが収集されます。
	
	たとえば、親インジケーターが課題の数である場合、依存インジケーターとしてはインシデントの数、不具合の数、および変更の数が考えられます。これらの依存インジケーターは子インジケーターであり、記録されたインシデント、不具合、および変更の数は、課題の数として親インジケーターに集約されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
インジケーター	[データソース] リストから **[Performance Analytics]** が選択されている場合に、[インジケーター] フィールドが表示されます。 インジケーターは、現在の条件を測定し、傾向を予測するために使用される統計情報です。 **注:** アプリケーションインジケーターの収集頻度が、Performance Analytics インジケーターのデータ生成頻度以下になっている場合は、「インジケーターの頻度は、常にデータソース構成インジケーターの頻度以上になっている必要があります」というエラーメッセージが表示されます。詳細については、「PA インジケータースコアデータの収集」を参照してください。
デフォルトブレークダウン	Performance Analytics ブレークダウンの名前。
コンソリデーション	値を集計するための計算方法。合計、平均、最大、最小などの関数。 デフォルトは [平均] です。たとえば、[平均] は、月次値の合計を四半期の合計月数で割ったものです。 [最大] または [最小] を選択した場合は、それぞれ四半期の月の最大値または最小値になります。 [合計] を選択すると、その四半期のすべての月次値の集計になります。
アセスメント測定基準タイプ	インジケーターの評価に使用される測定基準のタイプ。 [データソース] が [アセスメント] の場合、[アセスメント測定基準タイプ] フィールドが表示されます。
アセスメント測定基準カテゴリ	測定基準のカテゴリ。

関連情報

アプリケーションを評価するインジケーターを作成または編集する

採点プロファイルフォーム

アプリケーション採点プロファイルを作成し、ビジネス要件に応じてデフォルトのアプリケーションプロファイルを新しいプロファイルインジケーターで更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

採点プロファイルフォームフィールド

フィールド	説明
名前	アプリケーションプロファイルの名前。
重み付けの再調整	ビジネスアプリケーションの関連するインジケーター間で重み付けを比例的に調整するオプション。
説明	アプリケーションプロファイルの説明。
CI クラス	スコアが生成される構成アイテムタイプ。

関連情報

アプリケーションスコアプロファイルの作成およびプロファイルインジケーターのアタッチ

スクリプトの実行を予定フォーム

すべてのインジケーターのスコアを再計算するスクリプト、これらのインジケーターがアタッチされている採点プロファイル、これらの採点プロファイルに関連付けられているビジネスアプリケーション。

スクリプトの実行を予定フォームフィールド

フィールド	説明
名前	この予定スクリプトの実行を識別する名前。
有効	スケジュール済みの日時にスクリプトをアクティブ化するオプション。このジョブは、デフォルトでは非アクティブです。
実行	スクリプトを実行するスケジュールのタイプ。選択肢は次のとおりです。 • 日次 • 週次 • 月次
日	[実行] リストから [週次] または [月次] を選択すると、[日] フィールドが表示されます。 • [実行] が [週次] の場合は、曜日を指定します。 • [実行] が [月次] の場合は、月の日を指定します。
時刻	スクリプトが実行される時刻 (24 時間形式)。 [実行] が [週次] または [月次] の場合、値には時刻が含まれます。
条件付き	特定の条件が満たされた場合にのみ実行するためのオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
このスクリプトを実行	スケジュール済みの日時に実行するスクリプト。 スクリプトを編集する必要はありません。
実行方法	スクリプトの実行を行う別のユーザーを選択します。このフィールドを追加するフォームがない場合は、フォームを構成します。

関連情報

アプリケーションスコアを計算するためのジョブをスケジュールする

グラフのディメンションを選択フォーム

このフォームは、バブルチャートの構成を変更するのに役立ちます。

グラフのディメンションを選択フォームフィールド

フィールド	様相
X および Y	X 軸と Y 軸に該当するインジケーターのディメンション。 事前に構成されたディメンションに加えて、アプリケーションバブルチャートフォームを使用して作成したバブルチャートも表示できます。
バブルのサイズ	インジケータースコアによって、バブルのサイズが決まります。
バブルラベルを表示	 有効にすると、バブルチャートにバブルラベルを表示できます。 1 つの象限に多数のバブルがある場合に、ラベルで整理された明確なバブルを表示できます。

関連情報

アプリケーションスコアをバブルチャートで分析する

アプリケーションバブルチャートフォーム

バブルチャートは、管理者が選択したカテゴリ内でのアプリケーションの相対的な順位を比較および評価するのに役立ちます。

アプリケーションバブルチャートフォームフィールド

フィールド	説明
名前	アプリケーションバブルチャートの名前。
左上ラベル	左上のアプリケーション戦略ラベル。
右上ラベル	右上のアプリケーション戦略ラベル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
右下ラベル	右下のアプリケーション戦略ラベル。
左下ラベル	左下のアプリケーション戦略ラベル。
左上の色	左上の象限におけるバブルの色。 色フィールドは、16 進コードまたは RGB 表記を含む文字列入力を受け入れます。
右上の色	右上の象限におけるバブルの色。 色フィールドは、16 進コードまたは RGB 表記を含む文字列入力を受け入れます。
右下の色	右下の象限におけるバブルの色。 色フィールドは、16 進コードまたは RGB 表記を含む文字列入力を受け入れます。
左下の色	左下の象限におけるバブルの色。 色フィールドは、16 進コードまたは RGB 表記を含む文字列入力を受け入れます。
四分割ラベルの色	ラベルの色。 色フィールドは、16 進コードまたは RGB 表記を含む文字列入力を受け入れます。
X インジケーター	X 軸のアプリケーションインジケーター。 アプリケーションインジケーターフォームの [新規] ボタンをクリックして、アプリケーションインジケーターを作成することもできます。
Y インジケーター	Y 軸のアプリケーションインジケーター。
Z インジケーター	Z 軸のアプリケーションインジケーター。
X ラベル	X 軸のラベル。 たとえば、**[X** インジケーター] が CSAT の場合は、それを「顧客満足度スコア」とラベル付けできます。
Y ラベル	Y 軸のラベル。
Z ラベル	Z 軸のラベル。

関連情報

アプリケーション戦略のバブルチャートを作成または編集する

新しい目標フォーム

目標フォームを使用して、組織の戦略的優先事項の目標を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しい目標フォームフィールド

[目標] フォーム

フィールド	説明
名前	目標の名前。
ステータス	目標のステータス。ステータスには、[ドラフト]、[処理中]、[承認済み]、[完了] [処理待ち]、[達成]、[未達成] があります。
親目標	この目標が寄与する親目標の名前。
戦略的優先事項	この目標の作成対象の戦略的優先事項の名前。
開始日	目標の開始日。デフォルトでは、現在の四半期の開始日が入力されます。サブ目標の場合、その親目標の開始日が入力されます。
終了日	目標の終了日。デフォルトでは、現在の四半期の終了日が入力されます。サブ目標の場合、その親目標の終了日が入力されます。
所有者	目標の所有者。デフォルトでは、目標を作成するユーザーの名前が入力されます。
カテゴリ	目標のカテゴリ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • アプリケーション合計 • 総コスト • 経費 • 投資 • クラウドアプリケーション • 自家製アプリケーション • サポート費 • 人件費 • 標準コンプライアンス • 戦略的 • オペレーショナル • 戦術的
ステータス	目標のステータス。ステータスには、[赤]、[黄]、[緑] または [なし] があります。
貢献者	目標の達成に貢献するユーザー。
チーム	目標を達成するためのさまざまなアクティビティを担当するアサイン先グループ。
親目標への影響	親目標の下にある兄弟目標やその他の目標と比較して、この目標の重要度を表す数値。デフォルトでは、 値は (1) [どちらでもない]です。 使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **(0)** 影響なし • **(1)** どちらでもない

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[目標] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• **(2)** 中 • **(3)** 高 • **(4)** 非常に高 • **(5)** 最大 注: このフィールドは、**[sn_gf.weighted_average_enabled]** システムプロパティが [はい] に設定されている場合にのみ使用できます。
進行状況	目標の完了率。目標にサブ目標やターゲットがある場合、進捗状況の値は自動的に計算されます。 進捗値の計算方法の詳細については、「Progress value calculation」を参照してください。
アサインされたエンティティタイプ	目標をアサインするエンティティタイプ。例：事業部門、部門、会社、ポートフォリオ。
アサインされたエンティティ	目標をアサインするエンティティ。
コメント	コラボレーションを促進するための、目標に関する詳細なコメント。
分類	目標の分類タイプ。利用可能なオプションは、[環境]、[ソーシャル]、[ガバナンス] です。このフィールドは、ESG ワークスペース ユーザーにのみ適用されます。

関連情報

アプリケーション戦略の目標を作成する

目標の更新フォーム

アプリケーションを評価して戦略を決定したら、管理者は、選択した会計期間のインジケーターに応じて最大化または最小化する具体的な目標を更新できます。

目標の更新フォームフィールド

フィールド	説明
予定されている達成度	達成予定のターゲットの割合。
現在までの実際の達成度	現在の達成率。
コメント	コメント (ある場合)。

関連情報

アプリケーション戦略の目標を作成する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デマンドフォーム

アプリケーションまたは機能のコスト節減の機会を特定し、ターゲットを達成するためのステップとしてデマンドを使用します。デマンドアクションに関連付ける戦略によって、アプリケーションの戦略が決まります。

デマンドフォームのフィールド

デマンドフォーム

フィールド	説明
アクション	新しいデマンドに対する対処措置。 **注:** [アクション] フィールドは、モジュール内で アプリケーションポートフォリオ管理フォームを起動し、 アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ使用できます。
名前	デマンドの名前。
カテゴリ	デマンドのカテゴリ。 • 戦略的 • オペレーショナル
タイプ	デマンドのタイプ： • プロジェクト • 拡張 • 変更 • 欠陥 [カテゴリ] フィールドでの選択に基づいて、[タイプ] フィールドで利用可能な選択肢が決まります。
数値	デマンドに対して自動生成された一意な識別番号。
開始日	デマンドの開始日。
期日	デマンドに要求される完了日。
詳細	
更新者	デマンドを送信したユーザーの名前。
プログラム	デマンドが属するプログラムの名前。
デマンドマネージャー	デマンドマネージャーの名前。
協力者	デマンドに対する編集や貢献が可能なユーザー。デマンド要求者は、任意のユーザーを協力者として選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォーム (続く)

フィールド	説明
部門	デマンドの送信者が属する事業部門内の部門。 このフィールドで値が選択されていない場合は、送信者が属する部門の名前が自動的に入力されます。
業務部門	デマンドの送信者が属する事業部門。
影響を受ける事業部門	送信されたデマンドの影響を受ける事業部門。
ビジネス機能	デマンドを関連付ける 1 つ以上のビジネス機能。
ビジネスアプリケーション	デマンドに追加するビジネスアプリケーション。 [ビジネス機能] フィールドで選択した機能に関連しているかどうかに関係なく、企業内の任意のビジネスアプリケーションを選択できます。

関連情報

- 目標の達成に向けたデマンドを作成する
- 機能の達成に向けたデマンドを作成する
- 目標を達成するためのビジネスアプリケーションのデマンドを作成する

新しいプログラムフォーム

プログラムを作成して、それを作成した目標にリンクし、プログラムマネージャーをプログラムに関連付けます。目標を作成したら、作成した目標を達成するためのプログラムを用意する必要があります。

新しいプログラムのフィールド

フィールド	説明
プログラム名	プログラムの一意な名前。
プライマリーボール	プログラムで達成すべき主要 目標。
プログラムマネージャー	プログラムマネージャーの名前。
ポートフォリオ	プログラムが属するポートフォリオ。
番号	プログラムの一意の、自動生成された識別番号。
ステータス	プログラムのステータス。次のオプションを使用します。 • 保留 • オープン • 対応中 • 完了してクローズ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
説明	プログラムの詳細な説明。
日付	
開始予定日	プログラムの開始予定日。
終了予定日	プログラムの終了予定日。
計画された期間	プログラムの予定期間 (日および時間単位)。
開始実績日時	プログラムが実際に開始された日付。
終了実績日時	プログラムが実際に終了した日付。
実際の期間	プログラムの開始からクローズまでの期間 (日および時間単位)。
財務	
合計計画 コスト	プログラムのコストの見積もり額。
実際のコスト	プログラムの実際のコスト。
予算コスト	プログラムの予算コスト。
計画利益	プログラムから得られる利益。
予定リターン (Planned returns)	プログラムの予定収支。
計画 ROI (%)	プログラムに関連付けられた ROI パーセンテージ。

関連情報

アプリケーション目標のためのプログラムを作成する

目標寄与率ターゲットフォーム

プログラムナビゲーションページでは、目標を達成するための会計年度の目標ターゲットを設定できます。

目標寄与率ターゲットフォームフィールド

フィールド	説明
プログラム	プログラムの名前。
会計年度	目標の設定対象の会計期間。
有効	プログラムを有効にするためのチェックボックス。
ターゲット目標寄与率 (%)	選択した会計期間におけるターゲット目標への寄与率。
コメント	プログラムのターゲット目標寄与率の説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

プログラムを実行するためのガイド付き計画を作成する

ビジネス機能フォーム

ビジネス機能は、Application Portfolio Management アプリケーション内で使用される共通テーブルです。

ビジネス機能フォームフィールド

フィールド	説明
名前	ビジネス機能の名前。
親	作成している機能の親機能。 親機能をアサインすると、ビジネス機能が子機能としてレンダリングされます。親がアサインされていない場合、または親が null の場合、機能のレベルは 0 レベルまたはルートになり、ルートノード機能であることを意味します。親フィールドが null に設定されると、スケジュール設定済みジョブを実行してビジネス機能レベルを更新するように求めるメッセージが表示されます。
レベル	階層内にある機能のレベル。親機能がない場合、レベルは 0 で、機能がルートレベルにあることを示します。 階層内にある機能のレベル。最大 6 つのレベルがサポートされています。 機能を追加するか、その親を変更して更新する場合は、オンデマンドでビジネス機能レベルの更新ジョブを実行します。ジョブによって機能レベルが決まり、すべての機能がレベル情報で更新されます。 **注:** フィールドはシステムによって更新されますが、ユーザーは更新できません。
業務部門	選択したビジネス機能に関連付けられている事業部門。
順序	任意の整数値を割り当てます。レベル 0 機能にのみ適用されます。 アサインする番号によって、機能階層内の他のすべてのビジネス機能の順序におけるその機能の位置が決まります。 [順番 **(Order)**] フィールドは、ルートノードまたはレベル 0 機能でのみ使用できます。スケジュール設定済みジョブは、ルート以外の機能に入力された順序値、重複する順序値、および null 値などの条件をチェックし、そのような値

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	を排除します。各機能のレベルと階層 ID を計算して設定します。
部門	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている部門。
リーフノード	このフィールドは、ビジネス機能が他の機能の親であるかどうかを示します。このオプションが有効になっている場合は、子機能がないことを意味します。 機能は親子階層に従います。機能のリーフノード属性は、他の機能の親ではないことを示します。 **注:** フィールドはシステムによって更新されますが、ユーザーは更新できません。
オーナー	ビジネス機能を所有するユーザー。
階層 ID	ビジネス機能の階層 ID。レベル 0 の機能では、順序に基づいて階層 ID が生成されます。ルート以外のすべての機能について、階層 ID はその親の階層 ID に基づいて生成されます。番号はビジネス機能にプリフィックスとして付けられ、機能階層マップで表示できます。 機能は、階層 ID に従って垂直方向に構造化されています。親が追加または削除された場合など、機能が更新されるたびに、階層 ID が自動的に更新されます。 **注:** デフォルトでは、フィールドはシステムにより更新されます。そのため、フィールドを編集することはできません。 ただし、システムが生成するものとは異なる数または値を階層 ID として使用する場合は、システムプロパティフラグを **True** にリセットできます。プロパティを true に設定すると、ビジネス機能フォームの [階層 **ID**] フィールドが編集可能になり、値を入力できます。このアクションによって、階層 ID を生成するシステムのデフォルトロジックが、カスタム階層 ID によって上書きされます。
説明	ビジネス機能の簡単な説明。

関連情報

ビジネス機能を作成し、その機能をアプリケーションに関連付ける

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネス機能の新しいレコードフォーム

機能マップでは、ルートレベルの機能の作成、親への子機能の追加、機能の編集、リーフ機能の削除、機能間の関係の管理を実行できます。

ビジネス機能の新しいレコードフォームフィールド

フィールド	説明
名前	ビジネス機能の一意の名前。
説明	ビジネス機能の簡単な説明。
親	機能がルートレベル機能つまりレベル 0 である場合は、フィールドを空白のままにします。 親を追加すると、その機能はルート機能としてではなく子として表示されるようになります。

関連情報

- 機能マップで機能階層を管理する
- ビジネス機能の追加

アプリケーションサービス用のハードウェアモデル

ハードウェアモデルを使用して、コンピューターやサーバーなどの機器資産を追跡します。

アプリケーションサービス用のハードウェアモデルフォームフィールド

フィールド	説明
アプリケーションサービス	アプリケーションサービスの名前。
技術的リスクを無視	ハードウェアモデルの技術的リスクを無視するオプション。
ハードウェア製品モデル	モデルカテゴリの名前。

関連情報

- アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付ける

アプリケーションサービス用のソフトウェアモデルフォーム

ビジネスアプリケーションには、開発、QA、本番などの複数のインスタンスがあります。インスタンスは、アプリケーションサービスに他なりません。したがって、アプリケーションサービスのリスクを知るには、アプリケーションサービスをソフトウェアモデル (それぞれの完全バージョン) に関連付ける必要があります。

アプリケーションサービス用のソフトウェアモデルフォームフィールド

フィールド	説明
アプリケーションサービス	アプリケーションサービスの名前。
技術的リスクを無視	ソフトウェアモデルの技術的リスクを無視するには、チェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	基礎となるソフトウェアモデルのリスクが 1 つでも高ければ、アプリケーションサービスのリスクは高くなります。したがって、ソフトウェアモデルが重要でなく、アプリケーションサービスのリスクにあまり寄与しない場合は、このチェックボックスを使用してリスクを無視します。
プライマリソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルをプライマリモデルにするには、チェックボックスをオンにします。
ソフトウェア モデル	アプリケーションサービスの基礎となるソフトウェアモデル。
ライフサイクル完全バージョン	ソフトウェアの詳細なライセンス可能バージョン。

関連情報

アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付ける

リスクパラメーターフォーム

リスクパラメーターは、Application Portfolio Management アプリケーション内で使用される共通テーブルです。

リスクパラメーターフォームフィールド

リスクパラメーターフォーム

フィールド	説明
名前	リスクパラメーターの名前。
説明	リスクパラメーターの簡単な説明。
有効	このチェックボックスをオンにすると、リスクパラメーターがアクティブになります。
スクリプト	ソフトウェアモデルのリスクとビジネスアプリケーションのリスクを計算し、毎日実行するようにスケジュールするスクリプトを作成します。

関連情報

リスクパラメーターを作成

新製品 **TRM** フォーム

エンタープライズアーキテクトグループのメンバーは、(TRM) 製品をライブラリに追加できます。テクノロジー参照モデルTRM

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRM 製品フォームフィールド

フィールド	説明
公開者	ソフトウェアまたはハードウェア製品の公開者。[会社] ページから公開者を検索して選択します。
タイプ	製品のタイプを選択します。リストには次のものが含まれます。 • ソフトウェア • ハードウェア **注:** [新規製品]、[ソフトウェア製品]、および [ハードウェア製品] の各フィールドは、プラグインとハードウェア資産管理プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみSAM Foundation表示されます。
新製品である	新製品かどうかを指定するオプション。
ソフトウェア製品	ソフトウェア製品の名前。 **注:** このフィールドは、[タイプ] が [ソフトウェア] として選択され、 が Software Asset Management Foundation プラグイン インスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
ハードウェア製品	ハードウェア製品の名前。 **注:** このフィールドは、[タイプ] が [ハードウェア] として選択され、 ハードウェア資産管理 プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
名前	ソフトウェアまたはハードウェア製品の名前。このフィールドは、[新製品] チェックボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。
カテゴリ	製品のカテゴリ。TRM カテゴリのページからカテゴリを検索して選択します。
TRM フェーズ	製品のフェーズ。次のリストを使用します。 • 承認済み • 制約付きで承認 • 売却

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 評価 • 未承認
投資の方向	投資の目的。次のリストを使用します。 • 売却 • 排除済み • 投資 • 保守
ビジネス上の根拠	製品要求のビジネス上の根拠。

関連情報

TRM製品を追加

TRM 製品要求フォーム

TRM製品要求フォームは、新しいソフトウェア製品を ()TRM ライブラリに含めるテクノロジー参照モデル要求を追加または編集するために使用します。

TRM 製品要求フォームのフィールド

フィールド	説明
数値	製品要求に対して自動生成された一意な識別番号。
公開者	ソフトウェアまたはハードウェア製品の公開者。[会社] ページから公開者を検索して選択します。
タイプ	製品のタイプを選択します。リストには次のものが含まれます。 • ソフトウェア • ハードウェア **注:** [新規製品 **(Is New Product)**]、[ソフトウェア製品 **(Software Product)**]、および [ハードウェア製品 **(Hardware Product)**] の各フィールドは、 とSoftware Asset Management Foundation プラグインハードウェア資産管理プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
新製品である	新製品かどうかを指定するオプション。
ソフトウェア製品	ソフトウェア製品の名前。このフィールドは、[タイプ] が [ソフトウェア] として選択され、Software Asset Management Foundation プ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ラグイン インスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
ハードウェア製品	ソフトウェア製品の名前。このフィールドは、プラグインが ハードウェア資産管理 インスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
名前	ソフトウェアまたはハードウェア製品の名前。このフィールドは、[新製品] チェックボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。
簡単な説明	製品要求に関する説明。
承認	承認のステータス。次の選択肢があります。 • 未要求 • 要求済み • 承認済み • 却下
要求された TRM フェーズ	製品のフェーズ。TRM フェーズのページからフェーズを検索して選択します。
カテゴリ	製品のカテゴリ。TRM カテゴリのページからカテゴリを検索して選択します。
ビジネス上の根拠	製品要求のビジネス上の根拠。

関連情報

- 製品要求の追加または編集TRM
- 製品要求の表示および編集

TRM カタログフォームを使用した製品要求

[カタログを使用した製品要求] TRM フォームは、新しいソフトウェアまたはハードウェア製品を()TRM ライブラリに含めるテクノロジー参照モデル要求を追加または編集するために使用します。

TRM 製品要求フォームフィールド

フィールド	説明
公開者	ソフトウェア製品の公開者。[会社] ページから公開者を検索して選択します。
カテゴリ	製品のカテゴリ。TRM カテゴリのページからカテゴリを検索して選択します。
タイプ	製品のタイプを選択します。リストには次のものが含まれます。 • ソフトウェア • ハードウェア

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [新製品]、[ソフトウェア製品]、および [ハードウェア製品] の各フィールドは、とハードウェア資産管理プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみSoftware Asset Management Foundation プラグイン表示されます。
新製品である	新製品かどうかを指定するオプション。
ソフトウェア製品	ソフトウェア製品の名前。このフィールドは、[タイプ] が [ソフトウェア] として選択されていて、 が Software Asset Management Foundation プラグイン インスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
ハードウェア製品	ハードウェア製品の名前。このフィールドは、[タイプ] が [ハードウェア] として選択されていて、プラグインが ハードウェア資産管理 インスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
名前	ソフトウェアまたはハードウェア製品の名前。このフィールドは、[新製品] チェックボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。
要求された TRM フェーズ	製品のフェーズ。TRM フェーズのページからフェーズを検索して選択します。
簡単な説明	製品要求に関する説明。
ビジネス上の根拠	製品要求のビジネス上の根拠。

関連情報

TRM カタログフォームを使用した製品要求

TRM 製品ライフサイクル要求フォーム

[製品ライフサイクル要求] TRM フォームは、()TRM 製品のライフサイクルテクノロジー参照モデルを作成する要求を追加または編集するために使用します。

TRM 製品ライフサイクル要求フォームフィールド

フィールド	説明
数値	製品要求に対して自動生成された一意な識別番号。
公開者	ソフトウェアまたはハードウェア製品の公開者。[会社] ページから公開者を検索して選択します。
TRM 製品	TRM 製品の名前。TRM 製品のページから製品を検索して選択します。
バージョン	TRMソフトウェア製品のバージョン。このフィールドは、[**TRM** 製品] フィールドでソフ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	トウェア製品が選択されている場合にのみ表示されます。
エディション	TRMソフトウェア製品のエディション。標準またはエンタープライズのいずれか。このフィールドは、[**TRM** 製品] フィールドでソフトウェアタイプの TRM 製品が選択されている場合にのみ表示されます。
ハードウェアモデル	使用可能なハードウェアモデルのリストからハードウェアモデルを選択します。このフィールドは、[**TRM** 製品] フィールドでハードウェアタイプの TRM 製品が選択されている場合にのみ表示されます。
モデル番号	ハードウェアモデル番号。ハードウェアモデルを選択すると、このフィールドにはモデル番号が自動的に入力されます。このフィールドは、[**TRM** 製品] フィールドでハードウェアタイプの TRM 製品が選択されている場合にのみ表示されます。
要求された TRM フェーズ	製品のフェーズ。TRM フェーズのページからフェーズを検索して選択します。
フェーズ開始日	製品ライフサイクルのフェーズ開始日。
フェーズ終了日	製品ライフサイクルのフェーズ終了日。
バーコード	ハードウェアモデルのバーコード。ハードウェアモデルが選択されている場合、このフィールドにはバーコード番号が自動的に入力されます。このフィールドは、[**TRM** 製品] フィールドでハードウェアタイプの TRM 製品が選択されている場合にのみ表示されます。
ビジネスアプリケーション	ビジネスアプリケーションの名前。ビジネスアプリケーションのページからビジネスアプリケーションを検索して選択し、TRM 製品ライフサイクルに関連付けます。
簡単な説明	製品ライフサイクル要求に関する説明。
ビジネス上の根拠	製品ライフサイクル要求のビジネス上の根拠。

関連情報

- TRM カタログを使用した TRM 製品ライフサイクルの要求
- TRM 製品ライフサイクル要求の追加または編集
- 製品ライフサイクル要求の表示および編集

TRM カテゴリフォーム

TRM カテゴリを作成するには、新規の要求を追加するか、既存の要求を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRM カテゴリフォームフィールド

フィールド	説明
名前	カテゴリの一意の名前。
基準コード	カテゴリの基準コード。基準コードは、連邦政府の TRM などの他の信頼できるデータソースへの参照を保持するために使用されます。
親カテゴリ	カテゴリを階層構造に追加するには、親カテゴリを選択します。TRM カテゴリのページからカテゴリを検索して選択します。
説明	TRM カテゴリに関する説明。
ドメイン	ドメインの名前。ベースシステムでは、デフォルトのドメインがグローバルとして設定されます。

関連情報

- TRM カテゴリの追加または編集
- テクノロジー参照モデル EA Workspace で (TRM) カテゴリを作成する

TRM フェーズフォーム

独自の TRM フェーズを定義したり、既存の TRM フェーズを編集したりします。

TRM フェーズフォームフィールド

フィールド	説明
名前	フェーズの名前。
説明	フェーズに関する説明。
承認済みの本番	本番向けの承認の有無をマークするオプション。
色	TRM フェーズを定義する色。ドロップダウンリストから色を選択します。
形状	TRM フェーズを定義する形状。ドロップダウンリストから形状を選択します。

関連情報

- TRM フェーズの追加または編集
- テクノロジー参照モデル (TRM) フェーズの作成

データドメインフォーム

情報オブジェクトをデータベースインスタンスのデータベースカタログに関連付けて、物理データを収集します。ServiceNow ディスカバリー は、データベースのインスタンスで検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースを一覧表示するデータベースカタログを検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データドメインフォームフィールド

フィールド	説明
名前	データドメインの名前。
説明	データドメインの簡単な説明。
親	データドメインの親ドメイン。 これは、データドメイン階層の作成に使用されます。
リーフノード	データドメインが階層の最下位レベルにあることを示すインジケーター。

関連情報

- データドメインを作成する
- EA Workspace でデータドメインを作成する

情報オブジェクトフォーム

情報オブジェクトは、ビジネスアプリケーションの論理データをキャプチャします。

情報オブジェクトフォームフィールド

フィールド	説明
分類タグを選択	情報オブジェクトに適用できる分類グループと分類を表示するドロップダウンリスト。
名前	情報オブジェクトの名前。
データ分類	データのカテゴリ。 情報オブジェクトに適用されている分類タグを表示します。
オーナー	情報オブジェクトを所有するユーザー。
事業部門	情報オブジェクトを所有する事業部門。
部門	実際に情報を所有している事業部門内の部門。
説明	情報オブジェクトの簡単な説明。
データドメイン	分類された概念データを保持するデータドメインテーブルへの参照。 概念データレイヤーと論理データレイヤーの関係は、情報オブジェクトテーブルのデータドメインを参照することによって確立されます。

関連情報

- 情報オブジェクトへの分類タグの適用
- データドメインを参照する情報オブジェクトを作成する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関係性を追加フォーム

Uses::Used by タイプの CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルを使用して、ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付けます。この提案された関係を使用して、ビジネスアプリケーションを活用するための情報オブジェクトの論理データを取得します。

関係性を追加フォームフィールド

フィールド	説明
ビジネスアプリケーション	フィールドに自動入力されるビジネスアプリケーションの名前。
関係	提案されたビジネスアプリケーションと情報オブジェクト間の CMDB CI 関係のタイプ。このフィールドには、Uses::Used by 関係が自動入力されます。
情報オブジェクトを選択	ビジネスアプリケーションが使用する論理データを含むテーブル。
作成、読み取り、更新、および削除	ビジネスアプリケーションが情報オブジェクトに対して実行できる操作のタイプまたは操作の組み合わせをキャプチャするオプション。 [作成]、[読み取り]、[更新]、[削除] (CRUD) のチェックボックスをオンにすると、ビジネスアプリケーション CI と情報オブジェクト CI の関係の範囲を定義するプロパティである修飾子が追加されます。

関連情報

ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付ける

ソフトウェアモデルのステータス

アプリケーションオーナーは、ソフトウェアモデル提案エンジンを実行してソフトウェアモデルをフェッチできます。これらのモデルは、手動でマッピングせずに、アプリケーションサービスに関連付けることができます。すべてのアプリケーションサービスは、マッピングされた後にステータスを表示します。

ソフトウェアモデルのステータス

ジョブの最初の実行	ジョブの 2 回目の実行	関連付けの条件	ソフトウェアモデルの新しいステータス
検出	検出	あり	関連付け済み **(Associated)**：選択したソフトウェアモデルをアプリケーションサービスに関連付けます。ステータスの先頭には緑色のバブルが付加されます。それ以降のジョブの実行では、これらのソ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブの最初の実行	ジョブの 2 回目の実行	関連付けの条件	ソフトウェアモデルの新しいステータス
			フトウェアモデルは引き続き [関連付け済み (Associated)] ステータスのままになります。アプリケーションサービスが実行されているハードウェアからソフトウェアモデルが削除またはアンインストールされている場合は、ソフトウェアモデルの関連付けを解除できます。
検出	検出	なし	無視 **(Ignored)**：ジョブの前回の実行でソフトウェアモデルに対してアクションが実行されなかった場合、現在の実行でのステータスは [無視 **(Ignored)]** (灰色のバブルが先頭に付加される) として識別されます。
非検出	検出	適用外	新規 **(New)**：ジョブの最初の実行で識別されたソフトウェアモデル、および前回の実行後から現在の実行までに追加されたソフトウェアモデルは、ステータスが [新規 **(New)]** になり、黄色のバブルが先頭に付加されます。このようなソフトウェアモデルは、関連付けや関連付け解除が可能です。
検出	非検出	あり	削除：ステータスが [関連付け済み (Associated)]、[無視 (Ignored)]、または [新規 (New)] のソフトウェアモデルを削除できます。このアクションは、取得済みソフトウェアモデルのリストからソフトウェアモデルを削除します。つまり、取得済みソフトウェアモデル [sn_apm_service_software_model_sug テーブルから削除

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブの最初の実行	ジョブの 2 回目の実行	関連付けの条件	ソフトウェアモデルの新しいステータス
			されますが、アプリケーションサービスソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_mode テーブルからは削除されません。
検出	非検出	なし	削除

関連情報

提案されたテクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付ける

日付条件

メンテナンスユーザーは、ライフサイクルフェーズの日付範囲を設定できます。

日付条件

日付条件

日付条件	TPM 画面のタイムライン
現在の日付、(現在の日付 – 10 年)、(現在の日付 + 3 年)。	デフォルトの日付。 デフォルトの日付条件を満たす製品モデルのタイムラインが表示されます。
(現在の日付 – 10 年) より前に開始され、現在まで継続しているすべてのフェーズ。	このような日付条件の製品モデルが表示され、過去の年数に適合するように、タイムライン自体がデフォルト (–10 年から +3 年) から自動的に拡張されます。
(現在の日付 – 10 年) より前に開始され、現在日を超えて継続し、まだ進行中の可能性があるフェーズ	このようなフェーズの製品モデルは、現在日 + 3 年間まで表示されます。
(現在の日付 – 10 年) より前に開始され終了するライフサイクルフェーズ	このようなフェーズの製品モデルは表示されません。

レコードのライフサイクルフェーズ	TPM タイムラインに日付をプロットするための条件
1 つの内部と 1 つの公開者	すべての日付がタイムラインにプロットされます。
複数の公開者	1 つの公開者の日付のみがプロットされます。 プロット用に選択される公開者は、ソース列の *sequence* プロパティによって異なります。すべてのソースにはシーケンス番号がアタッチされています。シーケンス番号が最小のソースが選択されます。シーケンス番号が最小のソースにライフサイクルレコードがない場合は、次にシーケンス番号が小さいソースが選択されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードのライフサイクルフェーズ	**TPM** タイムラインに日付をプロットするための条件
1 つの内部と複数の公開者	内部の日付はプロットされますが、公開者の日付は 1 つのみプロットされます。プロット用に選択される公開者レコードは、*sequence* プロパティによって異なります。
2 つのフェーズの重複する日付	線は 1 本のみ表示されます。
日付におけるギャップ	タイムラインにギャップのない実線。

関連情報

タイムライン上の製品ライフサイクルデータ

アプリケーションポートフォリオ管理 のクイックスタートテスト

アップグレードの適用やアプリケーションの開発などの構成変更を行った後も、アプリケーションポートフォリオ管理 が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーし、カスタマイズして、渡します。

アプリケーションポートフォリオ管理 クイックスタートテストでは、アプリケーションポートフォリオ管理 - ATF テストプラグイン (com.snc.apm.atf) を有効にする必要があります。

APM：ビジネスアプリケーションおよび機能テストスイートの作成

テスト	説明	リリースバージョン
APM：ビジネスアプリケーションの作成	アプリケーションカテゴリの作成、apm_user ロールを持つユーザーのビジネスアプリケーションの作成の順に確認します。	Madrid
APM: ビジネス機能を作成	親と子のビジネス機能の作成、そのフィールド値の順に確認します。	Madrid
APM: ビジネスサービス、ビジネスアプリケーション、ソフトウェアモデルに関連するテスト	既存のソフトウェアモデルを使用したビジネスアプリケーションおよびビジネスサービスの作成と、それらの関係を確認します。	Orlando
APM: インジケータースコアとアプリケーションスコア生成のテスト	インジケーターの作成、採点プロファイル、インジケータースコアとアプリケーションスコアの生成を確認します。	Paris
APM：情報オブジェクトおよびデータドメインを使用するビジネスアプリケーション	関係属性で、ビジネスアプリケーション、情報オブジェクト、および CRUD 操作の追加を作成していることを確認します。	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

APM TRM：**TRM** 製品および製品ライフサイクル要求テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
APM：製品および製品ライフサイクル要求の作成と承認	製品 TRM 要求と製品ライフサイクル要求を作成して承認します。	Utah

関連情報

クイックスタートテスト

APM クラウドアセスメントスコアリングプロファイル

アプリケーションポートフォリオ管理 のクラウドアセスメント採点プロファイルは、クラウド移行の準備状況についてビジネスアプリケーションを評価するのに役立ちます。

APM クラウドアセスメントスコアリングプロファイルのインジケーター

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明
戦略的重要性	年	カスタムスクリプト	APM 製品。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [緊急度] (emergency_tier) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションの緊急度を評価します。
データ分類	年	カスタムスクリプト	APM 製品。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [データ分類] (data_classification) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションのデータ分類を評価します。
利用可能なクラウドバージョン	年	カスタムスクリプト	APM 製品。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [利用可能なクラウドバージョン] (cloud_version_available) フィールドから計算されます。	クラウド展開に適したこのアプリケーションのバージョンがあるかどうかを評価します。
Core アーキテクチャ	年	カスタムスクリプト	APM 製品。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの **[Core** アーキテクチャ] (core_architecture)	このビジネスアプリケーションが Core アーキテクチャの一部であるかどう

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明
				フィールドから計算されます。	かを評価します。
事業上の重要度	年	カスタムスクリプト	APM 製品。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [事業上の重要度] (business_criticality) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションの事業上の重要度を評価します。
規制の影響	年	カスタムスクリプト	APM 製品。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [規制の影響 **(Regulatory Implications)**] (regulatory_implications) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションの規制の影響を評価します。
ビジネスへの影響度	年	インジケーター	適用外	次のインジケーターの合計から計算されます。 • **Core** アーキテクチャ (core_architecture) • 戦略的重要性 (emergency_tier) • 事業上の重要度 (business_criticality)	他のインジケーターに基づいて、ビジネスアプリケーションのビジネスへの影響度スコアを評価します。
クラウドの準備状況	年	インジケーター	適用外	次のインジケーターの合計から計算されます。 • データ分類 (data_classification) • 利用可能なクラウドバージョン (cloud_version_available)	他のインジケーターに基づいて、ビジネスアプリケーションのクラウドの準備状況スコアを評価します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明
				• 統合の複雑さ (integration_complexity) • 規制の影響 (regulatory_implications)	
統合の複雑さ	年	カスタムスクリプト	APM 製品。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [統合の複雑さ] (integration_complexity) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションへの統合の複雑さを評価します。
ユーザーベース	年	カスタムスクリプト	APM 製品。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [ユーザーベース] (user_base) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションのユーザーベースを評価します。
クラウド準備状況アセスメント	年	アセスメント	APM 製品。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [アセスメントインスタンス] から計算されます。	クラウド準備状況アセスメントスコア を評価します (サーベイに基づく)。

関連情報

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) クラウドアセスメント

デジタルインターフェイスフォームの作成

での統合のためのデジタルインターフェイスの作成 アプリケーションポートフォリオ管理

デジタルインターフェイスフォームのフィールド

フィールド	説明
名前	デジタルインターフェイスの名前。
数値	デジタルインターフェイスの数。このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。
プロバイダービジネスアプリケーション	統合を提供するプロバイダービジネスアプリケーションの名前。
インターフェイスタイプ	インターフェイスで使用される API のタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	次のオプションを使用します。 • オープン API • パートナー API • 内部 API
親	親インターフェイス名。
バージョン	インターフェイスのバージョン。
ライフサイクルステージ	インターフェイスのライフサイクルステージ。
ライフサイクルステージステータス	インターフェイスのライフサイクルステージステータス。
モデル ID	インターフェイスのモデル ID。
説明	デジタルインターフェイスの説明。
所有者	
事業主	デジタルインターフェイスのビジネスオーナー。
IT 所有者	デジタルインターフェイスの IT オーナー。
サポート担当者	インターフェイスをサポートするユーザー名。
サポートされているグループ	インターフェイスをサポートするグループ名。
機能的	
プロトコル	インターフェイスで使用されるプロトコルのタイプ。選択肢には、REST、SOAP、LDAP、sLDAP、FTP、FTPS、SFTP、SC独自、バイナリ、TCP/IP、その他があります。
メッセージ形式	インターフェイス内のメッセージの形式。選択肢には、JSON、XML、CSV、ファイル、GraphQL、SAP IDoc、XLS、TXT、LDAP メッセージ、パラメーター化された URL、その他があります。
認証	
認証タイプ	インターフェイスの認証に使用される認証のタイプ。 次のオプションを使用します。 • 基本認証 • OpenID Connect • 証明書 • WS-Security を使用 • LDAP • なし • その他

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
認証タイプ	インターフェイスの認可に使用される認可のタイプ。 次のオプションを使用します。 • OAuth 2.0 トークン • JWT Web トークン • SAML 2.0 トークン • その他 • 認証なし
アクティビティ	
作業メモ	インターフェイスに関するコメント。

デジタルインターフェイスの作成または更新

デジタル統合の管理

一元化されたスペースですべての統合とインターフェイスを管理できます。

アプリケーションポートフォリオ管理 のデジタル統合機能は、アプリケーション、その接続、およびそのインタラクションのビジネス目的を理解するのに役立ちます。ServiceNow Store から Application Portfolio Management Digital Integration Management (sn_apm_di) プラグインをインストールします。

次の操作を実行できます。

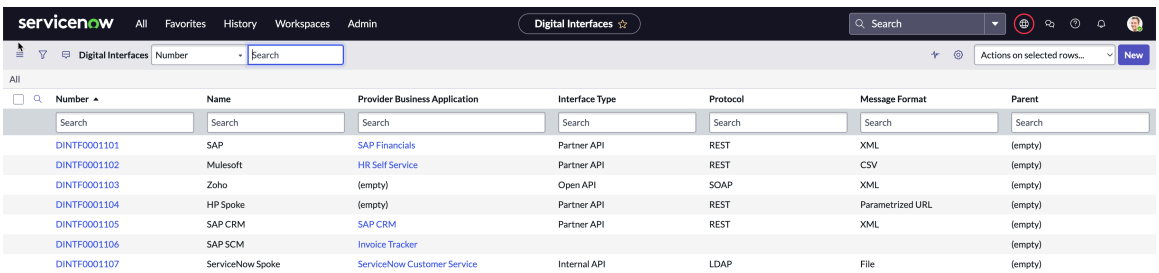
- 統合の問題を 1 つの場所で積極的に見つけます。
- 組織全体の情報フローを管理します。
- 内部および外部 API の使用を完全に管理します。

アプリケーションポートフォリオ管理 のデジタルインターフェイス

アプリケーションポートフォリオ管理 でデジタルインターフェイスを管理します。

デジタルインターフェイスはビジネスアプリケーションの一部として提供されますが、単独でも使用できます。インターフェイスは、他のビジネスアプリケーションがアプリケーションとやり取りする方法を提供します。インターフェイスには、名前、バージョン、オーナー、プロトコルなど、それ自体に関するメタデータが含まれています。また、そのインターフェイスを使用しているすべての統合のリストも含まれています。

デジタルインターフェイス



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタルインターフェイスの作成または更新

アプリケーションポートフォリオ管理 で統合のためのデジタルインターフェイスを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > デジタルインターフェイス.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「デジタルインターフェイスフォームの作成」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

デジタルインターフェイスの削除

不要になったデジタルインターフェイスを削除します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > デジタルインターフェイス.
2. デジタルインターフェイス番号をクリックして開きます。

   注:
   デジタル統合が関連付けられているデジタルインターフェイスは削除できません。

3. [削除] をクリックします。
4. 削除を確定します。

デジタル統合

アプリケーションポートフォリオ管理 でデジタル統合を管理します。

デジタル統合は、2 つのビジネスアプリケーション間の統合を表します。一般的なシナリオには、消費ビジネスアプリケーション、プロバイダービジネスアプリケーション、およびプロバイダービジネスアプリケーションによって提供されるインターフェイスがあります。デジタル統合には、名前、バージョン、タイプ、データフローの方向、使用されているミドルウェア、所有者など、統合に関するメタデータが含まれています。

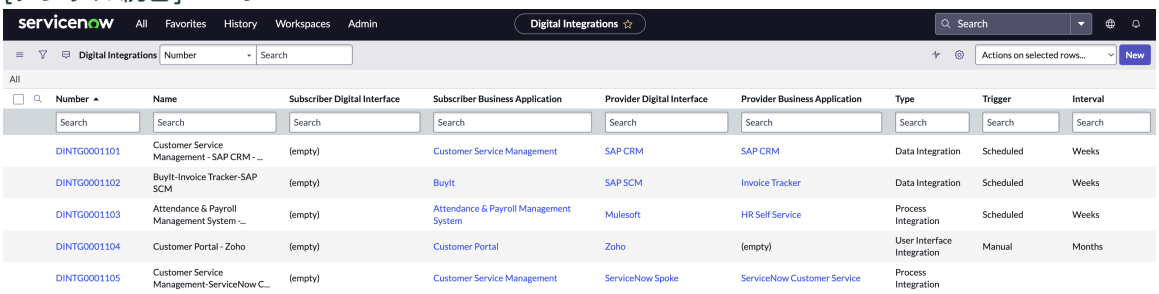
デジタル統合用の簡単なフォームを使用すると、単一ページからデジタル統合を作成できます。これには、新しいデジタルインターフェイスの導入も含まれます (存在しない場合)。デジタル統合は、デジタル統合 [sn_apm_di_digital_integration] テーブルに保存されます。デジタル統合が作成されると、そのタイプのインターフェイスを持つ 2 つのビジネスアプリケーション間で CI 関係リンクが作成されます。このリンクを使用すると、任意のビジネスアプリケーションのノードマップの一部として統合にアクセスできます。新しいデジタル統合の承認を要求するための新しいカタログエントリが提供されます。要求が承認されると、統合が作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[デジタル統合] ページには、既存のデジタル統合とその関連情報のリストが表示されます。[デジタル統合] ページにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > デジタル統合.

[デジタル統合] ページ



Number	Name	Subscriber Digital Interface	Subscriber Business Application	Provider Digital Interface	Provider Business Application	Type	Trigger	Interval
DINTG0001101	Customer Service Management - SAP CRM - ...	(empty)	Customer Service Management	SAP CRM	SAP CRM	Data Integration	Scheduled	Weeks
DINTG0001102	BuyIt-Invoice Tracker-SAP SCM	(empty)	BuyIt	SAP SCM	Invoice Tracker	Data Integration	Scheduled	Weeks
DINTG0001103	Attendance & Payroll Management System -...	(empty)	Attendance & Payroll Management System	Mulesoft	HR Self Service	Process Integration	Scheduled	Weeks
DINTG0001104	Customer Portal - Zoho	(empty)	Customer Portal	Zoho	(empty)	User Interface Integration	Manual	Months
DINTG0001105	Customer Service Management-ServiceNow C...	(empty)	Customer Service Management	ServiceNow Spoke	ServiceNow Customer Service	Process Integration		

デジタル統合の作成

で アプリケーションポートフォリオ管理デジタル統合を作成し、消費ビジネスアプリケーションとプロバイダービジネスアプリケーション間の接続を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > デジタル統合.
2. [新規] を選択します。
3. [デジタル統合を作成] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[デジタル統合を作成] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果
[デジタル統合] ページに、成功メッセージと新しく作成されたデジタル統合へのリンクが表示されます。

デジタル統合の更新

アプリケーションポートフォリオ管理 で既存のデジタル統合の詳細を更新します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > デジタル統合.
2. デジタル統合番号を選択して開きます。
3. [デジタル統合を更新] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「デジタル統合の更新フォーム」を参照してください。
4. [更新] を選択します。

デジタル統合の削除

不要になったデジタル統合を削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > アプリケーションポートフォリオ > デジタル統合.
2. 削除するデジタル統合を選択して開きます。
3. [削除] をクリックします。
   確認メッセージが表示されます。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してデジタル統合を要求

アプリケーションライフサイクル管理モジュールを使用して要求を送信し、アプリケーションポートフォリオ管理 でデジタル統合を要求します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > ビジネスアプリケーションカタログ.

   ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスが、サービスカタログページで開きます。
2. [デジタル統合を要求] カードを選択するか、[デジタル統合を要求] カードで [詳細を表示] を選択して、新しいデジタル統合を登録します。
3. [デジタル統合を要求] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「デジタル統合要求フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果
システムが要求を検証し、同じ名前のデジタル統合が存在するかどうかを確認します。存在する場合は、エラーメッセージが表示されます。存在しない場合は、フローがトリガーされ、デジタル統合の登録要求が作成されます。

要求が承認されると、要求されたデジタル統合がレコードとしてデジタル統合テーブルに作成されます。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してデジタル統合を廃止する

不要になったデジタル統合を廃止します。アプリケーションライフサイクル管理モジュールを使用して要求を送信し、アプリケーションポートフォリオ管理 でデジタル統合を廃止します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user, sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
ロールに基づいて、デジタル統合を直接廃止するか、承認者にデジタル統合の廃止を要求することができます。デジタル統合の廃止は、次の条件で実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合を廃止する条件

ロール	許可されたアクション
デジタル統合の APM ユーザー、IT オーナー、ビジネスオーナー、またはサポーター	デジタル統合の廃止を要求できます。その後、アナリストは要求を承認または却下します。
APM アナリスト	デジタル統合を廃止できます。デジタル統合の廃止要求を承認または却下できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > ビジネスアプリケーションカタログ.

   ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスが、サービスカタログページで開きます。

2. [デジタル統合を廃止 **(Retire a Digital Integration)]** カードをクリックするか、[デジタル統合を廃止 (Retire a Digital Integration)] カードで [詳細を表示] をクリックして、デジタル統合を廃止します。
3. [デジタル統合を廃止 (Retire a Digital Integration)] フォームの値のリストから、デジタル統合の名前を選択します。
4. [送信] をクリックします。

デジタル統合要求の承認または却下

エンタープライズアーキテクトユーザーは、APM ユーザーによって送信されたデジタル統合要求を承認または却下することができます。

始める前に
ユーザーは、エンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > **Service Desk** > 自分の承認.
2. 承認または却下するデジタル統合要求を選択します。
3. [承認] または [却下] を選択します。

アプリケーションポートフォリオ管理 用の エンタープライズアーキテクチャワークスペース

(EA Workspace) は エンタープライズアーキテクチャワークスペース アプリケーションの一部です アプリケーションポートフォリオ管理 。インタラクティブなユーザーインターフェイスを提供することで、エンタープライズアーキテクトは 1 つの場所から、タスクを最新の状態に保ち、インサイトを取得し、ポートフォリオの健全性を監視できます。

Utah リリース以降、エンタープライズアーキテクチャワークスペース は ServiceNow Store で利用できます。インストール情報については、次を参照してください。 インストール エンタープライズアーキテクチャワークスペース.

エンタープライズアーキテクチャワークスペース のインストール

admin ロールを持っている場合は、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース アプリケーション (sn_apm_ws) をインストールします。

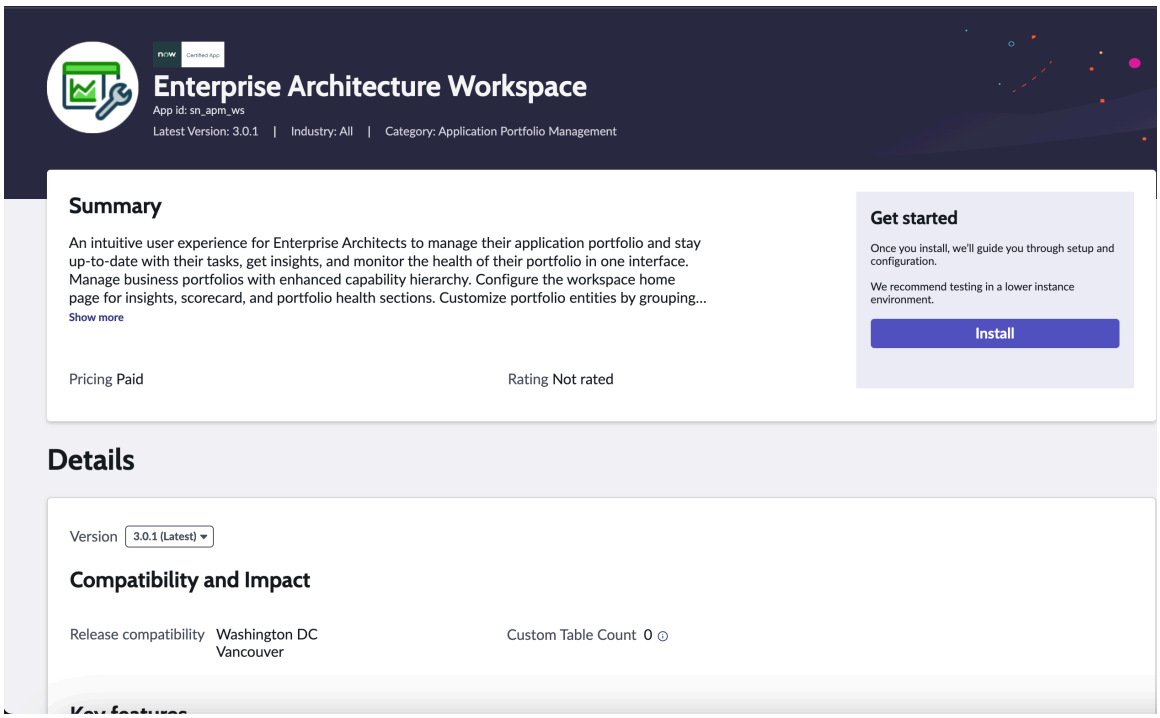
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store の エンタープライズアーキテクチャワークスペース アプリケーションリストを確認してください。
- アプリケーションポートフォリオ管理 プラグイン (com.snc.apm) がアクティブ化されていることを確認します。
- で エンタープライズアーキテクチャワークスペース技術ポートフォリオ管理情報を有効にするため:
  - (com.snc.sams) がアクティブ化 Software Asset Management Foundation プラグイン されていることを確認します。
  - Technology Portfolio Management (sn_apm_tpm) ストアアプリがインストールされていることを確認します。

必要なロール：admin



手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることもあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

[store-future: BEGIN review]

エンタープライズアーキテクチャワークスペースとともにインストールされる内容

エンタープライズアーキテクチャワークスペース と併せて、複数のタイプのコンポーネントがインストールされます。

[End]

エンタープライズアーキテクチャワークスペース アクセスロール

次のロールは、エンタープライズアーキテクチャワークスペース アプリケーションを設定して使用するのに役立ちます。ロールにアクセス権が付与されると、そのロールにアサインされているすべてのグループまたはユーザーにそのアクセス権が付与されます。ロールには他のロールを含めることができ、ロールに付与されたアクセス権は、そのロールを含む他のすべてのロールに付与されます。

EA ワークスペース ロール

エンタープライズアーキテクチャワークスペース ロール

ロール	説明
sn_apm.apm_analyst	アプリケーションレコードを作成し、ダッシュボード、および関連ページにアクセスします。
sn_apm.apm_admin	アプリケーションレコードを作成または更新し、管理アクティビティにアクセスします。
sn_apm.apm_user	アプリケーションを表示および更新するためのアクセス。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース とともにインストールされるテーブル

の エンタープライズアーキテクチャワークスペース有効化により、次のテーブルが追加されます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
認定要素 [cert_element]	ビジネスアプリケーションの四半期またはオンデマンドの認定を格納します。
後続タスク [cert_follow_on_task]	次のフォローアップタスクを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	• ビジネス機能に関連していないビジネスアプリケーション • 孤立ビジネス機能 • 情報オブジェクトがどのビジネスアプリケーションにも関連していません • ライフサイクルデータがないソフトウェアモデル • いずれのソフトウェアモデルにも関連しないビジネスアプリケーション • ライフサイクルデータがないハードウェアモデル • いずれのハードウェアモデルにも関連しないビジネスアプリケーション
ソフトウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_software_model_risk]	リスクのあるソフトウェアモデルを保存します。
ソフトウェアリスクパラメータースコア [sn_apm_tpm_risk_param_score]	提供終了間近のソフトウェアモデルを保存します。
ハードウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_hardware_model_risk]	リスクのあるハードウェア モデルを格納します。
ハードウェアリスクパラメータースコア [sn_apm_tpm_hm_risk_param_score]	提供終了間近のハードウェアモデルを保存します。
TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology]	企業内のハードウェアおよびソフトウェアの要素を保存します。
TPM テクノロジーライフサイクル [sn_apm_tpm_technology_lifecycle]	検出されたテクノロジーに関連付けられたテクノロジーライフサイクルを保存します。
TPM テクノロジーライフサイクル例外 [sn_apm_tpm_technology_lifecycle_exception]	近似されたライフサイクル、またはProfessional からServiceNow ソフトウェア資産管理プロServiceNow ハードウェア資産管理見つからなかったライフサイクルを保存します。
TPM 検出済みテクノロジー実行ログ [sn_apm_tpm_discovered_technology_run_log]	(TPM) が Professional に対してソフトウェア資産管理プロハードウェア資産管理コンテンツをリフレッシュしたときServiceNow テクノロジーポートフォリオ管理に保存されます。
TPM テクノロジーリスク [sn_apm_tpm_technology_risk]	TPM テクノロジーリスク情報を保存します。

[store-future: BEGIN review]

エンタープライズアーキテクチャワークスペース とともにインストールされるジョブスケジュール

ジョブスケジュールは、ストアアプリケーションのインストール エンタープライズアーキテクチャワークスペース とともに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースのジョブスケジュールのリスト

ジョブスケジュール	説明
オンデマンドのビジネスアプリケーション認定 (Business Application Certification On Demand)	必要に応じて、ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app] テーブルのデータを認定します。
四半期ごとのビジネスアプリケーション認定 (Business Application Certification Quarterly)	四半期ごとにビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app] テーブルのデータを認定します。
グリッド内の機能階層を更新	[ビジネスポートフォリオ] ページのビジネス機能階層を更新します。新しく作成された機能に階層 ID が割り当てられます。
テクノロジーライフサイクルリスクの入力	TPM テクノロジーライフサイクルリスク [sn_apm_tpm_technology_risk] テーブルに TPM テクノロジーライフサイクルリスクデータを入力します。
TPM 検出済みテクノロジーとライフサイクルの入力	TPM テクノロジーライフサイクル [sn_apm_tpm_technology_lifecycle] テーブルにテクノロジーライフサイクルデータを入力します。データには、ソフトウェアおよびハードウェアモデルのサポート終了日、延長サポート終了日、および提供終了日が含まれます。 **注:** ソフトウェア製品のデータは、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。
EA Workspace での TRM 技術的負債の入力	アプリケーションポートフォリオの最新の技術的負債データを技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt] テーブルに入力します。 **注:** ジョブスケジュール *`Populate TRM technical debts in the EA Workspace`* は、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。

[End]

エンタープライズアーキテクチャワークスペース の詳細

は エンタープライズアーキテクチャワークスペース ()APM アプリケーションの一部ですアプリケーションポートフォリオ管理。このワークスペースは、ポートフォリオを効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統一インターフェイスです。これらのビューを使用して、タスク、インサイ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ト、注意が必要なタスク、ポートフォリオの健全性、およびダッシュボードを最新の状態に保つことができます。

ワークスペースへのアクセス

次の方法で エンタープライズアーキテクチャワークスペース に移動できます。

- インスタンスでアクティブ化されている場合は Next Experience 、 [ワークスペース] を選択し 、 [エンタープライズアーキテクチャワークスペース] を選択します。
- がインスタンスで有効になっていない場合は Next Experience 、左側のナビゲーションバーで「 `エンタープライズアーキテクチャワークスペース`」と入力します。[ワークスペースのホーム] を選択して、 エンタープライズアーキテクチャワークスペースを開きます。

関連情報

エンタープライズアーキテクチャワークスペース アクセスロール

エンタープライズアーキテクチャワークスペース とともにインストールされるテーブル

エンタープライズアーキテクチャワークスペース とともにインストールされるジョブスケジュール

エンタープライズアーキテクチャワークスペース の概要

エンタープライズアーキテクチャワークスペース の概要

には エンタープライズアーキテクチャワークスペース 統合されたユーザーインターフェイスがあり、さまざまなユーザーロール向けに設計されています。

ユーザーインターフェースの **EA** ワークスペース ハイライト

統合されたユーザーエクスペリエンス

ホームページでは エンタープライズアーキテクチャワークスペース 、アプリケーションポートフォリオを可視化できます。ワークスペースで実行できるすべてのタスクは、ビジネス目標を達成するために簡素化されます。

さまざまなユーザーロール向けに設計

アナリストまたはエンタープライズアーキテクト、APM管理者、およびAPMユーザーの個別のページAPMビュー。エンタープライズアーキテクトは、コンテキスト情報と的を絞ったアクションを使用して、タスクを効果的に管理できます。

さまざまなセクションがあるホームページ

ホームページには、次の UI コンポーネントが含まれており、ワークスペース内を移動するのに役立ちます。

概要

[概要] ページには次のセクションが表示されます。

- インサイト:アプリケーションポートフォリオ、ビジネスポートフォリオ、情報ポートフォリオ、およびテクノロジーポートフォリオのさまざまな条件 (ビジネスアプリケーションがビジネス機能に関連していない場合など) をハイライト表示します。
- 要注意:アクションを実行する必要があるタスクを一覧表示します。
  - [自分の要求] タブには、承認待ちの要求がリストされます。
  - [認定] タブには、ビジネスアプリケーションテーブルのデータを定期的に認定することで、ビジネスアプリケーションのインベントリを最新の状態に保つために使用される認定情報が一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

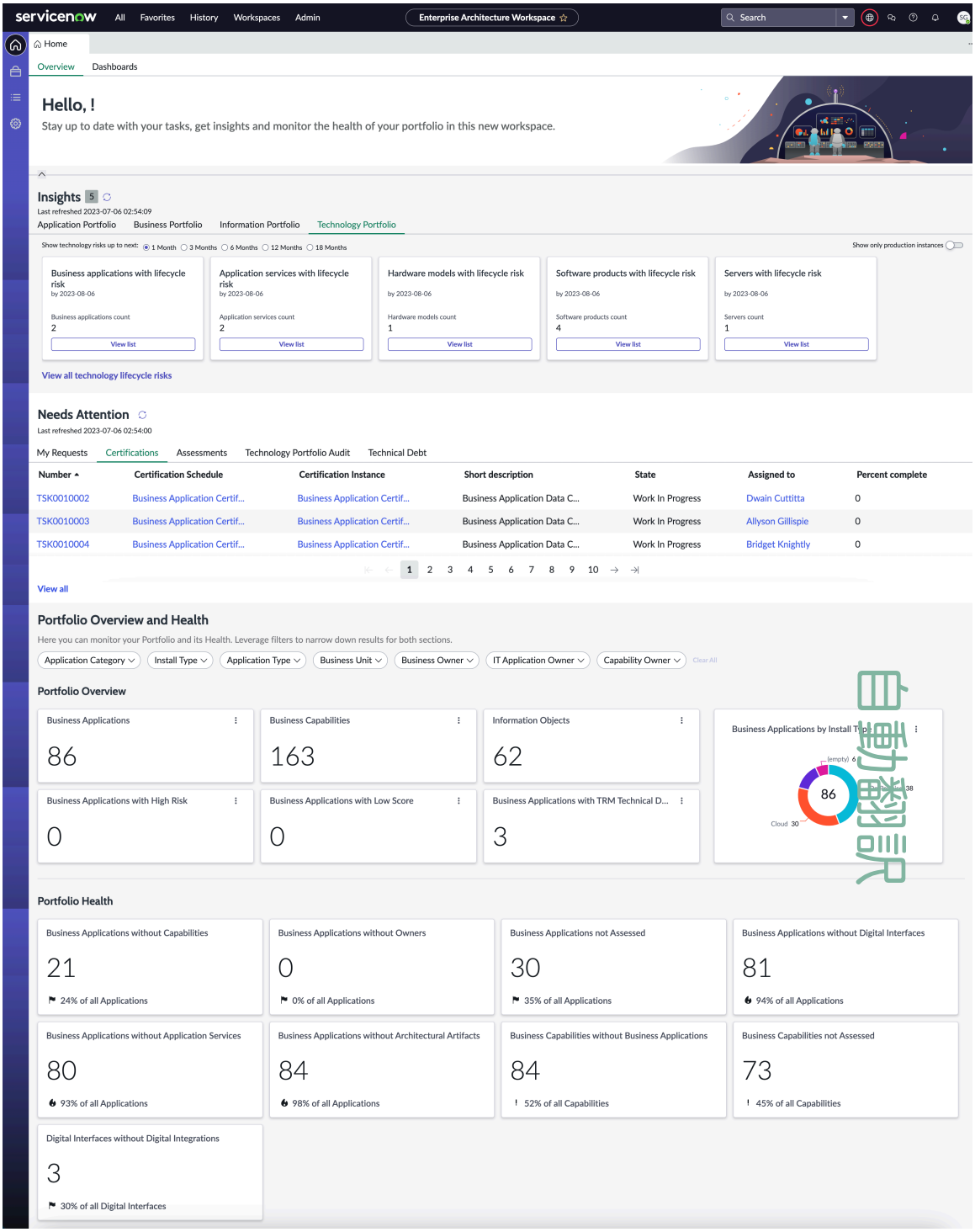
- [アセスメント] タブには、定性的な入力に基づいてビジネスアプリケーションを評価してスコアを付けるのに役立つアプリケーションのアセスメントが一覧表示されます。
- [技術ポートフォリオ監査] タブには、ライフサイクルが近似された、または見つからなかったハードウェア要素とソフトウェア要素が一覧表示されます。このタブでは、要素を確認し、任意の要素を承認または却下できます。
- [技術的負債] タブには、TRMTRM フェーズおよび標準に沿っていない製品に対して作成された技術的負債が一覧表示されます。

- ポートフォリオの概要と健全性:ポートフォリオとその健全性を監視するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

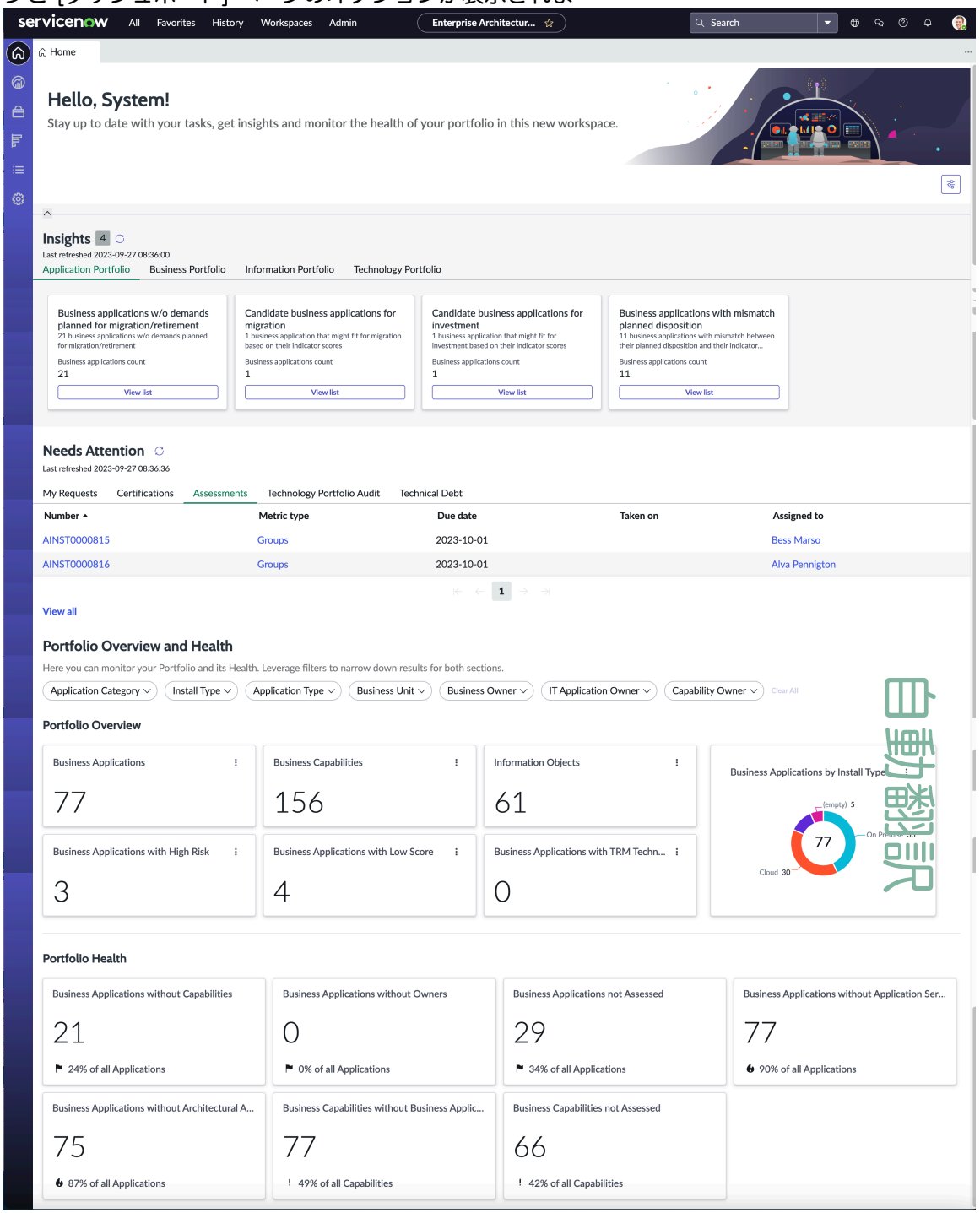
[概要] ページ



バージョン 2.2.0 を使用している エンタープライズアーキテクチャワークスペース 場合、次の図に示すように、左側のナビゲーションには EA ワークスペース [アプリケーション合理化]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ページと [ダッシュボード] ページのオプションが表示されま



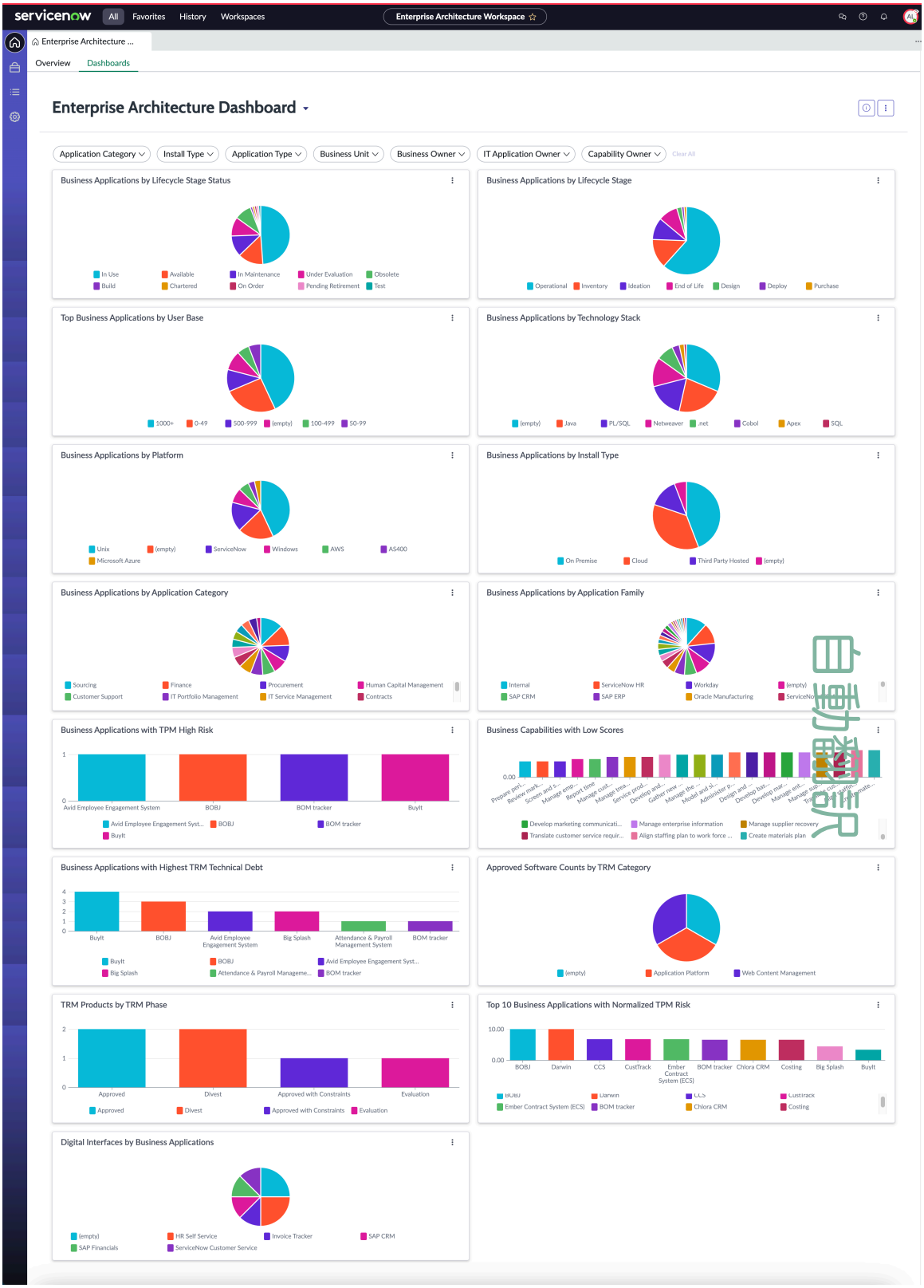
す。

ダッシュボード

[ダッシュボード] ページでは、ポートフォリオ内のさまざまなダッシュボードにアクセスできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

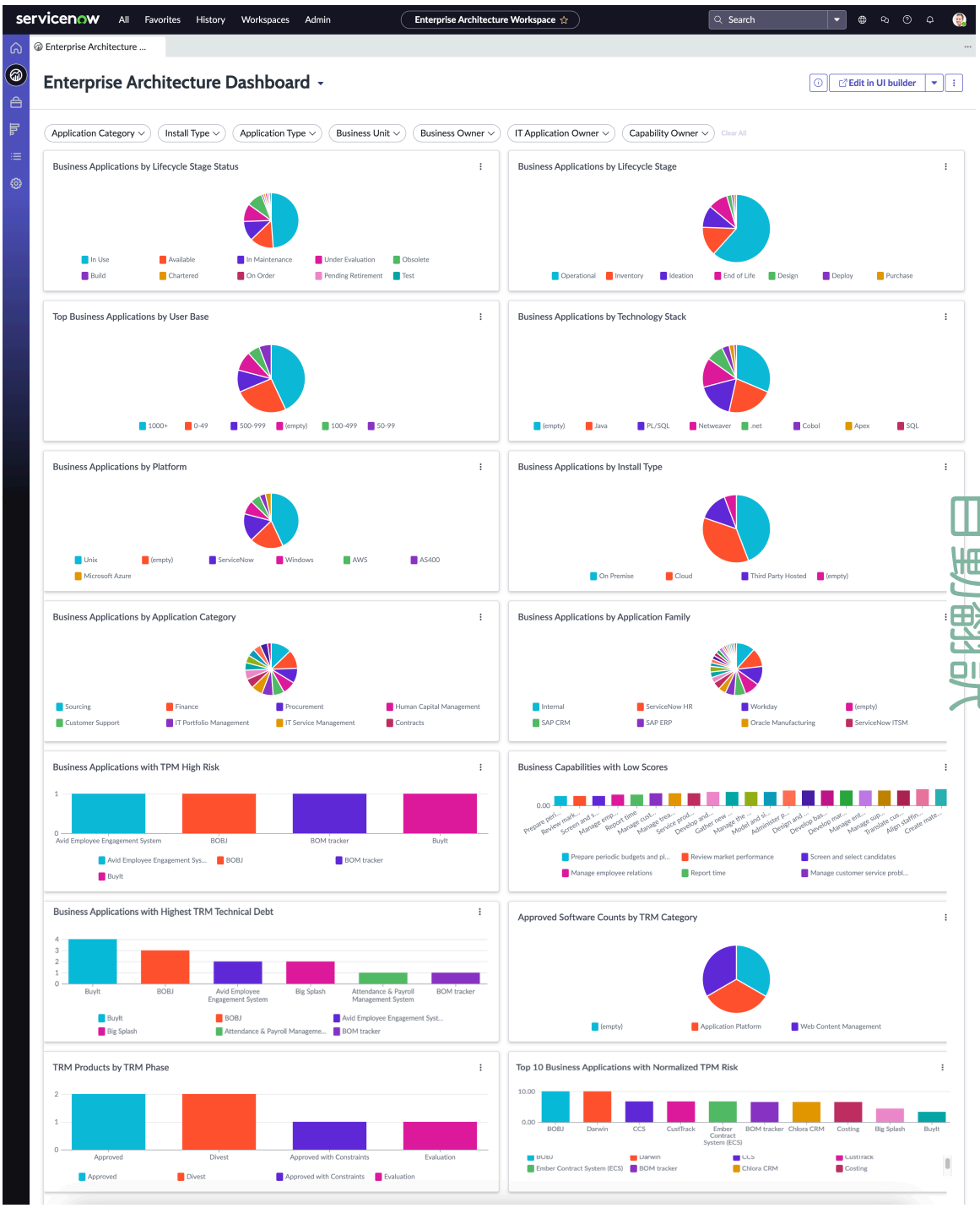
ダッシュボードページ



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
バージョン 2.2.0 を使用している エンタープライズアーキテクチャワークスペース 場合、エンタープライズアーキテクチャダッシュボードは別のページとして表示されます。ダッシュボードアイコン [ ] をクリックして、エンタープライズアーキテクチャダッシュボードページを開きます。

新しいダッシュボードページ



ホームページの エンタープライズアーキテクチャワークスペース カスタマイズ

ページをカスタマイズ機能を使用して、ホームページに表示するセクションをカスタマイズします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ホームページをエンタープライズアーキテクチャワークスペースカスタマイズするには、バージョン 2.2.0 が必要ですエンタープライズアーキテクチャワークスペース。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. セクションを非表示アイコン ( )を選択して、[ページのカスタマイズ] ウィンドウを開きます。
3. 関連するセクション名の横にある切り替えスイッチを使用して、ホームページの特定のセクションを表示または非表示にします。
4. [適用] を選択します。

ポートフォリオのインサイトの表示

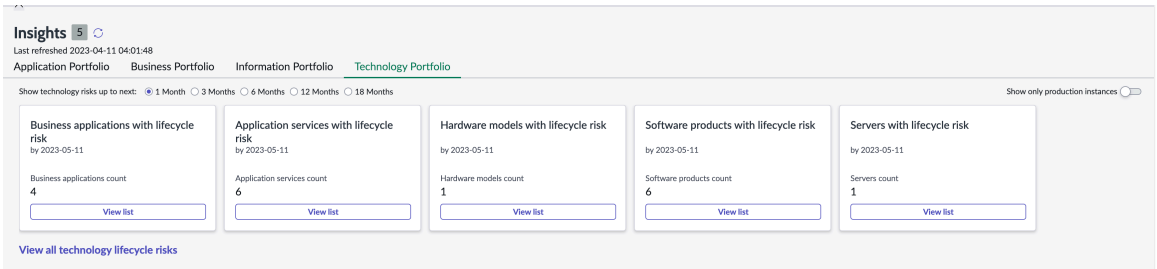
ビジネスポートフォリオ、情報ポートフォリオ、アプリケーションポートフォリオ、およびテクノロジーポートフォリオのインサイトを表示できます。

次のような詳細が表示されます。

- 望ましい監査とスクリプト化された監査
- ハードウェアモデル
- 高および中程度の技術リスクに直面しているソフトウェア製品
- オープンで 100% 完了していない保留中の認定インスタンス

最終更新時刻は、ブラウザーで結果が更新された時刻を示します。リフレッシュアイコン( )を使用して、結果を手動でリフレッシュできます。[リストを表示] ボタンを選択すると、完全なリストに移動できます。レコードを選択すると、その詳細を表示できます。

インサイトビュー



アプリケーションポートフォリオ
: ビジネスアプリケーションの情報を追跡します。

ビジネスポートフォリオ
: ビジネス機能、ビジネスアプリケーションに関するインサイトを取得し、効果的に管理して組織の目標を達成します。

情報ポートフォリオ
: 企業内のビジネスアプリケーションと統合に関連する情報オブジェクトの詳細を追跡します。

技術ポートフォリオ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、サーバー、ソフトウェア製品、およびハードウェアモデルのテクノロジーライフサイクルリスクを追跡します。

技術リスクの追跡

このフィルターを使用して、今後 1 か月、3 か月、6 か月、12 か月、および 18 か月のリスクを確認します。デフォルトでは、[1 か月] フィルターが適用されます。

本番インスタンスのみを表示

このトグルボタンを使用して、テクノロジーライフサイクルリスクがある本番インスタンスのみを表示します。デフォルトでは、このフィルターはオフになっています。

すべてのテクノロジーライフサイクルリスクを表示

このリンクを選択すると、すべての技術ライフサイクルリスクのリストが、最も早いライフサイクル日付 (つまり、技術ライフサイクルリスクが発生する最も早い日付) 順にソートされて表示されます。必要に応じて、技術ライフサイクルリスク情報を Excel、CSV、JSON、または PDF にエクスポートすることもできます。

技術ライフサイクルリスクテーブルのデータは、TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology] テーブルからフェッチされます。

技術ライフサイクルリスク

フィールド	説明
最も早いライフサイクル日	サポート終了日、延長サポート終了日、または提供終了日のいずれか早い日
ビジネスアプリケーション	ビジネスアプリケーションの名前
アプリケーションサービス	ビジネスアプリケーションに関連付けられたサービス
タイプ	要素タイプ。選択肢は次のとおりです。 • ソフトウェア • ハードウェア
ソフトウェア製品	ソフトウェア製品の名前
ハードウェアモデル	ハードウェア製品のモデル番号
サーバー	ソフトウェア製品またはハードウェアモデルに関連付けられているサーバーの名前。
サポート終了日	ソフトウェア製品またはハードウェアモデルのサポート終了日
延長サポート終了日	ソフトウェア製品またはハードウェアモデルの延長サポート終了日
サポート終了日	ソフトウェア製品またはハードウェアモデルのサポート終了日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

技術ライフサイクルリスク (続く)

フィールド	説明
使用目的	使用されているアプリケーションサービス。たとえば、本番やステージングなどです。
TPM テクノロジーライフサイクル	ハードウェアモデルまたはソフトウェア製品の TPM テクノロジーライフサイクルへのリンク。

要求、認定、アセスメント、および技術ポートフォリオ監査の管理

エンタープライズアーキテクトは、すべての要求を管理できます。認定、アセスメント、および技術ポートフォリオ監査情報のステータスを表示できます。

自分のリクエスト

[自分の要求] タブには、承認者に割り当てられた要求のリストが表示されます。デフォルトでは、すべての要求がページネーションされた結果として表示されます。[すべて表示] を選択すると、完全なリストが表示されます。要求レコードを選択して開き、要求を承認または却下できます。

資格

[認定] タブには、認定のリストとそのステータスが表示されます。ビジネスアプリケーションテーブルのデータを定期的に認定して、ビジネスアプリケーションのインベントリを最新の状態に保つ必要があります。ビジネスアプリケーションに依存するインジケーターが存在するため、これらのビジネスアプリケーションデータを最新の状態に保つことで、ビジネスアプリケーションを正確に評価できるようになります。

[すべて表示] を選択すると、認定の一覧を表示できます。認定番号、認定スケジュール、および認定インスタンスを選択すると、詳細が表示されます。

アセスメント

[アセスメント] タブには、定性的な入力に基づいてビジネスアプリケーションを評価してスコアを付けるのに役立つ、アプリケーションのアセスメントのリストが表示されます。アプリケーションインジケーターは、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価するビジネス測定基準です。

各インジケーターは、アプリケーションスコアの計算に使用される関連アプリケーションデータを定期的にキャプチャします。アプリケーションのアセスメントは、構成されたさまざまなインジケーターに基づく拡張可能なフレームワークで実行されます。アプリケーションスコアを計算するために事前に構成されたもの以外のインジケーターが必要な場合は、ビジネス要件に基づいてインジケーターを作成できます。

[すべて表示] を選択して、アセスメントのリストを表示できます。詳細を表示するには、アセスメント番号と測定基準タイプを選択します。

技術ポートフォリオ監査

[技術ポートフォリオ監査] タブには、アプリケーションの監査情報が表示されます。このテーブルのエントリは、そのソフトウェア製品またはハードウェアモデルの少なくとも 1 つのライフサイクルが概算されたか、見つからないか、存在しないことを示しています。たとえば、ソフトウェア製品の完全バージョンが 9.2.1 の場合、コンテンツライブラリのサポート ソフトウェア資産管理 終了ライフサイクルバージョンは完全バージョン 9.2 のみである可能性があります。この監査テーブルは、組

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

織で使用されている製品の詳細に基づいて、ライフサイクル一致情報を評価するのに役立ちます。このテーブルは、組織で使用されているソフトウェア製品またはハードウェアモデルのバージョンと完全に一致するライフサイクルバージョンや有効なライフサイクルバージョンが見つからない場合を識別するのに役立ちます。

技術ポートフォリオ監査テーブルのデータは、TPM 技術ライフサイクル例外 [sn_apm_tpm_technology_lifecycle_exception] テーブルからフェッチされます。

管理者ユーザーは、スケジュール設定済みジョブを *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles* オンデマンドで実行して、アプリケーションポートフォリオのテクノロジーライフサイクルリスクを計算できます。スケジュール済みジョブは、ITAM コンテンツライブラリを照会して、ソフトウェア製品およびハードウェアモデルのサポート終了日、延長サポート終了日、提供終了日を含むライフサイクルリスク日付を生成するスクリプトを実行します。詳細については、「TPM ライフサイクルデータを生成するジョブをスケジュールする」と「スケジュール設定済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する」を参照してください。スクリプトがオンデマンドで実行されるか、スケジュール設定されたかにかかわらず、[Portfolio > Technology Portfolio Management >ログ] ページで結果を表示できます。

技術ポートフォリオ監査テーブル

列名	説明
タイプ	アプリケーションタイプ。選択肢は次のとおりです。 • ソフトウェア • ハードウェア
ソフトウェア製品	ソフトウェア製品の名前。
製品バージョン	製品のバージョン番号。
製品エディション	製品のエディション。たとえば、[標準] などです。
製品の完全バージョン	製品の完全バージョン。
ハードウェアモデル	ソフトウェア製品に関連付けられているハードウェアモデル。
検証ステータス	製品の検証ステータス。選択肢は次のとおりです。 • 検証が必要 • 検証済み • 却下
コメント	顧客のコメント。
ライフ サイクル フェーズ	製品のライフサイクルフェーズ。
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。
エディション	ライフサイクルのエディション。
完全バージョン	ライフサイクルの完全バージョン。
一致メモ	顧客によるメモ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

技術ポートフォリオ監査テーブル (続く)

列名	説明
テクノロジーライフサイクル	ソフトウェア製品またはハードウェアモデルの TPM テクノロジーライフサイクル情報。

技術的負債

[技術的負債] タブには、フェーズと標準に沿ってTRMいない製品に対して作成された技術的負債のリストTRMが表示されます。技術的負債は、1 つ以上のビジネスアプリケーションで使用されるソフトウェア製品の TRM 製品レコードがないか、TRM 製品に使用を制限する 1 つ以上の内部ライフサイクルフェーズがあることを示します。このテーブルでは、製品と関連するビジネスアプリケーションの詳細、および技術的負債の理由を表示できます TRM 。カスタムスケジュール設定済みジョブ *Populate TRM technical debts in the EA Workspace* が実行され、[TRM 技術的負債] テーブルにエントリが作成されます。詳細については、「での技術的負債の管理TRMEA ワークスペース」と「で技術的負債データを更新する TRM スケジュール設定済みジョブの実行 EA ワークスペース」を参照してください。

技術的負債テーブル

列名	説明
TRM 製品	TRM 製品の名前。バージョン固有のライフサイクルを持つソフトウェア製品。
ビジネスアプリケーション	TRM 製品に関連付けられたビジネスアプリケーションの名前。
ソフトウェア製品モデル	TRM 製品に関連するソフトウェア製品モデルの名前。
TRM フェーズ	TRM 製品のフェーズ。ベースシステムから次の TRM フェーズを使用できます。 • 承認済み：テクノロジーの使用は承認されています。 • 制約付きで承認 (Approved with Constraints)：テクノロジーは、コメントで指定された制約の範囲内で使用できます。 • 売却：テクノロジーの使用権が売却されることが決定しています。 • 評価: このテクノロジは評価中であり、運用目的では使用できません。 • 未承認:テクノロジーの使用は許可されていません。 注: これらのフェーズは、EA ワークスペース>セットアップ> TRM フェーズページから変更できます。
TRM レベル	技術的負債 が作成されるレベル (製品または製品ライフサイクル)。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。通常、 ソフトウェア製品モデルの名前 にはこのバージョンが含まれています。
理由	技術的負債が作成された理由を説明する理由。
前回の実行	技術的負債のあるテーブルを更新するためにカスタムのスケジュール設定済みジョブ*Populate TRM technical debts*

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

技術的負債テーブル (続く)

列名	説明
	*in the EA Workspace*が実行されたときのタイムスタンプを表示します。

検証ステータスの更新

TPM テクノロジーライフサイクル例外テーブルで、ソフトウェア製品またはハードウェアモデルのライフサイクルの検証ステータスを変更します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
製品のステータスを [検証済み] または [却下] に変更することで、製品のライフサイクルのヒューリスティック一致を確認できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [要注意] セクションで、[技術ポートフォリオ監査] タブを選択します。
3. 製品タイプ (ソフトウェアまたはハードウェア) を選択して開きます。
4. TPM テクノロジーライフサイクル例外フォームで、[検証ステータス] を [検証済み] または [却下] に設定します。
   ライフサイクルフェーズが [検証済み] に設定されている場合、技術ライフサイクルテーブルの例外カウントが減少します。ライフサイクルフェーズが [却下] に設定されている場合、例外カウントは減少し、そのライフサイクルフェーズの日付はテクノロジーライフサイクルテーブルに表示されません。
5. オプション: [コメント] ボックスにコメントを追加します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。

での技術的負債の管理**TRMEA** ワークスペース

TRM使用が承認されていない製品に対して作成された技術的負債を管理します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
スケジュール設定済みジョブ *Populate TRM technical debts in the EA Workspace* が実行され、EA Workspace の TRM 技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt] テーブルにエントリが作成されます。このテーブルには、ソフトウェアフェーズに沿って TRM いないビジネスアプリケーション内のソフトウェアへの参照が表示されます。このテーブルには、TRM で定義されていないビジネスアプリケーション、またはソフトウェアの使用を制限する TRM 製品ライフサイクルを持つビジネスアプリケーション内のソフトウェアへの参照が表示されます。技術的負債の計算方法については、を参照してください 技術的負債の管理 テクノロジー参照モデル ()TRM。

注:
ジョブスケジュール *Populate TRM technical debts in the EA Workspace* は、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [要注意] セクションで、[技術的負債] タブを選択します。
3. [すべて表示] を選択し、すべての技術的負債を表示します。

タスクの結果
TRM 製品と関連するビジネスアプリケーションの詳細に関するリストをレビューします。技術的負債の理由を確認することもできます。

TRM 技術的負債の計算

技術的負債とは、 TRM ソフトウェアの未承認の使用を指します。技術的負債テーブル [sn_apm_trm_standards_technical_debt] には、製品と関連するビジネスアプリケーションの詳細、および技術的負債の理由が表示されます TRM 。

技術的負債は、次のいずれかの条件が満たされると、2 つのレベルで作成されます。レベル 2 は、システムプロパティ *sn_apm_trm.is_product_life_cycle_tech_debt_enabled* が True に設定されている場合にのみチェックされます。

- レベル 1
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられているが、製品リストに含まれていない TRM 場合。(または)
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられ、製品リストに含まれている TRM が、TRM フェーズの本番が未承認である場合。
- レベル 2
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられていて、製品リストに TRM 含まれており、TRM フェーズの本番が承認されているが、製品ライフサイクルが関連付けられ TRM ていない場合。(または)
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられ、製品リストの一部 TRM であり、 TRM 本番フェーズが承認されており、製品ライフサイクルが存在する TRM 場合は、次のいずれかのケースが考慮されます。

    ケース 1:アプリケーションサービスソフトウェアモデルのライフサイクル完全バージョンが空でない場合。

    技術的負債は、TRM 製品ライフサイクルの次の条件が満たされていない場合に作成されます。
    - 生産が承認された TRM フェーズ AND
    - TRM 製品の TRM フェーズ (生産が承認済み) かつ
    - アプリケーションサービスソフトウェアモデルレコードのライフサイクル完全バージョンと一致するバージョン かつ
    - フェーズ開始日<=今日の日付<=フェーズ終了日。

    ケース 2:アプリケーションサービスソフトウェアモデルのライフサイクルの完全バージョンが空の場合。

    技術的負債は、TRM 製品ライフサイクルの次の条件が満たされない場合に作成されます。
    - 生産が承認された TRM フェーズ AND
    - TRM 製品の TRM フェーズ (生産承認あり) かつ
    - バージョンは次で始まる (バージョン演算子と isSampPluginInstalled に基づく) 関連するソフトウェアモデルのバージョン かつ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エディションは、関連するソフトウェアモデルのエディション (エディション演算子と isSampPluginInstalled に基づく) で始まり、かつ
- フェーズ開始日<=今日の日付<=フェーズ終了日。

で技術的負債データを更新する **TRM** スケジュール設定済みジョブの実行 **EA** ワークスペース

スケジュール設定済みジョブを実行して、TRM 技術的負債データをフェッチします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
エンタープライズアーキテクチャワークスペースの [セットアップ] >> [TRM フェーズ] > [すべて] で定義された TRM フェーズに従って、企業での使用が承認されていない製品を表示するには、このジョブを実行する必要があります。すべてのビジネスアプリケーションの TRM 技術的負債を定期的に更新するように、このジョブをスケジュールできます。

注:
ジョブスケジュール *`Populate TRM technical debts in the EA Workspace`* は、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ジョブスケジュール.
2. スケジュール設定済みジョブ *`Populate TRM technical debts in the EA Workspace`* を見つけて開きます。
3. [今すぐ実行] を選択します。

タスクの結果
スケジュール設定済みジョブを実行すると、技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt] テーブルがアプリケーションポートフォリオの最新の技術的負債データで更新されます。ジョブの実行後に、毎回テーブルの値が更新されます。

ダッシュボードの エンタープライズアーキテクチャワークスペース 操作

ダッシュボード エンタープライズアーキテクチャワークスペース には、組織のビジネスおよびアプリケーションポートフォリオの概要が表示されます。アプリケーションポートフォリオ、テクノロジーポートフォリオ、情報ポートフォリオなどのさまざまなポートフォリオに従って配置されています。

エンタープライズアーキテクトは、インタラクティブフィルターを使用して、ポートフォリオのビジネスアプリケーションのさまざまなグラフィカルレポートを生成します。円グラフのスライスまたはグラフの棒を選択して特定のページを開くと、そのカテゴリのレコードリストを表示できます。円グラフのスライスを表示または非表示にするには、その色付きの凡例を選択します。[更新] ボタンを使用して、円グラフの結果を更新します。

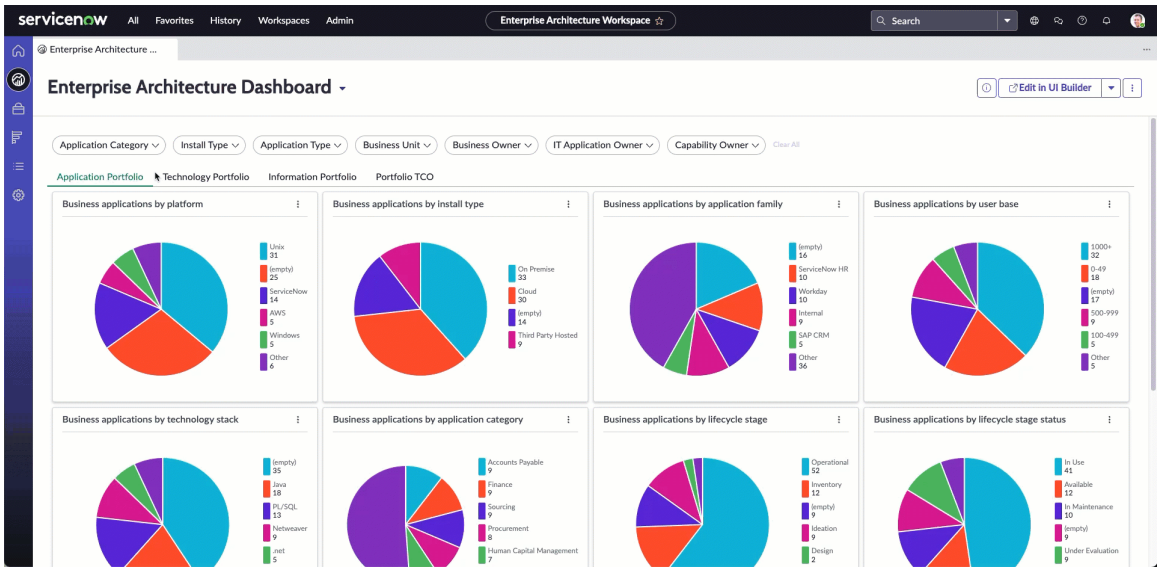
エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
APM アナリスト:ダッシュボードの作成、構成、共有	sn_apm.apm_analyst
APM ユーザー - ダッシュボードの表示	sn_apm.apm_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[エンタープライズアーキテクチャダッシュボード] ページ



データのビジュアル化

ダッシュボードには、以下の可視化が含まれています。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ (Visualization type)	説明
アプリケーションポートフォリオ	プラットフォーム別のビジネスアプリケーション	円グラフ 	UNIX や AWS などのプラットフォームタイプ別に分類されたビジネスアプリケーションの数のブレークダウン。
	インストールタイプ別のビジネスアプリケーション	円グラフ 	オンプレミス、クラウド、サードパーティホストなどのインストールタイプ別に分類されたビジネスアプリケーション数のブレークダウン。
	アプリケーションファミリ別のビジネスアプリケーション	円グラフ 	アプリケーションファミリ (Office、ServiceNow HR などWorkdayMicrosoft) 別に分類されたビジネスアプリケーションの数のブレークダウン。

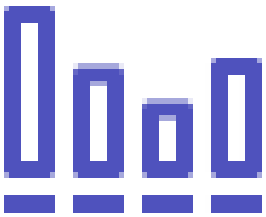
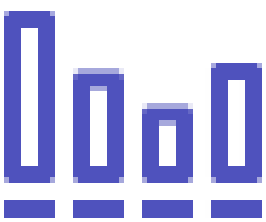
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ **(Visualization type)**	説明
	ユーザーベース別のビジネスアプリケーション	円グラフ 	アプリケーションを使用しているユーザー数によるビジネスアプリケーションのブレークダウン。
	テクノロジースタック別のビジネスアプリケーション	円グラフ 	テクノロジー別 (Java、.Net、SQL など) に分類されたビジネスアプリケーションの数のブレークダウン。
	アプリケーションカテゴリ別のビジネスアプリケーション	円グラフ 	ビジネスアプリケーションの数とそのカテゴリ (経理、ソーシング、調達など) のブレークダウン。
	ライフサイクルステージ別のビジネスアプリケーション	円グラフ 	ライフサイクルステージ別に分類されたビジネスアプリケーションの数のブレークダウン。
	ライフサイクルステージのステータス別のビジネスアプリケーション	円グラフ 	ライフサイクルステージステータス別に分類されたビジネスアプリケーションの数のブレークダウン。

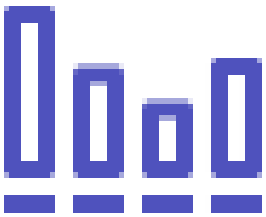
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ **(Visualization type)**	説明
	低スコアのビジネスケイパビリティ	棒グラフ 	組織の低スコアリング機能の数のブレークダウン。
	ビジネスアプリケーション別のデジタルインターフェイス	円グラフ 	プロバイダービジネスアプリケーション別に分類されたデジタルインターフェイス数のブレークダウン。この円グラフは、Application Portfolio Management Digital Integration Management プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。
技術ポートフォリオ	TRM フェーズ別の TRM 製品	円グラフ 	TRM フェーズ別に分類された ()TRM 製品数のテクノロジー参照モデルブレークダウン。
	TRM カテゴリ別の承認済みソフトウェア数	円グラフ 	承認された TRM フェーズ別に分類されたソフトウェア製品のブレークダウン。
	TRM 技術的負債が最も高い上位 10 件のビジネスアプリケーション	棒グラフ 	TRM 技術的負債が最も高い上位 10 のビジネスアプリケーション。

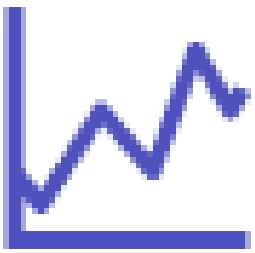
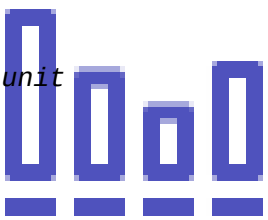
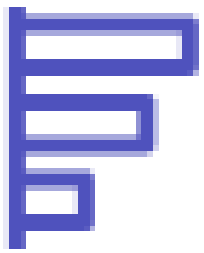
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ **(Visualization type)**	説明
	TPM リスクが正規化された上位 10 件のビジネスアプリケーション	縦棒グラフ 	正規化された テクノロジーポートフォリオ管理 ()TPM リスクがある上位 10 のビジネスアプリケーション。
情報ポートフォリオ	データ分類別のビジネスアプリケーション	円グラフ 	データ分類タイプ (内部、機密、極秘、公開など) 別に分類されたビジネスアプリケーションの数のブレークダウン。
	データドメインの情報オブジェクト	円グラフ 	個人識別可能情報 (PII)、従業員データ、支払カード情報 (PCI) など、データドメイン別に分類された情報オブジェクトの数のブレークダウン。

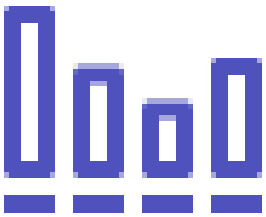
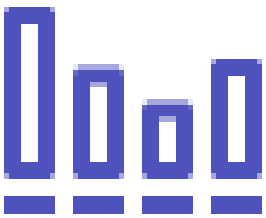
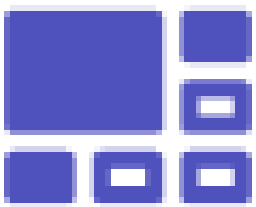
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ **(Visualization type)**	説明
ポートフォリオ TCO **注:** • すべての通貨値は 1 つの通貨タイプで表示されます。通貨換算レートは、通貨テーブル (fx_currency.list) に含まれています。 通貨タイプは、ログインした地理的な場所に基づいて決定されます。たとえば、米国から EA Workspace にログインしたことがシステムによって検出された場合、表示される既定の通貨は USD になります。 • ウィジェットに表示される会計期間の長さは、プロパティによって *com.glide.fiscal_calendar.fiscal.unit* 決まります。会計期間の期間を設定するには、「」を参照してください TCO ダッシュボードの会計期間プロパティの設定。	FY:Q (当四半期) のビジネスアプリケーション TCO	サマリー 	現在の会計四半期について計算された、すべてのビジネスアプリケーションの総所有コストの値。
	第 4 四半期 (前四半期) のビジネスアプリケーション TCO	サマリー 	前四半期に計算された、すべてのビジネスアプリケーションの総所有コストの値。
	年間のビジネスアプリケーション TCO の傾向	線グラフ 	1 年間のビジネスアプリケーションの総所有コストの値。
	アプリケーションカテゴリ別のビジネスアプリケーション TCO	縦棒グラフ 	IT ポートフォリオ管理、人材管理などのカテゴリ IT Service Management別にグループ化された、ビジネスアプリケーションの総所有コスト値のブレークダウン。 このチャートでは、現在の四半期と前の四半期の総所有コストが並べて比較されます。
	FY:Q (当四半期) のアプリケーション計画処分別のビジネスアプリケーション TCO	水平棒グラフ 	計画された処分ステータス別に分類された、現在の四半期のビジネスアプリケーションの総所有コスト値のブレークダウン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ **(Visualization type)**	説明
	機能別のビジネスアプリケーション TCO	縦棒グラフ 	機能別にグループ化されたビジネスアプリケーションの総所有コスト値のブレークダウン。このチャートでは、現在の四半期と前の四半期の総所有コストが並べて比較されます。
	TCO スコア別のビジネスアプリケーション	縦棒グラフ 	TCO スコア別に分類されたビジネスアプリケーション数のブレークダウン。このチャートでは、現在の四半期と前の四半期の総所有コストが並べて比較されます。
	会計年度 Q (当四半期) のコストタイプおよび予定処分別のビジネスアプリケーション TCO	ヒートマップ 	さまざまなアプリケーションコストタイプに関連付けられた総所有コストの値のブレークダウンを、アプリケーションの計画的処分ステータスと比較します。ヒートマップでゼロより大きい値を選択すると、原価費目と計画処分値の特定の組み合わせに関連付けられているビジネスアプリケーションのリストが表示されます。」を参照してください。
	FY:Q (前四半期) および FY:Q (当四半期) のビジネスアプリケーションコスト	リスト 	すべてのビジネスアプリケーションのリストと、現在の四半期および前の四半期の総所有コストの値。総所有コストの値を選択すると、そのビジネスアプリケーションコストの詳細が表示されます。

可視化にカーソルを合わせるか選択すると、さらに多くのデータを表示できます。

次のフィルターを使用して、ダッシュボードページの結果を絞り込みます。

- アプリケーションカテゴリ
- インストールタイプ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- アプリケーションタイプ
- 事業部門
- 事業主
- IT アプリケーションオーナー
- 機能オーナー

フィルターを適用すると、すべてのダッシュボード タブで使用可能なすべてのウィジェットにフィルター基準が適用されます。

ポートフォリオ概要と健全性

プロファイルの概要を取得し、ポートフォリオの健全性を監視します。

ポートフォリオ概要

[ポートフォリオ概要] セクションには、ポートフォリオの概要がさまざまなカードに番号形式で表示されます。更新ボタンを使用して、最新の結果を取得できます。番号をクリックすると、完全なリストが表示されます。

次のカードが表示されます：

- ビジネスアプリケーション
- ビジネスケイパビリティ
- 情報オブジェクト
- 高リスクのビジネスアプリケーション
- 低スコアのビジネスアプリケーション：四半期ごとの会計期間における低スコアのビジネスアプリケーションの数。
- TRM 技術的負債のあるビジネスアプリケーション：TRM のフェーズと標準に沿っていないビジネスアプリケーションの数。
- インストールタイプ別のビジネスアプリケーション

次のフィルターを使用して、[ポートフォリオ] および [健全性] セクションの結果を絞り込みます。

- アプリケーションカテゴリ
- インストールタイプ
- アプリケーションタイプ
- 事業部門
- 事業主
- IT アプリケーションオーナー
- 機能オーナー

ポートフォリオ健全性

[ポートフォリオ健全性] セクションには、ポートフォリオの健全性が表示されます。さまざまなカードでビジネスアプリケーションの数や割合などの詳細を確認できます。番号または割合をクリックすると、完全なリストが表示されます。フィルターを使用して結果を絞り込むことができます。

次のカードが表示されます：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 機能のないビジネスアプリケーション
- オーナーのいないビジネスアプリケーション：IT アプリケーションオーナーおよびビジネスオーナーがアサインされていないビジネスアプリケーションの数と割合。
- 未評価のビジネスアプリケーション
- アプリケーションサービスのないビジネスアプリケーション：アプリケーションサービスに関連していないビジネスアプリケーションの数と割合。ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスは 2 つの異なる構成アイテムであり、CI 関係を通じて関連付ける必要があります。
- アーキテクチャアーティファクトのないビジネスアプリケーション：アーキテクチャアーティファクトに関連付けられていないビジネスアプリケーションの数と割合。ビジネスアプリケーションとのアーキテクチャアーティファクトの関連付けにより、アーティファクトと関連エンティティ間の関係が作成されます。
- ビジネスアプリケーションのないビジネス機能
- 未評価のビジネス機能

次のカードは、アプリケーションポートフォリオ管理 Integration Management プラグイン (com.snc.apm_digital_integration) がインストールされている場合にのみ表示されます。

- デジタル統合のないデジタルインターフェイス
- デジタルインターフェイスのないビジネスアプリケーション

ビジネスポートフォリオの管理

エンタープライズアーキテクトは、機能階層を表示し、機能を管理し、機能にビジネスアプリケーションをアサインします。

ビジネスポートフォリオページには、ビジネス機能の階層マップが表示されます。定義済みのビジネス機能の数、およびその機能をサポートするビジネスアプリケーションの数を表示できます。

ビジネス機能とは、ビジネスアクティビティを正常に実行し、ビジネス目標を達成するための組織の能力です。ビジネス機能マッピングを使用して、ビジネス機能とビジネスアプリケーションの間の CI 関係を確立します。[ビジネス機能階層 (Business Capabilities Hierarchy)] ページでは、次のアイテムのリストを確認できます。

- 機能：すべてのビジネス機能の合計数。
- リーフ機能：一覧表示されているビジネス機能のすべての階層における、リーフレベル (独自の子機能を持たない) 機能の合計数。
- 評価済み：評価されたビジネス機能の合計数。
- 未評価：評価されていない機能の合計数。
- 重大なギャップ:スコアが 1 ～ 4 の範囲内にある機能の合計数。
- 中程度のギャップ:スコアが 4 ～ 7 の範囲内にある機能の合計数。
- ギャップなし:スコアが 7 ～ 10 の範囲内にある機能の合計数。

機能またはサブ機能を作成し、ビジネスアプリケーションを機能に割り当てることができます。

ビジネス機能はインジケーターにより評価され、ビジネスアプリケーションに関する戦略的意思決定を行うためのインジケータースコアを提供し、ビジネス機能をサポートします。ビジネス機能をスコアでソートできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
現在の会計年度のビジネス機能スコアがデフォルトで表示されます。会計年度フィルターを使用して、会計年度の値を変更できます。

デフォルトでは、レベル 0 の階層の最初のビジネス機能が展開され、レベル 1 の直接の子機能が表示されます。後続のビジネス機能と子機能については、展開アイコン ( ) を選択して展開し、各レベルのサブ機能を表示します。各親機能の下にあるサブ機能の合計数、各機能に直接関連するビジネスアプリケーションの合計数、およびそれらの機能スコアを確認できます。同様に、親機能を展開すると、サブ機能の数と、そのレベルのサブ機能に直接関連するビジネスアプリケーションの合計数が表示されます。

ビジネス機能の追加

機能階層マップにビジネス機能を追加します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン ([ ]) を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. [新機能] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「ビジネス機能の新しいレコードフォーム」を参照してください。
5. [作成] を選択します。
6. 作成した機能の子機能を作成します。
   a. 機能の階層 ID 右クリックします。
   b. [サブ機能を作成] を選択します。

機能の達成に向けたデマンドを作成する

ターゲットを達成するために、機能のコスト節減の機会を特定するためのステップとしてデマンドを使用します。デマンドアクションに関連付ける戦略によって、機能の戦略が決まります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン ([ ]) を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. 行コンテキストメニューアイコン (⋮ を選択し、[デマンドを作成] を選択します。
4. [新しいタブで開く] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「デマンドフォーム」を参照してください。
6. [保存] を選択してレコードを保存し、同じフォームでデマンドに詳細を追加するにはそのままにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネス機能の階層を更新

階層 ID をビジネス機能に割り当てます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン () をクリックして、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. [**Update Hierarchies**] を選択します。
   スケジュール設定済みジョブが送信され、ビジネス機能階層が更新されます。更新された階層を表示するには、更新ボタンを使用します。

タスクの結果
新しく作成された機能に階層 ID が割り当てられます。

サブ機能の作成

機能階層マップにサブ機能を追加します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン ([) を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. 行コンテキスト メニュー アイコン (⋮を選択し、 サブ機能の作成 を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「サブ機能フォームの作成」を参照してください。
5. [作成] を選択します。

ビジネスアプリケーションのアサイン

ビジネスアプリケーションを機能にアサインして、機能をアプリケーションに関連付けます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン ([) を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. 行コンテキストメニューアイコン (⋮を選択し、 ビジネスアプリケーションのアサイン を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ビジネスアプリケーションを選択します。
5. [アサイン] を選択します。

階層から機能を削除する

不要になった機能を削除します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン () をクリックして、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. 削除する機能の [階層 ID] を右クリックし、[削除] を選択します。
4. 削除を確定します。

機能からのビジネスアプリケーションのアサイン解除

機能からビジネスアプリケーションのアサインを解除することができます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン ([) を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. 関連するビジネス機能の横にある行を展開アイコン ([ を選択します。
4. 関連するビジネスアプリケーションの横にある行コンテキストメニューアイコン (を選択し、[ビジネスアプリケーションのアサイン解除] を選択します。

ビジネス機能のロードマップを表示

ビジネス機能のロードマップを表示し、組織の戦略に合わせて調整します。ポートフォリオ計画を作成すると、ビジネス機能の作業を計画、優先順位付け、およびロードマップするのに役立ちます。

始める前に
Strategic Planning プラグイン (com.sn_apw_advanced) (v4.0.2 以降) がインストールされていることを確認します。

必要なロール:sn_apm.apm_user および sn_align_core.apw_user

手順

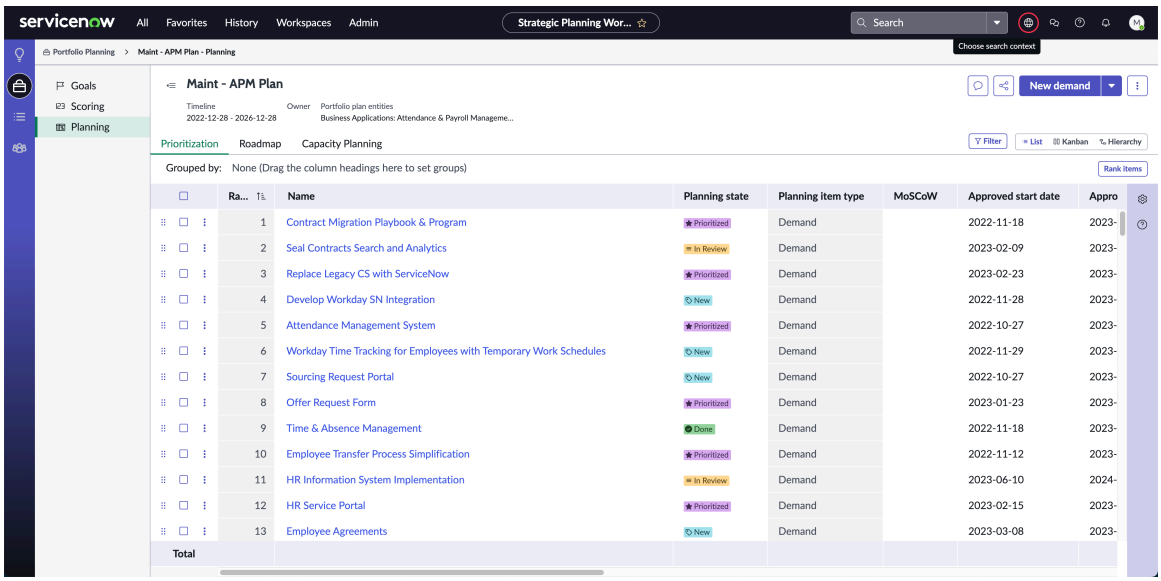
1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. ビジネスポートフォリオアイコン () を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 行コンテキスト メニュー アイコン (行 ⋮ を選択し、 ロードマップを表示 を選択します。
Strategic Planning Workspace の [計画] ページに移動します。一時的なポートフォリオ計画は、ビジネス機能、サブ機能、および関連するビジネスアプリケーションに関連付けられたすべての計画立案アイテムとともに、Strategic Planning Workspace に作成されます。

> **注:**
> 一時的なポートフォリオ計画は、プレビューのみを目的としています。ビジネス機能の作業を計画、優先順位付け、およびロードマップするには、一時的なポートフォリオ計画をコピーするか、作成します。



4. オプション: ビジネス機能のポートフォリオ計画をコピーして、ビジネス機能の作業を計画、優先順位付け、およびロードマップします。

   a. ポートフォリオ計画ヘッダーから、その他のアクションアイコン (⋮) を選択し、[ポートフォリオ計画をコピー] を選択します。

   b. [ポートフォリオ計画をコピー] ウィンドウで、詳細を入力します。

      i. [ポートフォリオ計画名] フィールドにポートフォリオ計画の名前を入力します。

      ii. (オプション) [同じユーザーおよびグループと共有] オプションを選択して、ポートフォリオ計画のユーザーにアクセス権を付与します。

   c. [確認] を選択します。

   または、ビジネス機能レンズを使用して、Strategic Planning Workspace (SPW) で独自のポートフォリオ計画を作成することもできます。詳細については、「Create a portfolio plan in Strategic Planning」を参照してください。

TPM および TRM ライフサイクルタイムラインのガントビュー

のエンタープライズアーキテクチャワークスペースガントチャートは、ビジネスアプリケーション、および関連するアプリケーションサービス (ソフトウェア製品やハードウェアモデルなど) のタイムラインを視覚的に表現テクノロジー参照モデルテクノロジーポートフォリオ管理TPMTRMしたものです。

TPM および TRM アプリケーションのタイムラインは、ガントチャートの次のタイムラインビューで表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 日
- 週
- 月
- 四半期
- 年
- 自動調整

> **注:**
> デフォルトでは「自動調整 」が選択されています。

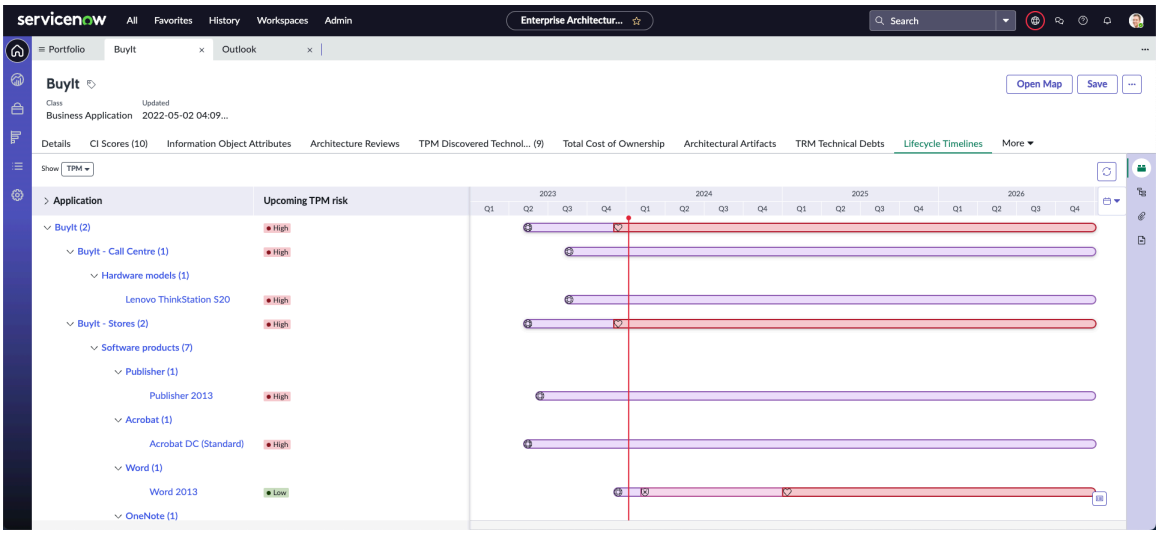
[タイム スケールの選択] ボタン ( ) を選択して、ビューを変更します。

ガントチャートの **TPM** ライフサイクルタイムライン

()TPM の場合テクノロジーポートフォリオ管理、ビジネスアプリケーションとその関連アプリケーションサービス (関連するハードウェアモデルとソフトウェア製品) が階層構造で表示されます。アプリケーションサービスの対応するタイムラインは、ガントチャートにバーとして表示されます。

TPM ガントチャートビュー

> **注:**
> ソフトウェア製品のライフサイクルデータは、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。



次のフェーズ関連情報が表示されます TPM 。

- サポート終了
- 拡張サポート終了
- 提供終了

ガントチャートの個々のバーをポイントすると、フェーズ情報が表示されます。

[アプリケーション] 列の値は、TPM 検出済みテクノロジーテーブル (sn_apm_tpm_discovered_technology) から入力されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

特定のソフトウェア製品のすべてのバージョンがグループ化されます。製品名、製品バージョン、および製品エディションの一意の組み合わせを持つソフトウェア製品ごとにライフサイクルレコードが作成され、タイムラインがガントチャートに表示されます。

ライフサイクル終了日の計算ロジック

各 TPM ライフサイクルフェーズについて、あるフェーズの終了日が次のフェーズの開始日となります。サポート終了、延長サポート終了、および提供終了の 3 つの TPM フェーズがあると仮定すると、それぞれのフェーズ終了日は次のようになります。

- サポートフェーズの終了日は、次のフェーズの開始日である延長サポートの終了日と一致します。
- 延長サポートフェーズの終了日は、次のフェーズの開始日であるサポート終了日と一致します。

たとえば、製品 A にはサポート終了と延長サポート終了の 2 つのTPMフェーズがあります。サポート終了フェーズの開始日は 2023 年 12 月 1 日で、延長サポート フェーズの終了の開始日は 2023 年 12 月 30 日です。サポート終了フェーズのフェーズ終了日は記載されていません。このようなシナリオでは、 サポート終了 フェーズの終了日は 2023 年 12 月 30 日と見なされます。

製品で使用できるTPMフェーズが 1 つTPMしかない場合、フェーズライフサイクルの終了日は、TPMシステムプロパティ*sn_apm.endRangeofTPMLifecycle*で定義された時間値と現在の日付を加算して計算されます。この時間値により、ガントチャートは既知のライフサイクルの日付のみを表示できます。

たとえば、今日が 2023 年 12 月 1 日で、システムプロパティ *sn_apm.endRangeofTPMLifecycle* で定義されている終了日の値が現在の日付から 3 年後であるとします。この場合、フェーズの終了日は 2026 年 12 月 1 日になります。

アプリケーションサービスとビジネスアプリケーションのタイムライン

アプリケーションサービス (ソフトウェア製品とハードウェアモデルで構成) には、ライフサイクルタイムラインが決定されています。ガントチャートでは、ソフトウェア製品とハードウェアモデルのいずれかの最も早い TPM フェーズ開始日がロールアップされ、アプリケーションサービス全体の TPM フェーズ開始日が計算されます。つまり、ソフトウェア製品またはハードウェアモデルの最も早い TPM フェーズ開始日が、全体としてアプリケーションサービスのフェーズ開始日と見なされ TPM ます。

たとえば、すべてのハードウェアモデルとソフトウェア製品に、サポート終了、拡張サポートの終了、および提供終了のフェーズの TPM ライフサイクルの日付があるとします。現在、アプリケーションサービス A は 1 つのソフトウェア製品と 1 つのハードウェアモデルで構成されています。ソフトウェア製品のサポート終了開始日は 2023 年 12 月 1 日で、ハードウェアモデルのサポート終了日は 2023 年 12 月 15 日です。このシナリオでは、2023 年 12 月 1 日であるソフトウェア製品のサポート終了日が、そのアプリケーションサービスの TPM フェーズ開始日と見なされ、したがって、そのアプリケーションサービスのガントチャートバーは 2023 年 12 月 1 日から開始されます。

同様に、ビジネスアプリケーションのフェーズ開始日は、 TPM 関連付けられているアプリケーションサービスの最も早い TPM フェーズ開始日と見なされます。たとえば、アプリケーション X に A と B の 2 つのアプリケーションサービスがあるとします。アプリケーションサービス A のサポート終了日は 2023 年 12 月 1 日、アプリケーションサービス B のサポート終了日は 2023 年 12 月 12 日です。このシナリオでは、2023 年 12 月 1 日であるアプリケーションサービス A のサポート終了日がビジネスアプリケーションのフェーズ開始日と見なされ TPM 、そのビジネスアプリケーションのガントチャートバーは 2023 年 12 月 1 日から開始されます。

TPM リスク計算

この TPM ビューには、ライフサイクルの日付に基づいて、アプリケーションサービスに関連付けられた今後の TPM リスクも表示されます。アプリケーションサービスに関連付けられたリスクを計算

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

するには、ジョブスケジュールを実行します *Populate Technology Lifecycle Risks* 。詳細については、「TPM テクノロジーリスクを生成するジョブをスケジュールする」を参照してください。テクノロジーライフサイクルリスクの詳細については、「」を参照してください 技術リスクの計算。

ハードウェアモデルとソフトウェア製品のリスクスコアは、TPM 技術リスクテーブル (sn_apm_tpm_technology_risk) から導出されます。リスク値はアプリケーションサービスレベルにロールアップされます。単一のアプリケーションサービスに関連付けられたハードウェアモデルとソフトウェア製品の最も高いリスク値が、そのアプリケーションサービスのリスク値と見なされます。たとえば、アプリケーションサービス A が 2 つのハードウェアモデルと 3 つのソフトウェア製品で構成されているとします。2 つのハードウェアモデルのリスクは中程度で、2 つのソフトウェア製品のリスクは低です。ただし、1 つのソフトウェア製品には高いリスクがあります。このシナリオでは、アプリケーションサービスのリスク値は高と見なされます。

同様に、アプリケーションサービスのリスク値はビジネスアプリケーションレベルにロールアップされます。ビジネスアプリケーションに関連付けられたアプリケーションサービスの最も高いリスク値は、そのビジネスアプリケーションのリスク値と見なされます。たとえば、ビジネスアプリケーション X に 3 つのアプリケーションサービスが関連付けられているとします。3 つのアプリケーションサービスのリスク値は、それぞれ高、中、低です。このようなシナリオでは、ビジネスアプリケーションのリスク値は高いと見なされます。

色分け

ガントチャートのバーの色は、その TPM フェーズに基づいています。TPM位相とそれに対応する色は次のとおりです。

色	**TRM** フェーズ
	サポート終了
	拡張サポート終了
	提供終了

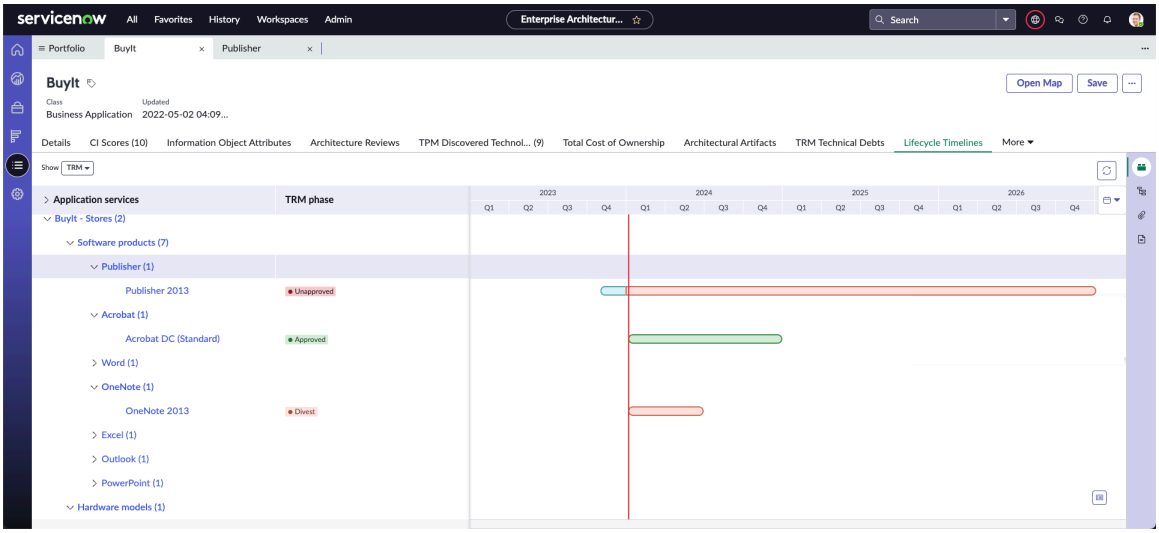
[今後の TPM リスク] 列の各リスクタイプに関連付けられたTPM色を表示するには、凡例ボタン (

ガントチャートの **TRM** ライフサイクルタイムライン

()TRM の場合テクノロジー参照モデル、アプリケーションサービス (ハードウェアモデルとソフトウェア製品) は、TPM ビューと同様の階層構造で表示されます。アプリケーションサービスの対応するライフサイクルタイムラインは、ガントチャートにバーとして表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRM ガントチャートビュー



ビューでは TRM 、ライフサイクルはアプリケーションサービスまたはビジネスアプリケーションに集計されません。

次の TRM 関連情報が表示されます。

- **TRM** フェーズ
- 開始日
- 終了日

ガントチャートの個々のバーをポイントすると、フェーズ情報が表示されます。

[アプリケーションサービス] 列は、TPM 検出済みテクノロジーテーブル (sn_apm_tpm_discovered_technology) から入力されます。

TRM フェーズステータス

この TRM ビューには、ソフトウェア製品またはハードウェアモデルのフェーズのステータス TRM も表示されます。フェーズ列 TRM は、TRM 製品ライフサイクルテーブル (sn_apm_trm_standards_product_lifecycle) から入力されます。

TRMアプリケーションサービスの製品ライフサイクルデータがない場合、そのサービスのフェーズは TRM [未評価] と表示されます。

また、 TRM 製品フェーズに [生産承認] チェック ボックス (エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ > **TRM** フェーズ) が選択されている場合、[TRM フェーズ] 列には、その TRM フェーズが [未承認] であるアプリケーションサービスのステータスが表示されます。フェーズを承認する TRM 方法の詳細については、「」を参照してください TRM フェーズの追加または編集。

フェーズが TRM 本番承認済みとしてマークされ、フェーズ開始日がすでに過ぎている場合にのみ、 TRM アプリケーションサービスのフェーズが [TRM フェーズ] 列に表示されます。たとえば、フェーズ [TRM売却] は本番承認済みとしてマークされ、開始日が 2023 年 1 月 12 日であるとします。現在の日付は 2023 年 10 月 12 日です。このようなシナリオでは、フェーズに関連付けられた TRM すべてのアプリケーションサービスの [TRM フェーズ] 列のフェーズステータスが [売却] になります。

フェーズや標準に沿ってTRMいない製品がある場合はTRM、TRMTRM 技術的負債 (sn_apm_trm_standards_technical_debt) テーブルに技術的負債が作成されます。 TRM 技術的

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

負債は 2 つのレベルで作成されます。次の表に、技術的負債とそれに関連するレベルに関する情報 TRM を示します。

TRM 製品	TRM フェーズ	TRM レベル	理由	説明
適用外	適用外	製品	ソフトウェアがでTRM定義されていません。	TRM 製品は利用できません。
TRM 製品名	TRM 製品フェーズ	製品	ソフトウェアは運用用に承認されていません。	TRM 製品は本番環境で承認されていません。
TRM 製品名	適用外	製品ライフサイクル	ソフトウェアバージョンは、製品ライフサイクルでTRM 定義されていません。	製品にTRM利用可能なライフサイクルはありませんTRM。
TRM 製品名	適用外	製品ライフサイクル	ソフトウェアバージョンは、製品ライフサイクルでTRM 定義されていません。	TRM 完全なバージョン情報を含むライフサイクルは利用できません。
TRM 製品名	適用外	製品ライフサイクル	ソフトウェアバージョンは、製品ライフサイクルでTRM 定義されていません。	TRM バージョン情報を含むライフサイクルは利用できません。
TRM 製品名	適用外	製品ライフサイクル	ソフトウェアバージョンは、製品ライフサイクルでTRM 定義されていません。	TRM バージョン情報を含むライフサイクルは利用できません。
TRM 製品名	ライフ サイクル フェーズ	製品ライフサイクル	ソフトウェアのバージョンが本番用に承認されていません。	TRM 完全なバージョン情報を含むライフサイクルは、本番環境で承認されていません。
TRM 製品名	適用外	製品ライフサイクル	ソフトウェアのバージョンが本番用に承認されていません。	TRM 現在の日付では完全バージョンのライフサイクルは利用できません。
TRM 製品名	ライフ サイクル フェーズ	製品ライフサイクル	ソフトウェアのバージョンが本番用に承認されていません。	TRM バージョンとエディション情報を含むライフサイクルは、本番環境で承認されていません。

技術的負債の詳細については TRM 、「」を参照してください 技術的負債の管理 テクノロジー参照モデル ()TRM。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で技術的負債データEA ワークスペースを更新するTRMジョブをスケジュール*Populate TRM technical debts in the EA Workspace*できます。詳細については、「で技術的負債データを更新する TRM スケジュール設定済みジョブの実行 EA ワークスペース」を参照してください。

ライフサイクル終了日の計算ロジック

製品ライフサイクルの作成 TRM 中に終了日を入力する必要はありません。

各 TRM ライフサイクルフェーズについて、あるフェーズの終了日が次のフェーズの開始日となります。たとえば、アプリケーションサービス A には、[売却] と [制約付きで承認] の 2 つのTRMフェーズがあります。売却フェーズの開始日は 2023 年 1 月 12 日、制約付き承認フェーズの開始日は 2023 年 12 月 30 日です。売却フェーズのフェーズ終了日は記載されていません。このようなシナリオでは、 売却 フェーズの終了日は 2023 年 12 月 30 日と見なされます。製品ライフサイクルの日付が重複している場合は、エラーメッセージが表示されます。

最後のフェーズでは、システムプロパティ *sn_apm.endRangeofTPMLifecycle* で定義されている時間値と現在の日付を加算して終了日が計算されます。たとえば、今日が 2023 年 1 月 12 日で、システムプロパティ *sn_apm.endRangeofTPMLifecycle* で定義されている終了日の値が現在の日付から 3 年後であるとします。この場合、フェーズの終了日は 2026 年 1 月 12 日になります。

アプリケーションサービスのタイムライン

TRM製品ライフサイクルのタイムラインバーがガントチャートに表示されます。ただし、ライフサイクルタイムラインバーを表示するには、いくつかの条件を満たす必要があります。

- ソフトウェア製品:ソフトウェア製品の場合、TRMTPM テクノロジーライフサイクルテーブル (sn_apm_tpm_technology_lifecycle) で定義されている特定のソフトウェア製品の製品名および製品完全バージョンの値は、その製品のライフサイクルの作成TRM時に入力された **TRM** 製品およびバージョンの値と一致する必要があります。

  または、TRMTPM テクノロジーライフサイクルテーブル (sn_apm_tpm_technology_lifecycle) で定義されている特定のソフトウェア製品の製品名、バージョン、およびエディションの値は、その製品のライフサイクルを作成するTRMときに入力された **TRM** 製品、バージョン、およびエディションの値と一致する必要があります。

- ハードウェアモデル:ハードウェアモデルの場合、そのアプリケーションサービスの製品ハードウェアモデル値は、 TRM そのアプリケーションサービスのライフサイクルの作成 TRM 時に入力されたハードウェアモデル値と一致する必要があります。

TRM 製品の作成方法の詳細については、以下を参照してください EA Workspace で TRM 製品を作成する。

製品ライフサイクル要求の作成 TRM 方法の詳細については、次を参照してください EA Workspace で TRM 製品ライフサイクル要求を作成する。

製品またはライフサイクル要求を TRM 承認または却下する方法の詳細については、次を参照してください TRM 製品または製品ライフサイクル要求の承認または却下。

色分け

TRM ライフサイクルタイムラインバーの色は、TRM フェーズステータスに基づいています。各

TRM フェーズステータスに関連付けられた色を表示するには、[凡例] ボタン ([) を選択します。

要件に応じて TRM 相の色を変更することもできます。既存の TRM フェーズの色を変更する方法の詳細については、を参照してください TRM フェーズの追加または編集。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ガントチャートでの TPM および TRM ライフサイクルタイムラインの表示

ガントチャートを使用して、ライフサイクルタイムラインを表示および追跡 テクノロジーポートフォリオ管理 します (TPM) テクノロジー参照モデル および (TRM)。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

> **注:**
> ソフトウェア製品のライフサイクルデータは、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. ポートフォリオアイコン を選択して、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. ビジネス アプリケーションの横にある行の展開アイコン ( ) を選択し、すべて を選択します。
4. [すべて] を選択します。
5. ライフサイクルTRMタイムラインを表示するTPMビジネスアプリケーションを選択します。
6. [ライフサイクルタイムライン] タブが表示されない場合は、[その他] を選択します。
7. [ライフサイクルタイムライン] を選択します。
   ガントチャートは、ビジネスアプリケーションとそのアプリケーションサービスに対して TPM 表示され、表示されます。

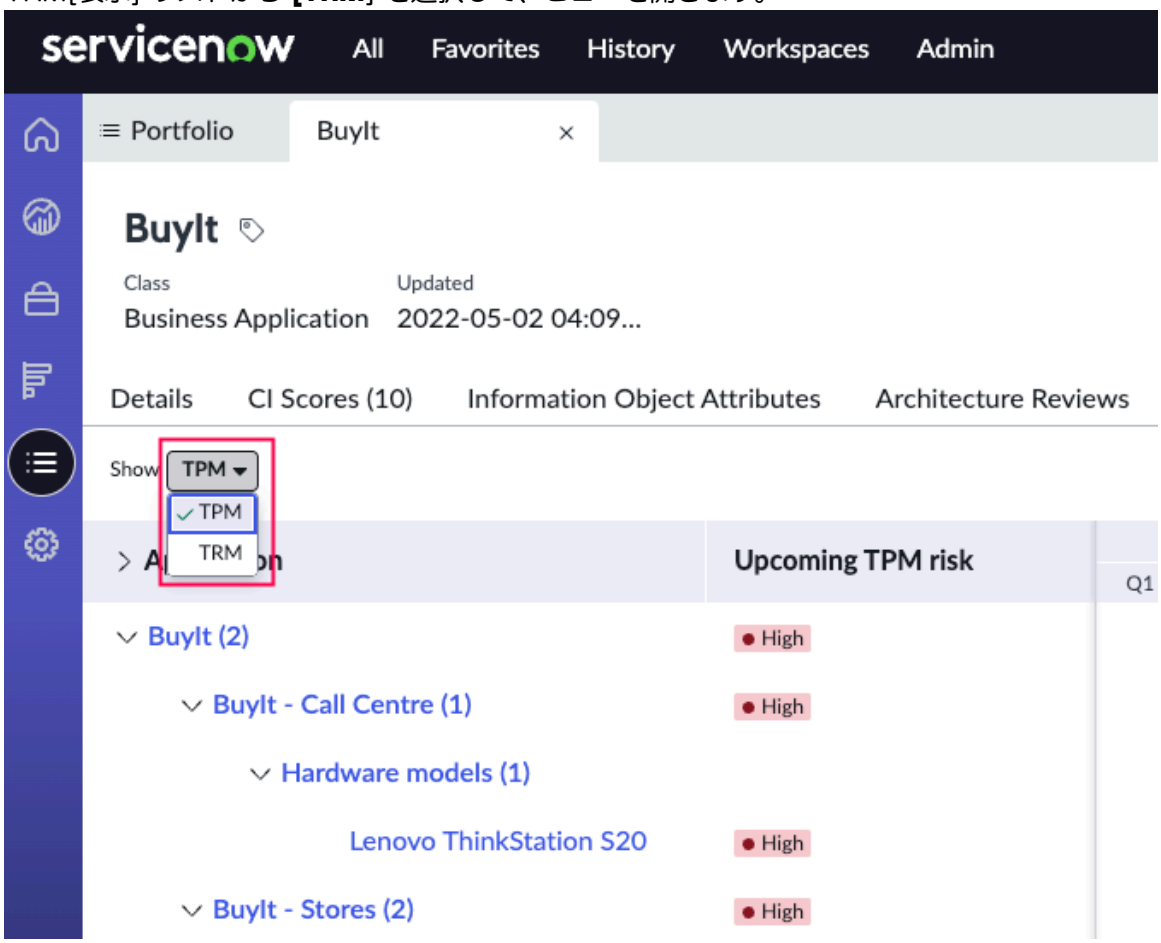
   > **注:**
   >
   > デフォルトでは、 TPM ビューが表示されます。

8. ビジネスアプリケーションとその関連アプリケーションサービスの横にある行展開アイコン ( ) を選択して、ガントチャートにライフサイクルタイムラインバーを表示します。
   または、[アプリケーション] 列ヘッダーの横にある展開アイコン (を選択することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. TRM[表示] リストから **[TRM]** を選択して、ビューを開きます。



ビジネスアプリケーションの合理化

エンタープライズアーキテクトは、アプリケーションの合理化を使用してビジネスアプリケーションを評価できます。

アプリケーション合理化の概要

カテゴリ内のすべてのビジネスアプリケーションを合理化し、アプリケーションに投資するか、維持するか、移行するか、廃止するかを決定します。

[アプリケーション合理化] アイコン ([を選択して、[アプリケーション合理化] ページに移動します。

アプリケーション合理化を使用すると、次の操作を実行できます。

- 複数のスコアに基づいてビジネスアプリケーションを分析します。
- ビジネスアプリケーションのデマンドを作成します。
- ビジネスアプリケーションの計画処分を設定します。
- 既存のビジネスアプリケーションにライフサイクルの詳細を追加します。

次のフィルターを使用して、ビジネスアプリケーションのリストを絞り込みます。

- 会計期間
- アプリケーションカテゴリ
- アプリケーションファミリー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネスケイパビリティ

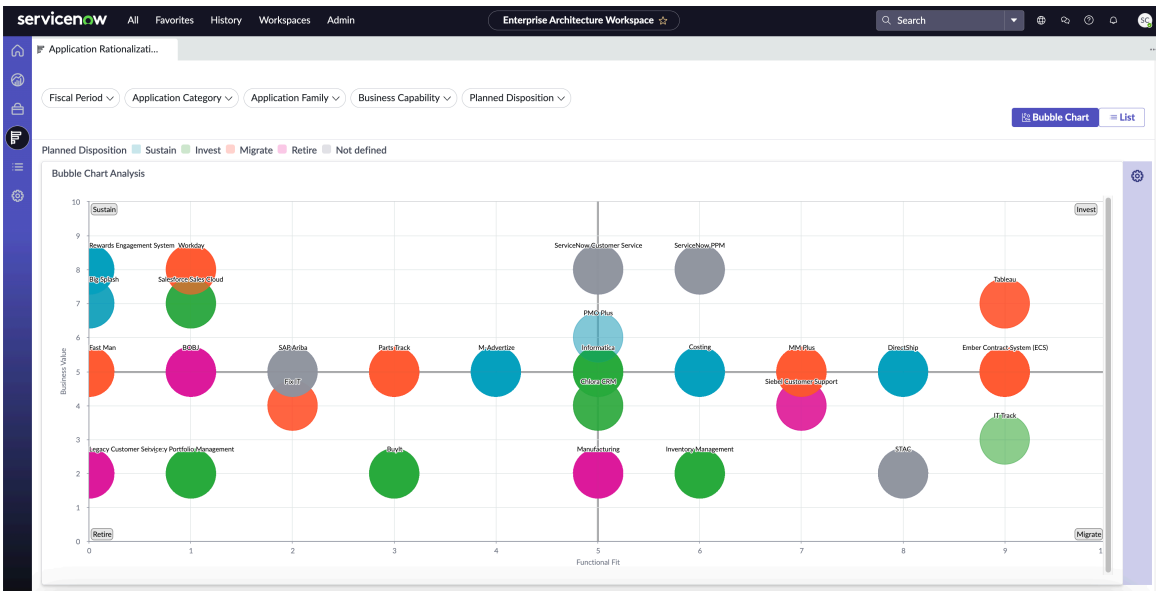
> **注:**
> このフィルターを適用すると、親機能の子機能に関連付けられているものを含む、すべてのビジネスアプリケーションが表示されます。

- 計画的処分

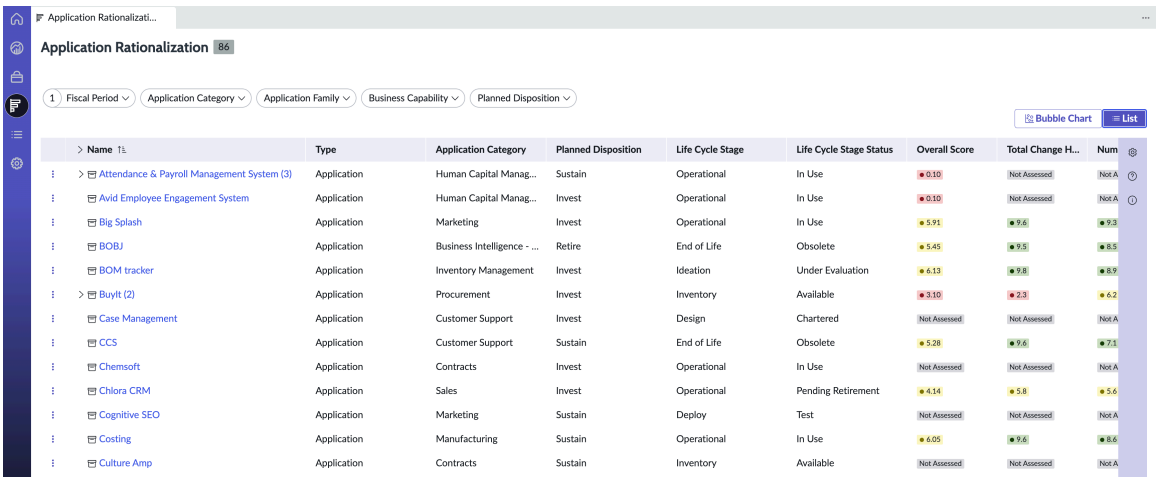
すべてのビジネスアプリケーションをバブルチャートビューまたはリストビューで表示できます。

> **注:**
>
> [アプリケーションの合理化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

バブルチャートビュー



リストビュー



ホームページの エンタープライズアーキテクチャワークスペース アプリケーション合理化に関するインサイト

の アプリケーションポートフォリオ管理 アプリケーション合理化機能は、ビジネスアプリケーションのインサイトも提供します。インサイトカードを表示するには、次に移動します: すべて > アプリ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム をクリックし、[インサイト] セクションを選択します。インサイトカードには、アプリケーションの合理化から導出されたスコアに基づいて情報が表示されます。次のインサイトカードを使用できます。

- 廃止の候補となるビジネスアプリケーション
- 移行の候補となるビジネスアプリケーション
- 投資の候補となるビジネスアプリケーション
- 予定されている処分が一致しない候補ビジネスアプリケーション

特定のカードを選択すると、[アプリケーションの合理化] ページが表示され、選択に基づいて関連するビジネスアプリケーションデータが表示されます。

デフォルトでは、すべてのインジケータースコアが最新の会計期間に従って表示されます。最新の会計期間は、apm_app_indicator_scoreリストから導出されます。会計期間の期間は、システムプロパティ *com.glide.fiscal_calendar.fiscal_unit*から導出されます。

注:
アプリケーションの合理化のメイン ページに戻るには、 [アプリケーションの合理化に移動] を選択します。

アプリケーション合理化のバブルチャートビュー

バブルチャートは、インジケータースコアに基づいてアプリケーションをさまざまな象限に配置するインタラクティブなグラフです。エンタープライズアーキテクトは、象限におけるビジネスアプリケーションの位置に基づいて、ビジネスアプリケーションへの投資、維持、移行、または廃止を決定できます。

バブルチャートを使用して、ビジネスアプリケーションのインジケータースコアを X 軸と Y 軸に表示し、バブルのサイズを指定します。これらのスコアを使用して、アプリケーションがビジネス戦略にどのように整合しているかを測定し、アプリケーションのデマンドを作成できます。

注:

[アプリケーションの合理化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

独自のアプリケーションインジケーターを作成して、バブルチャートでビジネスアプリケーションを分析することもできます。カスタムアプリケーションインジケータの作成方法については、次を参照してください EA Workspace でアプリケーションインジケーターを作成する。

注:

- 作成したインジケーターは、デフォルトのアプリケーションプロファイルにもアタッチする必要があります。スコアリングプロファイルで新しいプロファイルインジケーターをアタッチする方法については、次を参照してください アプリケーション採点プロファイルにプロファイルインジケーターをアタッチする。
- 作成したインジケーターがバブルサイズリストに表示されない場合は、インジケーターがアクティブであることを確認してください。インジケータを有効化する方法については、次を参照してください アプリケーションインジケーターをアクティブ化またはオフにする。

[アプリケーション合理化] アイコン ([を選択して、すべてのビジネスアプリケーションのバブルチャートビューを表示します。

バブルチャートページには、次のコンポーネントが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- X 軸と Y 軸:各軸は測定基準カテゴリを表します。
- バブル:ラベルの付いた各バブルは、ビジネスアプリケーションを表します。バブルをポイントすると、アセスメント可能なレコードのスコア サマリーが表示されます。

バブルの色は、ビジネスアプリケーションに既に設定されている計画処分の値によって異なります。バブルチャートに表示されている凡例を参照して、各色の有意性を確認できます。

バブルは、選択したインジケータースコア値に基づいてさまざまなサイズになります。

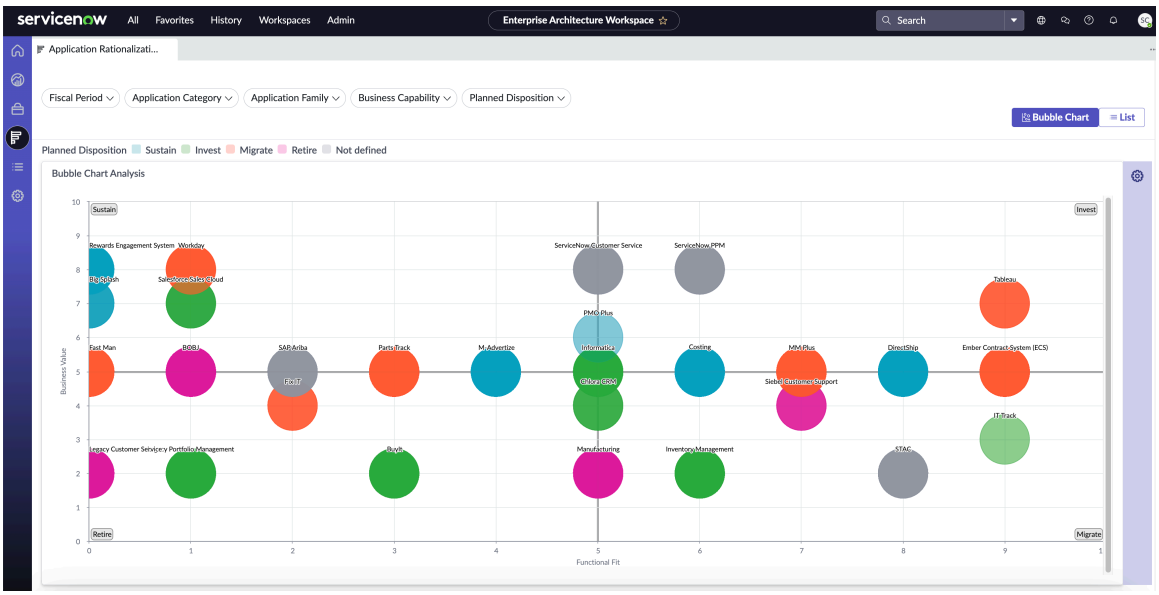
デフォルトでは、すべてのインジケータースコアが最新の会計期間に従って表示されます。最新の会計期間は、apm_app_indicator_scoreリストから導出されます。会計期間の期間は、システムプロパティ *com.glide.fiscal_calendar.fiscal_unit*から導出されます。ただし、[アプリケーションの合理化] 画面で使用可能なフィルターを使用して会計期間を変更したり、他のフィルターを適用したりできます。

チャート内のバブルをポイントし、コンテキスト メニューを選択すると、次を実行できます。

- ビジネスアプリケーションのデマンドを作成します。
- ビジネスアプリケーションの計画処分を設定します。
- ビジネスアプリケーションのライフサイクルデータを追加します。

バブルチャートには、ビジネスアプリケーションを表す最大 100 個のバブルのみが表示されます。バブルが 100 個を超えると、メッセージが表示されます。利用可能なフィルターを使用して、アプリケーションの数を減らすか、リストビューでデータを表示します。

バブルチャートビュー



バブルチャートを使用したアプリケーションの分析

複数のスコアに基づいてビジネスアプリケーションを統合して分析します。

始める前に
「アプリケーション合理化」ページを表示するには、プラグイン・バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
アプリケーションインジケータースコアに基づいて、表示できるビジネスアプリケーションの数を絞り込むことができます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [アプリケーション合理化] アイコン ([ ) を選択して、[アプリケーション合理化] ページを開きます。
3. 必要に応じて、設定アイコン ( ) を選択して、バブルチャートのパラメーターを変更します。

   次の設定を変更できます。

   - X 軸と Y 軸:X 軸と Y 軸に分類されるインジケーターのディメンション。使用可能なオプションは、アプリケーションバブルチャートテーブル [apm_bubble_chart から導出されます。リスト]。インジケータースコアは、インジケータースコアテーブル (apm_app_indicator_score) から収集されます。

     注:

     - バブルチャートの X 軸および Y 軸インジケータを追加する方法の詳細については、「」を参照してください アプリケーション戦略のバブルチャートを作成または編集する。
     - バブルチャートにバブルを表示するには、選択した会計期間のインジケータースコアが X 軸と Y 軸の両方のインジケーターで使用できる必要があります。

   - バブルサイズ:バブルサイズは、ビジネスアプリケーションに関連するインジケーターに基づいています。インジケータースコアによってバブルのサイズが決まります。

     独自のアプリケーションインジケーターを作成して、バブルチャートでビジネスアプリケーションを分析することもできます。カスタムアプリケーションインジケータの作成方法については、次を参照してください EA Workspace でアプリケーションインジケーターを作成する。

     注:

     - 作成したインジケーターは、デフォルトのアプリケーションプロファイルにもアタッチする必要があります。スコアリングプロファイルで新しいプロファイルインジケーターをアタッチする方法については、次を参照してください アプリケーション採点プロファイルにプロファイルインジケーターをアタッチする。
     - 作成したインジケーターがバブルサイズリストに表示されない場合は、インジケーターがアクティブであることを確認してください。インジケータを有効化する方法については、次を参照してください アプリケーションインジケーターをアクティブ化またはオフにする。

   - バブルの色:バブルの色は、アプリケーションの計画された廃棄値に基づいています。バブルチャートに表示されている凡例を参照して、各色の有意性を確認できます。

     注:
     バブルの色の設定は変更できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- バブルラベル:この切り替えを有効にすると、バブルチャートにバブルラベルが表示されます。バブルラベルはビジネスアプリケーション名を表します。

  注:
  バブルチャートには、ビジネスアプリケーションを表す最大 100 個のバブルのみが表示されます。バブルが 100 個を超えると、メッセージが表示されます。利用可能なフィルターを使用して、アプリケーションの数を減らすか、リストビューでデータを表示します。

4. [適用] を選択します。

バブルチャートを使用してデマンドを作成する

バブルチャートからアプリケーションのデマンドを作成します。

始める前に

[アプリケーションの合理化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

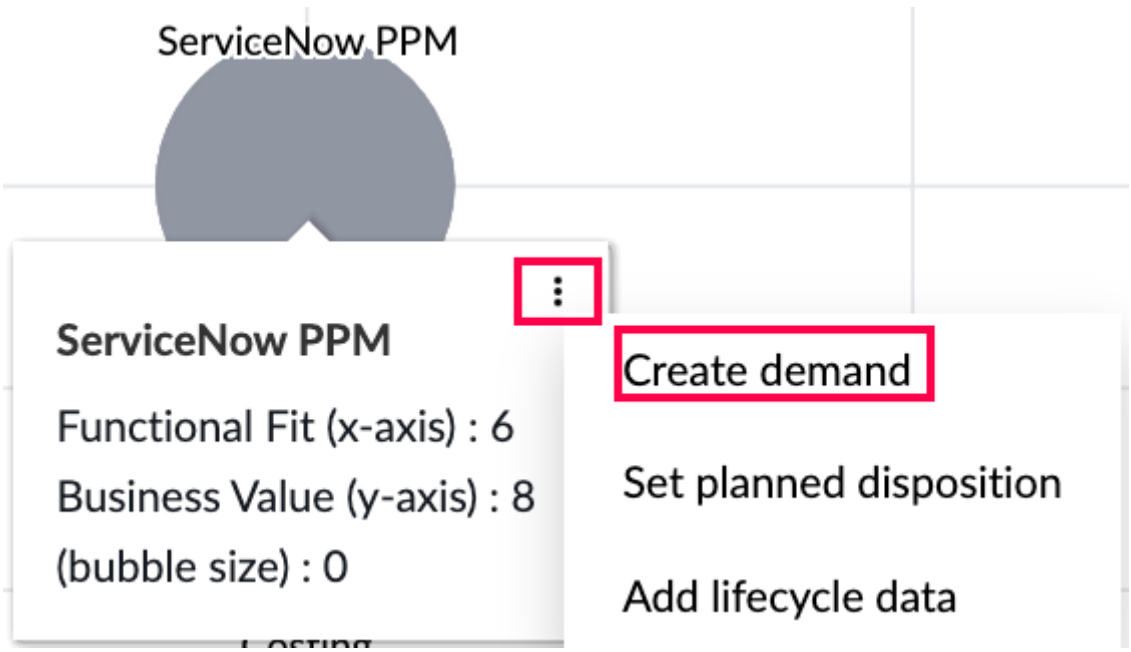
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

ビジネスアプリケーションのコスト節減の機会を特定し、目標を達成するためのステップとしてデマンドを使用します。デマンドアクションに関連付ける戦略によって、アプリケーションの戦略が決まります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [アプリケーション合理化] アイコン ([ ) を選択して、[アプリケーション合理化] ページを開きます。
3. デマンドを作成する関連アプリケーションのバブルを選択します。
4. ポップアップウィンドウで、コンテキストメニューアイコン (を選択し、[デマンドの作成] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [デマンドを作成] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[デマンドの作成] フォーム」を参照してください。
6. [作成] を選択します。

ビジネスアプリケーションの計画廃棄の設定

ビジネスアプリケーションの計画された処分を設定して、アプリケーションの将来の計画に関する決定を追跡します。

始める前に

[アプリケーションの合理化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

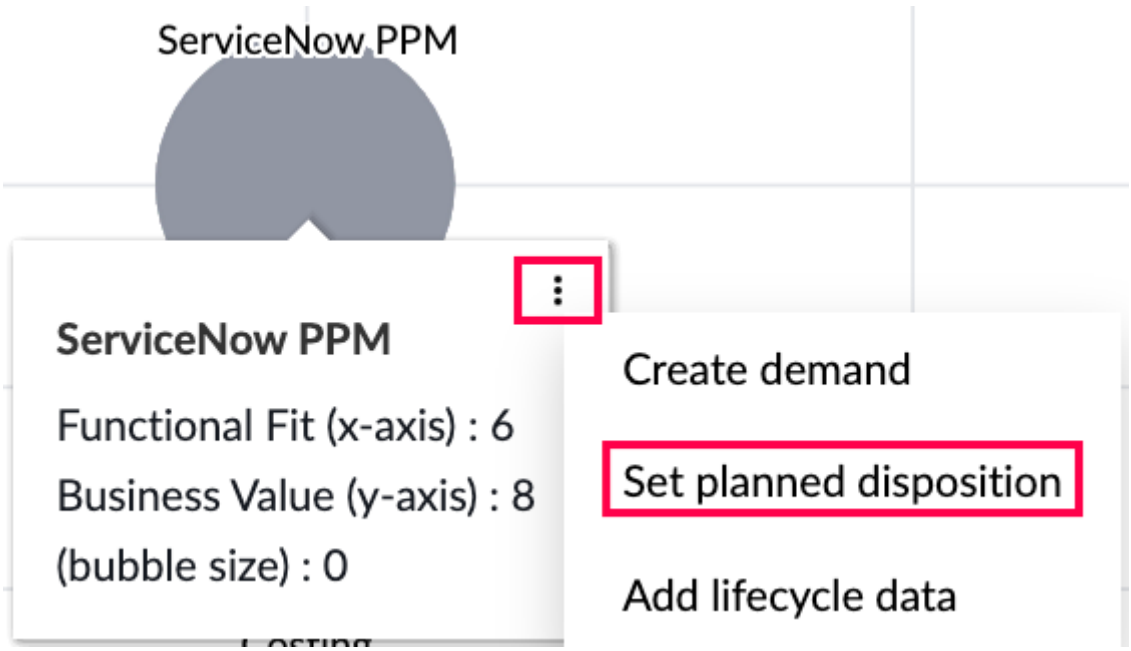
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

ビジネスアプリケーションの計画廃棄を設定すると、データのメンテナンス、データの検索性が向上し、アプリケーションメンテナンスコストの管理が向上します。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [アプリケーション合理化] アイコン ([ ) を選択して、[アプリケーション合理化] ページを開きます。
3. 計画処分を設定する関連アプリケーションのバブルを選択します。
4. ポップアップ ウィンドウで、コンテキスト メニュー アイコン ( ) を選択し、[計画的処分の設定] を選択します。



5. [予定されている処分を設定] ウィンドウで、次の操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [Planned disposition] ドロップダウンリストから [Planned disposition] ステータスを選択します。

b. その計画的処分ステータスを選択した理由を [**Reasoning**] フィールドに入力します。

6. [更新] を選択します。

バブルチャートを使用したビジネスアプリケーションライフサイクルデータの追加

ビジネスアプリケーションのライフサイクルを作成または編集して、ビジネスアプリケーションを管理します。

始める前に

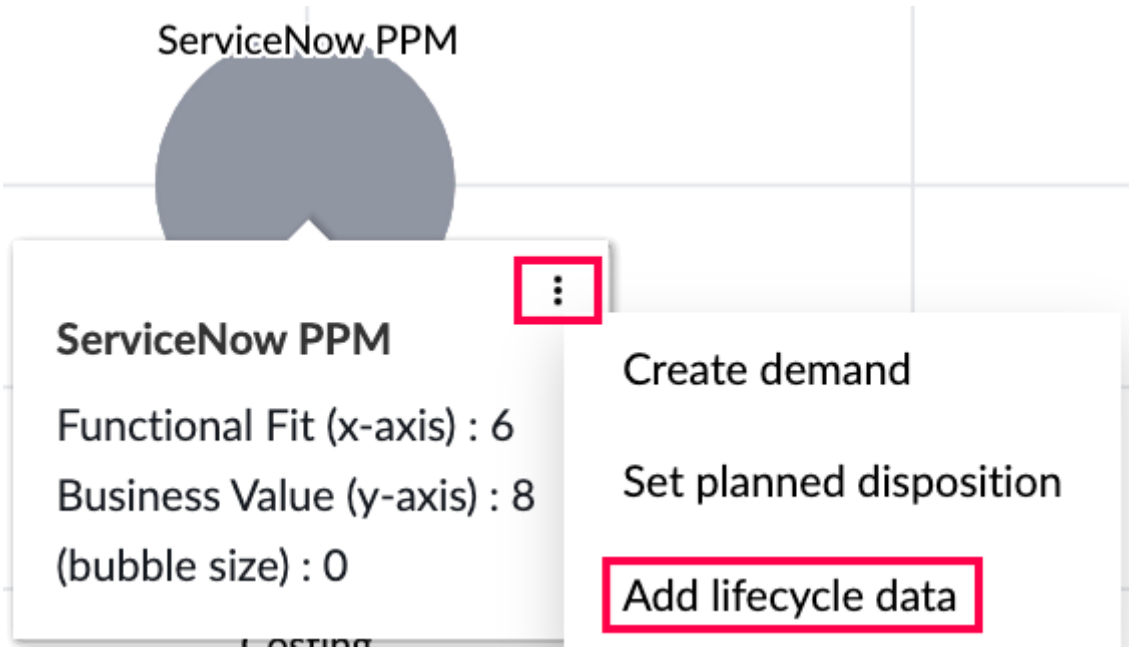
[アプリケーションの合理化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

アプリケーションモデル (フィールド名:モデル ID) は、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルライフサイクルを作成するために必要です。アプリケーションモデル ID は、手動で入力することも、スクリプトを実行またはスケジュール `CSDM Product Model Assignment` 設定することで自動的に作成してビジネスアプリケーションに追加することもできます。スクリプトの実行 `CSDM Product Model Assignment`方法の詳細については、次を参照してください スケジュール設定済みジョブを実行して、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルを生成する。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [アプリケーション合理化] アイコン ([ ) を選択して、[アプリケーション合理化] ページを開きます。
3. ビジネスアプリケーションライフサイクルデータを追加する関連アプリケーションのバブルを選択します。
4. ポップアップウィンドウで、コンテキストメニューアイコン (を選択し、[ライフサイクルデータの作成] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォーム」を参照してください。
6. [作成] を選択します。

アプリケーション合理化のリストビュー

エンタープライズアーキテクトは、すべてのビジネスアプリケーションのリストを表示できます。

リストビューでは、すべてのビジネスアプリケーションとそれらにアタッチされているすべてのインジケータースコアに関する概要情報を表示できます。

独自のアプリケーションインジケーターを作成して、リストビューでビジネスアプリケーションを分析することもできます。カスタムアプリケーションインジケータの作成方法については、次を参照してください EA Workspace でアプリケーションインジケーターを作成する。新しいカスタムインジケーターがリストビューに新しい列として表示されます。

注:

- 作成したインジケーターは、デフォルトのアプリケーションプロファイルにもアタッチする必要があります。スコアリングプロファイルで新しいプロファイルインジケーターをアタッチする方法については、次を参照してください アプリケーション採点プロファイルにプロファイルインジケーターをアタッチする。
- 作成したインジケーターがバブルサイズリストに表示されない場合は、インジケーターがアクティブであることを確認してください。インジケータを有効化する方法については、次を参照してください アプリケーションインジケーターをアクティブ化またはオフにする。

ビジネスアプリケーションの名前を選択して開き、関連付けられている詳細を表示できます。また、行を展開アイコン (›) を選択して、そのビジネスアプリケーションに関連付けられたデマンドとプロジェクトを表示することもできます。デマンドまたはプロジェクトを選択すると、その詳細が表示されます。必要に応じて、ビジネスアプリケーションの詳細とそれに関連するデマンドおよびプロジェクトの詳細を変更できます。

注:
[アプリケーションの合理化] ページを表示するには、プラグインバージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

デフォルトでは、すべてのインジケータースコアが最新の会計期間に従って表示されます。最新の会計期間は、apm_app_indicator_scoreリストから導出されます。会計期間の期間は、システムプロパティ `com.glide.fiscal_calendar.fiscal_unit`から導出されます。

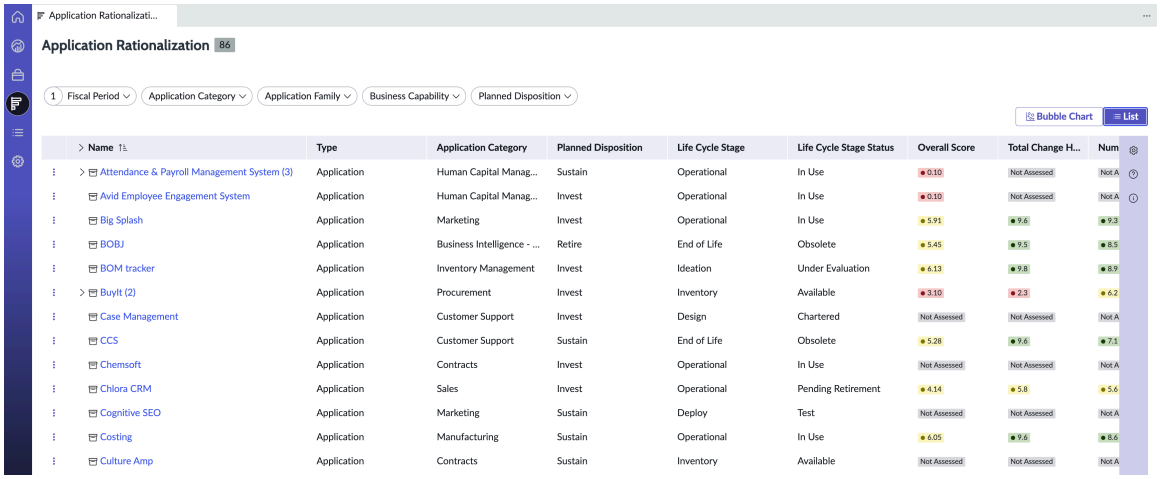
リストビューから次の操作を実行できます。

- ビジネスアプリケーションの詳細の編集
- ビジネスアプリケーションのデマンドを作成する
- ビジネスアプリケーションの計画廃棄の設定
- ビジネスアプリケーションのライフサイクルデータを追加する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストビュー



リストビューを使用してデマンドを作成する

リストビューからアプリケーションのデマンドを作成します。

始める前に

[アプリケーションの合理化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

ビジネスアプリケーションのコスト節減の機会を特定し、目標を達成するためのステップとしてデマンドを使用します。デマンドアクションに関連付ける戦略によって、アプリケーションの戦略が決まります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [アプリケーション合理化] アイコン ([ ]) を選択して、[アプリケーション合理化] ページを開きます。
3. [リスト] を選択します。
4. デマンドを作成するビジネスアプリケーションの横にある行コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[デマンドの作成] を選択します。
5. [デマンドを作成] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[デマンドの作成] フォーム」を参照してください。
6. [作成] を選択します。
   新しいデマンドがビジネスアプリケーションの下に表示されます。

ビジネスアプリケーションの計画廃棄の設定

ビジネスアプリケーションの計画された処分を設定して、アプリケーションに関する将来の決定を追跡します。

始める前に

[アプリケーションの合理化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ビジネスアプリケーションの計画廃棄を設定すると、データのメンテナンス、データの検索性が向上し、アプリケーションメンテナンスコストの管理が向上します。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [アプリケーション合理化] アイコン ([ ) を選択して、[アプリケーション合理化] ページを開きます。
3. [リスト] を選択します。
4. 計画的処分ステータスを設定するビジネスアプリケーションの横にある行コンテキストメニューアイコン (を選択し、[計画的処分の設定] を選択します。
5. [予定されている処分を設定] ウィンドウで、次の操作を行います。
   a. [Planned disposition] ドロップダウンリストから [Planned disposition] ステータスを選択します。
   b. その計画的処分ステータスを選択した理由を [**Reasoning**] フィールドに入力します。
6. [更新] を選択します。

リストビューを使用したビジネスアプリケーションライフサイクルデータの追加

ビジネスアプリケーションのライフサイクルを作成または編集して、ビジネスアプリケーションを適切に管理します。

始める前に
[アプリケーションの合理化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

アプリケーションモデル (フィールド名:モデル ID) は、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルのライフサイクルを作成するために必要です。アプリケーションモデル ID は、手動で入力することも、スクリプトを実行またはスケジュール *CSDM Product Model Assignment* 設定することで自動的に作成してビジネスアプリケーションに追加することもできます。スクリプトの実行 *CSDM Product Model Assignment* 方法の詳細については、次を参照してください スケジュール設定済みジョブを実行して、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルを生成する。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [アプリケーション合理化] アイコン ([ ) を選択して、[アプリケーション合理化] ページを開きます。
3. [リスト] を選択します。
4. ビジネスアプリケーションのライフサイクルデータを追加するビジネスアプリケーションの横にある行コンテキストメニューアイコン ([を選択し、[ライフサイクルデータの追加] を選択します。
5. アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォームで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド値の説明については、「アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォーム」を参照してください。

6. [作成] を選択します。

ビジネスアプリケーションの詳細の編集

リストビューを離れることなく、リストから直接ビジネスアプリケーションレコードを更新できます。

始める前に

[アプリケーションの合理化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [アプリケーション合理化] アイコン ([ ) を選択して、[アプリケーション合理化] ページを開きます。
3. [リスト] を選択します。
4. 詳細を編集するビジネスアプリケーションを選択します。

   [リストビュー] 画面に新しいペインが表示され、ビジネスアプリケーションの詳細が表示されます。

   注:
   [完全な詳細] を選択して、ビジネスアプリケーションの詳細を表示します。

5. ビジネスアプリケーションフォームのフィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「ビジネスアプリケーションフォーム」を参照してください。

6. [更新] を選択します。

ビジネスアプリケーションに関連付けられたデマンドを編集する

アプリケーションの合理化を使用して、ビジネスアプリケーションに関連付けられた既存のデマンドを編集します。

始める前に

[アプリケーションの合理化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

リストビューを離れることなく、リストからデマンドレコードを直接更新できます。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [アプリケーション合理化] アイコン ([ ) を選択して、[アプリケーション合理化] ページを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [リスト] を選択します。
4. 関連付けられたデマンドの詳細を編集するビジネスアプリケーションの横にある行を展開アイコン ([ ] を選択します。
   そのビジネスアプリケーションに関連付けられたデマンドのリストが表示されます。
5. 編集するデマンドを選択します。
   リストビュー画面に新しいペインが表示され、デマンドの詳細が表示されます。

   注:
   [完全な詳細] を選択すると、デマンドに関する詳細が表示されます。

6. [デマンドの編集] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「デマンドフォーム」を参照してください。
7. [更新] を選択します。

ビジネスアプリケーションに関連付けられたプロジェクトを編集する

アプリケーションの合理化を使用して、ビジネスアプリケーションに関連付けられた既存のプロジェクトを編集します。

始める前に
[アプリケーションの合理化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

リストビューを離れることなく、リストからデマンドレコードを直接更新できます。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順
1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [アプリケーション合理化] アイコン ([ ]) を選択して、[アプリケーション合理化] ページを開きます。
3. [リスト] を選択します。
4. 関連するプロジェクトの詳細を編集するビジネスアプリケーションの横にある行を展開アイコン ([ ] を選択します。
   そのビジネスアプリケーションに関連付けられているプロジェクトのリストが表示されます。
5. 編集するプロジェクトを選択します。
   [リストビュー] 画面に新しいペインが表示され、プロジェクトの詳細が表示されます。

   注:
   [完全な詳細] を選択して、プロジェクトの詳細を表示します。

6. [プロジェクトを編集] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「プロジェクトフォームの編集」を参照してください。
7. [更新] を選択します。

ポートフォリオリストビュー

エンタープライズアーキテクトは、すべてのビジネス機能、ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、情報オブジェクト、ビジネスプロセス、テクノロジーポートフォリオ管理、テクノロジー参照モデル製品、およびアーキテクチャアーティファクトのリストを表示できます。

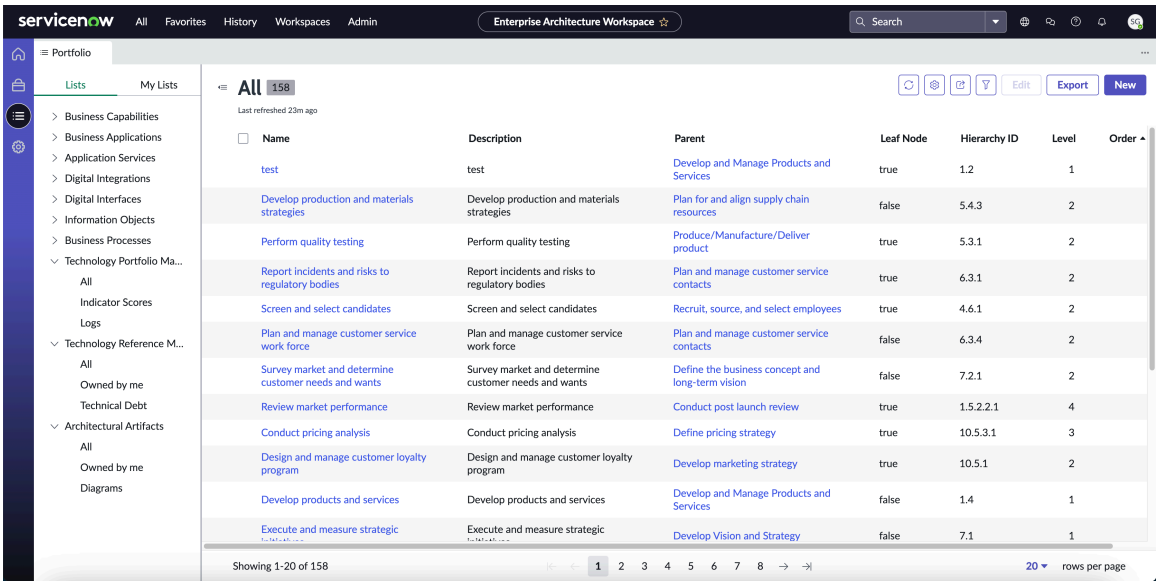
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各カテゴリの下の [自分が所有] セクションには、自分にアサインされたレコードリストが表示されます。フィルターアイコン ( ) をクリックして、適用されたフィールドを確認します。

リストの保存、フィルタリング、エクスポート、またはメール送信が可能です。独自のリストを作成して、[自分のリスト] ページからアクセスすることもできます。

リストビュー



注:
リストビューでは、Application Portfolio Management Digital Integration Management プラグイン (com.snc.apm_digital_integration) がインストールされている場合にのみ、デジタル統合とデジタルインターフェイスが表示されます。[アーキテクチャアーティファクト] の下の [図] は、Lucidchart Integration プラグイン (sn_lcdchart_int) がインストールされている場合にのみリストに表示されます。

リスト

リストビューでは、ポートフォリオのすべてのレコードの概要情報を表示できます。レコードの名前は選択して開くことができます。

リストカテゴリごとに、[すべて] と [自分が所有] の 2 つのサブセクションが表示されます。

- すべて：選択したカテゴリで利用可能なすべてのレコードをリストします。
- 自分が所有：次のように自分にアサインされているレコードが一覧表示されます。
  - オーナー
  - 管理担当者
  - サポート担当者
  - 事業主
  - IT アプリケーションオーナー
  - IT 所有者

次の項目は、 ポートフォリオ>リスト ビュー：

- ビジネス機能
- ビジネスアプリケーション
- アプリケーションサービス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- デジタル統合
- デジタルインターフェイス
- 情報オブジェクト
- ビジネスプロセス
- テクノロジーポートフォリオ管理
- テクノロジー参照モデル製品
- アーキテクチャアーティファクト

テクノロジーポートフォリオ管理リストカテゴリには、[すべて]、[インジケータースコア]、および [ログ] の 3 つのサブセクションがあります

[すべて] テーブルのデータは、TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology] テーブルからフェッチされます。このテーブルは自動的に生成されるため、読み取り専用です。

ログテーブルのデータは、TPM 検出テクノロジーの実行ログ [sn_apm_tpm_discovered_technology_run_log] テーブルからフェッチされます。このテーブルは自動的に生成されるため、読み取り専用です。

自分のリスト

作成したリストは、[自分のリスト] セクションに表示されます。このセクションのリストは、自分だけに表示されます。

リストビューでレコードを編集

リストビューを離れることなく、リストから直接レコードを更新します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
リストビューで、1 つ以上のレコードを変更できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. ポートフォリオリストビューを開きます。
   a. [ポートフォリオ] アイコン ( ) をクリックします。
   b. [プレビューを開く] アイコン ( ) をクリックします。
   c. フィールドの値を変更し、[更新] をクリックします。
3. 複数のレコードを一度に変更します。
   a. リストビューで、変更するすべてのレコードの左側にあるボックスをクリックします。
   b. [編集] をクリックします。

      [プレビュー] ペインが開き、選択したレコード内で編集できるフィールドが表示されます。
   c. フィールドの値を変更し、[更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自分のリストの作成

ワークスペースで独自のフィルター済みリストを作成し、[自分のリスト] タブでアクセスします。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ポートフォリオ] アイコンをクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [自分のリスト] を選択します。
4. [新しいリストを追加] を選択します。
5. 既存のリストから新しいリストを作成するか、まったく新しいリストを作成します。
   - 既存のリストから新しいリストを作成する場合は、[既存リストから作成] を選択し、フォームのフィールドに入力します。

新しいリストフォーム

フィールド	説明
リスト	変更する既存のリスト。メニューには、選択可能な管理者定義のリストがすべて表示されます。
リスト名	リストの名前。デフォルトでは、このフィールドは前のメニューで選択したリストに次のコードを追加します。 `_Copy` 。
列を選択	リストビューに含めるレコードフィールド。選択したリストの列が表示されます。必要に応じて列を追加または削除して、希望するリストを作成します。
フィルターを追加	[自分のリスト] タブに表示されるフィルターを作成するための条件ビルダー。デフォルトでは、選択したリストに適用された条件が表示されます。

   - 何もない状態から新しいリストを作成する場合は、[独自のものを作成 **(Create your own)]** を選択し、フォームのフィールドに入力します。

新しいリストフォーム

フィールド	説明
リスト名	リストの名前。
ソースを選択	レコードの取得元のテーブル。
列を選択	リストビューに含めるレコードフィールド。リストに表示する列を選択します。デフォルトでは、ワークスペースリストビューが存在

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	する場合、このフィールドにはその列から入力されます。ワークスペースリストが存在しない場合、列には選択したテーブルのデフォルトリストビューから入力されます。
フィルターを追加	リストに適用される条件ビルダー。

6. [作成] を選択します。

タスクの結果
リストが [自分のリスト] タブに表示されます。

EA Workspace でビジネス機能を作成する

EA Workspace のポートフォリオリストビューにビジネス機能を追加します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ポートフォリオ] アイコンをクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [ビジネス機能] の横にある [行を展開] アイコン ([ ) を選択します。
4. [すべて] を選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「ビジネス機能フォーム」を参照してください。

7. **[Save** (保存)] を選択します。

ビジネスアプリケーションの追加

組織の機能と遂行するビジネスプロセスに基づいて、組織で導入するアプリケーションを追加します。APM で、コスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクの評価と追跡に使用するビジネスアプリケーションを追加します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

> **注:**
> ユーザーは、エンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

このタスクについて
APM ユーザーロール (sn_apm.apm_user) がある場合は、ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスを使用して、ビジネスアプリケーションを要求、追加、または廃止します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ポートフォリオ] アイコンをクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [ビジネスアプリケーション] の横にある [行を展開] アイコン ([ ) を選択します。
4. [すべて] を選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「ビジネスアプリケーションフォーム」を参照してください。
7. **[Save** (保存)] を選択します。

ビジネスアプリケーションの統合マップの表示

でビジネスアプリケーション エンタープライズアーキテクチャワークスペース の統合マップを表示して、現在のアーキテクチャと関連する参照をよりよく理解します。

始める前に
CMDB Workspace プラグイン (com.snc.cmdb.workspace) (バージョン 4.0.1 以降) がインストールされていることを確認します。

必要なロール:sn_apm.apm_user および sn_cmdb_user

手順

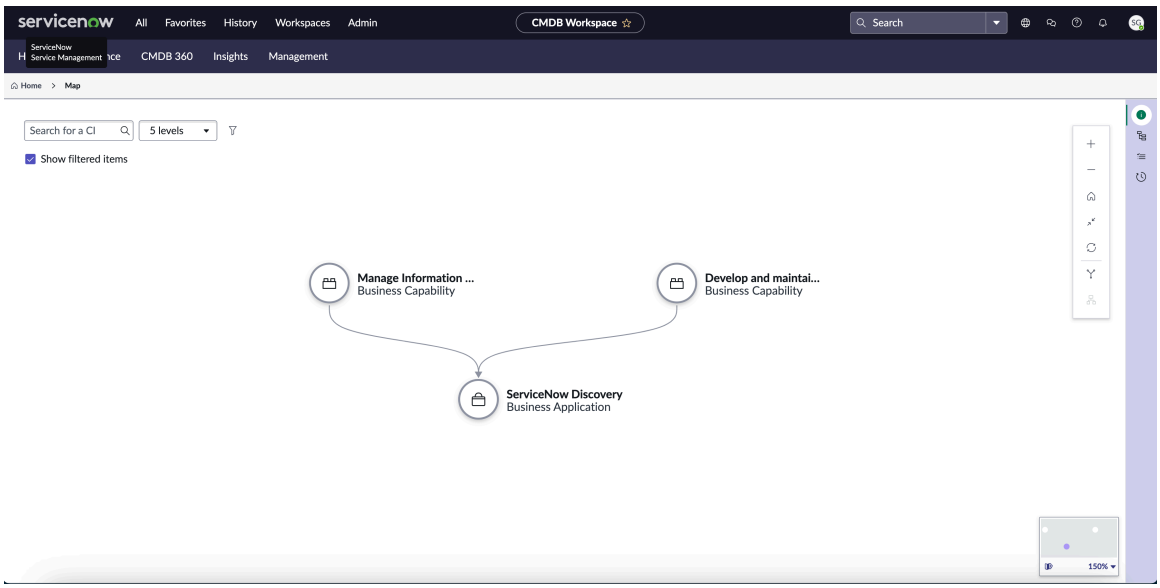
1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ.
2. [ビジネスアプリケーション] を選択します。
3. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。
4. [マップを開く] を選択します。

タスクの結果
EA Workspace バージョン 2.1.1 では、選択したビジネスアプリケーションの統合マップが CMDB Workspace で開きます。統合マップの詳細については、「」を参照してください Unified Map 。

自動翻訳

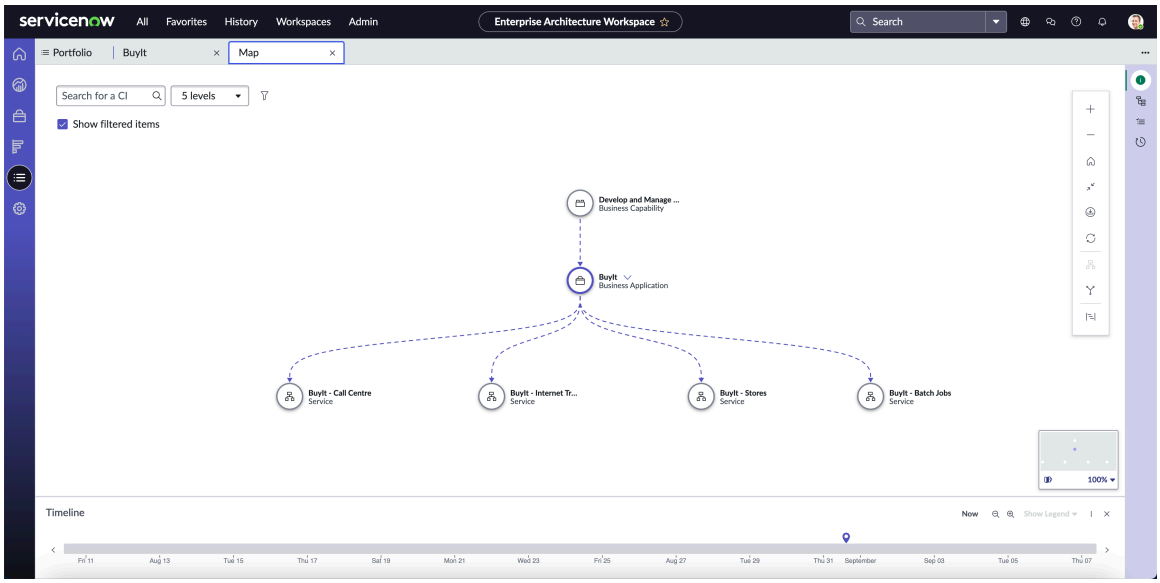
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーション依存関係ビュー



EA Workspace バージョン 2.2.0 以降では、選択したビジネスアプリケーションの統合マップが EA Workspace 内の新しいタブで開きます。

ビジネスアプリケーション依存関係ビュー



EA Workspace から で コア **UI** ビジネスアプリケーションフォームを開く

からEA ワークスペースビジネスアプリケーションフォームコア UIを開き、ビューでAPMビジネスアプリケーションフォームを表示および編集します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ.

2. [ビジネスアプリケーション] を選択します。

3. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [その他のアクション] アイコン ( ) を選択し、[フォームの表示] コア *UI*を選択します。
   フィールドの詳細については、「ビジネスアプリケーションフォーム」を参照してください。

目標を達成するためのビジネスアプリケーションのデマンドを作成する

ビジネスアプリケーションのコスト節減の機会を特定し、目標を達成するためのステップとしてデマンドを使用します。デマンドアクションに関連付ける戦略によって、アプリケーションの戦略が決まります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて
アクション、開始およびターゲットの会計期間、アプリケーション、プログラムなどの詳細をキャプチャするデマンドを作成します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ.
2. [ビジネスアプリケーション] を選択します。
3. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。
4. [その他のアクション] メニュー ([ ) を選択し、[デマンドの作成] を選択します。
5. デマンドフォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「デマンドフォーム」を参照してください。

6. **[Save** (保存)] を選択します。
   アプリケーションを使用して アプリケーションポートフォリオ管理 デマンドを作成するには、「」を参照してください 目標を達成するためのビジネスアプリケーションのデマンドを作成する。

ビジネスアプリケーションのロードマップの表示

ビジネスアプリケーションのロードマップを表示し、組織の戦略に合わせて調整します。ポートフォリオ計画を作成すると、ビジネスアプリケーションの作業を計画、優先順位付け、およびロードマップするのに役立ちます。

始める前に
Strategic Planning プラグイン (com.sn_apw_advanced) (v4.0.2 以降) がインストールされていることを確認します。

必要なロール:sn_apm.apm_user および sn_align_core.apw_user

手順

1. 次のナビゲーションを使用して、[ロードマップを表示] オプションを開きます。
   - [ビジネスポートフォリオ] ページから:
     a. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ビジネスポートフォリオ
     b. ビジネス機能の横にある行を展開アイコン ([を選択します。
     c. ビジネスアプリケーションの行コンテキストメニューアイコン (を選択し、[ロードマップを表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ポートフォリオページから:

  a. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ

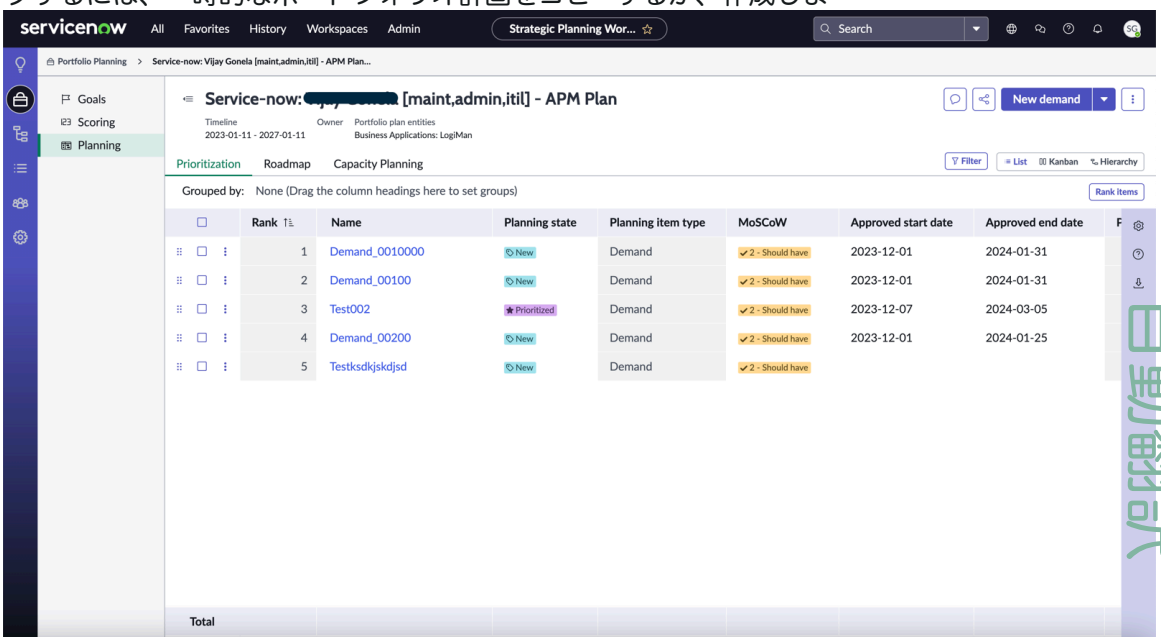
  b. [ビジネスアプリケーション] を選択します。

  c. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。

  d. [その他のアクション] メニュー ( ) を選択し、[ロードマップの表示] を選択します。

Strategic Planning Workspace の [計画] ページに移動します。一時的なポートフォリオ計画が、ビジネスアプリケーションに関連付けられているすべての計画立案アイテムとともに Strategic Planning Workspace に作成されます。

注:
一時的なポートフォリオ計画は、プレビューのみを目的としています。ビジネスアプリケーションの作業を計画、優先順位付け、およびロードマップするには、一時的なポートフォリオ計画をコピーするか、作成します。



自動翻訳

2. オプション: ビジネスアプリケーションのポートフォリオ計画をコピーして、ビジネスアプリケーションの作業を計画、優先順位付け、およびロードマップします。

a. ポートフォリオ計画ヘッダーから、その他のアクションアイコン ( ) を選択し、[ポートフォリオ計画をコピー] を選択します。

b. [ポートフォリオ計画をコピー] ウィンドウで、詳細を入力します。

i. [ポートフォリオ計画名] フィールドにポートフォリオ計画の名前を入力します。

ii. (オプション) [同じユーザーおよびグループと共有] オプションを選択して、ポートフォリオ計画のユーザーにアクセス権を付与します。

c. [確認] を選択します。

または、ビジネス機能レンズを使用して、Strategic Planning Workspace (SPW) で独自のポートフォリオ計画を作成することもできます。詳細については、「Create a portfolio plan in Strategic Planning」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EA Workspace でのアプリケーションサービスの追加

EA Workspace のポートフォリオリストビューでアプリケーションサービスを追加します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ポートフォリオ] アイコンをクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [アプリケーションサービス] の横にある [行を展開] アイコン ([行) を選択します。
4. [すべて] を選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「アプリケーションサービスフォーム」を参照してください。
7. **[Save** (保存)] を選択します。

EA Workspace でのデジタル統合の作成

EA Workspace でデジタル統合を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. ポートフォリオアイコン [ポートフォリオ] アイコンをクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます
3. [デジタル統合] の横にある行を展開アイコン ([を選択します。
4. [すべて] を選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「デジタル統合フォーム」を参照して ください。
7. [保存] を選択します。

EA Workspace でデジタルインターフェイスを作成する

EA Workspace でデジタル統合を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. [ポートフォリオ] アイコンをクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. **[Digital Interfaces]** の横にある [ ) を選択します。
4. [すべて] を選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「デジタルインターフェイスフォーム」を参照してください。
7. **[Save** (保存)] を選択します。

EA Workspace でビジネスアプリケーションの **Lucidchart** 図を作成する

Lucidchart でビジネスアプリケーション階層の図を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けます。

始める前に
次の ServiceNow Store アプリがインストールされていることを確認します。

- Lucidchart Diagramming スポーク
- Lucidchart 統合

Lucid との接続が確立されていることを確認します。詳細については、「 Lucidchart で OAuth 2.0 クライアントを作成する 」および「 Lucidchart Diagramming スポークの接続および資格情報エイリアスを作成する 」を参照してください。

必要なロール: エンタープライズアーキテクトグループのメンバー

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ.
2. [ビジネスアプリケーション] を選択します。
3. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。
4. 「その他のアクション」メニュー(「)を選択し、「 ダイアグラムの作成」を選択します。
5. [図を作成] フォームのフィールドに入力します。

   注:
   [ダイアグラムを作成] ウィンドウの認証リンクを使用して認証トークンを生成し、Lucid フォルダーをフェッチしてダイアグラムを保存します。

   フィールドの詳細については、「ビジネスアプリケーションの [図を作成] フォーム」を参照してください。
6. [ダイアグラムの作成] を選択します。

タスクの結果
送信が成功すると、新しく作成された Lucid 図へのリンクが画面上部に表示されます。リンクを選択すると、図に移動できます。[アーキテクチャアーティファクト] ページには、Lucidchart 図への

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リンクとそれに関連付けられたアーティファクト名が表示されます。それぞれのリンクを選択して、アーティファクトまたは図にアクセスできます。

EA Workspace でビジネス機能の Lucidchart 図を作成する

ビジネス機能マップの図 Lucidchart を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けます。

始める前に

次の ServiceNow Store アプリケーションがインストールされていることを確認します。

- Lucidchart Diagramming スポーク
- Lucidchart 統合

Lucid との接続が確立されていることを確認します。詳細については、「Lucidchart で OAuth 2.0 クライアントを作成する」および「Lucidchart Diagramming スポークの接続および資格情報エイリアスを作成する」を参照してください。

必要なロール: エンタープライズアーキテクトグループのメンバー

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ.
2. [ビジネス機能] を選択します。
3. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。
4. [その他のアクション] メニュー [ ] を選択し、[図の作成] を選択します。
5. [図を作成] フォームのフィールドに入力します。

   注:
   [ダイアグラムを作成] ウィンドウの認証リンクを使用して認証トークンを生成し、Lucid フォルダーをフェッチしてダイアグラムを保存します。

   フィールドの詳細については、「ビジネス機能の図を作成」を参照してください。

6. [ダイアグラムの作成] を選択します。

タスクの結果

送信が成功すると、新しく作成された Lucid 図へのリンクが画面上部に表示されます。リンクを選択すると、図に移動できます。[アーキテクチャアーティファクト] ページには、Lucidchart 図へのリンクとそれに関連付けられたアーティファクト名が表示されます。それぞれのリンクを選択して、アーティファクトまたは図にアクセスできます。

EA Workspace で TRM 製品要求を作成する

新しいソフトウェア製品を ()TRM ライブラリーに含めるテクノロジー参照モデル要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ.
2. [テクノロジー参照モデル製品] を選択します。
3. [製品の要求] を選択します。
4. TRM 製品要求フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドの詳細については、「新規 TRM 製品要求フォームの作成」を参照してください。

5. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果
承認のためにメール通知が承認者に送信されます。承認者はエンタープライズアーキテクトグループに属しています。

関連情報
EA Workspace で TRM 製品ライフサイクル要求を作成する

EA Workspace で TRM 製品を作成する
ソフトウェア製品を テクノロジー参照モデル (TRM) ライブラリーに追加し、組織のライブラリーを管理し TRM ます。

始める前に
ユーザーは、エンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順
1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. ポートフォリオアイコン [ ]を選択して、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [テクノロジー参照モデル製品] の横にある [行を展開] アイコン ([ ) を選択します。
4. [すべて] を選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. TRM 製品フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「新規 TRM 製品フォームの作成」を参照してください。

7. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果
承認要求を送信せずに、レコードを直接作成します。

関連情報
での TRM 製品ライフサイクルの作成 EA ワークスペース

での TRM 製品ライフサイクルの作成 EA ワークスペース
新しい TRM 製品ライフサイクルを作成して、TRM 製品のライフサイクルを追加します。

始める前に
ユーザーは、エンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順
1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ.
2. [テクノロジー参照モデル製品] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. TRM 製品を選択して開きます。
4. **[TRM** 製品ライフサイクル] タブを選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. TRM 製品ライフサイクルフォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「新しい TRM 製品ライフサイクルフォームの作成」を参照してください。

7. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果
TRM 製品のライフサイクルの詳細が追加されます。

関連情報

EA Workspace で TRM 製品を作成する

EA Workspace で **TRM** 製品ライフサイクル要求を作成する

TRM 製品のライフサイクルを作成する新しい要求を追加します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ.
2. [テクノロジー参照モデル製品] を選択します。
3. TRM 製品を選択して開きます。
4. **[TRM** 製品ライフサイクル] タブを選択します。
5. [**Request Lifecycle** (ライフサイクルの要求)] を選択します。
6. TRM 製品ライフサイクル要求フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「新しい TRM 製品ライフサイクル要求フォームの作成」を参照してください。

7. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果
承認のためにメール通知が承認者に送信されます。承認者は、エンタープライズアーキテクトグループに属しています。

関連情報

EA Workspace で TRM 製品要求を作成する

情報オブジェクトを作成

ビジネスアプリケーションの論理データをキャプチャする情報オブジェクトを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

情報オブジェクトを作成し、ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付け、情報オブジェクトをデータベースカタログに関連付けることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. ポートフォリオアイコン [ 、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [情報オブジェクト] の横にある [行を展開] アイコン ([行 ) を選択します。
4. [すべて] を選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「[情報オブジェクトを作成] フォーム」を参照してください。
7. **[Save** (保存)] を選択します。

ビジネスプロセスを作成

ビジネスプロセスは、特定のアプリケーションサービスを遂行するために実行される、構造化された関連タスクの集まりです。特定のアプリケーションサービスの実現を支援するアプリケーションをグループ化するビジネスプロセスを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. ポートフォリオアイコン [ 、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [ビジネスプロセス] の横にある [行を展開] アイコン ([) を選択します。
4. [すべて] を選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「ビジネスプロセスフォームの作成」を参照してください。
7. **[Save** (保存)] を選択します。

でのアーキテクチャアーティファクトの作成 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

アーキテクチャアーティファクトを作成して、ビジネス要件に合わせます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. ポートフォリオアイコン [ 、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [アーキテクチャアーティファクト] の横にある [行を展開] アイコン ([) を選択します。
4. [すべて] を選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「アーキテクチャアーティファクトフォーム」を参照してください。
7. **[Save** (保存)] を選択します。

TCO コストの作成

総所有コストレコードの新しいエントリを作成して、ビジネスアプリケーションのコストを評価します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. ポートフォリオアイコン [、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. **TCO** の横にある行を展開アイコン (行) を選択します。
4. [すべて] を選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「新しい総所有コストフォーム」を参照してください。
7. **[Save** (保存)] を選択します。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの設定

表示するコンポーネントが表示されるようにワークスペースをカスタマイズします。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin and sn_apm.apm_user

このタスクについて
[インサイト]、[概要]、および [健全性] セクションでは、使用しないコンポーネントは非表示にすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > 構成.
2. [APM EA 設定] ページで、非表示または表示するアイテムを選択します。
3. [アクティブ] 列で、**[True]** または **[False]** を選択して、ワークスペースでコンポーネントを表示または非表示にします。

> **注:**
> プラットフォーム分析ワークスペースを使用してビジュアル化設定を作成できます。手順については、「可視化デザイナーで単一スコアによるチャート化を作成する」を参照してください。

[概要] セクションの新しい構成を作成して適用

[概要] セクションのビジュアル化構成を作成し、必要に応じて適用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > 構成.
2. APM EA 構成 ページで、新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい **EA** 設定レコードフォーム

フィールド	説明
名前	構成の名前。
有効	構成をアクティブにして [概要] セクションに表示するオプション。
セクション	構成を作成しているセクション名。
順番	そのセクション内にある他のすべてのカードの順序におけるカードの位置。
構成タイプ	構成のタイプ。[セクション] フィールドが [概要]に設定されている場合、このフィールド値は自動的に [ビジュアル化] に設定されます。
保存済みの可視化	構成の名前。ルックアップアイコン ( ) を選択して、[PAR の可視化] リストから構成を選択します。 **注:** プラットフォーム分析ワークスペースを使用して、ビジュアル化設定を作成して保存できます。手順については、「可視化デザイナーで単一スコアによるチャート化を作成する」を参照してください。
アクセスを管理	選択したユーザーとユーザーグループにアクセス権を付与するオプション。ユーザーまたはグループのロックアイコン ( ) を選択して、ユーザーまたはグループを追加します。

[インサイト] セクションの [ビジネスポートフォリオ] タブにカード (同じ機能階層レベルのビジネスアプリケーション) を追加するためのサンプル構成スクリプト:

```
responseFromScript();

function responseFromScript() {

   return {

  "title":{

    "label":"Test insight card",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "size":"sm",
    "lines":2
  },
  "count":"6",
  "description":{
    "label":"6 testing description",
    "lines":2
  },
  "countLabel":"test count",
  "buttonLabel":"View list",
  "buttonTooltip":"View list for Business applications at the same capability hierarchy level",
  "border":{
    "color":"brown",
    "variant":"secondary"
  },
  "highlightedHeader":{
    "label":"Business Portfolio",
    "icon":"bag-outline"
  },
  "navigation":{
    "route":"list",
    "title":"Business applications at the same capability hierarchy level",
    "fields":{
      "table":"cert_follow_on_task",
      "listTitle":"Business applications at the same capability hierarchy level"
    },
    "params":{
      "query":"sys_created_on>=2022-12-15
11:36:37^audit.sys_id=ae25162c3ba20300028fe79c83efc492^state=1",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "listView":""
    }
  },
  "displayText":"6 Business applications at the same capability hierarchy level"
};
}
```

4. [送信] を選択します。

[健全性] または [インサイト] セクションの新しい構成を作成して適用

[健全性] または [インサイト] セクションの構成を作成し、必要に応じて適用します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > 構成.
2. APM EA 構成 ページで、新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい **EA** 設定レコードフォーム

フィールド	説明
名前	構成の名前。
有効	構成をアクティブにして [健全性] または [インサイト] セクションに表示するオプション。
セクション	構成を作成しているセクション名。
順番	そのセクション内にある他のすべてのカードの順序におけるカードの位置。
構成タイプ	構成のタイプ。[セクション] フィールドが次のいずれかに設定されている場合、このフィールド値は自動的に [スクリプト] に設定されます。 ○ 健全性 ○ インサイト：アプリケーションポートフォリオ ○ インサイト：ビジネスポートフォリオ ○ インサイト：情報ポートフォリオ ○ インサイト：技術ポートフォリオ
構成スクリプト	構成のスクリプト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクセスを管理	選択したユーザーとユーザーグループにアクセス権を付与するオプション。ユーザーまたはグループのロックアイコンをクリックして、ユーザーまたはグループを追加します。

[健全性] セクションにカード (未評価のビジネス機能) を追加するサンプル構成スクリプト：

```
function responseFromScript(filters) {

 return {"count":74,"percentage":"45","subtext":"45% of all
 Capabilities","query":"sys_idIN016d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee4,016d2c3d18400300964f
2ff0d21a4eeb,016d6c3d18400300964f2ff0d21a4e00,016d6c3d18400300964f2ff0d21a4e0b,016
d6c3d18400300964f2ff0d21a4e0e,056d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee2,056d2c3d1840030096
4f2ff0d21a4ee9,056d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef7,056d6c3d18400300964f2ff0d21a4e13,09
6d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee0,096d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef5,096d2c3d184003009
64f2ff0d21a4efc,096d6c3d18400300964f2ff0d21a4e03,0d6d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee5,0
d6d2c3d18400300964f2ff0d21a4eec,0d6d2c3d18400300964f2ff0d21a4efa,0d6d6c3d18400300
964f2ff0d21a4e08,116d6c3d18400300964f2ff0d21a4e23,156d6c3d18400300964f2ff0d21a4e21
,343ab8b1c172d700964f1c9d9204dfc4,3df0ce8111f01300964fb19f04b5016c,3eaa9061870821
10cb387406dabb3502,416d2c3d18400300964f2ff0d21a4eee,416d2c3d18400300964f2ff0d21a
4efc,416d6c3d18400300964f2ff0d21a4e03,416d6c3d18400300964f2ff0d21a4e0a,456d2c3d184
00300964f2ff0d21a4ef3,4ad8bca987482110cb387406dabb3548,4d6d2c3d18400300964f2ff0d2
1a4ef6,596d6c3d18400300964f2ff0d21a4e22,5d6d6c3d18400300964f2ff0d21a4e19,816b418b
876f1110cb387406dabb3548,816d2c3d18400300964f2ff0d21a4eea,816d2c3d18400300964f2ff
0d21a4ef8,816d2c3d18400300964f2ff0d21a4eff,856d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee1,856d2c
3d18400300964f2ff0d21a4ee8,856d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef6,896d2c3d18400300964f2f
f0d21a4ee6,896d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef4,896d6c3d18400300964f2ff0d21a4e02,896d6
c3d18400300964f2ff0d21a4e09,896d6c3d18400300964f2ff0d21a4e10,8d6d2c3d18400300964f
2ff0d21a4ee4,8d6d2c3d18400300964f2ff0d21a4eeb,8d6d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef2,8d6
d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef9,8d6d6c3d18400300964f2ff0d21a4e00,916d6c3d1840030096
4f2ff0d21a4e22,956d6c3d18400300964f2ff0d21a4e19,a770d85187046110cb387406dabb3540,
c16d2c3d18400300964f2ff0d21a4eed,c16d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef4,c16d2c3d1840030
0964f2ff0d21a4efb,c4c7273087442110cb387406dabb3520,c56d2c3d18400300964f2ff0d21a4e
e4,c56d2c3d18400300964f2ff0d21a4eeb,c56d6c3d18400300964f2ff0d21a4e00,c56d6c3d1840
0300964f2ff0d21a4e0e,c96d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee2,c96d2c3d18400300964f2ff0d21a
4ee9,c96d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef0,c96d2c3d18400300964f2ff0d21a4efe,c96d6c3d184
00300964f2ff0d21a4e05,c96d6c3d18400300964f2ff0d21a4e13,cd6d2c3d18400300964f2ff0d21
a4ee7,cd6d2c3d18400300964f2ff0d21a4eee,d16d6c3d18400300964f2ff0d21a4e1e,d56d6c3d1
8400300964f2ff0d21a4e15,d56d6c3d18400300964f2ff0d21a4e1c,dd026ed887d82110cb38740
6dabb3548,dd6d6c3d18400300964f2ff0d21a4e18,ed4b175c87902110cb387406dabb3553,efbf
3eb187bb11102f631f473cbb3571","table":"cmdb_ci_business_capability","listView":"business
_capability_apm_view","icon":"exclamation Fill"}

}
```

[インサイト] セクションのアプリケーションポートフォリオ、ビジネスポートフォリオ、または情報ポートフォリオにカードを追加するサンプル構成スクリプト:

```
months - selected upto months filter

showProd - show only production filter



responseFromScript(months, showProd);
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
function responseFromScript(months, showProd) {

   var currentDateTime = new GlideDateTime();
   currentDateTime.addMonthsLocalTime(months);
   var queryDate = currentDateTime.getLocalDate();
   var query = "technology_lifecycle.earliest_lifecycle_date<=javascript:gs.dateGenerate('" +
queryDate + "','start')"; if (showProd) {
      query = query + "^business_service.used_for=Production";
   }
   var productInventoryGR = new GlideAggregate('sn_apm_tpm_discovered_technology');
   productInventoryGR.addEncodedQuery(query);
   productInventoryGR.addAggregate("count(distinct",
'technology_lifecycle.hardware_model');
   productInventoryGR.setGroup(false);
   productInventoryGR.query();
   if (productInventoryGR.next()) {
      hwProductsCount = productInventoryGR.getAggregate("count(distinct",
'technology_lifecycle.hardware_model');
   }
   if (hwProductsCount > 0) {
      var hpRiskDesc = gs.getMessage("by {0}", [queryDate]);
      return {
         'title': {
            'label': gs.getMessage("Hardware models with lifecycle risk"),
            'size': "sm",
            'lines': 2
         },
         'count': hwProductsCount,
         'description': {
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            'label': hpRiskDesc,
            'lines': 2
        },
        'countLabel': gs.getMessage("Hardware models count"),
        'buttonLabel': gs.getMessage("View list"),
        'buttonTooltip': gs.getMessage("View list for hardware models with lifecycle risk"),
        'border': this.cardDetails[3].border,
        'highlightedHeader': this.cardDetails[3].header,
        'navigation': {
            "route": "list",
            "title": gs.getMessage("Hardware models with lifecycle risk"),
            "fields": {
                "table": "sn_apm_tpm_discovered_technology",
                "listTitle": gs.getMessage("Hardware models with lifecycle risk")
            },
            "params": {
                "query": query + "^ORDERBYtechnology_lifecycle.earliest_lifecycle_date",
                "listView": ""
            }
        },
        'ariaLabel': {
            "aria-label": gs.getMessage("View list for hardware models with lifecycle risk")
        }
    };
  }
  return false;
}
```

4. [Submit (送信)] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの **TPM** データの更新

ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスのソフトウェアおよびハードウェアモデルのサポート終了日、延長サポート終了日、提供終了日を含む TPM ライフサイクルデータを手動で更新します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
選択したビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの TPM ライフサイクルデータを手動で更新できます。スケジュール設定済みジョブは、すべてのビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスのライフサイクルデータを更新するために、スケジュール済みまたは *`Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles`* オンデマンドで実行することもできます。

注:
ソフトウェア製品のデータは、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーションポートフォリオ管理 > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ワークスペースのホーム.
2. ポートフォリオアイコン ( ) をクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [概要] を展開し テクノロジーポートフォリオ管理 て選択します。
4. ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスのリンクを選択して開きます。
5. 3ドットメニュー(3)を選択し、[**TPM**データの更新]を選択します。

タスクの結果
オンデマンドジョブが TPM データの更新を開始します。

関連情報
- TPM ライフサイクルデータを生成するジョブをスケジュールする
- スケジュール設定済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する

エンタープライズアーキテクチャワークスペース 参照

フィールドの説明、ユーザーロール、テーブル、ガイドライン、ドメイン分離情報などの詳細を提供する エンタープライズアーキテクチャワークスペース 参照トピック。

ビジネスアプリケーションの [図を作成] フォーム

エンタープライズアーキテクトは、ビジネスアプリケーション階層を使用して Lucidchart 図を作成し、それをアーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。

[図を作成] フォームフィールド

フィールド	説明
図の名前	図の名前。
図のタイプ	図のタイプ。次のいずれかになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	• ビジネスアプリケーション階層 • ビジネス機能マップ このフィールドは、ビジネスアプリケーションまたはビジネス機能ビューから図を作成すると自動入力されます。
作図ツール	図の作成に使用するツール。このフィールドは自動的に **[Lucidchart]** に設定されます。
ビジネスアプリケーション	図を作成しているビジネスアプリケーションの名前。 このフィールドは、ビジネスアプリケーションビューから図を作成すると自動入力されます。
アーティファクトへのリンク	図を関連付けるアーティファクト。 次のオプションを使用します。 • なし：図を表示するが、アーティファクトに関連付けない場合に選択します。 • 新しいアーティファクト：アーティファクトを作成し、図を関連付ける場合に選択します。 • 既存のアーティファクト：既存のアーティファクトに図を関連付ける場合に選択します。
アーティファクト名	アーティファクトの名前。このフィールドは、[アーティファクト] フィールドで [新しいアーティファクト] または [既存のアーティファクト] が選択されている場合にのみ表示されます。
エンティティ	チャートに含まれるエンティティ。 図に含める次の項目を選択します。 • アプリケーションサービス:サーバー (ハードウェアモデルまたはソフトウェア製品) • ビジネスケイパビリティ • デマンド • デジタル統合 • デジタルインターフェイス • 情報オブジェクト • プロジェクト管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [プロジェクト] オプションは、PPM Standard プラグインがインストールされている場合に使用できます。
フォルダ	Lucid フォルダーの名前。図を保存するフォルダを選択します。

関連情報

EA Workspace でビジネスアプリケーションの Lucidchart 図を作成する

ビジネス機能の図を作成

エンタープライズアーキテクトは、ビジネス機能マップを使用して Lucidchart 図を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。

[図を作成] フォームフィールド

フィールド	説明
図の名前	図の名前。
図のタイプ	図のタイプ。次のいずれかになります。 • ビジネスアプリケーション階層 • ビジネス機能マップ このフィールドは、ビジネスアプリケーションまたはビジネス機能ビューから図を作成すると自動入力されます。
ビジネスアプリケーションを含みます	ビジネスアプリケーションを含めるオプション。
すべてのビジネスケイパビリティ	図にすべてのビジネス機能マップに含めるオプション。
ビジネス機能	図を作成するビジネス機能のリスト。複数の機能を検索して追加できます。 注: 前の手順で [すべてのビジネス機能] のチェックボックスをオンにした場合、このフィールドは表示されません。
作図ツール	図の作成に使用するツール。このフィールドは自動的に **[Lucidchart]** に設定されます。
アーティファクトへのリンク	図を関連付けるアーティファクト。 次のオプションを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• なし：図を表示するが、アーティファクトに関連付けない場合に選択します。 • 新しいアーティファクト：アーティファクトを作成し、図を関連付ける場合に選択します。 • 既存のアーティファクト：既存のアーティファクトに図を関連付ける場合に選択します。
アーティファクト名	アーティファクトの名前。このフィールドは、[アーティファクト] フィールドで [新しいアーティファクト] または [既存のアーティファクト] が選択されている場合にのみ表示されます。
フォルダ	Lucid フォルダーの名前。図を保存するフォルダを選択します。フォルダを選択すると、そのサブフォルダが表示されます。

関連情報

EA Workspace でビジネス機能の Lucidchart 図を作成する

新規 **TRM** 製品要求フォームの作成

新しいソフトウェア製品を TRM ライブラリーに加える新しい要求を作成します。承認のためにメール通知が承認者に送信されます。承認者は、エンタープライズアーキテクトグループに属しています。

TRM 製品フォームフィールド

フィールド	説明
数値	製品要求に対して自動生成された一意な識別番号。
公開者	ソフトウェア製品の公開者。[会社] ページから公開者を検索して選択します。
新製品である	新製品かどうかを指定するオプション。
要求された TRM フェーズ	製品のフェーズ。次の選択リストを使用します。排除:投資:維持 • 承認済み • 制約付きで承認 • 売却 • 評価 • 未承認
カテゴリ	製品のカテゴリ。[TRM カテゴリ] ページからカテゴリを検索して選択します。
ソフトウェア製品	ソフトウェアの名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	製品要求に関する説明。
ビジネス上の根拠	製品要求のビジネス上の根拠。

関連情報

EA Workspace で TRM 製品要求を作成する

新規 **TRM** 製品フォームの作成

エンタープライズアーキテクトは、新しいソフトウェア製品を TRM ライブラリに追加できます。承認要求を送信せずに、レコードを直接作成します。

TRM 製品フォームフィールド

フィールド	説明
公開者	ソフトウェア製品の公開者。[会社] ページから公開者を検索して選択します。
カテゴリ	製品のカテゴリ。[TRM カテゴリ] ページからカテゴリを検索して選択します。
名前	TRM 製品の名前。
TRM フェーズ	製品のフェーズ。次の選択リストを使用します。 • 承認済み • 制約付きで承認 • 売却 • 評価 • 未承認
投資の方向	投資の目的。次の選択リストを使用します。 • 売却 • 排除済み • 投資 • 保守
ビジネス上の根拠	製品要求のビジネス上の根拠。

関連情報

EA Workspace で TRM 製品を作成する

新しい **TRM** 製品ライフサイクルフォームの作成

TRM 製品の新しいライフサイクルを追加します。承認要求を送信せずに、レコードを直接作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRM 製品ライフサイクルフォームのフィールド

フィールド	説明
TRM 製品	TRM 製品の名前。TRM 製品ページから製品を検索して選択します。
バージョン	TRM 製品のバージョン。
エディション	TRM 製品のエディション。標準またはエンタープライズのいずれか。
TRM フェーズ	製品のフェーズ。TRM フェーズのページからフェーズを検索して選択します。
フェーズ開始日	製品ライフサイクルのフェーズ開始日。
フェーズ終了日	製品ライフサイクルのフェーズ終了日。
説明	製品ライフサイクル要求に関する説明。

関連情報

での TRM 製品ライフサイクルの作成 EA ワークスペース

新しい TRM 製品ライフサイクル要求フォームの作成

TRM 製品のライフサイクルを作成する新しい要求を追加します。承認のためにメール通知が承認者に送信されます。承認者は、エンタープライズアーキテクトグループに属しています。

TRM 製品ライフサイクル要求フォームフィールド

フィールド	説明
数値	製品ライフサイクル要求に対して自動生成された一意な識別番号。
TRM 製品	TRM 製品の名前。製品ページからTRM製品を検索して選択します。
バージョン	TRM 製品のバージョン。
エディション	TRM 製品のエディション。標準またはエンタープライズのいずれか。
要求された TRM フェーズ	製品のフェーズ。[セットアップ] ページ (エンタープライズアーキテクチャワークスペース[セットアップ] > TRM フェーズ>) で定義されているフェーズからフェーズTRMを検索して選択します。
フェーズ開始日	製品ライフサイクルのフェーズ開始日。
フェーズ終了日	製品ライフサイクルのフェーズ終了日。
ビジネスアプリケーション	ビジネスアプリケーションの名前。ビジネスアプリケーションのページからビジネスアプリケーションを検索して選択し、TRM 製品ライフサイクルに関連付けます。
簡単な説明	製品ライフサイクル要求に関する説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ビジネス上の根拠	製品ライフサイクル要求のビジネス上の根拠。これは、承認者が要求をよりよく理解するのに役立ちます。

関連情報

EA Workspace で TRM 製品ライフサイクル要求を作成する

新しいインジケーターフォーム

アプリケーションインジケーターは、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価するビジネス測定基準です。

インジケーターフォームフィールド

フィールド	説明
名前	アプリケーションインジケーターの名前。
カテゴリ	
簡単な説明	アプリケーションインジケーターの簡単なサマリー。
方向	最大値または最小値を持つビジネスアプリケーション。値が小さいほど良好な場合は、[最小化] を選択します。値が大きいほど良好な場合は、[最大化] を選択します。
結果制限	
単位	数値、通貨、時間、期間 (分、時間、日、月、四半期)、またはレート。 要件に従って単位を作成することもできます。
自動リフレッシュ間隔	
順序	
頻度	頻度は、インジケーターソースのデータを収集する間隔を決定します。 [データソース] リストから **[Performance Analytics]** が選択されている場合、[頻度] フィールドは使用できません。
最大ターゲット	インジケーターの最大値。 [データソース] リストから [アセスメント] が選択されている場合、[最大ターゲット] フィールドは使用できません。
有効	[アクティブ] オプションを選択してインジケーターを有効にします。
CI クラス	スコアが生成される CI タイプ。
最小ターゲット	インジケーターの最小値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[データソース] リストから [アセスメント] が選択されている場合、[最小ターゲット] フィールドは使用できません。
絶対値を考慮する	[最大ターゲット] および [最小ターゲット] フィールドの値を考慮するオプション。 このフィールドは、[最大ターゲット] および [最小ターゲット] フィールドに値が入力されている場合にのみ使用可能です。 チェックボックスをオフにすると、最大ターゲットと最小ターゲットの値は、インテリジェントロジックに基づいて考慮されます。
データソース構成	
データソース	このインジケーターのデータ元の場所を定義します。 • **Performance Analytics**：Performance Analytics で作成されたインジケーターからのスコアを収集します。「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。 • カスタムスクリプト：別のアプリケーションからデータを収集するスクリプトを記述できます。[データソース] フィールドの下に、サンプルスクリプトが表示されます。必要に応じてスクリプトをカスタマイズします。 • クエリー条件：フィルターの実行対象にするテーブルを選択して、データを取得できます。 • アセスメント：テーブル内のレコードにアセスメントを行って、レコードを評価、スコアリング、およびランク付けできます。「測定基準タイプの作成とアセスメント可能なレコードの生成」を参照してください。APM 内でサーベイアセスメントの結果を表示するには、「サーベイアセスメントを生成し、APM 内で結果を表示する」を参照してください。 • インジケーター：依存する子インジケーターを追加できます。子インジケーターを介して、親インジケーターにデータが収集されます。 たとえば、親インジケーターが課題の数である場合、依存インジケーターとしてはインシデントの数、不具合の数、および変更の数が考えられます。これらの依存インジケーターは子インジケーターであり、記録されたイン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	シデント、不具合、および変更の数は、課題の数として親インジケーターに集約されます。
インジケーター	[データソース] リストから **[Performance Analytics]** が選択されている場合に、[インジケーター] フィールドが表示されます。 インジケーターは、現在の条件を測定し、傾向を予測するために使用される統計情報です。 **注:** アプリケーションインジケーターの収集頻度が、Performance Analytic インジケーターのデータ生成頻度以下になっていると、エラーメッセージが表示されます。インジケーターの頻度は、常にデータソース構成インジケーターの頻度以上になっている必要があります。詳細については、「PA インジケータースコアデータの収集」を参照してください。
デフォルトブレークダウン	Performance Analytics ブレークダウンの名前。
正規化スクリプト	
コンソリデーション	値を集計するための計算方法。合計、平均、最大、最小などの関数。 デフォルトは [平均] です。たとえば、[平均] は、月次値の合計を四半期の合計月数で割ったものです。 [最大] または [最小] を選択した場合は、それぞれ四半期の月の最大値または最小値になります。 [合計] を選択すると、その四半期のすべての月次値の集計になります。
アセスメント測定基準タイプ	インジケーターの評価に使用される測定基準のタイプ。 [データソース] が [アセスメント] の場合、[アセスメント測定基準タイプ] フィールドが表示されます。
アセスメント測定基準カテゴリ	測定基準のカテゴリ。
クリックスルー	
クリックスルー URL ナビゲーションタイプ	
クリックスルー URL スクリプト	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

EA Workspace でアプリケーションインジケーターを作成する

プロファイルインジケーターフォーム

多くの採点プロファイル内でインジケーターを使用すると、その採点プロファイルに固有のインジケータースコアを生成できます。

プロファイルインジケーターフォーム

フィールド	説明
プロファイル アプリケーションのスコアでの評価	スコアの評価において、選択した採点プロファイルに関係するビジネスアプリケーションを考慮するためのオプション。 チェックボックスをオフにすると、必然的に、企業内のすべてのビジネスアプリケーションまたはすべての採点プロファイルが評価されます。
プロフィール	アプリケーション採点プロファイルの名前。
ドメイン	インジケーターが属するドメイン。
CI スコア計算で使用	アプリケーションスコアの計算でアプリケーションインジケーターを使用するためのオプション。
インジケーター	アプリケーションインジケーターの名前。
重み付け	インジケーターの数値。インジケーターのアプリケーションスコアプロファイルで指定された重み付けは、アプリケーションの合計スコアに寄与します。 採点プロファイル内のすべてのインジケーターの重み付けは、合計で 100 になる必要があります。

サブ機能フォームの作成

サブ機能を作成し、機能階層マップに追加します。

サブ機能フォームフィールドの作成

フィールド	説明
名前	サブ機能の名前。
説明	サブ機能の簡単な説明。
親	作成しているサブ機能の親機能の名前。

関連情報

サブ機能の作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[情報オブジェクトを作成] フォーム

情報オブジェクトは、ビジネスアプリケーションの論理データをキャプチャします。

情報オブジェクトフォームフィールド

フィールド	説明
名前	情報オブジェクトの名前。
データ分類	データのカテゴリ。 情報オブジェクトに適用されている分類タグを表示します。
オーナー	情報オブジェクトを所有するユーザー。
事業部門	情報オブジェクトを所有する事業部門。
部門	実際に情報を所有している事業部門内の部門。
説明	情報オブジェクトの簡単な説明。

関連情報

情報オブジェクトを作成

ビジネス機能フォーム

ビジネス機能は、Application Portfolio Management アプリケーション内で使用される共通テーブルです。

ビジネス機能フォームフィールド

フィールド	説明
名前	ビジネス機能の名前。
親	作成している機能の親機能の名前。
レベル	階層内にある機能のレベル。このフィールドは自動入力され、編集できません。
事業部門	組織構造内の事業部門の名前。
順番	機能階層内の他のすべてのビジネス機能の順序におけるその機能の位置。
部門	組織構造内の部門の名前。
オーナー	ビジネス機能を所有するユーザー。
リーフノード	機能に子機能がない場合に選択するオプション。
階層 ID	機能の階層 ID。このフィールドは、オーダーに基づいて自動入力されます。
説明	ビジネス機能の簡単な説明。

関連情報

EA Workspace でビジネス機能を作成する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合フォーム

デジタル統合は、2 つのビジネスアプリケーション間の統合を表します。

デジタル統合フォームのフィールド

フィールド	説明
登録者ビジネスアプリケーション	統合を登録する登録者ビジネスアプリケーションの名前。
登録者デジタルインターフェイス	統合を登録するデジタルインターフェイスの名前。
プロバイダービジネスアプリケーション	統合を提供するプロバイダービジネスアプリケーションの名前。
新しい プロバイダー デジタルインターフェイス	新しいデジタルインターフェイスを作成するオプション。
プロバイダー デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。
IT 所有者	データ統合の IT オーナーの名前。
説明	デジタル統合についての説明。
デジタル統合名	デジタル統合の名前。 このフィールドは、[登録者ビジネスアプリケーション]、[プロバイダービジネスアプリケーション]、および [デジタルインターフェイス **(Digital Interface)]** フィールドが選択されている場合に自動入力されます。自動入力された名前は変更できます。
タイプ	統合のタイプ。 次のオプションを使用します。 • データ統合 • プロセス統合 • ユーザーインターフェイス統合
サブタイプ	統合のサブタイプ。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [データ統合] を選択した場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します。 • プロセスの構成 • 基盤データ • 構成アイテム • Events • レポート • システムログ
トリガー	統合をトリガーする方法。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	次のオプションを使用します。 • マニュアル • スケジュール済み • プロセス駆動型 • イベント
間隔	統合をトリガーする頻度。 間隔のオプションは次のとおりです。 • 秒 • 分 • 時間 • 日 • 週 • 月 • 四半期 • 年 • オンデマンド • リアルタイム。
事業主	統合のビジネスオーナー。

追加のフィールドは、デジタル統合が作成された後に表示されます。追加フィールドの詳細については、次のリンクを参照してください デジタル統合の更新フォーム。

関連情報

EA Workspace でのデジタル統合の作成

[デマンドの作成] フォーム

ビジネスアプリケーションのコスト節減の機会を特定し、目標を達成するためのステップとしてデマンドを使用します。

[デマンドの作成] フォーム

フィールド	説明
アクション	新しいデマンドに対する対処措置。 注: [アクション] フィールドは、(APM) プラグインが有効化されているときにアプリケーションポートフォリオ管理モジュール内でアプリケーションポートフォリオ管理フォームを起動した場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[デマンドの作成] フォーム (続く)

フィールド	説明
名前	デマンドの名前。
期日	デマンドに要求される完了日。
番号	デマンドに対して自動生成された一意の識別番号。
開始日	デマンドの開始日。
詳細	
ビジネスケイパビリティ	デマンドを関連付ける 1 つ以上のビジネス機能。
ビジネスアプリケーション	デマンドに追加するビジネスアプリケーション。 [ビジネス機能] フィールドで選択した機能に関連しているかどうかに関係なく、企業内の任意のビジネスアプリケーションを選択できます。

関連情報

- バブルチャートを使用してデマンドを作成する
- リストビューを使用してデマンドを作成する

ビジネスアプリケーションフォーム

ビジネスアプリケーションフォームを使用すると、ビジネスアプリケーションを追加して、そのコスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクを評価および追跡できます。

ビジネスアプリケーションフォーム

フィールド	説明
名前	ビジネスアプリケーションの名前。
番号	ビジネスアプリケーションレコードの構成可能なプリフィックスを持つ、自動生成された一意の識別番号。
ビジネスプロセス	アプリケーションが使用されるビジネスプロセス。
アプリケーションタイプ	アプリケーションのタイプ。このフィールドは、アプリケーションがカスタムか商用かを示します。 • 自家製:アプリケーションは社内で構築されています。 • エンドユーザーコンピューティング **(EUC):**アプリケーションは、エンドユーザーが日常のタスクを実行するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 商用オフザシェルフ **(COTS):**アプリケーションは、他社から購入した商用アプリケーションです。 • **SaaS**:アプリケーションは、サードパーティベンダーによって管理されるクラウドアプリケーションです。
公開者	アプリケーションパブリッシャーの名前。
アーキテクチャタイプ	アプリケーションアーキテクチャのタイプ。 • クライアントサーバー：サービスプロバイダーとサービス要求者の間でタスクを分割するアプリケーション構造。 • **N** 層：プレゼンテーション、処理、およびデータ管理が物理的に分離されたレイヤーとして存在するマルチレイヤーアーキテクチャ。 • **Web** ベース:ネットワーク接続を介してアクセスされるアプリケーション。 • その他：その他のタイプのアーキテクチャ。 • プラットフォームホスト：ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 • プラットフォームアプリケーション：プラットフォーム上で実行され、ホストに関連付けることができるアプリケーション。この場合、ビジネスアプリケーションは、開発ツール、実行サービス、データサービスなどの標準操作をプラットフォームに依存して実行します。
プラットフォームホスト	ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 [アーキテクチャタイプ] フィールドで [プラットフォームアプリケーション] 値を選択した場合、このフィールドは必須です。
インストールタイプ	インストールのタイプ。次のオプションを使用します。 • オンプレミス • クラウド • ハイブリッド • サードパーティホスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションフォーム (続く)

フィールド	説明
プラットフォーム	プラットフォームによってホストされるアプリケーション。
事業部門	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている事業部門。
部門	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている部門。
インストール日	アプリケーションがインストールされた日時。
ステータス	アプリケーションの運用ステータス。次のオプションを使用します。 • 実装中 • 稼働中 • パイロット • 廃止 **(Retired)** • 評価中 このフィールドでは監査が有効になっています。したがって、このフィールドの値を更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。
ライフサイクルステージ	アプリケーションのライフサイクルステージ。このフィールドは、[ステータス] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。データは、ライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルからフェッチされます。
アプリケーション採点プロファイル	戦略のアプリケーションスコアを計算するために使用されるプロファイル。
アプリケーションカテゴリ	アプリケーションの目的と機能。この情報を使用して、アプリケーションを合理化または統合します。
アプリケーションファミリ	共通のプラットフォームまたはベンダーを持つ関連アプリケーションのセット。
テクノロジースタック	アプリケーションが構築されたテクノロジースタック。
ユーザーベース	アプリケーションを使用しているユーザーの数。 このフィールドでは監査が有効になっています。したがって、このフィールドのレコードを更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションフォーム (続く)

フィールド	説明
アクティブユーザー数	ユーザーベース全体のうちアクティブなユーザーの数。このフィールドでは監査が有効になっています。
前回変更適用日	アプリケーションが最後に更新された日付。このフィールドでは監査が有効になっています。
アクセシビリティレベル	ビジネスアプリケーションのアクセシビリティレベル。次のオプションを使用します。 • **A** (最低) • **AA** (中程度) • **AAA** (最高)
経過時間 (月)	ビジネスアプリケーションの経過時間 (月単位)。このフィールドは、[インストール済み] フィールドに日付と時刻を入力すると自動入力されます。
説明	アプリケーションの一意の説明です。
モデル ID	ビジネスアプリケーションの製品モデル ID。
契約	
ベンダー	アプリケーションのベンダーの詳細。
サポートベンダー	現在アプリケーションをサポートしているベンダー。
契約終了日	サブスクリプション契約またはサポート契約の有効期限。フィールドの監査が有効になっています。
計画的処分	
計画的処分	ビジネスアプリケーションの計画的な処分。次のオプションを使用します。 • **Invest** (投資) • 維持 • 移行 • 廃止
論拠	予定されている処分の決定の理由。
所有者	
事業主	ビジネス側からのアプリケーションオーナー。アプリケーションごとに、ビジネスオーナーがアサインされている必要があります。
管理担当者	ビジネスアプリケーションを管理するユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションフォーム (続く)

フィールド	説明
管理担当者グループ	ビジネスアプリケーションを管理するユーザーグループ。
IT アプリケーションオーナー	IT 側からのアプリケーションオーナー。 ビジネスアプリケーションには、オーナーがアサインされている必要があります。
最終更新者	アプリケーションレコードを最後に更新した人。
サポート担当者	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザー。
サポートグループ	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザーグループ。
コンプライアンス	
ビジネス上の重要度	ビジネスに対するアプリケーションの重要度を決定します。このフィールドでは監査が有効になっています。
緊急度	緊急時にアプリケーションに対して実行されるアクションまたは計画。
データ分類	アプリケーション内のデータのセキュリティレベル。この属性は、アプリケーションに適用可能な (GRC) ポリシーを決定します ガバナンス、リスク、コンプライアンス 。次のオプションを使用します。 • 機密 • 極秘 • 内部 • 公開 フィールドの監査が有効になっています。
認定	要件を満たすか、組織のポリシーに準拠しているアプリケーションのステータス。
アクティビティ	
作業メモ	自分が入力した作業メモ。

関連情報

ビジネスアプリケーションの詳細の編集

アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォーム

アプリケーションモデルのライフサイクルは、ビジネスアプリケーションのライフサイクルをより適切に管理するのに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォーム

フィールド	説明
モデル	ビジネスアプリケーションのモデル ID。このフィールドは、ビジネスアプリケーションフォームの [モデル **ID**] フィールド値から自動入力されます。
ライフ サイクル タイプ	ライフサイクルのタイプ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 内部 • 公開者
ライフ サイクル フェーズ	ライフサイクルのフェーズ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 延長サポート終了 • 提供終了
ソース	ライフサイクルのソース。このフィールドは、ビジネスアプリケーションフォームから自動生成されます。
説明	アプリケーションライフサイクルの簡単な説明。
フェーズ開始日	ビジネスアプリケーションライフサイクルフェーズの開始日。
フェーズ終了日	ビジネスアプリケーションライフサイクルフェーズの終了日。
リスク	アプリケーションのライフサイクルに関連付けられたリスク。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 非常に高 • 高 • 中 • 低 • なし
アクティブ	ライフサイクルをアクティブ化するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

バブルチャートを使用したビジネスアプリケーションライフサイクルデータの追加

リストビューを使用したビジネスアプリケーションライフサイクルデータの追加

ビジネスアプリケーションフォーム

APM は、システム管理者がビジネスアプリケーションを追加して、そのコスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクを評価および追跡するのに役立ちます。

ビジネスアプリケーションフォームフィールド

フィールド	説明
名前	ビジネスアプリケーションの名前。
数値	ビジネスアプリケーションレコードの構成可能なプリフィックスを持つ、自動生成された一意の識別番号。
ビジネスプロセス	アプリケーションが使用されるビジネスプロセス。
ポートフォリオ	アプリケーションが属するポートフォリオの名前。 このフィールドは、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合に表示されます。
アプリケーションタイプ	アプリケーションのタイプ。このフィールドは、アプリケーションがカスタムか商用かを示します。 • 自家製：社内で構築されたアプリケーションです。 • 商用オフザシェルフ **(COTS):**アプリケーションは、他社から購入した商用アプリケーションです。 • **SaaS**:アプリケーションは、サードパーティベンダーによって管理されるクラウドアプリケーションです。
公開者	アプリケーションパブリッシャーの名前。
アーキテクチャタイプ	アプリケーションアーキテクチャのタイプ。 • クライアントサーバー：サービスプロバイダーとサービス要求者の間でタスクを分割するアプリケーション構造。 • **N** 層：プレゼンテーション、処理、およびデータ管理が物理的に分離されたレイヤーとして存在するマルチレイヤーアーキテクチャ。 • **Web** ベース：ネットワーク接続を介してアクセスされるアプリケーション。 • その他：その他のタイプのアーキテクチャ。 • プラットフォームホスト：ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 • プラットフォームアプリケーション：プラットフォーム上で実行され、ホストに関連付けることができるアプリケーション。 この場合、ビジネスアプリケーションは、開発ツール、実行サービス、データサービスなどの標準操作をプラットフォームに依存して実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プラットフォームホスト	ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 [アーキテクチャタイプ] フィールドで [プラットフォームアプリケーション] 値を選択する場合、このフィールドは必須です。
インストールタイプ	インストールのタイプ。次のオプションを使用します。 • オンプレミス • クラウド • ハイブリッド • サードパーティホスト
プラットフォーム	プラットフォームによってホストされるアプリケーション。
業務部門	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている事業部門。
部門	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている部門。
インストール日	アプリケーションがインストールされた日時。
ステータス	アプリケーションの運用ステータス。次のオプションを使用します。 • 実装中 • 生産中 • パイロット • 廃止 監査が有効になっています。したがって、ユーザーがこのフィールドの値を更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。
ライフサイクルステージ	アプリケーションのライフサイクルステージ。このフィールドは、[ステータス] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。データは、ライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルからフェッチされます。
ライフサイクルステージのステータス	アプリケーションのライフサイクルステージのステータス。このフィールドは、[ステータス] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。データは、ライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルからフェッチされます。
アプリケーション採点プロファイル	戦略のアプリケーションスコアを計算するために使用されるプロファイル。
アプリケーションカテゴリ	アプリケーションの目的と機能。この情報を使用して、アプリケーションを合理化または統合します。
アプリケーションファミリ	共通のプラットフォームまたはベンダーを持つ関連アプリケーションのセット。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テクノロジースタック	アプリケーションが構築されたテクノロジースタック。
ユーザーベース	アプリケーションを使用しているユーザーの数。 監査が有効になっています。したがって、ユーザーがこのフィールドのレコードを更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。
アクティブユーザー数	ユーザーベース全体のうちアクティブなユーザーの数。フィールドの監査が有効になっています。
前回変更適用日	アプリケーションが最後に更新された日付。フィールドの監査が有効になっています。
アクセシビリティレベル	ビジネスアプリケーションのアクセシビリティレベル。次のオプションを使用します。 • A (最低) • AA (中程度) • AAA (最高)
経過時間 (月)	ビジネスアプリケーションの経過時間 (月単位)。このフィールドは、[インストール済み] フィールドに日付と時刻を入力すると自動入力されます。
説明	アプリケーションの一意の説明です。
モデル ID	ビジネスアプリケーションの製品モデル ID。
契約	
ベンダー	アプリケーションのベンダーの詳細。
サポートベンダー	現在アプリケーションをサポートしているベンダー。
契約終了日	サブスクリプション契約またはサポート契約の有効期限。フィールドの監査が有効になっています。
計画的処分	
計画的処分	ビジネスアプリケーションの計画的な処分。次のオプションを使用します。 • 投資 • 維持 • 移行 • 廃止
移行戦略	ビジネスアプリケーションの移行戦略。このフィールドは、[**Planned Disposition**] フィールドで **[Migrate]** が選択されている場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します。 • 再ホスト • 再プラットフォーム化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 再購入 • リファクター
ターゲットビジネスアプリケーション	予定されている処分を追加するビジネスアプリケーションの名前。このフィールドは、[**Planned Disposition**] フィールドで **[Migrate]** が選択されている場合にのみ表示されます。
論拠	予定されている処分の決定の理由。
所有者	
ポートフォリオマネージャー	ポートフォリオのオーナー。通常は IT 部門のメンバーです。 このフィールドは、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) がアクティブ化されている場合に表示されます。
事業主	ビジネス側からのアプリケーションオーナー。アプリケーションごとに、ビジネスオーナーがアサインされている必要があります。
管理担当者	ビジネスアプリケーションを管理するユーザー。
管理担当者グループ	ビジネスアプリケーションを管理するユーザーグループ。
アプリケーションの IT オーナー	IT 側からのアプリケーションオーナー。 ビジネスアプリケーションには、オーナーがアサインされている必要があります。 IT アプリケーションオーナーとして指定されている場合は、自分がオーナーであるすべてのアプリケーションを [自分のアプリケーション] メニューに表示できます。
最終更新者	アプリケーションレコードを最後に更新した人。
サポート担当者	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザー。
サポートグループ	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザーグループ。
コンプライアンス	
ビジネス上の重要度	ビジネスに対するアプリケーションの重要度。フィールドの監査が有効になっています。
緊急時の対応 (Emergency tier)	緊急時にアプリケーションに対して実行されるアクションまたは計画。
データ分類	アプリケーション内のデータのセキュリティレベル。この属性は、アプリケーションに適用可能な Governance, Risk, and Compliance (GRC) ポリシーを決定します。 フィールドの監査が有効になっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
認定	要件を満たしている、または組織のポリシーに準拠しているアプリケーションのステータス。
アクティビティ	
作業メモ	自分が入力した作業メモ。

関連情報

ビジネスアプリケーションの追加

デマンドフォーム

ビジネスアプリケーションのコスト節減の機会を特定し、目標を達成するためのステップとしてデマンドを使用します。

デマンドフォーム

フィールド	説明
アクション	新しいデマンドの対処措置。
名前	デマンドの名前。
カテゴリ	デマンドのカテゴリ。次を使用します。 • 戦略的 • オペレーショナル
タイプ	デマンドのタイプ。次を使用します。 • プロジェクト • 変換なし
番号	デマンドに対して自動生成された一意の識別番号。
開始日	デマンドの開始日。
期日	デマンドに要求される完了日。
詳細	
ポートフォリオ	デマンドのビジネス上の焦点を示すポートフォリオ。
プログラム	デマンドが属するプログラムの名前。
デマンドマネージャー	デマンドマネージャーの名前。
協力者	デマンドに対する編集や貢献が可能なユーザー。デマンド要求者は、任意のユーザーを協力者として選択できます。
部門	デマンドの送信者が属する事業部門内の部門。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 部門を選択しない場合、デフォルト値は送信者が所属する部門の名前になります。
業務部門	デマンドの送信者が属する事業部門。
影響を受ける事業部門	送信されたデマンドの影響を受ける事業部門。
ビジネス機能	デマンドを関連付ける 1 つ以上のビジネス機能。
ビジネスアプリケーション	デマンドを関連付ける 1 つ以上のビジネスアプリケーション。[ビジネス機能] フィールドで選択した機能に関連しているかどうかに関係なく、企業内の任意のビジネスアプリケーションを選択できます。

関連情報

ビジネスアプリケーションに関連付けられたデマンドを編集する

プロジェクトフォームの編集

アプリケーションの合理化を使用して、ビジネスアプリケーションに関連付けられた既存のプロジェクトの詳細を編集します。

プロジェクトフォームの編集

フィールド	説明
プロジェクト名	プロジェクトにアサインされた名前。
番号	デマンドの一意の識別番号。
スケジュール	プロジェクトに関連付けられたスケジュール。
ポートフォリオ	プロジェクトが属するポートフォリオ。
プログラム	プロジェクトが関連付けられているプログラム。
計算	プロジェクトに関連付けられた計算方法のタイプ。次を使用します。 • 自動 **(Automatic)** • 手動
計画された期間	プロジェクトの予定期間 (日数および時間単位)。
ステータス	プロジェクトのステータス。次を使用します。 • 処理待ち • オープン • 対応中 • 完了してクローズ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
プロジェクトマネージャー	プロジェクトマネージャーの名前。
説明	プロジェクトの簡単な説明。
ビジネスアプリケーション	プロジェクトを関連付ける 1 つ以上のビジネスアプリケーション。[ビジネス機能] フィールドで選択した機能に関連しているかどうかに関係なく、企業内の任意のビジネスアプリケーションを選択できます。
ビジネス機能	プロジェクトを関連付ける 1 つ以上のビジネス機能。

関連情報

ビジネスアプリケーションに関連付けられたプロジェクトを編集する

デジタルインターフェイスフォーム

デジタルインターフェイスはビジネスアプリケーションの一部として提供されますが、単独でも使用できます。インターフェイスは、他のビジネスアプリケーションがアプリケーションとやり取りする方法を提供します。

デジタルインターフェイスフォームフィールド

フィールド	説明
名前	デジタルインターフェイスの名前。
数値	デジタルインターフェイスの数。このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。
プロバイダービジネスアプリケーション	統合を提供するプロバイダービジネスアプリケーションの名前。
インターフェイスタイプ	インターフェイスで使用される API のタイプ。 次のオプションを使用します。 • オープン API • パートナー API • 内部 API
親	親インターフェイス名。
バージョン	インターフェイスのバージョン。
ライフサイクルステージ	インターフェイスのライフサイクルステージ。
ライフサイクルステージステータス	インターフェイスのライフサイクルステージステータス。
モデル ID	インターフェイスのモデル ID。
説明	デジタルインターフェイスの説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
所有者	
事業主	デジタルインターフェイスのビジネスオーナー。
IT 所有者	デジタルインターフェイスの IT オーナー。
サポート担当者	インターフェイスをサポートするユーザー名。
サポート済みグループ	インターフェイスをサポートするグループ名。
機能的	
プロトコル	インターフェイスで使用されるプロトコルのタイプ。選択肢には、REST、SOAP、LDAP などがあります。
メッセージ形式	インターフェイスのメッセージの形式。選択肢には、JSON、XML、CSV などがあります。
認証	
認証タイプ	インターフェイスの認証に使用される認証のタイプ。 次のオプションを使用します。 • 基本認証 • OpenID Connect • 証明書 • WS-Security を使用 • LDAP • なし • その他
認証タイプ	インターフェイスの認可に使用される認可のタイプ。 次のオプションを使用します。 • OAuth 2.0 トークン • JWT Web トークン • SAML 2.0 トークン • その他 • 認証なし
アクティビティ	
作業メモ	インターフェイスに関するコメント。

関連情報

EA Workspace でデジタルインターフェイスを作成する

ビジネスプロセスフォームの作成

アプリケーションサービスの実行を支援するアプリケーションをグループ化するビジネスプロセス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスプロセスフォームフィールド

フィールド	説明
ビジネスプロセス	
名前	ビジネスプロセスの一意の名前。
親	親ビジネスプロセス **注:** 親プロセスが存在する場合は、ビジネスプロセスの階層が作成されます。
レビュー頻度	ビジネスプロセスをレビューする頻度。
説明	ビジネスプロセスの簡単な説明。
所有権	
管理担当者グループ	このビジネスプロセスを維持するグループ。
承認グループ	ビジネスプロセスをレビューおよび承認するグループ。
オーナー	ビジネスプロセスを担当するユーザー。このユーザーは、 グループによる管理のメンバーです。
ビジネスへの影響度	
宣言された事業上の重要度	主観的アセスメントに基づくビジネスプロセスの重要性。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **1-** 最重要 • **2-** ある程度重要 • **3-** やや重要 • **4-** 重要ではない
機密性への影響度	機密性の損失のリスクのリスク評価。機密性の損失は機密情報の漏洩につながります。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 高 • 中 • 低
可用性への影響度	可用性の損失のリスクのリスク評価。システムが使用できない場合、意思決定の遅延、ビジネスの中断、収益の損失、および顧客の不満の原因になる可能性があります。使用可能なオプションは、次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 高 • 中 • 低
重大に判断されたビジネス	サブプロセスのアセスメントに基づいた、このビジネスプロセスの計算された重要度。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **1-** 最重要 • **2-** ある程度重要 • **3-** やや重要 • **4-** 重要ではない
完全性への影響度	完全性への影響度のリスクのリスク評価。完全性への影響度は、ブランド、評判、および人に対する罰金や損害など、ビジネスと従業員に影響を与えます。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **1- High** • **2- Medium** • **3 -** 低

関連情報

ビジネスプロセスを作成

アプリケーションサービスフォーム

アプリケーションサービスは、組織にサービスを提供するように構成されている、相互接続された一連のアプリケーションとホストです。アプリケーションサービスは、社内メールシステムのような内部向け、または組織の Web サイトのような顧客向けにすることができます。

アプリケーションサービスフォームのフィールド

フィールド	説明
キーの属性	
名前	アプリケーションサービスの名前。
ロケーション	アプリケーションサービスの場所を設定します。
簡単な説明	アプリケーションサービスの一意の説明。
作成日時	このフィールドは編集不可能なフィールドです。
作成者	このフィールドは編集不可能なフィールドです。
更新日時	このフィールドは編集不可能なフィールドです。
更新者	このフィールドは編集不可能なフィールドです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
サポートグループ	アプリケーションサービスをサポートするユーザーグループの名前。
サポート担当者	アプリケーションサービスをサポートするユーザーの名前。
管理担当者	アプリケーションサービスを管理するユーザーの名前。
管理担当者グループ	アプリケーションサービスを管理するユーザーグループの名前。
環境	開発、本番、テストなどの環境の名前。
会社	会社の名前
メーカー	メーカーの名前。
モデル ID	サービスに関連付けられたモデル ID。
モデル番号	モデルの番号。
カテゴリ	このフィールドは、ビジネスサービスとして自動入力されます。
サブカテゴリ	このフィールドは [サービス] として自動入力されます。
部門	部門の名前。
ディスカバリー属性	
検出ソース	アプリケーションサービスの検出ソース。
最初の検出	最初の検出日を選択します。
最新の検出	最新の検出日を選択します。
相関 ID	相関 ID を入力します。
同期をスキップ	同期をスキップする場合に選択するオプション。これは読み込み専用フィールドです。
運用属性	
ライフサイクルステージ	アプリケーションサービスのライフサイクルステージを選択します。
ライフサイクルステージステータス	ライフサイクルステージのステータスを選択します。
外部審査者	証明したユーザーの名前。
外部審査日	証明書が行われた日付。
証明書ステータス	証明書の状態を [証明済み] または [却下] として選択します。
インストールステータス	予定されている処分の決定の理由。
運用ステータス	アプリケーションサービスの運用ステータスを選択します。
不具合発生回数	不具合発生回数の数。
メンテナンススケジュール	メンテナンススケジュールの名前。
スケジュール	メンテナンスのスケジュールを選択します。
検証を要求	検証を要求するために選択するオプション。これは読み込み専用フィールドです。
その他の属性	
完全修飾ドメイン名	アプリケーションサービスの完全修飾ドメイン名。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
MAC アドレス	MAC アドレスを入力します。
シリアル番号	シリアル番号を入力します。
DNS ドメイン	DNS ドメインを入力します。
属性	属性名を入力します。
コメント	コメントを追加します。
監視	モニターを選択するオプション。
印刷可能	詳細を印刷するオプション。

関連情報

EA Workspace でのアプリケーションサービスの追加

新しい総所有コストフォーム

アプリケーション TCO は、エンタープライズアーキテクトがビジネスアプリケーションのコストを評価し、アプリケーションポートフォリオに優先順位を付けるのに役立ちます。

総所有コストフォーム

フィールド	説明
ビジネスアプリケーション	総所有コストを作成するビジネスアプリケーションの名前。
原価費目	TCO 計算で使用される原価費目。
コスト	通貨タイプを選択し、ビジネスアプリケーションのコストを入力します。
会計期間	総所有コストを計算する会計期間を選択します。
請求日	請求の日付を選択します。
参照	参照の詳細を入力します。
ベンダー	ビジネスアプリケーションのベンダーを選択します。
ソース	TCO のソースを選択します。
ソース原価費目	TCO のソースで定義されている原価費目を選択します。このフィールドは、[ソース] フィールドでソースが選択されている場合にのみ編集できます。
簡単な説明	TCO の説明。

の [セットアップ] ページの概要 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

の [セットアップ] ページ エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用すると、エンタープライズアーキテクトは EA Workspace 内で機能を構成 アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) できます。

次のカテゴリを設定できます。

アプリケーションカテゴリ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションカテゴリは、目的と機能、フィールド、またはエリアによってアプリケーションをグループ化したものです。このような分類は、アプリケーションの統合と、意思決定の合理化に役立ちます。アプリケーションカテゴリを作成することも、既存のカテゴリを編集してビジネス要件に適応させることもできます。アプリケーションカテゴリを作成するには、「」を参照してください EA Workspace でのアプリケーションカテゴリの作成。

アプリケーションカテゴリグループ

アプリケーションカテゴリグループは、アプリケーションカテゴリのコレクションです。カテゴリグループは、アプリケーションカテゴリのフィルタリングとレポートに役立ちます。アプリケーションカテゴリグループを作成するには、「」を参照してください EA Workspace でのアプリケーションカテゴリグループの作成。

アプリケーションファミリー

アプリケーションファミリは、製品のメーカー分類に基づいて一連の関連アプリケーションを製品スイートにグループ化するための属性です。アプリケーションファミリを作成するには、「」を参照してください EA Workspace でアプリケーションファミリーを作成する。

インジケーター

アプリケーションインジケーターは、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価するビジネス測定基準です。アプリケーションインジケータを作成するには、次を参照してください EA Workspace でアプリケーションインジケーターを作成する。

採点プロファイル

アプリケーションスコアは、アプリケーションを評価し、戦略的な決定を下す際に役立ちます。採点プロファイルを作成するには、「」を参照してください 新しい採点プロファイルを作成。

TRM フェーズ

TRM 製品の TRM フェーズを定義します。相の色と形状は、TRM 製品の相を表すために使用されます。TRM フェーズを作成するには、「」を参照してください テクノロジー参照モデル (TRM) フェーズの作成。

TRM カテゴリ

TRM カテゴリは、目的と機能によって TRM ソフトウェア製品をグループ化したものです。この分類は、TRM 製品の統合と意思決定の合理化に役立ちます。TRM カテゴリを作成することも、既存のカテゴリを編集してビジネス要件に適応させることもできます。カテゴリを定義することも、Software Asset Management 製品分類に依存することもできます。TRM カテゴリを作成するには、「」を参照してください テクノロジー参照モデル EA Workspace で (TRM) カテゴリを作成する。

情報データドメイン

データドメインは、情報オブジェクトのコレクションです。情報オブジェクトをデータベースインスタンスのデータベースカタログに関連付けて、物理データを収集します。ServiceNow Discovery は、データベースのインスタンスで検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースを一覧表示するデータベースカタログを検索します。データドメインを作成するには、「」を参照してください EA Workspace でデータドメインを作成する。

アーキテクチャアーティファクトカテゴリ

アーキテクチャアーティファクトカテゴリを使用すると、アーティファクトの分類と管理をより効率的に行うことができます。アーキテクチャアーティファクトカテゴリを作成するには、「」を参照してください EA Workspace でのアーキテクチャアーティファクトカテゴリの作成。

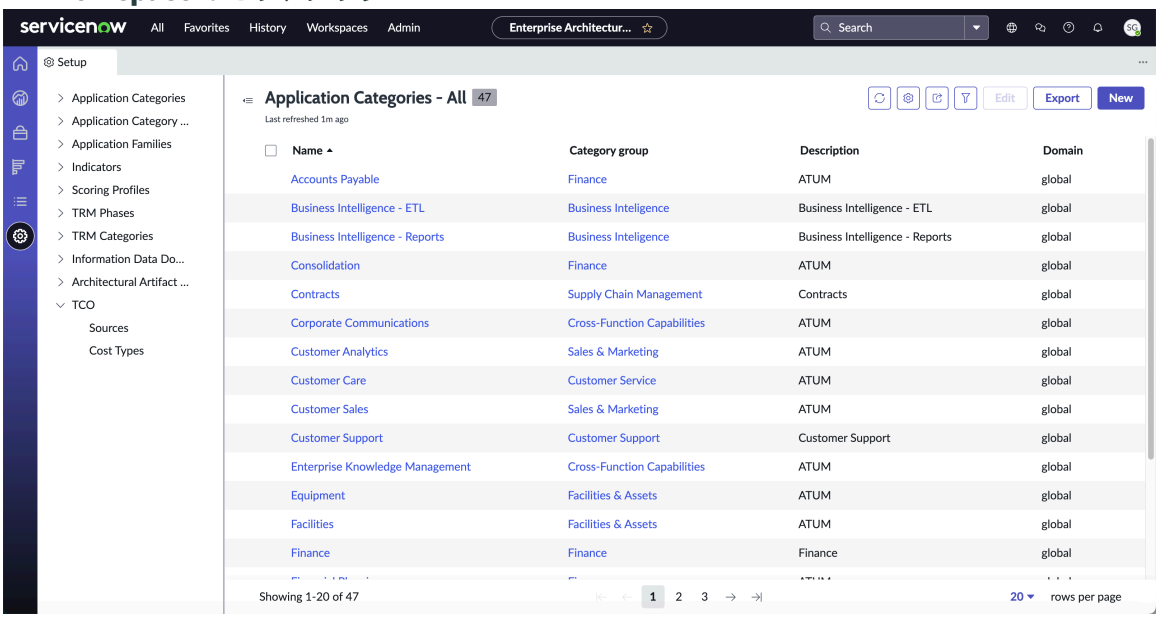
TCO

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションの総所有コスト (TCO) 機能は、アプリケーションコストを活用してアプリケーションポートフォリオに優先順位を付け、ビジネス戦略に合わせるために役立ちます。詳細については、「でのアプリケーションの総所有コスト (TCO) エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

EA Workspace のセットアップ



EA Workspace でのアプリケーションカテゴリの作成

アプリケーションカテゴリを作成するか、既存のカテゴリを編集してビジネス要件に合わせます。アプリケーションカテゴリは、目的と機能、フィールド、またはエリアによってアプリケーションをグループ化したものです。このような分類は、アプリケーションの統合と、意思決定の合理化に役立ちます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

各アプリケーションに、アプリケーションカテゴリが定義されている必要があります。このフィールドは、アプリケーションの目的と、このアプリケーションがサポートする主要なビジネス機能の説明に使用されます。ビジネス機能と同様に、分類を概括的なレベルに保つことができます。たとえば、営業、人事、マーケティング、製造などです。[アプリケーションカテゴリ] フィールドは、分析ダッシュボードをフィルタリングするために使用されます。ダッシュボードは、ビジネス価値と技術的リスクをプロットする 2x2 マトリクスです。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. [アプリケーションカテゴリ] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. アプリケーションカテゴリの名前、グループ、および説明を設定します。
5. **[Save** (保存)] を選択します。

EA Workspace でのアプリケーションカテゴリグループの作成

アプリケーションカテゴリグループを作成し、ビジネス要件に合わせて調整します。アプリケーションカテゴリグループは、アプリケーションカテゴリのコレクションです。カテゴリグループは、アプリケーションカテゴリのフィルタリングとレポートに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. [アプリケーションカテゴリグループ] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. アプリケーションカテゴリグループの名前と説明を入力します。
5. **[Save** (保存)] を選択します。

EA Workspace でアプリケーションファミリーを作成する

アプリケーションファミリを作成し、それをビジネス要件に合わせます。アプリケーションファミリは、製品のメーカー分類に基づいて一連の関連アプリケーションを製品スイートにグループ化するための属性です。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. [アプリケーションファミリ] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. アプリケーションファミリの名前、説明、およびドメインを入力します。
5. **[Save** (保存)] を選択します。

EA Workspace でアプリケーションインジケーターを作成する

コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面からアプリケーションを評価するアプリケーションインジケーターを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
各インジケーターは、アプリケーションスコアの計算に使用される関連アプリケーションデータを定期的にキャプチャします。アプリケーションのアセスメントは、構成されたさまざまなインジケーターに基づく拡張可能なフレームワークで実行されます。アプリケーションスコアを計算するために事前に構成されたもの以外のインジケーターが必要な場合は、ビジネス要件に基づいてインジケーターを作成できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. [インジケーター] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. 新しいインジケーターフォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「新しいインジケーターフォーム」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しい採点プロファイルを作成

アプリケーションスコアプロファイルを作成し、要件に応じてデフォルトのアプリケーションプロファイルを新しいプロファイルインジケーターで更新します。スコアプロファイルを作成した後で、それをインジケーターに関連付ける必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
採点プロファイルを新しいインジケーターで作成または更新し、ビジネスアプリケーションに関連付けることができます。多くの採点プロファイル内で同じインジケーターを使用して、その採点プロファイルに固有のインジケータースコアを生成することもできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. [採点プロファイル] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. 名前と説明を入力し、CI クラスとしてビジネスアプリケーションまたはビジネス機能を選択します。
5. **[Save** (保存)] を選択します。

アプリケーション採点プロファイルにプロファイルインジケーターをアタッチする

採点プロファイルをプロファイルインジケーターに関連付ける必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
採点プロファイルを新しいインジケーターで作成または更新し、ビジネスアプリケーションに関連付けることができます。多くの採点プロファイル内で同じインジケーターを使用して、その採点プロファイルに固有のインジケータースコアを生成することもできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. 「スコアリングプロファイル」で、「すべて」を選択します。
3. プロファイルインジケーターに関連付けるスコアリングプロファイルを選択します。
4. [プロファイルインジケーター] タブで [新規] を選択して、アプリケーションインジケーターを関連付けます。
5. [新しいプロファイルインジケーターの作成] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「プロファイルインジケーターフォーム」を参照してください。
6. [保存] を選択します。

アプリケーションインジケーターをアクティブ化またはオフにする

ビジネス要件に従ってアプリケーションインジケーターを有効または無効にします。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. [インジケーター] で [すべて] を選択します。
3. 特定のインジケーターの [アクティブ] 列の値をダブルクリックします。
4. そのインジケーターに関連するステータスを選択します。
   利用可能なオプションは次のとおりです。
   - **true**:このステータスは、インジケーターが計算され、会計期間別の全体的なスコア計算で使用されることを示します。
   - **false**:このステータスは、インジケーターがオフになっており、会計期間別の全体的なアプリケーションスコアの計算に使用されていないことを示します。
5. **[OK]** を選択します。

テクノロジー参照モデル **(TRM)** フェーズの作成

TRM 製品に対して独自の TRM フェーズを定義します。

始める前に
ユーザーは、エンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
相の色と形状は、TRM 製品の相を表すために使用されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. **TRM** フェーズを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。

   ベースシステムから次の TRM フェーズを使用できます。

   - 承認済み：テクノロジーの使用は承認されています。
   - 制約付きで承認 (Approved with Constraints)：テクノロジーは、コメントで指定された制約の範囲内で使用できます。
   - 売却：テクノロジーの使用権が売却されることが決定しています。
   - 評価: このテクノロジは評価中であり、運用目的では使用できません。
   - 未承認:テクノロジーの使用は許可されていません。
4. TRM フェーズフォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM フェーズフォーム」を参照してください。
5. **[Save** (保存)] を選択します。

テクノロジー参照モデル **EA Workspace** で **(TRM)** カテゴリを作成する

TRM カテゴリを追加して、TRM ソフトウェア製品をグループ化します。

始める前に
ユーザーは、エンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
TRM カテゴリは、目的と機能によって TRM ソフトウェア製品をグループ化したものです。この分類は、TRM 製品の統合と意思決定の合理化に役立ちます。TRM カテゴリを作成することも、既存のカテゴリを編集してビジネス要件に適応させることもできます。カテゴリを定義することも、Software Asset Management 製品分類に依存することもできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. **TRM** カテゴリを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. TRM カテゴリフォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM カテゴリフォーム」を参照してください。
5. **[Save** (保存)] を選択します。

EA Workspace でデータドメインを作成する

情報オブジェクトをデータベースインスタンスのデータベースカタログに関連付けて、物理データを収集します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
データドメインは、情報オブジェクトのコレクションです。 ServiceNow® ディスカバリー データベースのインスタンスで検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースを一覧表示するデータベースカタログを検索します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. [情報データドメイン **(Information Data Domains)]** を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [データドメイン] フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「データドメインフォーム」を参照してください。
5. **[Save** (保存)] を選択します。

EA Workspace でのアーキテクチャアーティファクトカテゴリの作成

アーティファクトのカテゴリを作成したり編集したりします。アーキテクチャアーティファクトにカテゴリをアサインします。カテゴリにより、アーティファクトの分類や管理がより効率的になります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. アーキテクチャアーティファクトカテゴリを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. アーキテクチャカテゴリフォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドの詳細については、「アーキテクチャカテゴリフォーム」を参照してください。

5. **[Save** (保存)] を選択します。

でのアプリケーションの総所有コスト **(TCO)** エンタープライズアーキテクチャワークスペース

アプリケーションの総所有コスト (TCO) プラグインは、エンタープライズアーキテクトがビジネスアプリケーションのコストを評価し、アプリケーションコストを活用してアプリケーションポートフォリオに優先順位を付け、組織のビジネス戦略に合わせるのに役立ちます。

アプリケーション **TCO** インジケーター

アプリケーション TCO に次のインジケーターが追加されます。

インジケーター名	説明
ポートフォリオ TCO	このインジケーターは、会計期間におけるビジネスアプリケーションの総コストを収集します。

ポートフォリオ TCO インジケーターのアセスメントスコアは、[アプリケーション合理化] リストビューで表示できます。

アプリケーション **TCO** とともにインストールされるテーブル

次のテーブルは、アプリケーション TCO プラグインとともにインストールされます。

テーブル	説明
総所有コスト - sn_apm_tco	すべてのビジネスアプリケーションの総所有コストの詳細を保存します。原価費目、経費タイプ、コスト、会計期間、請求日、ベンダー、ソース、ソース原価費目などの詳細を確認できます。
TCO 原価費目 - sn_apm_tco_cost_type	分析とレポートのために TCO 原価費目を内部エンタープライズアーキテクチャワークスペース に保存します。
TCO ソース:sn_apm_tco_source	TCO ソースの名前を格納します。
TCO ソース原価費目:sn_apm_tco_source_cost_type	ソースで使用される原価費目が格納されます。

アプリケーション **TCO** に追加されたビジネスルール

アプリケーション TCO に次のビジネスルールが追加されます。

ビジネスルール	テーブル	説明
重複原価費目の確認	TCO 原価費目 [sn_apm_tco_cost_type]	TCO 原価費目テーブルで重複する名前と経費タイプエントリを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルール	テーブル	説明
重複するソース名を確認する	TCO ソース [sn_apm_tco_source]	TCO ソーステーブルで重複するソース名エントリをチェックします。
重複するソース原価費目のチェック	TCO ソース原価費目 [sn_apm_tco_source_cost_type]	TCO ソース原価費目テーブルで、重複するソースとソース原価費目のエントリを確認します。

TCO ダッシュボード

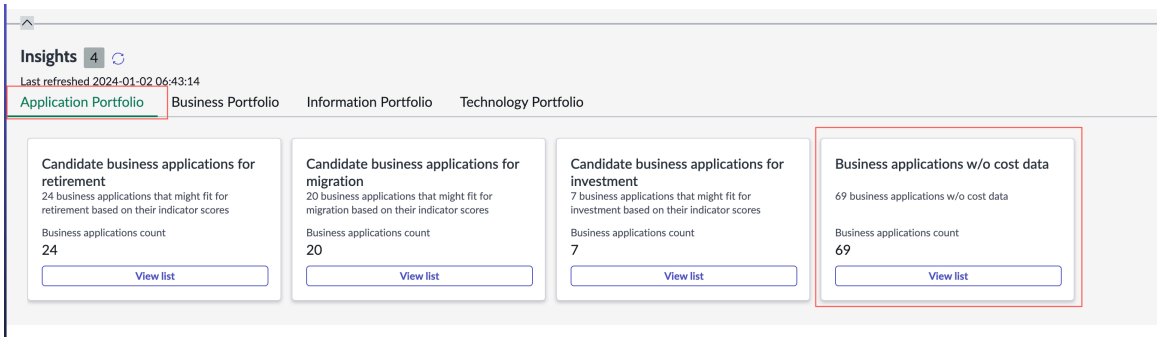
[ダッシュボード] ページの [ポートフォリオ **TCO**] タブには、アプリケーション TCO に関する次のダッシュボードが表示されます。

- 当四半期および前四半期のビジネスアプリケーション TCO
- 年間のビジネスアプリケーション TCO の傾向
- 当四半期および前四半期のアプリケーションカテゴリ別のビジネスアプリケーション TCO
- 当四半期のアプリケーション処分計画別のビジネスアプリケーション TCO

詳細については、「ダッシュボードの エンタープライズアーキテクチャワークスペース 操作」を参照してください。

アプリケーション TCO のインサイト

ホームページの [インサイト] セクションには、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース ビジネスアプリケーションのインサイトが表示されます。



アプリケーションの総所有コスト (TCO) プラグインのインストール

から ServiceNow Store 購入したアプリケーション TCO ストアアプリケーションをインストールして、インスタンスで利用できるようにします。

始める前に

注:
プラグインをインストールすると、アプリケーション TCO プラグインが自動的に エンタープライズアーキテクチャワークスペース インストールされます。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、 から要求 ServiceNow Storeする必要があります。

ServiceNow ストア Web サイトにアクセスして、利用可能なすべてのアプリを表示し、要求をストアに送信する方法について確認してください。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。
4. [デモ データのロード] チェック ボックスをオンにして、デモ データをインストールします。デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。
5. [インストール] を選択します。

アプリケーション **TCO** のソースを作成する

アプリケーションの総所有コスト (TCO) のソースを作成します。に エンタープライズアーキテクチャワークスペース取り込まれるコストのソースを指定します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. **[TCO]** を選択します。
3. [ソース] を選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. ソースの名前を入力します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。

TCO ソース原価費目の作成

TCO ソースのソース原価費目を作成します。取り込むコストのタイプを に指定します エンタープライズアーキテクチャワークスペース。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

TCO のソースが作成されたら、関連リストからソース原価費目を作成できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. **[TCO]** を選択します。
3. [ソース] を選択します。
4. ソースを選択して開きます。
5. [**TCO** ソース原価費目] タブを選択します。
6. **[New** (新規)] を選択します。
7. ソース原価費目の名前とドメインを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[**Source** is] フィールドには、ソース名が自動的に入力されます。

8. **[Save** (保存)] を選択します。

でのアプリケーション **TCO** の原価費目の作成 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

アプリケーション TCO の資本経費 (Capex) または運用経費 (Opex) として原価費目を作成します。取り込むコストのタイプを に指定します エンタープライズアーキテクチャワークスペース。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > セットアップ.
2. **[TCO**] を選択します。
3. 原価費目 を選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. 名前を入力し、経費タイプ ([投資] または [経費]) を選択します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。

TCO ダッシュボードの会計期間プロパティの設定

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの [ダッシュボード] ページで会計期間の特定の期間の TCO ダッシュボードを表示するには、システムプロパティ ()*com.glide.fiscal_calendar.fiscal.unit* を設定します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムのプロパティ > すべてのプロパティ.
2. プロパティを検索して開きます *com.glide.fiscal_calendar.fiscal.unit* 。
3. 要件に応じて [値] フィールドを更新します。
   値を [四半期]、[月]、または [週] に更新できます。
4. [更新] を選択します。

   [ポートフォリオ TCO] ダッシュボードページには、会計期間の指定された期間に応じたデータが表示されます。詳細については、「ダッシュボードの エンタープライズアーキテクチャワークスペース 操作」を参照してください。

[store-future: BEGIN review]

テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM) in** エンタープライズアーキテクチャワークスペース

テクノロジーポートフォリオ管理 は、エンタープライズアーキテクトがテクノロジーライフサイクルのリスクとテクノロジーライフサイクルの例外を管理するのに役立ちます。エンタープライズアーキテクトは、で検出されたテクノロジーと監査情報にアクセスして、すべてのビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスを評価できます エンタープライズアーキテクチャワークスペース。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

企業で使用されているビジネスアプリケーションの基礎となるテクノロジーには有効期間があります。その有効期間を積極的に管理し、そのバージョンとライフサイクルを追跡するために注意深く監視する必要があります。

ビジネスアプリケーションで使用されるソフトウェア製品には、オペレーティングシステム、データベース管理システム、開発ツール、およびミドルウェアがあり、それぞれにライフサイクルがあります。これらのライフサイクルステージを追跡しないと、ベンダーがそれらのステージをサポートしなくなり、これらのテクノロジーに基づいて実行されるビジネスアプリケーションが危険にさらされるリスクがあります。

企業で使用されているすべての技術のインベントリを作成することで、次が可能になります。

- ソフトウェアのバージョンとソフトウェアのメーカーサポート日を追跡します
- ソフトウェアの内部ライフサイクルガイダンスを設定する
- 古いソフトウェアの使用におけるリスクを評価する
- サポートしているアプリケーションと同様に、確定した日付で廃止を計画します
- アップグレードプロセスをサポート

プラグインをインストールしていますテクノロジーポートフォリオ管理

のインストール テクノロジーポートフォリオ管理手順については、「」を参照してください テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM)プラグインをインストール。

重要:
テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) は、企業のハードウェアライフサイクルデータをフェッチします。ソフトウェアライフサイクルデータを取得するには、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインをインストールする必要があります。SAM Foundation プラグインをインストールする前に、 Software Asset Management Foundation プラグインの移行 に関するドキュメントを注意深く確認してください。

でとともに **TPM** インストールされるテーブル **EA** ワークスペース

次のテーブルは、 テクノロジーポートフォリオ管理 ()TPM プラグインとともにインストールされます。

テーブル	説明
TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology]	企業内のハードウェアおよびソフトウェアの要素を保存します。 **注:** ソフトウェアライフサイクルデータを表示するには、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインをインストールする必要があります。
TPM 検出済みテクノロジー実行ログ [sn_apm_tpm_discovered_technology_run_log]	技術ポートフォリオ管理 (TPM) が Software Asset Management (SAM) Professional および Hardware Asset Management (HAM) Professional に対してコンテンツをリフレッシュしたときに保存されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
TPM テクノロジーライフサイクル [sn_apm_tpm_technology_lifecycle]	検出されたテクノロジーに関連付けられたテクノロジーライフサイクルを保存します。
TPM テクノロジーライフサイクル例外 [sn_apm_tpm_technology_lifecycle_exception]	近似されたライフサイクル、または Software Asset Management (SAM) Professional または Hardware Asset Management (HAM) Professional では見つからなかったライフサイクルを保存します。
TPM テクノロジーリスク [sn_apm_tpm_technology_risk]	TPM テクノロジーリスク情報を保存します。

でのビジネスルール**TPMEA** ワークスペース

の EA ワークスペース()TPM にテクノロジーポートフォリオ管理次のビジネス ルールが追加されます。

ビジネスルール	テーブル	説明
TPM テクノロジーライフサイクルテーブルの入力	TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology]	エンタープライズ内のハードウェアおよびソフトウェア要素の技術ライフサイクルデータをフェッチします。
テクノロジーライフサイクル情報を更新	TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology]	ハードウェアおよびソフトウェア要素のテクノロジーライフサイクルデータを更新します。
TPM ライフサイクル例外に対する TPM 監査	TPM テクノロジーライフサイクル例外 [sn_apm_tpm_technology_lifecycle_exception]	近似されたライフサイクル、または Software Asset Management (SAM) Professional または Hardware Asset Management (HAM) Professional から見つからなかったライフサイクルをフェッチします。

でのジョブスケジュール**TPMEA** ワークスペース

の EA ワークスペース()TPM のテクノロジーポートフォリオ管理ジョブスケジュールのリストは次のとおりです。

ジョブスケジュール	説明
TPM テクノロジーライフサイクルリスクの入力	TPM 技術ライフサイクルリスク [sn_apm_tpm_technology_risk] テーブルに TPM 技術ライフサイクルリスクデータを入力します。
TPM 検出済みテクノロジーとライフサイクルの入力	TPM テクノロジーライフサイクル [sn_apm_tpm_technology_lifecycle] テーブルにテクノロジーライフサイクルデータを入力します。データには、ソフトウェア製品とハードウェアモデルのサポート終了日、延長サポート終了日、および提供終了日が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブスケジュール	説明
	注: ソフトウェア製品のデータは、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインの場合にのみ表示されます。
EA Workspace での TRM 技術的負債の入力	TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology] テーブルで利用可能なソフトウェア製品の最新の技術的負債データで、技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt] テーブルを更新します。 注: [EA Workspace の TRM 技術的負債の入力 (Populate TRM technical debts in the EA Workspace)] スケジュール済みジョブは、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。

TPM のインジケーター **EA** ワークスペース

の EA ワークスペース()TPM のテクノロジーポートフォリオ管理インジケーターは次のとおりです。

インジケーター	説明
技術ライフサイクルリスク [sn_apm_tpm_technology_risk]	ビジネスアプリケーションのライフサイクルリスクスコアを計算します。

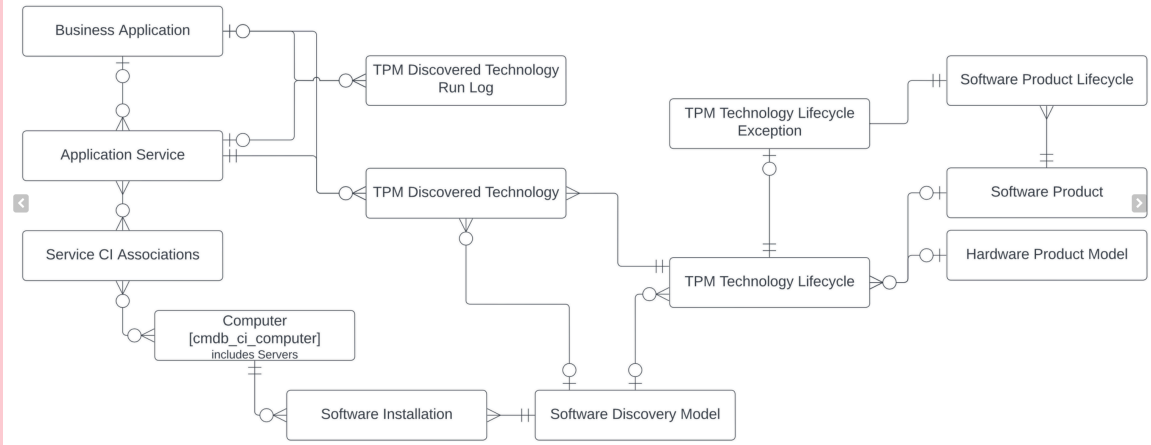
TPM の参照モデル **EA** ワークスペース

では EA ワークスペース、 テクノロジーポートフォリオ管理ビジネスアプリケーションレコードから **TPM** データの更新 アクションを使用するか、スケジュールジョブ [**TPM** 検出済みテクノロジーとライフサイクルの入力 **(Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles)]** を使用して、テクノロジーを調整できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TPM 参照モデル



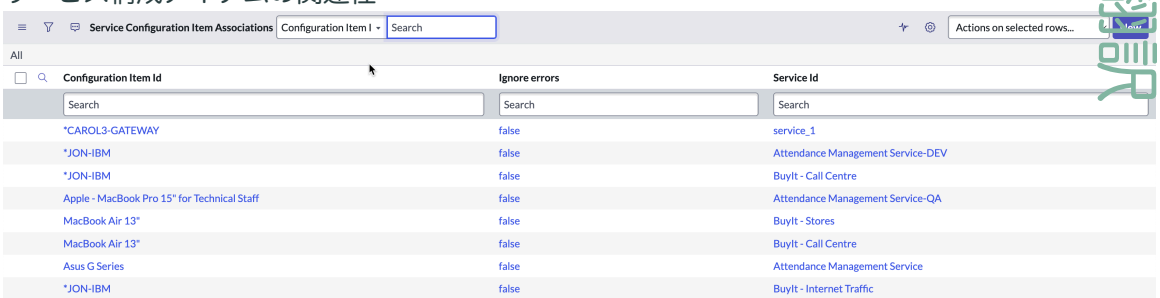
のテクノロジー検出プロセス **EA** ワークスペース

次に示すのは、の EA ワークスペースビジネスアプリケーションのテクノロジー検出および調整プロセスです。

- アプリケーションサービスによって Consumes::Consumed をクエリーしてフェッチします。

注:
これは (サービス [cmdb_ci_service] ではなく) アプリケーションサービスである必要があり、これらのアプリケーションサービスはマッピングされている必要があります。サービス構成アイテムの関連性 [svc_ci_assoc] テーブルは、アプリケーションサービスとそのコンピューターごとに設定されます。

サービス構成アイテムの関連性

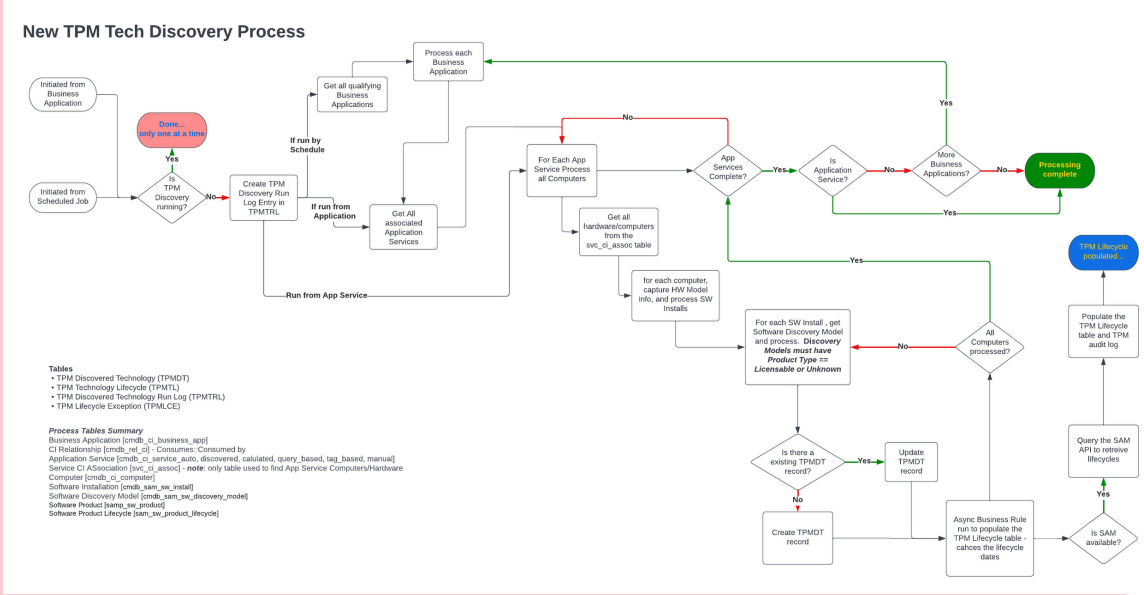


- サービス構成アイテムの関連付け [svc_ci_assoc] テーブルで識別された各コンピューターについて、[ソフトウェア インストール] タブを選択すると、インストールされているソフトウェアを確認できます。また、ハードウェアモデルがコンピューターに関連付けられている場合は、[TPM 検出済みテクノロジー] タブでハードウェアタイプの詳細を確認できます。
- ソフトウェアのインストールごとに、関連する Discovery モデルを確認できます。ソフトウェア検出モデルは、製品タイプが [ライセンス可能] または [不明] である必要があり、適切な情報を取得するには正規化または手動で正規化する必要があります。
- 検出モデルごとに、TPM 検出済みテクノロジーレコードを作成します。
- TPM 検出済みテクノロジーのレコードを作成すると、関連する TPM テクノロジーライフサイクルレコードの作成がトリガーされ、ハードウェアまたはソフトウェアテクノロジーのライフサイクル情報がフェッチされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のテクノロジーライフサイクル検出プロセス **EA** ワークスペース



正常にソフトウェア配置レコードを作成するには、次のテーブルに入力する必要があります。

- ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app]
- CI 関係 [cmdb_rel_ci] - Consumes::Consumed by
- アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto、検出、計算、query_based、tag_based、手動]
- サービス CI の関連性 [svc_ci_assoc] - 注:App Service の検索に使用されるテーブルのみ
- コンピュータ/ハードウェアコンピュータ [cmdb_ci_computer]
- ソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install]
- ソフトウェア検出モデル [cmdb_sam_sw_discovery_model]
- ソフトウェア製品 [samp_sw_product]
- ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle]

ハードウェアでは、コンピューターのハードウェアモデル参照が入力されている必要があります。

ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの **TPM** データの更新

選択したビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの TPM ライフサイクルデータを手動で更新できます。すべてのビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスのライフサイクルデータを更新するために、スケジュール済みジョブ [**TPM** 検出済みテクノロジーとライフサイクルの入力 **(Populate TPM Discovered Technologies and Life-cycles)]** もスケジュールまたはオンデマンドで実行されます。詳細については、次を参照してください。ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの TPM データの更新スケジュール設定済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する

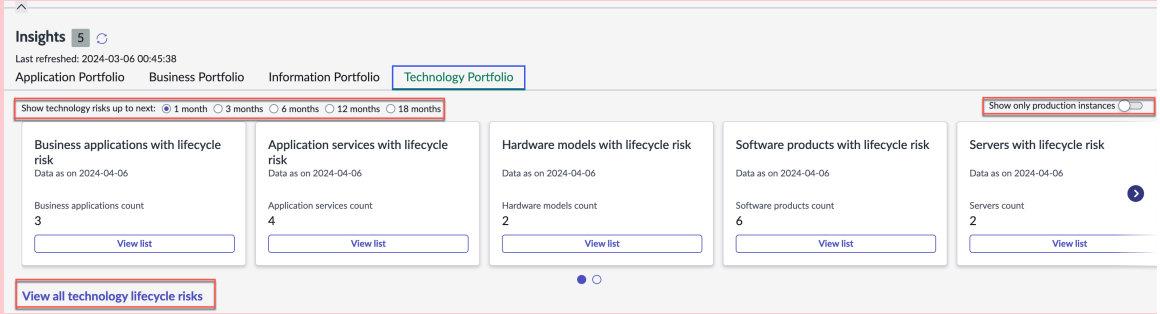
技術ライフサイクルリスクのインサイトの表示

ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、サーバー、ソフトウェア製品、およびハードウェアモデルのテクノロジーライフサイクルリスクを追跡できます。**[TPM** 検出済みテクノロジーとライフサイクルの入力 **(Populate TPM Discovered Technologies and Life-cycles)]** ジョブスケジュールでは、ホームページの EA ワークスペース [インサイト] セクションにライフサイクルの結果が表示されます。[インサイト] セクションの [技術ポー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トフォリオ] タブを選択し、[すべての技術ライフサイクルリスクを表示] をクリックしま



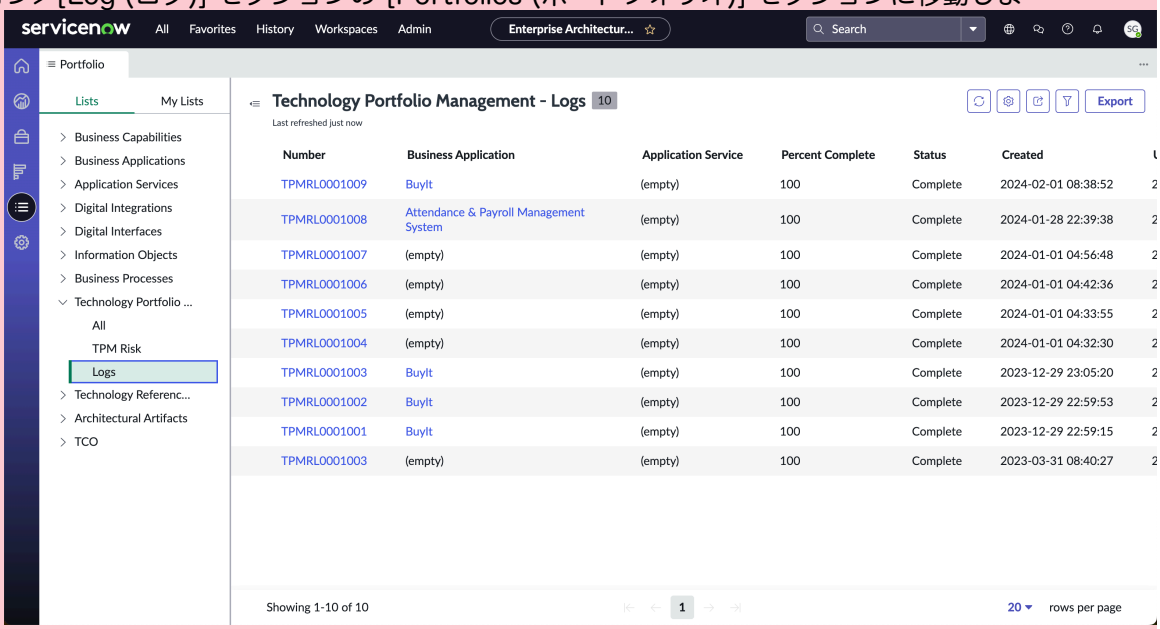
す。

- このフィルターを使用して、今後 1 か月、3 か月、6 か月、12 か月、および 18 か月のリスクを確認します。デフォルトでは、[1 か月] フィルターが適用されます。
- [本番インスタンスのみを表示] トグルボタンを使用して、テクノロジーライフサイクルリスクがある本番インスタンスのみを表示します。デフォルトでは、このフィルターはオフになっています。
- [すべての技術ライフサイクルリスクを表示 **(View all technology lifecycle risks**)] リンクを選択すると、すべての技術ライフサイクルリスクのリストが、最も早いライフサイクル日付 (つまり、技術ライフサイクルリスクが発生する最も早い日付) でソートされて表示されます。必要に応じて、技術ライフサイクルリスク情報を Excel、CSV、JSON、または PDF にエクスポートすることもできます。

  技術ライフサイクルリスクテーブルのデータは、TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology] テーブルからフェッチされます。

TPM 分析実行ログの表示

TPM 検出済みテクノロジーの実行ログ [sn_apm_tpm_discovered_technology_run_log] テーブルを調べることで、TPM 分析の進行状況を追跡できます。分析が実行されるたびに、このテーブルにエントリが追加されます。[EA Workspace > Portfolios > Lists] セクション> [Log (ログ)] セクションの [Portfolios (ポートフォリオ)] セクションに移動しま



す。

[End]
[store-future: BEGIN review]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テクノロジーポートフォリオ管理 **(TPM)**プラグインをインストール

からServiceNow Store購入したストアアプリケーション (TPM) をインストールして、テクノロジーポートフォリオ管理インスタンスで使用できるようにします。

始める前に

注:
TPMプラグインをインストールするエンタープライズアーキテクチャワークスペースと、プラグインが自動的にインストールされます。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、 から要求 ServiceNow Storeする必要があります。

   ServiceNow ストア Web サイトにアクセスして、利用可能なすべてのアプリを表示し、要求をストアに送信する方法について確認してください。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。
4. [デモ データのロード] チェック ボックスをオンにして、デモ データをインストールします。デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。
5. [インストール] を選択します。

[End]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。